ボーカロイド＆ニコニコ動画から広がるエンタテインメントを満載！

ロマンアルバム　徳間書店 1575yen
［ボカロプラス］ Vol.5

ボカロPlus

「Knife」創作秘話（れるりり×三重の人）

歌い手　あさまっく／Gero／ナノ／amu／でにろう／ゆりん

Live!!　アゴアニキ（AGOBOT）
梨本うい（あらいやかしこ）
家の裏でマンボウが死んでるP（ポニー）

galaco

注目★VOCALOID3発売記念 楽曲ランキング！

●インターネット・村上代表に訊く！「V3開発記」

カゲロウデイズ

もっと知りたい！ カゲロウデイズ＆じん（自然の敵P）の世界

メカクシ団！

インタビュー／SEGA「最後のミクの日感謝祭」その後……

「プリティパンティ☆悪マリン」悪マリンを攻略せよ！ 大人気PVのクリエイターさん直撃！

ヤンデレ中学生 MAYU

VOCALOID™3 発売記念
楽曲コンテスト

http://info.nicovideo.jp/v3contest/

応募期間：2011年11月15日～2012年6月30日

対象 VOCALOID™3 Library（※2012年5月18日時点）
● VY1V3 ● Mew ● Megpoid（Power、Whisper、Adult、Sweet、Native）●兎眠りおん
● SeeU ● CUL ● Lily ●結月ゆかり● IA ●蒼姫ラピス

V3コンテスト特別参加賞（対象ライブラリすべて）
もれなく発売予定のないV3音声ライブラリ「galaco(ギャラ子)」のダウンロード版をプレゼント。

インターネット賞（Megpoid、CUL、Lily）
・お好きなインターネット社のボーカロイド製品を1本(3名様)

SBS Artech賞（SeeU）
・最優秀賞：2名・2泊3日・韓国ソウル旅行券（1名様）
・優秀賞：iPad2 Wi-Fi 32GB 1台（1名様）
※受賞者を含め、人気作品投稿者5名様にSeeU福袋進呈

imyss賞（SeeU）
・imyss化粧品ギフトセット（1名様）

ヤマハ賞（VY1V3、Mew）
・最優秀賞：Cubase6 フラッグシップグレード（1名様）
・優秀賞：お好きなヤマハ製ボーカロイド3ライブラリ製品を1本（3名様）

ディアステージ賞（兎眠りおん）
・アキハバラご招待（1組2名様）
・ディアステージご利用優待チケット（10名様）
・ヤマハ TENORI-ON "TNR-O"（1名様）

ドワンゴ賞（対象ライブラリすべて）
・ニコニコ動画グッズ盛り合わせ 合計5名様

i-style Project賞（蒼姫ラピス）
・蒼姫ラピスオリジナルシルバーリング＋Cubase スターターパック（セットで1名様）

PV部門賞（対象キャラクターすべて）提供：ボカロplus
・Wacom プロフェッショナルペンタブレット ワイヤレスキット付属 Mサイズ Intuos5 touch PTH-650/K0　2名

新人賞（対象キャラクターすべて）提供：ゲッカヨ
・「Gekkayo」本誌で特集ページ（編集長インタビュー）＋楽譜掲載　1名
※但し、これまでゲッカヨで掲載実績のない方

ローソン賞（対象ライブラリすべて）
・店内放送（ローソンCSほっとステーション）で1ヶ月オンエア　1名

※その他、特別賞の追加などは、随時公式ページにて発表されます
※特別賞の内容は予告なく変更する場合がございます

© i-style project
© VOCALO Revolution executive committee. All rights reserved.
© 2011 SBS Artech. All rights reserved.
© 2012 DEARSTAGE Inc. All rights reserved.
© 2012 Yamaha Corporation. All rights reserved.
© 2011–2012 Vocaloid next All rights reserved.
© 2012 VOCALOMAKETS Powered by Bumpy Factory Corporation.
© 2005-2012 AHS Co. Ltd.
© INTERNET Co., Ltd.

ROMAN ALBUM
ボカロPlus Vol.5

ボカロプラス

表紙イラスト／しづ、わんにゃんぷー

© 1st PLACE Co., Ltd.

CONTENTS

VOCALOID３発売記念コンテスト >>>> 2

ヤンデレ中学生「MAYU」 >>>> 5

PLUS topics >>>> 6

- ●シアンは俺の嫁!!
- ●歌い手注目！「iRig Mic」
- ●猫村いろは 活動ほーこく
- ●VOCALOID３本格始動！
- ●ぽぽ日P
- ●アルバム【IA／01】の前代未聞
- ●「うたスキ動画」やってますか？

SEGAのキーマンに訊く 最後の「ミクの日感謝祭」その後…… >>>> 24

もっと知りたい！『カゲロウプロジェクト』 >>>> 30

『Knife』創作秘話／れるりり氏&三重の人氏 >>>> 44

PLUS! PUSH! ARTIST!

Gero／amu／ナノ >>>> 50

今、気になる歌い手さん　ゆりん／でにろう >>>> 58

ゆるゆる系男子トーク　あさまっく紙面らじお >>>> 60

Plus ARTIST SPECIAL INTERVIEW

ニョホホ氏 >>>> 62

虹原ぺぺろん／ぺぺろんP >>>> 68

もっと知りたい神ＰＶ

プリティパンティ☆悪マリン シリーズ >>>> 72

夕日のバイオリニスト >>>> 76

Plus-CosPlayer **ちゃまろさん** >>>> 80

スピンオフまんが **「ある日のライ定」／まこ猫** >>>> 84

まこ猫作品たべてみた。>>>> 86

実録コラボ中継『**ぺんぎんさーふらいだぁ**』>>>> 88

Rio Band のこともっと知りたい!! >>>> 90

Books／『ココロ』>>>> 98

#アイスマ　スピンオフCOMIC **安土桃色時代** >>>> 99

ライブするボカロP >>>>108

アゴアニキ／AGOBOT

梨本うい／あらいやかしこ

家の裏でマンボウが死んでるP／ポニー

写真提供：エクシング

壱百四拾字のハンター・トンプソン／山本ニュー >>>> 120

Ｖ３歌声ライブラリ開発記 >>>> 122

エハミックのクリエイター魂・北條俊正氏 >>>> 126

MEIKOが大好き座談会／いぶし銀次・ぽか主・柿太郎 >>>> 130

ボカロ曲ショートSTORY **先天性ブリキ症候群／ゆずひこ** >>>> 134

動画師&絵師４コマまんが **いろいろしたい／みくりやわた** >>>> 138

和楽『千本櫻』、そして超パーティ／佳館杏ノ助 >>>> 140

ヒロトPのボカレボ外伝 **「キセノンPといろいろトーク」** >>>> 142

「ホントにスゴイ ボカロ曲」 >>>> 146

新機種「JOYSOUND f1」が凄いことになってます。>>>> 157

ボカロ曲カラオケ全国ランキングカウントダウン >>>> 158

（2012年１月１日～４月30日）

© 2012 SANRIO CO., LTD.　著作（株）サンリオ

インターネット村上代表の取材時に見せていただいたV３版「がくっぽいど」のイラストを公開。コミック作家の三浦建太郎さんが描き下ろした新しい"神威がくぽ"だ。ボイスによって胸の部分のカラーが変化する。インターネットでは、夏の発売に向けてライブラリを開発中だ。

© INTERNET Co., Ltd.

『ままま式GUMI』クリスタルブロックの情報を、インターネット村上社長から連絡をいただいた。ニコニコ動画で活躍する、MMD人気モデラーと、有名Pが集結して新しいプロジェクト『MMD Project Future（MPF）』が始動する。プロジェクト第1段として7月29日のワンダーフェスティバルに出展予定。

【MMD Project Future 活動告知プロモーションムービー】

http://www.nicovideo.jp/watch/sm17666218

© niwango, Inc.
© 2012 INTERNET Co., Ltd.

VOCALOID

VOCALOID ™ およびボーカロイドはヤマハ株式会社の登録商標です。
「ボカロplus」および「ボカロプラス」はヤマハ株式会社より使用許諾を得て使用しています。

MAYU

©2012 EXIT TUNES

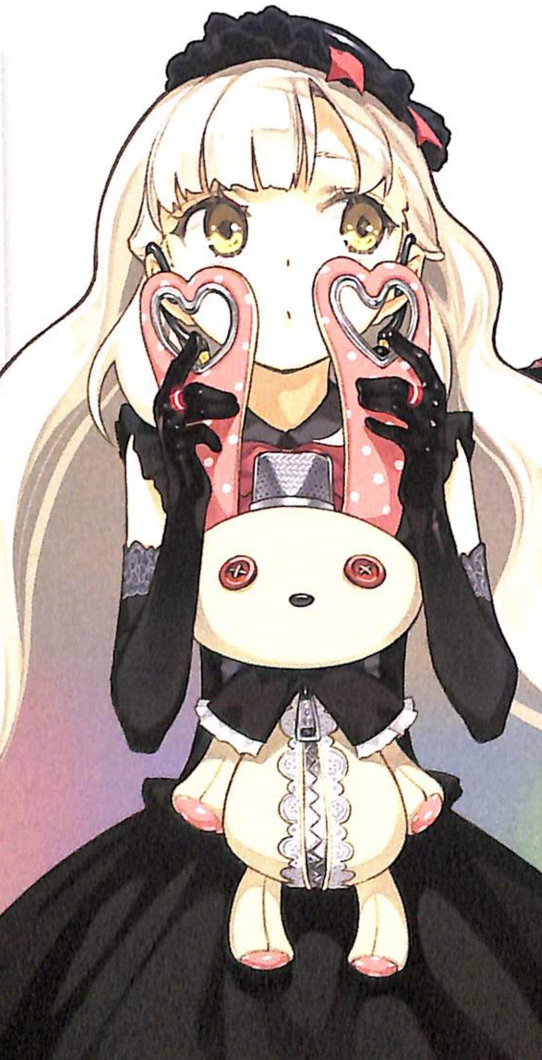
http://mayusan.jp/

エグジットチューンズからリリースされる
期待のボーカロイド「MAYU」のビジュアルがついに公開。

→MAYUさんの〝ヤンデレ〟バージョン

2012年５月６日、さいたまスーパーアリーナで開催されたEXIT TUNESの10周年記念イベントで、人気ボカロPさん達が出演する中、可愛すぎる女子中学生ボーカロイド公開された。

名前は『MAYU』さん、なんと今度のボーカロイドは中学生の女の子だ！　しかもヤンデレというご褒美付きなのだ！　しかも、MAYUタンが胸に抱くうさぎさんはマイクになっている。ああ、失礼、勝手にMAYUタンと呼んでしまいました。使用規約も皆に優しい『ＭＡＹＵ』さんに注目だ！



© 2012 SANRIO CO., LTD.　著作（株）サンリオ

シアンは俺の嫁!!

阻止されないうちに

ブローが下手でくずれ気味の巻き毛…だと!?

巨大化（美少女化）…だと!?

↑ラフ案だからシアン中なわけですね。わかります。

ニーソックスではなく、タイツ＆パニエ×ドロワーズというところに着目したい。このパニエのもこもこ感は絶対領域の半歩先を行くトレンドなのかもしれない

↓ぬ、ぬこ

もふもふ

↑くつのウラがピンク…だと!?

PLUS topics

いろいろなキャラが日々生まれております。で、まだシアン中だけれど、ちょっとなら紹介してもいいですよ……という新キャラ情報をゲット！ こっそり紹介させていただきます。

新ボカロ？ 誰ですか、え、違う？ この萌えキャラ!?

〝まだシアン中なので、大々的でなければ露出OK〟という厳しい制約付きではありますが、新キャラクター『シアン』ちゃんを皆さんにお披露目できることとなりました。

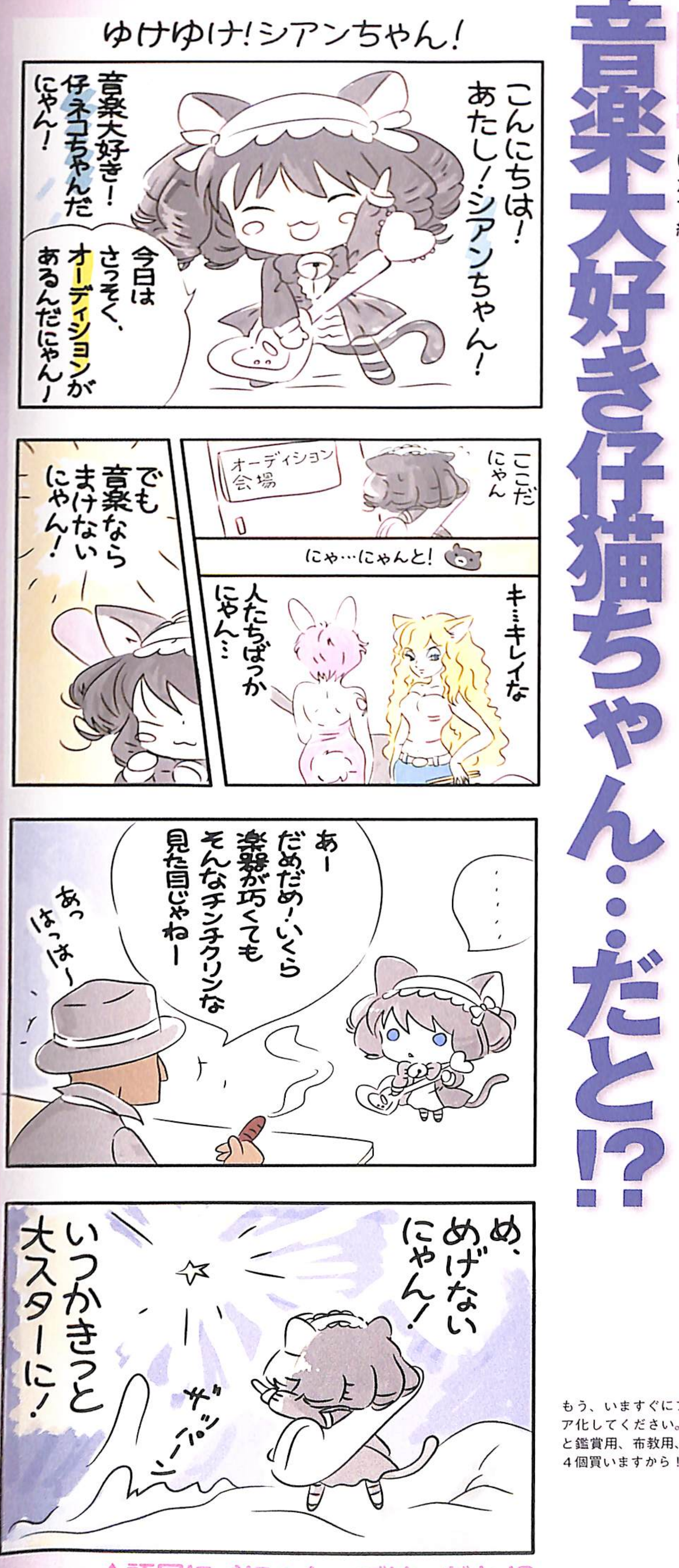
真横で掲載している4コママンガ（正確には6コマ）を見る限り、明るくて健気、そしてひどい目にあっても立ち直りの早い頑張り屋さんであることは間違いない。

しかも、このシアンちゃん、何かの影響を受けると、仔猫モードから美少女モードに変身するらしい。「いいですねぇ。仔猫だし、〝にゃん〟とか語尾に付いてるし、巨大化（美少女化）もするんですよねぇ。コレでドジっ娘だったらさらに言うことないんですけどねぇ」と極秘資料を見て感嘆しつつ、要望をさりげなく出す編集部の萌え愛好家・S井君。

資料によるとシアンちゃんの美少女モード状態に〝ブローが下手でくずれ気味の巻き毛〟の記述あり。ドジっ娘的な素養もありそうである。「いやぁ、すごいなぁ。くつのウラがピンクなんて、すごいっ。しかもパニエですよ、パニエ！」

詳細的な何かは次号（7月末日発売）では、もう少し情報をお出しできるはずだ。

音楽大好き仔猫ちゃん…だと!?



↑語尾に〝にゃん〟づけ…だと!?

もう、いますぐにフィギュア化してください。保存用と鑑賞用、布教用、食用の4個買いますから！

iRig Mic

PLUS topics

イタリア・IK Multimedia社の開発したｉＰｈｏｎｅ周辺機器『iRig Mic』。これはiPhone、iPod touch、iPadと組み合わせて使う単一指向性のコンデンサー・マイクロフォンで、歌い手のあなたにオススメなツールなんです。

「iPhone&専用アプリと組み合わせて使う『iRig Mic』。難しくて手が出せなかったボーカル・エフェクトや楽器レコーディング、重ね録りに、気軽に挑戦できちゃうんです！」

モデル：Kipi さん

iPhoneと『iRig Mic』があれば、パソコンの前で歌わなくてもいいんですね。

「iRig Mic」はiPhone、iPod touch、iPadで使用する〝マイク〟だ。

あまりデジタル機器を紹介しない弊誌だが、これはぜひともご紹介したい。なぜなら、iPhone&『iRig Mic』の組み合わせで、簡易DTM的なことができてしまうからだ。

右の写真を見てほしい。iPhoneのヘッドフォン・マイク端子に『iRig Mic』の接続端子を差し込み、さらにヘッドフォンを接続している。マイクで拾った音を本体に入力すると同時に、アプリから再生される音をヘッドフォンに出力可能にするのだ。そう、つまり、これを使えば、iTunesライブラリを読み込んでそれに合わせて歌い、自分の歌声と伴奏をリアルタイムでモニタリングできるというわけ。ええっ？ iPhoneと『iRig Mic』があれば、どこでもカラオケボックスってことですか！

その通り。しかし『iRig Mic』は、お一人様のお楽しみでは終わらない。出力端子は、ヘッドフォンの他、アンプ内蔵スピーカーやミキサーなどに接続可能なので、ライブ・パフォーマンスのほか、工夫次第でさまざまなシーンで使える。

ここで再認識しておきたいのが、この『iRig Mic』のポジション。〝マイク〟と捉えるより〝マイク機能付きのiPhoneアプリ専用インターフェース〟という位置付けと考えてほしい。

つまりマイク単体ではなく、iPhone&専用アプリと組み合わせて使うことで、歌い手を〝おおおお、便利〟と唸らせてくれる。

『iRig Mic』には3種類の純正アプリが用意されているが、ここで紹介するのは『VocaLive』との組み合わせ。このアプリにはコンプレッサー処理、ピッチ修正をして、リバーブをつけるといった基本エフェクト、そして録音機能などが備わっている。つまり、自分がいる場所がボーカルレコーディングのスタジオになってしまうのだ。

このアプリは無料版もあるのだが、無料版は録音機能が1トラックなので、アプリ内課金（450円）で4トラックに拡張して使ってみた。これによって重ね録り、ミックスも可能となる。

コーラスを重ねたり、楽器演奏を重ねてみたりと、作品作りの幅が広がることを実感できた。iPhoneユーザーでない方はiPod touch、iPadでも使えるのでご安心を。

純正アプリ「VocaLive for iPhone」

ピッチ修正、コーラス・ハーモナイザー、ダブラー、ディエッサー、モーフィング・エフェクト等のボーカル専用エフェクト、リバーブ、EQ、コンプレッサー、ディレイ、エンベロープ・フィルター、コーラス、フェイザー等を備えたボーカリストのためのレコーディングアプリ。ｉＴｕｎｅｓライブラリから楽曲をインポートし再生できるプレイヤー機能も装備。プレイヤーにはボーカルキャンセリングも用意されているのでカラオケ練習にも最適だ。無料版は１トラックだが、アプリ内課金で４トラックに拡張できる。今回紹介した iPhone 版とは別に、同時使用エフェクト数等を拡張した iPad 版も App Store でダウンロード可能だ。

仕様
マイク・タイプ：コンデンサー
指向性：単一指向性 / カーディオイド
周波数特性：100Hz ～ 15kHz（-3dB 帯域）
最大音圧（感度 Hi の場合）：120dB
最大音圧（感度 Mid の場合）：90dB
最大音圧（感度 Low の場合）：75dB
歪み：THD（全高調波歪）3%（音圧レベル 120dB の場合）
ウィンドスクリーン：内蔵
電源と接続について：iPhone、iPod touch、iPad のみで動作

●互換性を持つ iOS 製品
iRig マイクは、iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPod touch（第２～４世代）、iPad 2、iPad に対応しております。
iOS3.1.3 以降でご利用ください。
音声入力に対応していない第１世代の iPod touch には、iRig Mic は対応しておりません。

【iRig Mic】

- Apple iPhone、iPod touch、iPad 用に開発された、高品位なマイクロフォン。
- マイクの音を入力すると同時に、アプリから再生される音を出力。
- ボーカル、スピーチから楽器にまで対応する、３段階のゲイン調整スイッチ付き。
- ノイズの少ないクリアな音で収音可能な、単一指向性のエレクトリック・コンデンサー・カプセル。
- 手持ちでも、どんなマイク・スタンドでもフィットする、頑丈な金属製の筐体。
- 無償の純正アプリ「iRig Recorder」を使って、簡単に音声を録音、編集可能。
- 無償版もある純正アプリ「VocaLive」を使って、ボーカルのエフェクト、録音が可能。
- 無償版もある純正アプリ「AmpliTune」を使って、ギター・エフェクトを交えたミックスが可能。
- ビデオ撮影、録音、カラオケ・アプリなど、ヘッドフォン・マイク端子からの入出力に対応したアプリのほとんどで利用可能。
- 出力端子はヘッドフォンの他、アンプ、ミキサーを接続した再生にも対応。

手持ちでも、どんなマイク・スタンドでもフィットする、ベーシックな大きさと形。スタンド取り付け時でも iPhone、iPod touch、iPad まで届く 2m のケーブルがあるので安心。実製価格 6500 円前後（オープン価格）というリーズナブルな価格にそぐわないずっしりとした重さを感じる頑丈な金属製の筐体もポイント。
※ヘッドフォン、マイクスタンド、ｉＰｈｏｎｅ用ホルダーは別売です。

問い合わせ先　イーフロンティア☎ 03-3267-1140
http://www.e-frontier.co.jp/vp6/

PLUS topics

猫村いろは 活動ほーこく

2012年5月14日にデビュー3周年を迎えたサンリオウェーブ所属のキティラー・アイドル「猫村いろは」さん。さまざまな分野で活躍中の彼女だが、最近の活動はどんな感じ？　いろはさんのマネージャーとでも言うべき「ハローキティといっしょ！」の中の人（@with_KT）に聞いてみたよ！

●まずは、いろはさんのデビュー3周年おめでとうございます！

ハロいつ公式「いつも、猫村いろはをはじめ、ハローキティといっしょ！のキャラクターたちをご愛顧いただきまして、ありがとうございます。イラストレーターの方々が生み出したオリジナルキティラーは、ほかにないコンテンツだと思いますが、支えて頂いているのは、やはりサイトを見たりグッズを買って頂いているファンの方々だと思います。先日行った『キティといっしょ！×萌土産』にもたくさんのファンの方にご来場頂きました。ほんとうにありがとうございました。いろははさまざまな活動をしております。AHSさんによってボーカロイドにもなっているのはみなさんご存知ですよね。ボカロキャラがたくさん登場する中、〝ボーカロイド猫村いろは〟が今後どのように進化していくのか？　私たちハロいつ公式もAHSさんの展開を楽しみにしています」

●3周年（4年目）の猫村いろはさんの活動指針、またはアイドルとしての方向性などをお聞きしたいのですが？

ハロいつ公式「いろはには【プラチナキティラー】という設定（注：キティラーオーディションの優勝者、もちろんオリジナル設定）がもともとあります。この部分をよりプッシュしていくコンテンツを増やしていく予定です」

●雑誌での連載もはじまるそうですが？　どんな感じに？

ハロいつ公式「どちらの媒体か、などの詳しい内容はまだここでは言えませんが、毎月連載させて頂くことになりそうです。

そこではかなりキャラクター推しのコンテンツになるかと思います。実はokama先生の新たないろはイラストが登場予定です。情報解禁になり次第、ツイッター等でお知らせしますので、ぜひチェックしてみてください」

●新発売となる、アイドルいろはのMMDのポイントは？

ハロいつ公式「ハローキティといっしょ！ではデジタルフィギュアとMMDモデルをセットにしてDL販売しています。

最新のモデルである、キティラーアイドル版は、以前期間限定で配布させて頂いたものをISAO先生に大幅リメイクして頂いたものです。okama先生の描くいろはの髪の毛にかなり謎が多いのは、みなさんすでにご承知かもしれませんが、アイドル版では猫の顔型のお団子がついています（実際にはウィッグだそうです）。

こちらもISAO先生の再現力で、とってもかわいらしいアクセサリーになっています。ロングテールないろはも良いですが、このアイドル版いろははデジタルフィギュアとして見てるだけでもオススメです」

●いろはさんのMMDを作られているISAO先生ってどんな方ですか？

ハロいつ公式「実はまだ私もお会いしたことがないのです。お会いすることができた際には、やっぱりまずお礼を申し上げたいと思います。

お忙しい身でありながら、ハローキティといっしょ！　モデルも、1体1体、力を入れて作って頂いています。ほんとうに表情豊かなキャラクターモデルを作られるので、いろはやリオバンドメンバーたちが笑ったり泣いたり、驚いたりするのを見て、いつも感激しています。

DL販売を始めてから、ほぼ1カ月1体ペースで作って頂けたのも、ISAO先生のご協力の賜物以外の何物でもないと思っています。」

●いろはさんのニコニコ動画番組や新商品など、今後の展開は？

ハロいつ公式「現在、猫村いろはは『歌ってみたスタジオ生放送』などで曲素材としてお取り扱い頂いています。そちらもぜひご覧ください。

このような素材としての一面や、先ほど申し上げましたキャラクターとしての一面として、フィギュアの発売もされております。

また、これは初出しの情報となりますが、いろはとあるキャラのコラボイラストが出来上がっております。いつもいろはをご覧頂いている皆様には、お馴染みで、かつ意外なキャラクターかもしれません。

こちらもグッズ展開などを考えておりますので、ご期待ください」

docomoフューチャーフォン向けきせかえ販売がスタートしたよ！

5月よりdocomoフューチャーフォン向けきせかえ販売がスタートしました。いろはやリオバンド、クリストファーなども登場します。対応端末などの詳細はハローキティといっしょ！公式サイトへ。

ISAO先生がグレードアップしてくれたアイドルいろははMMDモデルだよ

2012年は「アイドルいろは」で頑張ってます

okama’ｓキティラー「猫村いろは」アイドル版 デジタルフィギュア＋MMDモデル絶賛ダウンロード販売中だよ！

HELLO KITTY：著作 株式会社サンリオ
©1976,2012 SANRIO CO.,LTD.TOKYO,JAPAN
イラスト：okama
©2009,2012 SANRIOWAVE CO.,LTD.

ニコニコ動画で活躍中の「猫村いろは」のアイドル衣装がグレードアップして再リリース！　メロンブックスＤＬサイト特設ページにて本日４月２５日からダウンロード販売開始です。モデリング作成は引き続きＩＳＡＯ先生の作品が担当！

今回も他のキティラー同様デジタルフィギュアを収録。それぞれ５ポーズずつあり、拡大縮小もバッチリで、いろはのかわいらしいアイドル姿を間近で見ることができます。デジタルフィギュア「猫村いろは」アイドル版を是非隅々までご堪能ください！

また、こちらも同様にいろはの MikuMikuDance モデルも同時収録。モデルデータを動かすのが難しい……という方にも２Ｄイラストと合わせることで３Ｄデータをお楽しみいただくことが可能ですよ♪　デジタルフィギュアのデータを MikuMikuDance で開いてみると、背景画像を加えることができます。

↑この様に様々なポーズと組み合わせて、自由な絵を作ることができます。２Ｄのイラストや３Ｄのその他のモデルデータと合わせて、世界にひとつの壁紙を作ってみては？

価格はデジタルフィギュアとＭＭＤモデル合わせて 700 円となります。公式通販では初登場となるモデルですのでまだ手に入れてない方は要チェックですよ！

『okama’ｓ キティラー　猫村いろはアイドル版　デジタルフィギュア＆ MMD モデルデータ』・700 円（税別）
※以前、サイトで期間限定配布したモデルをグレードアップした act2 版になります

今回、ハロいつ公式さんがボカロplus読者のためにアイドル版MMD画像を用意してくれたよ♪

ダウンロードはここから！
http://www.with-kitty.com/download/n59sw3kmca/wkt_files.zip

PLUS topics

キャラクターも出揃って、グッズ展開など、VOCALOID3はこれから本格的にスタートする。このニュースな事態を確かめるべく、V3全体のブランディングやイベントプロモーションを担当するヤマハ株式会社　yamaha+推進室Y2プロジェクトの瀬戸氏に話を聞いてみた。

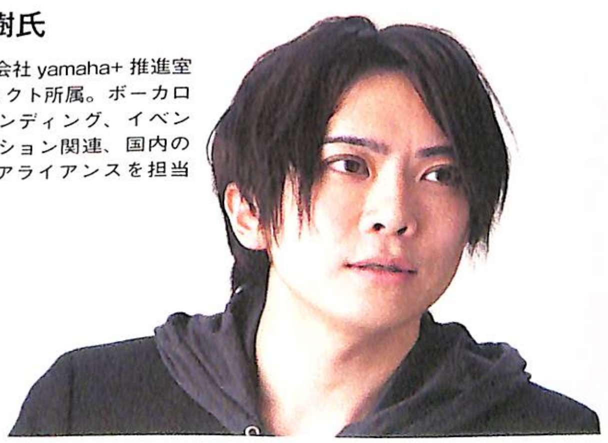
昨年10月からの助走期間を経て…

2011年10月21日に、VY1V3、Mew、Megpoidが発売されてから、次々と誕生しているV3のキャラクターたち。各社から発表されていたキャラクターも、この半年間でほぼ発売され、これから本格的に動き始める。たくさんの協力会社が新しく参入し、それぞれの得意分野でボカロ界を盛り上げている。アニメの制作会社が手掛けたボーカロイド、秋葉原のライブステージから誕生したボーカロイド、アーティスト発のボーカロイド、ボカロP発のボーカロイド、海外発のボーカロイド、コンビニ発のボーカロイドなど、いろいろなボーカロイドが登場した。今後の展開が楽しみなボーカロイドばかりだ。

「ネットの中で盛り上がっていたボーカロイドですが、コンビニで普通にボカロ曲が流れるようになったり、TVの番組で紹介されたり、企業の広告で使われたりと、一般の方々がボーカロイドにふれあう機会が増えた半年間だったと思います。コアな層から、より一般的に広がっていると思います。魅力的な新人ボーカロイドが揃ってきましたが、次の展開としては、このボーカロイドたちを各社がどう育てていくかが重要だと思います」

V3の総合プロモーションも手掛けるヤマハ株式会社yamaha+推進室Y2プロジェクトの瀬戸氏は、昨年10月から新しい試みのプロモーションを積極的に行なってきた。「10月21日（金）から10月23日（日）の3日間連続でニコニコ生放送で行われた〝VOCALOID3発売記念53時間生放送やってみた～WE ARE THE VOCALOID～〟では、ボカロPさん、絵師さん、歌ってみ

「V3から全ボカロキャラクターが揃ったグッズの展開を予定しています。これからは、公式の絵師さんが描いたグッズもアイテム化するので期待していてください。」



瀬戸優樹氏

ヤマハ株式会社 yamaha+ 推進室Y2 プロジェクト所属。ボーカロイドのブランディング、イベントプロモーション関連、国内の新規事業、アライアンスを担当する。

楽曲コンテスト、キャラクターグッズ… VOCALOID3 本格始動！

エハミックさんの鏡音イラストでお馴染みの座敷うさぎさんが描き下ろしたV3キャラクターが集合した大迫力なイラストのグッズが発売された。掲載されていないキャラクターについては、順次登場予定。アイテムは、[Tシャツ][タオル][ステーショナリー][iPhone カヴァー][ストラップ][パズル][切手シート] 等､約20点を販売数量限定で販売する。イベント会場、全国のアニメショップ、書店、百貨店、アマゾン、VOCALOID STORE などで販売中。価格：500円～3,500円。

特別参加賞として、コンテスト期間中に動画の再生数が1000回を超えた作品の作者に、もれなく非売品のV3音声ライブラリgalaco（ギャラ子）がプレゼントされます。

た、動画師さんなど、ボカロで活躍している人たちと一緒に、文化祭のようなノリで作り上げました。ちなみにV（5）3だから53時間というのは後付けで、ドワンゴさんとボカロ文化に関わる人たちをできるだけ紹介しようと企画していたら53時間になってしまいました。TVと違ってCMが存在しないので、常に放送を続ける必要があるので大変でした（笑）」

12月16日（金）にニコファーレにて行われた〝ボカファーレ!! ～第0幕～〟では、最新AR技術を使ったライブで、カメラを通して見るとボーカロイドたちがリアル空間に出現して、ダンスと歌声を披露してくれるというイベントだった。

「ボカロPさんたちが作った曲に、ユーザーが作ったMMDを使って、踊ってみたの人がダンスの振り付けをし、演出は各キャラを展開する各社が主に担当しています。ヤマハは場と技術を用意しただけで、ボカロ界に関わるユーザーが創り上げた文化を落とし込んだ実験的なイベントです。日本独自の技術なので、海外からの反響も多かったです」

そして、2011年11月15日～2012年6月30日まで開催中の〝VOCALOID3発売記念楽曲コンテスト〟は、VOCALOID3歌声ライブラリを使用して作られ

「galaxias!(柴咲コウ+DECO*27+TeddyLoid)」とのコラボレーションから生まれたVOCALOID™3歌声ライブラリ「galaco(ギャラ子)」歌声データの制作はインターネット！

「兎眠りおんは、ディアステージさん、蒼姫ラピスはi-style projectさんが企画され、ヤマハはパッケージ化のお手伝いがメインでした。ギャラ子はヤマハ株式会社が主体となって企画した、初のキャラクターです。制作はアーティストさんの歌声再現の実績が豊富なインターネットさんにお願いすることで、初の企業の枠を超えたライブラリになりました」と瀬戸さん。

た楽曲をニコニコ動画に投稿し、〝VOCALOID3発売記念楽曲コンテスト〟タグを付けてロックすることで参加できるコンテストだ。

「どこかでライブをやるにしても、自分でチラシを作ったり、友達に紹介したりとかしますよね。そういう盛り上がりがあると、ボカロ自体が広がっていくと思うんです。例えば、自分のクラスの友達に、〝こんな曲を作ったから聴いてよ〟というだけでも、新しくボーカロイドの曲を聴いてくれる人が増えていきますし、クラスの○○君をみんなで応援するとか、そういう世界が、このコンテストをきっかけに作られていけば、よりボーカロイドは広がっていくと思っています。また、ランキング上位以外にもいい曲はたくさんあるので、聴き専の方にも色々な曲を聴いてみたり、友達に紹介したりするきっかけにして頂けたらと思っています。そんな思いを込めたコンテストです。また、各社から特別賞が用意されていますが、特別参加賞として、コンテスト期間中に動画の再生数が1000回を超えた作品の作者に、もれなく非売品のV3音声ライブラリgalaco（ギャラ子）がプレゼントされます。1000再生というところは、ちょっとムーブメントを起こせれば無理ではない数字だと思うんです。頑張って作った曲を投稿して終わりというのはもったいないので、投稿したら聴いてほしいというアピールをするきっかけづくりというのが、この企画の主旨なのです」

締め切りは6月30日まで。若い世代を応援するコンテストでもあるので聴き手として楽しんでいる方々も積極的に参加していただきたい。そして期待が大きいのが、V3のキャラクターグッズの展開だ。

小さいギャラ子さんも可愛すぎます！

ギャラ子（たまご作）

デフォルメ化された、たまご氏によるキャラクターイラスト。中の人は、まだ秘密ということだが……。

「これまでも、一部のキャラクターではなく、色々なキャラクターのグッズが欲しいという声をたくさんいただいてきました。色々コレクションしたいと思っても、ボーカロイドは様々な企業様に展開して頂いているので、人気のアニメやゲームのような集合絵や、違う企業さんのキャラクター同士をシリーズ化するのが難しかったのです。そこで、V3からは、各社足並みを揃えて全キャラクターが揃ったグッズ展開を予定しています。いまはヤマハが用意したオリジナルのデザインですが、これからは、公式の絵師さんが描いたグッズやユーザーのみなさまから募集したイラストによるグッズもアイテム化していきますので、期待してください」

柴咲コウさんのアイディアから誕生した歌姫！

1stアルバム「galaxias!」

galaxias!の1stアルバムに登場したgalaco(ギャラ子)。このgalaco（ギャラ子）を再デザインすることでVOCALOIDの世界観に合ったキャラクターに進化させた。

galaxias!

柴咲コウ、DECO*27、TeddyLoidの3人が「自由な発想で新しい音楽を創造する場」として始動したユニット。2011年11月デビューアルバム「galaxias!」をリリース。

ギャラ子（KEI作）

人気イラストレーターKEI氏によるキャラクターイラスト。コンテストの特別参加賞として作られた非売品ボーカロイド。

VOCALOID™3発売記念楽曲コンテスト

期間：2011年11月15日（火）～2012年6月30日（土）
・概要：コンテスト期間中にコンテスト対象の「VOCALOID™3 ライブラリ」を使用して作られた楽曲を、指定のタグをつけて「ニコニコ動画」に投稿していただき、各賞を選考する。
・特別参加賞の内容：コンテスト期間中に、投稿動画の再生数が1,000回を超えた作品の作者にはもれなく本歌声ライブラリgalaco（ギャラ子）をプレゼントする。
・特設ページURL
http://info.nicovideo.jp/v3contest/

© i-style project
© VOCALO Revolution executive committee. All rights reserved.
© 2011 SBS Artech. All rights reserved.
© 2012 DEARSTAGE Inc. All rights reserved.
© 2012 Yamaha Corporation. All rights reserved.
© 2011 LAWSON, INC./Yamaha Corporation.
© 2011-2012 Vocaloid next All rights reserved.
© 2012 VOCALOMAKETS Powered by Bumpy Factory Corporation.
© 2005-2012 AHS Co. Ltd.
© INTERNET Co., Ltd
© Yamaha Corporation./STARDUST MUSIC,INC./INTERNET Co., Ltd.

PLUS topics

〝ほぼ日P〟メジャーデビューで判明！ PはPでもプロダクションのPって！

全国の女子高生のみなさん。ほぼ日Pさんが、またやってくれました。2012年4月25日にアルバム『よりぬきほぼ日Pさん』でメジャーデビューをしてしまいました。しかも初回限定版は〝バリバリバリ〟とマジックテープで開くCDアルバムです。そんなわけで話を聞いてもいいですよねJK。

またまた〜メジャーデビューはジョークなんですよね？ え？ 本気だったんですか？ またまた〜

ほぼ毎日のように、日々の話題やネタを歌として発表しているほぼ日Pさん、その作品の公開ペースは、まるで5人いるかのようなペースだ。ネタが新鮮なうちに美味しく料理するスピードにも驚かされる。噂によると、彼は、ひとりのプロデューサーではないらしい。ほぼ日Pさんに、そのほぼ日っぷりな秘密を女子高生に向けて聞いてみました。

ほぼ日PさんのPはプロデューサーのPじゃなくて、プロダクションということで宜しいでしょうかJK。

ほぼ日P「ほぼ日プロダクションは、創業以来、既に投稿開始から300曲を超える動画をニコニコ動画に投稿しています。メンバー5人による分業制を取っています」

なるほど、本当に5人いらしたとは驚きです。女子高生のみなさん、ここは試験に出ないのでメモの必要はございません。

日々の話題を歌にして公開している彼らは、もちろん扱いが難しい話題も、ブラック・ユーモア的な歌にして公開することがある。ブラック・ユーモア的な作品を作るときに、心掛けていることはありますか？ あ

りますよねJK。

ほぼ日P「ブラック・ユーモアというか、ブラックなものを作るときに、必ず救いがあるようにと思っています。ネタ的には、シビアな作品もあるので、タイトルや歌詞を見て怒る方もおられますが、曲の中に、二重、三重の視点を入れています。〝ひとつの物事は、見る人によって色々な見方ができるんだよ〟というのを含みつつ、必ず救われる可能性を、そういう目線もいれていますので、一般的には逃げ道とも言いますが、特定の人とか、ものとかを叩いて終わりにすることは絶対にしません」

〝世の中で起こっていることは単純じゃないんだよ〟ということです。必ず、白黒で割り切れないからこそ、世の中で起こっていることは面白くて、そして難しい。それを分かってほしい

ほぼ日Pさんの作品によく込められるメッセージなどありましたらJKに教えてください。

ほぼ日P「すごく雑な言い方をすれば、〝世の中で起こっていることは単純じゃないんだよ〟ということです。必ず、白黒で割り切れないからこそ、世の中で起こっていることは面白くて、そして難しい。それを分かってほしいというのが、メッセージです。万人に分かってもらおうと思うほど説教くさいものではなく、ちょっと「あれ？」と感じていただければと思います。音楽は聴く人との経験と重なり合うことが大事で、正しい聴き方はないと思うんです。聴く人の持っているものと、ケミストリーを起こすというか、反応するような言葉や音楽を表現していきたい。いろいろなところに角が出ていて、ひっかかりやすい音楽を作りたいと考えております……JK」

Information

よりぬきほぼ日Pさん【初回限定盤】

【収録曲：PARADE／家に帰ると妻が必ず死んだふりをしています。／行きます！　カラオケ一曲目　彼氏の財布がマジックテープ式だった　メガネが好き　Don't Trust U30／【至急！】アダルトサイトが閉じられない【助けて！】／パクりパクられて創るのさ　彼氏がオタクで彼女にバレた／恋なんか知らない（恋愛感染症#1）／津波てんでんこ／あの居酒屋でもう一度　35歳で独身で／ゾンビライフ／ビタミン不足　名前を聞いてもわからない／ボカロPっていましたよね？　18きっぷを持って／ほぼ日Pが大嫌い　月食】限定版：3,625円／通常版：2,100円

これ回してないですから違うって言えますかね？

もはや誰も〝ろくろ回し〟のこと話題にしていませんが……

ほぼ日・F・不二雄

年齢：32／性別：男／パート：ギター、作詞作曲／入社時期：2009年11月／代表曲：『ゾンビライフ』『家に帰ると妻が必ず死んだふりをしています。』

ほぼ日A

年齢：37才／性別：男／パート：全般／入社時期：2009年4月／代表曲：『彼氏の財布がマジックテープ式だった』『J-POPの歌詞における「何か」の探され率は異常』

ほぼ日JK

年齢：18／性別：女／パート：作詞作曲、打ち込み、イラスト／入社時期：2010年6月／代表曲：『アダルトサイトが閉じられない』『大丈夫だ　問題ない』

サメの死体を投棄するだけの簡単なお仕事です

ほぼ日Pさんの304曲目。代々木公園におけるサメの死体遺棄事件にインスパイアされて真相を大胆に推理してみたという作品で、「この事件は某レーベルによって仕組まれたステマに違いありません。おそらく近日中に「公園でサメが死んでるP」が華々しくデビューすることは間違いないでしょう」と、家の裏でマンボウが死んでるPさんのメジャーデビューという抜群のタイミングで公開した問題作ですJK。

IA/01 MATERIAL DVD-ROM
Disc1／For Sound Creator
サウンドクリエーターの参考になるデータ集

■IA_Trial_14days
(IA -ARIA ON THE PLANETES-体験版【14日間】)

■Sound_Stemdata
(16bit 44.1kHzのWAV形式・VSQXを収録)

収録ファイルの楽曲一覧

ファイル名：GENZITSU
曲名：現実的論理主義者
作者：ゴボウメン

ゴボウメン氏 の７作目。本人初のＩＡオリジナル曲で初の殿堂入りした作品。

ファイル名：NIHONBASHI
曲名：日本橋高架下R計画
作者：じん（自然の敵P）

じん（自然の敵Ｐ）氏の７作目。公開から22時間30分で殿堂入りを果たした作品。

ファイル名：SANTENICHIYON
曲名：サンテンイチヨン
作者：ラムネ（村人P）

スローテンポと力強い歌い方のメリハリがあるボイスデータ。ニコニコ動画未公開曲。

ファイル名：OVERSLEPT
曲名：オーヴァースレプト
作者：Neru（押入れP）

速いテンポで歌い上げるＩＡのボイスデータ。ニコニコ動画未公開曲。

ファイル名：MTSTICDEYING
曲名：Mystic Deying
作者：やまじ

チロＰ、神聖童貞Ｐとも呼ばれているやまじ氏が作った初のＩＡオリジナル曲。

ファイル名：CHANGES
曲名：Changes
作者：yuxuki waga

「そらいろくらぶ」主宰の yuxuki 氏の、ゆるやかで伸びのあるＩＡのボイスデータ。

ファイル名：BOKURANO
曲名：ぼくらの報復政策
作者：kemu

処女作で殿堂入り、２作目でミリオンを達成したの期待のボカロＰさん。

ファイル名：AIRONY
曲名：アイロニー
作者：kous

言葉が聴き取りやすいＩＡのボイスデータ。ニコニコ動画未公開曲。

ファイル名：GOODNIGHT
曲名：グナイマイラブ
作者：ライブP

歌声の調整に定評があるライブＰ氏のテクニックが見られるボイスデータ。

ファイル名：LOSTSUMMER
曲名：ロスト・サマー
作者：小林オニキス

ベテランのボカロＰと呼ぶにふさわしい小林オニキス氏のＶＳＱＸも収録。

サウンドクリエイター達のテクニックが、まるわかりのデータ集を収録

期間限定生産の『IA/01 -BIRTH-』を購入すると、２枚組のオーディオCDの他に、２枚組のDVD−ROMが付いてくる。DVDの1枚目（Disc１）には、サウンドにまつわるファイルが入っている。オーディオファイルに収録されている楽曲の中から、何名かのVSQXファイルとWAV形式の音声ファイルが収録されている。質の高いVSQXファイルのテクニックを見るのも参考になるが、WAVファイルとの違いを比べることで、新たな発見もある。それぞれのクリエイターのテクニックを見ることができる貴重なデータ集だ。

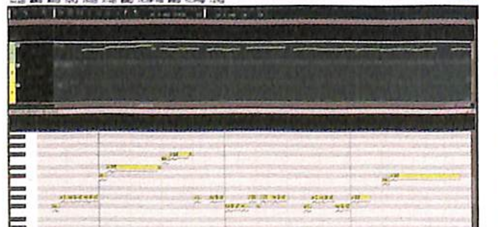
今回、このアルバムに参加したゴボウメンさんに話を聞くことができた。彼は、ＩＡで作ったオリジナル曲をニコニコ動画に公開したところ、アルバム参加へのオファーが来たのだという。

「ＩＡオリジナル曲の『現実的論理主義者』を上げてから1日でオファーが来たので、素直に驚きました。いきなりのメールでしたので、それが正式なオファーだとわかるまで、冗談だと思っていました。正式なオファーだと分ってから、参加するアーティストの情報が届いて、こんな凄い人達の中で、自分でいいのかな……と思いつつも、折角いただいた機会だったので、頑張ろうと思いました」（ゴボウメン氏）

開発チームＩＡ ＰＲＯＪＥＣＴの平嶋氏によると、ＩＡで作った曲を聴いている中で、〝このアーティストは！〟と、社内で満場一致になり、直ぐにオファーをかけたとのこと。個人の作品が世に出てくる場所には、まだまだ面白い作品がたくさんあり、ＭＩＸなど、ちょっと協力することで更に良くなる作品があるので、今後もオファーなど積極的に声をかけて、若手クリエイターを応援していきたいと語ってくれた。

１４日間使える VOCALOID3 Library [IA -ARIA ON THE PLANETES-] の体験版も同梱されている。

ゴボウメン氏、ＩＡと初音ミクを使っているボカロＰさん。ＩＡで作った『現実的論理主義者』が初の殿堂入りとなる。



インタビューに答えてくれた、ゴボウメン氏が作った『現実的論理主義者』のＶＳＱＸファイル。

あの『カゲロウデイズ』で大人気のじん（自然の敵Ｐ）氏が作った『日本橋高架下Ｒ計画』のＶＳＱＸファイル。

©1st PLACE CO.,Ltd.

PLUS topics

開発チームIA PROJECTは、若手クリエイターの育成に力を入れている。彼らが作ったコンピレーションアルバム『IA/01 -BIRTH-』に同梱された、クリエイターの支援を目的とした特典を紹介しよう！

1st PLACEの若手クリエイター支援がカタチになった！「IA／01」の前代未聞

IA/01 MATERIAL DVD-ROM

『ＩＡ／０１』-BIRTH-
価格：3,990円
収録曲数：28曲

過去に公開した人気曲のリマスター再収録や、さまざまなクリエイターがIAに向けて書き下ろした新曲を一挙収録。期間限定生産版には豪華スペシャル付録（DVD-ROM）楽曲と各楽曲の音源＆映像データまでを収録したCD2枚組＋DVD-ROM２枚組

気鋭クリエイター達の創作ノウハウが詰まったデータ集が付いてくる

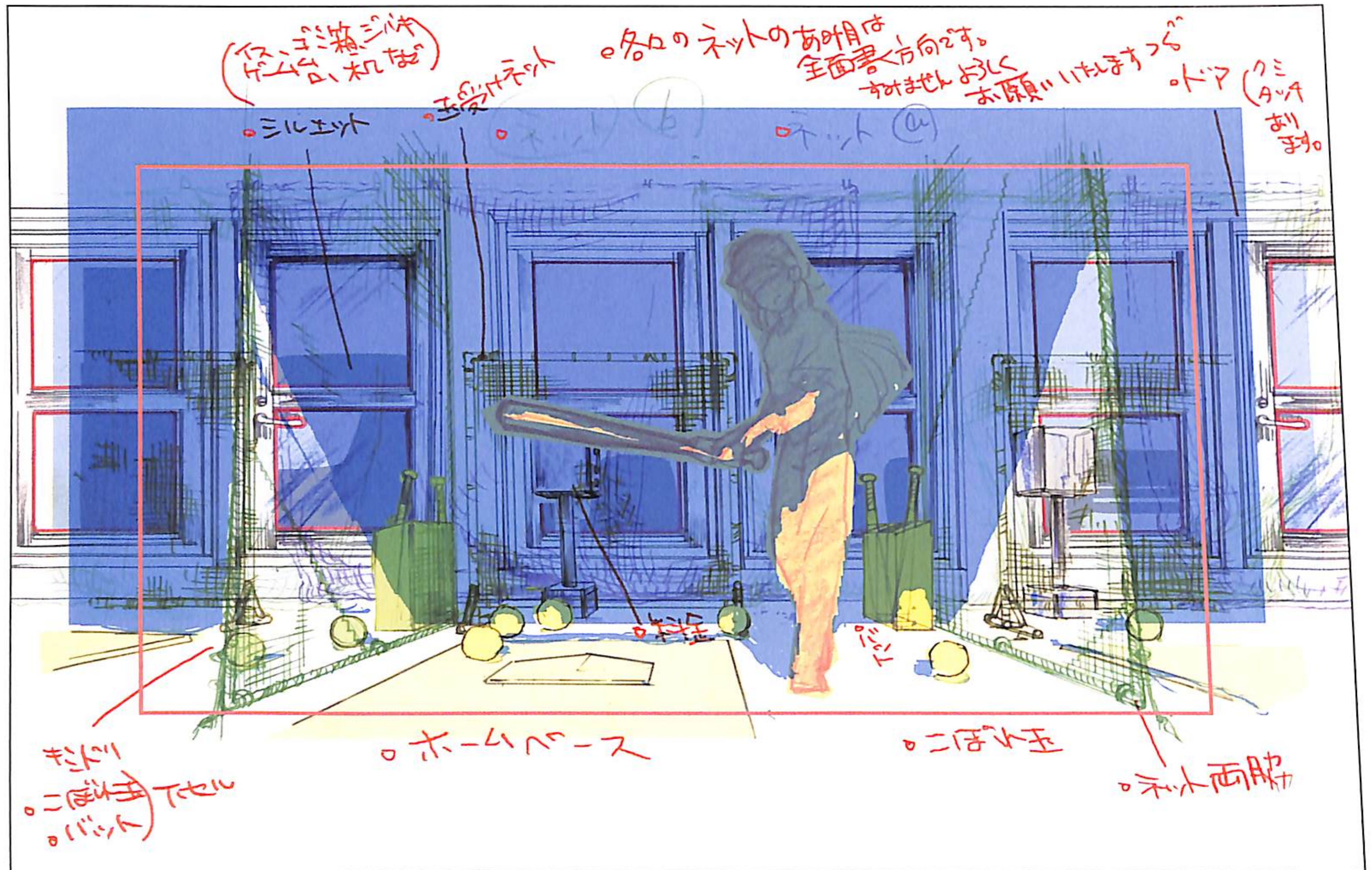
２０１２年1月27日に発売されたV3歌声ライブラリ『IA -ARIA ON THE PLANETES-』（以下、ＩＡ）には、クリエイターを支援する目的で、ＩＡで作られた歌の調整済みファイル（ＶＳＱＸ）が特典として同梱されていた。自分とは違うテクニックとふれあうことが、スキルアップに繋がったり、初心者のサポートになったりするとの理由で、サンプル曲などのＶＳＱＸファイルを同梱するメーカーも増えている。

いろいろなボーカロイドの調整を手掛ける〝ぺぺろんＰ〟さんにＩＡに同梱されていたＶＳＱＸファイルについて話を聞いてみた。

「声の震わせ方がすごいです。ビブラート機能を使わないで、手動で揺らして、音量とかも調整して人間らしくしています」（ぺぺろんＰ氏）

テクニックを惜しみなく公開することで、クリエイター全体の底上げになれば、聴き手としても嬉しい限りだ。いい歌の条件として、テクニックが全てではないと思うが、歌声の表現方法が豊富になるのはいいことだと思う。

２０１２年４月25日に発売されたCDアルバム『IA/01 -BIRTH-』にも、クリエイター支援のために、前代未聞のデータ集が、期間限定生産分に限り、ＤＶＤ特典として入っている。オマケという、位置づけのＤＶＤ特典だが、その内容の濃さに圧倒される。その特典について紹介してみよう。



シーンの設定と指示が書かれた設定コンテ、ネットの編み目を全面描くなど細かい指示出しにこだわりを感じる。ネットが本当に描かれているか動画で確かめよう。

着色の指定が書かれている設定資料も同梱されている。複数のスタッフと共同で作業するときには「昼下がり 15時弱い逆光」など伝わりやすい指示が必要になるようだ。

IA/01 MATERIAL DVD-ROM
Disc2／For Movie Creator
動画クリエイターの参考になるデータ集

映像作家〝細金卓矢〟監修によるフルアニメPVの素材、全てを収録

DVDの2枚目（Disc2）には、動画クリエイターに役立つファイルが収録されている。アニメ四畳半神話体系のEDを制作した映像作家〝細金卓矢〟氏が監修した、じん（自然の敵P）氏の楽曲『日本橋高架下R計画』のフルアニメPVを収録。同梱映像のデータや映像のイラストや原画等の素材ファイルも収録。プロの仕事を見るチャンスだ。

また、「ヘッドフォンアクター」等でお馴染みの動画クリエイター、〝しづ〟氏による同じく、じん（自然の敵P）氏の楽曲「ぼくらの報復政策」の動画とフリーソフトAviUlt用の作業データも収録されているので、動画制作の参考にすることができる。

■Music_Clip
いくつかの高画質形式で動画ファイルを収録。動画を大画面で確認できる。

動画名：日本橋高架下R計画
ファイル形式：日本橋高架下R計画_HQ.mov/ 日本橋高架下R計画 [H264].mp4/ 日本橋高架下R計画 .avi

動画名：ぼくらの報復政策
ファイル形式：ぼくらの報復政策 [H264].mp4/ ぼくらの報復政策 .avi

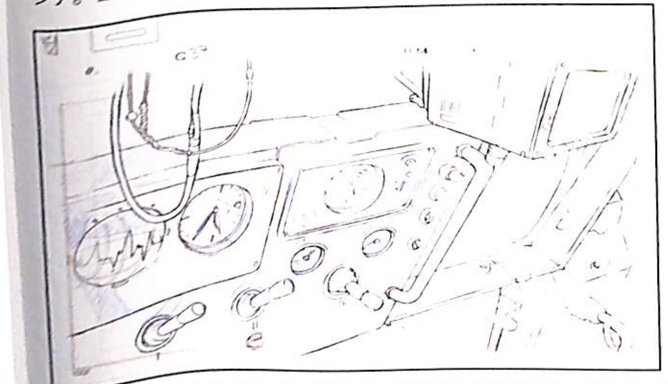
■Movie_Worksdata
動画を作るために使った全素材と、動画ソフトで読み込める作業データ

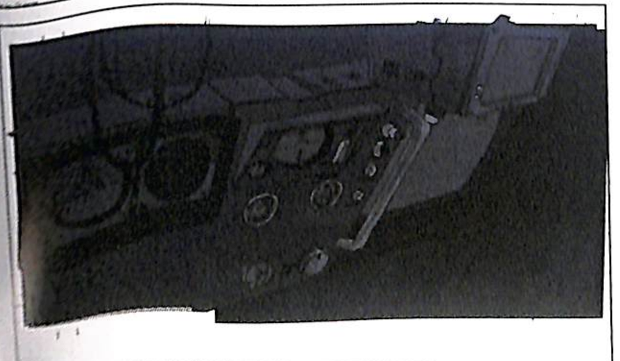
動画名：日本橋高架下R計画
映像作家“細金卓矢”氏が監修したフルアニメーションPVの資料データ：コンテ／原画／撮影／動画／設定
ファイル形式：Adobe AfterEffectsCS5.5にて使用可能な .aep 形式の作業データを同梱。

動画名：ぼくらの報復政策
フリーソフトの AviUlt で作られた作業データ。フリーソフトなので誰でも開くことが出来る。
ファイル形式：AviUlt で使用可能な .aup 形式の作業データを同梱。

映像作家"細金卓矢"氏が監修するPV「日本橋高架下R計画」の絵コンテが収録されている。自分で動画を組み立てる上で身につけたい技術だ。動画の流れを追えるので、とても参考になる資料だ。

「日本橋高架下R計画」のPVの中で出てくる宇宙船内部の設定コンテ。全シーンの設定が入っている。





実際に着色された背景データも収録されている。じっくり見ると動画では見逃してしまう小ネタも詰まっている。

PLUS topics

2012年5月、通信カラオケ「JOYSOUND」の最新鋭機種『JOYSOUND f1』が発表になった。なんと、なんと、人気の撮影機能「うたスキ動画」がさらにすごいコトになってるらしいです。

「うたスキ動画」やってますか？ かなり、ハマっちゃうらしいです。

動画を通じて、ユーザー同士でバーチャルデュエットを楽しめるサービス「コラボ動画」が、従来の2動画から最大5動画によるコラボレーションに対応！

会員数700万人を突破したJOYSOUNDのカラオケ・ソーシャルメディア「うたスキ」。そこで人気の撮影機能「うたスキ動画」をご存知でしょうか？

「うたスキ動画」はカラオケボックス等で自分が歌う姿を専用カメラで撮影して、その場で楽しんだり、ウェブ公開することもできるサービス。ユーザー同士でバーチャルデュエットを楽しめるサービス「コラボ動画」もあって、知れば知るほど楽しい世界。

通信カラオケ「JOYSOUND」の最新機種として、6月に発売される「JOYSOUND f1」（ジョイサウンド エフワン）では、この「うたスキ動画」の機能が大幅に進化。現行機種の「CROSSO」（クロッソ）では、誰かが歌った動画に誰かが被せるという2画面のコラボレーションだったのですが、「JOYSOUND f1」では最大5画面までのコラボレーションが可能に。大人数による合唱、ダンスと歌によるコラボ、楽器と歌のコラボなどなどユーザーの工夫次第でさまざまなコラボ表現が可能となっているのです。

そんな「うたスキ」の魅力をボカロ曲カラオケを愛するみなさんにお伝えするべく、ふたりのユーザーにご登場いただきましょう。

ひとりは潤さん、もうひとりは流星奏音さん。おふたりとも2012年4月7日にニコファーレで開催された「うたスキ大オフ会（「うたスキ」の開始5周年を記念して開催されたイベント）」のステージで熱唱されたカラオケ大好きな女のコ。

このおふたりにお声がけさせていただいたのは、潤さんはイベントの大トリとして銀龍さんという方とボカロ名曲『マトリョシカ』を熱唱されたということから。流星奏音さんは、実は超の付くボカロ曲好きということが判明したので、"ちょっとお話を聞かせてください" っていうことに……。

そんなおふたりがクチを揃えて言うのが、カラオケ・ソーシャルメディア「うたスキ」の居心地の良さ。コミュニティで"嫌な気持ち"になったことはほとんど記憶にないというのも、ふたりが共通して持っている「うたスキ」の印象。

「うたスキは叩かれないんです（笑）。みんなやさしいっていうか……。フレンド同志の繋がりが強いからかもしれませんね。ただ、中にはもっと厳しく評価してほしいって人もいますね（潤さん）」

職場や仲間でのカラオケでは遠慮も必要だし、空気を読んだ選曲も求められるが、自分の好きなジャンルを突き詰めたい"歌い手"は、"ひとカラ"とソーシャルで知り合った同好の士とウェブやオフ会での交流で盛り上がる。おふたりの話からそんな情熱がうかがい知れました。

現在、大学生の潤さんは多い月では10回以上、"ひとカラ"に行くとのことだ。「うたスキ動画」にも積極的で自分の歌に自分の歌をかぶせる"セルフコラボ"なんて使い方もやってらっしゃる。お店でミクさんのコスプレ衣装を借りて撮影した動画もあるそう。

「うたスキの最大の魅力は……コラボです。わたし、コラボがしたいのでプレミアム会員になったんです。最初にコラボしてもらったのはデュエット曲で、空いてるパートを歌ったんです。ハモりを入れるという発想がなくてふつうに歌ったんですが……ほかの人のコラボ動画を見たら、すごいハーモニーを作っていたりとか、踊っていたりとか、すごくアレンジを効かせていたので刺激になりました」

流星奏音さんは「うたスキ」歴もボカロ好き歴も長い。彼女がボカロを知ったのが2008年の夏、友達に勧められて初めて聞いた曲がbakerさんの『celluloid』だとか。

「ミクさんってすごいって思ったんです。自分も歌えたら素敵だなと思い、同時に歌い手を始める決意をしました。あれから4年が経ちますがこれまでに本当に多くの素敵なボカロ曲と出会いました。好きなPさんは……数え切れないです（笑）」

ゆえにカラオケで歌うのもボカロ曲が多いとのこと。

「よくカラオケで歌うのはsupercell（ryo）さん、164さん、40mPさんの曲です。最近、ニコニコ動画にPolyphonicBranchさんの『百年夜行』をアップしたので是非聴いてみてください」

大オフ会で知り合ったおふたりですが、「うたスキ」コラボの予定は？

「潤ちゃんとはリアルコラボも計画中です！ 私が一緒にカラオケ行きたいだけなんですが（笑）。潤ちゃんとのコラボはうたスキの私のページから見てください！」

うたスキ大オフ会で『マトリョシカ』を熱唱する潤さんとコラボパートナーの銀龍さん

＊潤

うたスキ動画では「神の子＊潤」の名前で約1年前から活動中。普段の顔はまじめな大学生。アニソン、ボカロ、声優さんの歌中心に歌っている。"BrillaX クールボーカリストを探せ"のオーディションで1月優勝、3月 final で JOYSOUND 賞受賞」

流星奏音

アニメソング・VOCALOIDオリジナル曲を中心に、これまでに『キャラ☆フェス』『オタソニック presents ボカロ祭』などのアニメ系ライヴイベントや、インターネット『ニコニコ動画』などで活動中。

■ニコニコ動画マイリスト：24946183

■ Twitter：@kanon0123

大オフ会のステージで『ハートキャッチプリキュア！』の ED テーマ『ハートキャッチ☆パラダイス／工藤真由』を歌った流星奏音さん。ボカロ曲も歌いたかったとか

「最後のミクの日感謝祭」その後……

2012年3月8日、9日、TOKYO DOME CITY HALLにて『ミクの日大感謝祭』が開催された。電子の歌姫、初音ミクのコンサートは、大盛況のうちに幕を閉じた。今回の『ミクの日感謝祭』には"最後"という言葉が添えられていたことに気づいている方も多いだろう。何故、"最後"なのか？ ファンとしてはその言葉が大いに気になる。"最後"のニュアンスの解明を求め、『ミクの日感謝祭』キーマンを訪ねた。

INTERVIEW

セガ CSマーケティング部 プロダクトマネージャー
内海 洋氏

主に版権タイトルのプロダクトマネージャーやプロモーションを数多く担当。『初音ミク -Project DIVA -』シリーズをはじめ、『初音ミク and Future Stars Project mirai』では、プロデューサーも兼ねている。

クリエイティブス代表取締役 プロデューサー
黒田 貴泰氏

インターネットの音楽市場全体における第一人者的なプロデューサー。VOCALOID 界隈においては supercell のメジャーデビューに始まり その後「ミクの日感謝祭」の基礎となった「ミクフェス'09（夏）」も立ち上げている。

©Crypton Future Media, Inc. www.crypton.net
©SEGA

INTERVIEW

ロスからの凱旋、もう一度、日本のファンの前で…

2012年3月9日にTOKYO DOME CITY HALLで公演された『初音ミクコンサート 最後のミクの日感謝祭』には〝最後〟という言葉がついていた。なぜ〝最後〟なのか、セガの内海洋氏とクリエイティブスの黒田貴泰氏に話を聞かせていただいた。

歌姫ミクさんに会えるコンサートとして語られるほど、ミクさんの存在を感じることができる公演が『ミクの日大感謝祭』だ。作り手とファンとが一体となって盛り上がった『最後のミクの日感謝祭』を終えて、いまの心情はどうなのだろう?

黒田「やり尽くした感はあります。やり残したこともあると言えばありますが(笑)」

内海「もう少しやりたいことはありましたが、決められた範囲内ではやり尽くしたと思います。いままでは、どうやったら全ての客席から見えるのか……など頑張っていましたが、今回は、自分たちのやりたいことをユーザーに見て貰おうという気持ちでした」

『ミクの日感謝祭』では、ミクさんがひとりのアーティストとして、ステージの上に存在している。ファンもミクさんに対して惜しみない声援を送り、会場全体がひとつになってライブを作っている。そんな熱いステージを作るためのこだわりとは何か?

内海「ライブ全体として存在感を出すための〝絶対〟ですよね。CGはセガとしては専門ですが、それが良くてもいいライブにはならないので、舞台装置、照明、演出、演者、そこに関わる全ての人が、〝ミクさんがそこにいる、きっといる〟という気持ちで行動するのが一番大切。今回はロスからの凱旋ってことで、もう一度日本でやりたかった。ファンにミクさんがステージに立っている姿を見せたかった。ステージに立つためには、できるだけ余計な情報を排除しなければならないんです。照明が透けたりとか、後ろのオブジェクトが映らないようにするとか、でも、それを殺しすぎると今度は実在感が出なくなる。表情や口の動きなども努力しました。ミクさんを存在させるために全員が同じベクトルで動き出さないといいステージにはならないんです」

黒田「音声ファイルは、ほとんど調整してないのですが、ボーカルファイルを貰って、声質に統一感を持たせるような調整はしていますが、それぞれ人によって声色が違うので、ライブだと違和感になるんです。目の前に立っているのはひとりですが、曲によって声がちがうと違和感になると思ったので、一昨年の感謝祭から統一感を持たせる調整はしています。EQ(イコライザ)調整も会場で声が抜けるようにサウンドチームが突き詰めています。ライブ会場だと声が演奏に負けそうな部分もあったりするので、そこを旨い具合にまとめています」

『最後のミクの日感謝祭』と題名が付いているが、何度も観たくなるような素晴らしいコンサートであり、この〝最後〟という言葉が気になってしまう。『ミクの日感謝祭』は、本当に今回で〝最後〟なのだろうか?

内海「ロスの凱旋を国内で公演したいという気持ちがあり、いままで支えてくださったファンの方々にも観て貰いたいという気持ちが強かったので、39の日に合わせて今回のコンサートが実現しました。ただ、同じやり方が何度も続くとつまらないですよね? そこで、今までのスタイルは一旦ピリオドにさせていただき、〝最後の〟という言葉を付けさせていただきました。新しい投影方法についても黒田さんと模索していたんですが、いまのディラッドボードを使ったシステムが確実でした。もしもこの次に、ライブをやるのなら、新しい投影方法で行なわないと皆が驚かないと思うんですよね。あとは……このやり方にも、ちょっと飽きましたね(笑)」

黒田「飽きましたね(笑)。繰り返し行う中で、ここからは惰性になるんじゃないかという気がしていて、音楽に関して言えば、バンドが勝手にやってくれるところまできていて、あまり口を出す必要がないんです。これ以上良くする箇所を探す方が難しい、あるにはあるんですが、それを解決するには大きな予算が必要なところまできています。音に関しても、コーラスを足したり、フルオーケストラにしたり増やすしかないと思っています。そうするとステージサイズにも影響しますし、現状だけでも13人、ミクさん入れて14人の大所帯ですからね」

内海「生声のコーラスもやってみたいという話はありましたが見送りました。音的な部分だと今回は、ストリングスのレベルがすごく上がったと思います。打ち込みの音をストリングスが再現しているという演奏は見応えがありました」

黒田「後半に行くと2時間弾きっぱなしなので、弦が使えなくなってくるんですよ。音を厚くするってことはできるんですけど、やるべきことは、そういう事ではないと思っています。驚かせたいという軸から考えると、一回目に行なったミクフェスの驚きが一番だと思っていて、そもそも大きなディスプレイでミクさんが踊っているだけでも面白いと思って集まってくれたファン達が、ディラットボードの方式で、いきなりミクさんが目の前のステージに存在したんですから、その驚きはすごかったと思うんです。ロスでも新しいSetリストとストリングスも入り、更にブラッシュアップされました。どこからでもミクさんが綺麗に見え

「最後のミクの日感謝祭」の“最後”の意味。

るようになったとか、バンドメンバーも13人に増え、楽曲のクオリティーも上げることができ、これ以上驚かせるとしたら、現時点では何をやったらいいのか思い浮かばないところまで来てしまいました」

内海「常にサプライズがないと面白くないと思っていて、今回は小さいところの積み重ねですけど、現時点でできることを全てやり尽くしてしまった。ミクさんのライブはいろいろな形で今後も続くのだろうと思いますが、『ミクの日感謝祭』という名前で定例化するイベントではないと、僕も黒田さんも意見が一致しているんです。“初音ミクは、きっと予定調和じゃないよね”ということなんだと思います」

黒田「予定調和なイベントではなく、初音ミクを知らない人が観に来ても、どうやったら楽しめるか、どうやったらすごいと驚かせることができるのかが軸にあるんです」

内海「やればやるほど増えるのは批判ですので、次やる機会があれば非の打ち所がないぐらいのサプライズをお見せしたいですね。どうやるかは、これからですが」

黒田「投影方法などの技術的な問題は、時間が解決すると思っています」

内海「ボーカロイドのファンも多様化していますので、万人が満足できるライブを企画するのは難しいと思っています。もしかすると、ミクさんだけのライブでは満足できない方もおられるかもしれませんが、あくまで“初音ミクのコンサート”というコンセプトなのです。ゆえに、他のキャラクターの出番を多く、というリクエストが出ないほど、ミクさんひとりで満足させるライブをやらなければいけないと思っています。もちろんゲストを出すとか出さないとかの話ではなく」

つまり、ひとつの公演を通して初音ミクのコンサートとして完成させなければ、次の公演はできないということなのだ。

内海「キャラクターにこだわっていくのではなく、ミクさんの存在感や躍動感、ライブ感などはもちろんですが、リアルタイム性についても試してみたいです。コール・アンド・レスポンスとか、ライブっぽい歌い方ができないかとか、そういう課題を解決できるようになれば、きっとこれまで以上に素晴らしいバーチャルアイドルのコンサートにできると思います」

“最後”という言葉に込められた建設的な意志に“初音ミクのコンサート”への強いこだわりがヒシヒシと伝わってくる。そして、『ミクの日感謝祭』が復活するであろう……と、期待が高まる。そんなこだわり集団であるセガは、僕たちに今後どんな体験を用意してくれるだろうか。

内海「ミクさんは、セガとしては先端技術の象徴というイメージが強いので、新しいハードウェアが出たり、アーケード基板が進化したりす

ます。いままで僕らがやったことがない“技術を萌えに使う”ということです(笑)。技術が進化するとゲームシステムや描画に走りがちですが、そこではない方向に最高の技術を使っていきたい。“常に電子の歌姫に最高の技術を！”という大崎(セガ)のキメ言葉があるんですけどね」

黒田「音としては、フルオーケストラをやってみたいですね。初音ミク・シンフォニックオーケストラとか。でも、やる意味は、そんなに無いような気がしています。いまより小さくするか、大きくするかのどちらかだと思っていますが、それは本質ではない。やれたら面白いと思いますが、音楽的にすることは他にあると。ゆえに、伸びしろもあると考えています」

内海「初音ミクはファンにとっても大事な存在ですし、常に新しいものと求めています。新しいことをやるとしたら、まったく新しい何かである必要があると思うんです。いろいろなアプローチがあると思いますが、ボーカロイドに関わる上で知り合ったクリエイターさんたちと何か面白いことをする、これが僕らの次のフェーズではないかと。ライブではないかもしれないし、どんな形になるか分かりませんが、初音ミクを介して知り合った人たちと面白いエンターテインメントが作れればいいと漠然と考えているところです」

もっと知りたい！

カゲロウプロジェクト

「メカクシティデイズ」
待望の1st アルバム、ジャケットにも買った人だけに分かる秘密が！【収録曲：ロスタイムプロローグ（Instrumental）／人造エネミー／メカクシコード／カゲロウデイズ／ヘッドフォンアクター／空想フォレスト／透明アンサー／エネの電脳紀行／コノハの世界事情／如月アテンション／シニガミレコード／デッドアンドシーク／カイエンパンザマスト（Instrumental)】音楽 CD1 枚 (13 曲収録予定）／ DVD-VIDEO（オリジナル PV5 曲収録予定）楽曲解説集やバンドスコア等が掲載されたスペシャル・ブックレット。￥3,150

アルバム

ボカロ界に、また大きな新人が誕生した。じん（自然の敵P）さんだ！
関連動画再生数1,000万越えの超大型新人ボカロPなのだ。
その才能は、深い世界観を持った楽曲と歌詞の完成度の高さが証明している。
彼が作り出したボカロ曲は、いくつかの作品が世界を共有している。
大ヒット作「カゲロウデイズ」について、もっと知りたい！　もっと詳しく聞きたい！
そこで、じん（自然の敵P）さんに『カゲロウプロジェクト』について教えて貰った。

©1st PLACE CO.,Ltd

コミック

6/15 発売の月刊コミックジーンにてコミック連載開始！
1話、もしくは数話完結で掲載予定。原作：じん（自然の敵P)、キャラクター原案：しづ、漫画：佐藤まひろ。￥490。メディアファクトリー

小説

カゲロウデイズ -in a daze-
じん（自然の敵P）本人による書き下ろし小説、全ての関連楽曲を繋ぐ物語が初めて明かされる。2巻の発売も決定している。じんさんからのおすすめポイントは「作者コメント」です。
作者：じん（自然の敵P）／イラスト：しづ／発行：エンターブレイン／レーベル：KCG 文庫／￥662

しづさんが描き下ろした小説の口絵用カラーイラスト、カゲロウデイズシリーズの動画で見たことがあるキャラクターが描かれている。小説への期待が高まるイラストだ。

ボカロ plus のために、イラストレーターのしづさんと、わんにゃんぷーさんが描き下ろしてくれたイラスト。メカクシ団と共に、この路地を抜けて「カゲロウデイズ」の世界へ飛び込もう！

イラスト　しづ＆わんにゃんぷー

じん（自然の敵P）「メカクシ団」

まず、じん（自然の敵P）さんについてもっと知りたい！

じん（自然の敵P）さんは、僅か5作で関連動画が1000万再生を超えている。
だが、彼は2011年からボーカロイドを始めた若いアーティストだった。
ボカロPとして活動を始めたきっかけについて、じん（自然の敵P）さんに聞いてみた。

ボカロとの出会いが、新たな音楽活動の場を広げ、才能を活かす道を開いた。

いまや有名Pのじん（自然の敵P）さんも、少し前までは、ニコ動にも、初音ミクにも、詳しくなかったのだという。ランキングやマイリストという機能も知らなかった彼を、ボカロ曲を作って公開するまで支えたのは、友人のお兄さんだった。

「友人のお兄さんで、かもしか（ニートピアP）さんという方がいまして、その方が投稿している楽曲を聴いて〝初音ミク〟を知りました。はじめは〝初音ミク〟というアニメがあるのだと思っていたのですが、ソフトウェアだと教えていただいて……。ニコ動に投稿する方法も分からなくて、処女作の投稿は、かもしかさんに代理投稿してもらったんです」

じんさんをボカロPへと導いてくれたかもしかさんには、カゲロウデイズファンとして大感謝だ。そして、

はじめて楽曲を公開した彼は、ライブとは違う感動を受けた。

「『人造エネミー』が6000再生になりまして、〝6000人に聴いてもらえたんだ！〟と感動しました。いままでライブでは100人呼べたら大成功だったのに、こんな短い期間に、たくさんの方に聴いてもらえてとても嬉しかったです」

そして、彼にもP名が付くのだが、彼はP名のルールを知らなかった。そこで、かもしかさんの登場だ。

「かもしかさんに、〝僕は何Pと名乗ったらいいのでしょうか？〟と聞いたんですけど、〝それは人からいただく文化だよ〟と聞きまして〝タグにP名が付くので、タグロックするんだよ〟と教えていただきました。でも、大切な部分を聞き逃していて。〝選んでタグロックする〟という部分なんですけど、P名が出た瞬間にタグロックをしたので〝自然の敵P〟という名前になりました。P名が決まったときは、もう嬉しくて友達に言いまくりました。〝自然の敵P〟っていう名前になったよって！」

その後、彼は自分のP名を付けてくれた方を発見して、御礼を言うことができた。

「少し経ってから『自然の敵P』と名付けてくれた方を見つけました。僕のツイッターのフォロワーさんだったんです。『自然の敵P』で、よかったのかな〟という発言を見つけたので〝あなただったんですか！ありがとうございます〟という出会い方をしました。その方には感謝しています」

> **「少し経ってから『自然の敵P』と名付けてくれた方を見つけまして、〝あなただったんですか！ ありがとうございます〟という出会い方をしました。その方には感謝しています」**

ボカロPとして音楽活動をスタートさせた彼は、2012年4月28日に、一度離れたライブ活動を『メカクシ団』として再開させた。全員がフードをかぶった6人編成のバンドだ。彼がギターソロを弾いた『カゲロウデイズ』では、まるでギターヒーローのような熱くて格好いい演奏だった。

PROFILE

1990年10月20日生まれ、北海道出身。2011年よりニコニコ動画で動画投稿を始め、3作目の『カゲロウデイズ』で150万再生のヒットを記録。楽曲に盛り込む世界観・ストーリー感とその作曲センスで絶大な支持を得ている。2012年5月30日に1stアルバム「メカクシティデイズ」を発売。また同日にKCG文庫より本人執筆による小説「カゲロウデイズ -in a daze-」をリリースするなど、マルチクリエイターとして活動中。http://ia-project.net/

カゲロウプロジェクト全公開曲

〝じん（自然の敵P）〟さんに詳しく聞いちゃいました

2011年に『カゲロウプロジェクト』の世界観をひっさげて現れたボカロPのじん（自然の敵P）さん。2011年2月17日に『人造エネミー』で、少しだけ世界を開いた彼は、3作目の『カゲロウデイズ』で、多くの若者達を世界に引き込んだ。若者達を魅了した『カゲロウプロジェクト』の世界を詳しく知るために、全てを知っている創造者に話を聞いた。複雑に絡み合った世界の中を、共に進んで行こう！

第1話 人造エネミー「目を背ける話」

「エネミー＝手に負えなくなったもの」

一番はじめに作られた作品だが、まだ語れない部分もある処女作。

ソフトウェアの主観、主観からのメッセージがテーマで、それに対応している相手、二人称は人間という立ち位置の曲です。それが小説の第1話として、ソフトウェアの女の子と、主人公である引き籠もっている男の子が書かれています。

「人造エネミー」は、人が造ったものの中で、扱いが難しいもの。例えばパソコンのソフトウェアの難しさは、人が造ったけど手に負えないというイメージがありますよね。それを表現したくて、人が造ったものが、自我を持ってしまうようなニュアンスでタイトルを決めました。

〝目を背ける話〟という言葉は、主人公が引き籠もっているから目を背けるとか、現実から目を背けているという意味で単語を使っていて、視点により意味が分かれる言葉なので、今は、〝現実から目を背けている〟[illegible]

第2話 メカクシコード「目を隠す話」

「メカクシ＝顔を隠す」

メカクシ団を定義したこと、〝目〟というテーマでいこうと決意した作品。

『メカクシコード』は、表現が難しいと思ってました。ギターを使って、ロックな、ソリッドなサウンドで、ちょっとクールな感じをやりたいという。前作が引き籠もりというテーマでジメッとしてましたので、2作目ではカラッとした引き籠もりの曲をやろうって思いました。

1作目で表現したのが、〝部屋の中での主観〟という狭い表現だったので、2作目で街の規模まで世界観を広げたかった。世界で乱立しているキャラクターたちの各主観が、今後も出てくると思わせるために。例えば、〝街にいるひとりの少年の話〟とかだと、普通の街にいる、ひとりだと思われてしまう。〝団〟というものを定義して、連作であることの、大きな入れ物を作りたかったのと、正直な話、〝団〟って熱いかなっていうのが最初にあって。〝なんとか団〟という言葉があったら、他に、どんな人がいるんだろうと考えてもらえると思ったからですね。

〝目を隠す話〟についてですが、第2話で、〝目〟というテーマを定義づけました。目に関連した連作を、自分の中で進めるか迷っていた部分がありましたが、メカクシコードの段階で、〝これはいける〟という気持ちが強くなったからです。

1作目を公開してから、意識が高くなりまして、もう本気で長い物語を作りたいと考えたときに、〝目〟というテーマに決めました。

〝目を隠す〟という、その言葉にも、いろいろな意味を込めています。〝目を隠す〟という副題なんですけど、イメージとしては、〝人に顔を見られたくない〟というものです。顔を隠したくなるとか、恥ずかしいとかって、バカにされたりする面があると思うんですよ。恥ずかしがり屋だなとか、オドオドしているな……とかで。でも、そうじゃないという。人に見られないように顔を隠して、その表情を読まれないようにしているだけだという、〝実は俺たちは、すごいことを考えているんだ〟というようなクールな一面と、匿名性をわざと出すことで、〝面白いことしてやろうぜ〟という、何かをやる団体だという、そんなイメージを持ってもらいたくて。それが一番アイコンになるイメージ設定かなと思っています。

CHECK!!

メカクシ団作戦本部

誰でもメカクシ団に入れる！
君も今日からメカクシ団だ！

じん（自然の敵P）さんが作ったメカクシ団の作戦本部の活動は、雑談を生放送するのが目的。「完全に悪ふざけで作ったコミュニティーで、名前だけが“メカクシ団作戦本部”となっていますが、“新しい曲をUPしました”という生放送と、仲のいいボカロPさんと、一緒にお話するといった感じのコミュニティーです」

CO1186858

フードをかぶったメカクシ団。そのフードが隠すモノは“目”だけなのだろうか？“団”である意味合いは、じん（自然の敵P）さんの今後の創作で生きてくる。フードは付いてなかったが、このデザインのTシャツは、超会議のイベントブースで発売していた。

第3話 カゲロウデイズ「目も眩む話」

「デイズ＝DAZE」

3作目は"問題提起"と決めていた。この作品で何かが起こっている。

「カゲロウデイズ」の曲調をどうしてもやりたかったんですけど、音を外していたりとか、結構気持ち悪い音を使っていて、変な話ですが、人気が出ないだろうと思ってました。ただ、この話でやってることは重要なパートだったので、後で、"昔、この人こういう曲をUPしてたんだ"みたいな感じで観ていただけたらいいと思いながら作りました。

カゲロウという言葉については、各々解釈をしてくださる方もいるので言及はしませんが、デイズに関しては、公表している部分があって、日々の複数形という、何日も繰り返してしまうという意味でのデイズと、"イン・ア・デイズ"という言葉を意味しています。スペルはDAZEです。この表現にすると、目が眩むっていう意味になるので、"繰り返す日々"と、その夏の日差しのせいで、"目が眩む"というような掛け合いになると考えています。これは小説の副題になってまして、"イン・ア・デイズ"というのは、目も眩むっていう表現で使っています。

曲の歌詞とメロディーと、その世界構成のイメージづけだけで、どこまで四分間で話が伝わるだろうかと考えて作った作品。Aメロ Bメロ サビという流れの中で、またAメロをやるという構成で、オチ部分にしたとか

『カゲロウデイズ』は、じん（自然の敵P）さんの初カラオケ配信曲だ。配信開始日には、重要な打ち合わせがあり行くことが出来なかったとのこと。フォロワーさんが写真つきで、のツイッターに報告を送ったため "ほんとにカラオケ化してるんだ！" という実感がわいたという。

第4話 ヘッドフォンアクター「目を疑う話」

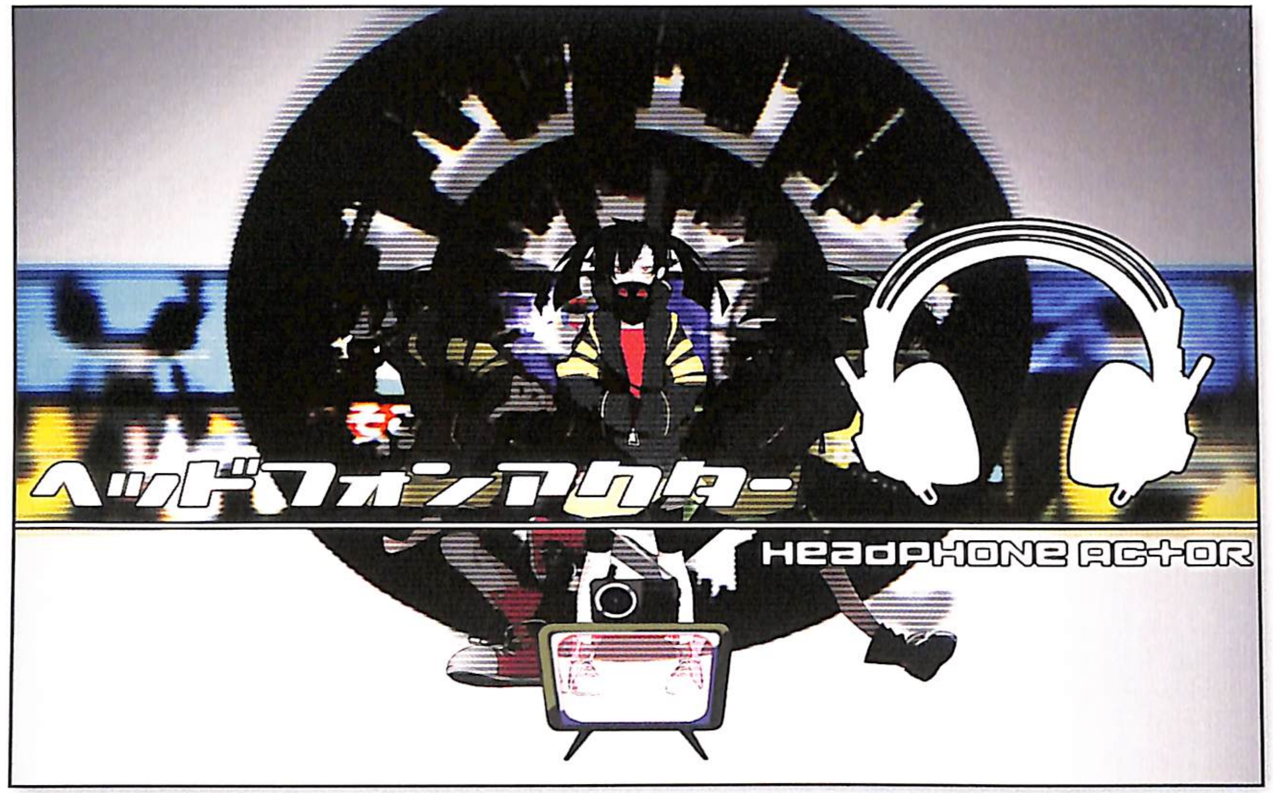
"本日地球は終わります"耳をふさぐために付けたヘッドフォンから声が。

『ヘッドフォンアクター』は、語感をすごく重要視してます。この物語は、"今日世界が終わってしまう"という、大きな世界の枠組みで、耳をふさぐためにヘッドフォンをしたら、そこから声が聞こえてという話です。その声が、助かる方法を教えてくれる。それに従って逃げる話ですが、ヘッドフォンは、曲の象徴にもなっていて、いいワードだと思っています。アクターというのは、モーションアクターであったり、演者という意味の使われ方をするんですけど、このアクターというのが、何を表しているのかというのを考えてもらいたいです。

この話でやりたかったのは、連作であるっていう表明をしたくて、投稿文のところに、1作目の『人造エネミー』のリンクを載せさせていただいたんですけど、そういうアプローチを僕のほうでやってみようと思いました。この曲を聴いて、そのあとこの曲を聴いたら、"あれ？もしかしたらなんか共通点があるかもしれない"という感じで、ちょっと考えていただきたいかなと。楽曲の世界観にも、連結色が強くなる接着剤みたいな要素を、あの曲の中に散りばめていて、今は、6作で全部なんですけども、前半の1、2、3作目と、後半の4、5、6作目というものの連結性を出してみようかなと思いました。表現的なアプローチとしては、そういうことをやりたかったですね。

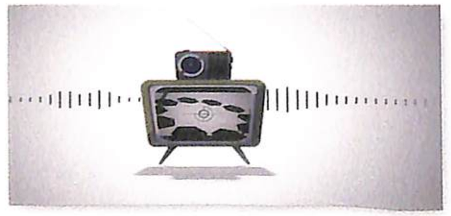
現状の素材だけで、そういう答えを導き出している方とかが、いらっしゃって、自分が客観的に聴いたら分からないだろうなとか思いながら、作ってはいたんですけど。ドキッとさせられるようなコメントとかもあって、僕自身もそういう意見を見ててすごい楽しいですね。

"目を疑う"は、オチとしての表現と、街が崩壊していく様を示しています。



じん（自然の敵P）さんが担当したIAのデモ曲。彼に話が来たときに、IAの声はすごくロングトーンがぴったりで、きれいな声だという印象があったという。「多分皆さんロングトーンでくるんじゃないかなって、逆に、どうしてもロックをやりたかったんです」

ヘッドフォンが、この作品を代表するアイコンになっている。流れてきたものは、不明なアーティスト項目のタイトル不明のナンバー。



"非常に残念なことですが、本日地球は終わります"と、大統領が泣きながら告げるラジオ、下のモニターには波形が表示されていた。

……の中で、ヘッドフォンの向こうから"ごめんね"と声がした。
……うフレーズが印象深い最後のシーンで流れる６枚のカット。
……して聞き飽きた声の主とは……。

じん（自然の敵P）さんのお気に入りのシーンは「１番のサビが終わって、ギターだけになるところから、ドラムがタンっていって入ってくるところがあるんですけど、そこで六角形の図形がドンって、最高に、いい感じの勢いで、飛び出してくるところがあって、そこがすごくかっこよくて、この曲の中で一番好きなところです」

「アクター＝？？？」

ヘッドフォンの指示で助かるために走り出す主人公。"20秒後先へ"の部分は、実際に曲の時間ともリンクしている。

……の世界は、例えば入れ物……な世界だったんだと言……ときの主人公のリアク……も、"目を疑う"のワー……味するひとつ。

"アクター"の言葉の意味については、何をあらわしているのか？ということを、それぞれで考えてもらいたい。

Illust&Movie/しづ

２作目からイラストを担当しているしづさん。『カゲロウデイズ』では動画も担当。「白黒の一枚の絵でいいので」と『カゲロウデイズ』のイラストを依頼したところ「どんな曲ですか？」と言われて曲を送り「ちゃんと動画作るんで作らせて」という流れになった。後に、しづさんがオチに気がつき「意味に気づいたんですけど、すごい感動しました」と言ったとか。

第5話 想像フォレスト「目を合わせる話」

神話では恐ろしいモンスターが、目を合わせられない優しいメデューサに。

タイトルを考えたとき、想像フォレストっていう、まず全体で見たときのダサさっていうのがあり漢字の〝想像〟とカタカナの〝フォレスト〟の組み合わせのすごくダサいところが個人的に気に入っています。でも、イメージ的にはフォレストは、明らかに曲のシチュエーションとしては〝森〟なんですけど、僕的には、フォア・レストという意味での感じをカタカナで表現してフォレストと言わせている表現でして、〝安心するための〟などの意味があります。例えば、レストって言えば休息とかっていう意味で、フォアが、為のっていう意味ですから、〝休息するための想像〟であったりとか。レストっていうのも結構色んな意味があって、英語のRESTという。だから○○するための想像という意味で、個人的には精神的な部分で進めているんですけど、フォレストっていうシチュエーションの〝森〟にもなっていて、いいと思っています。

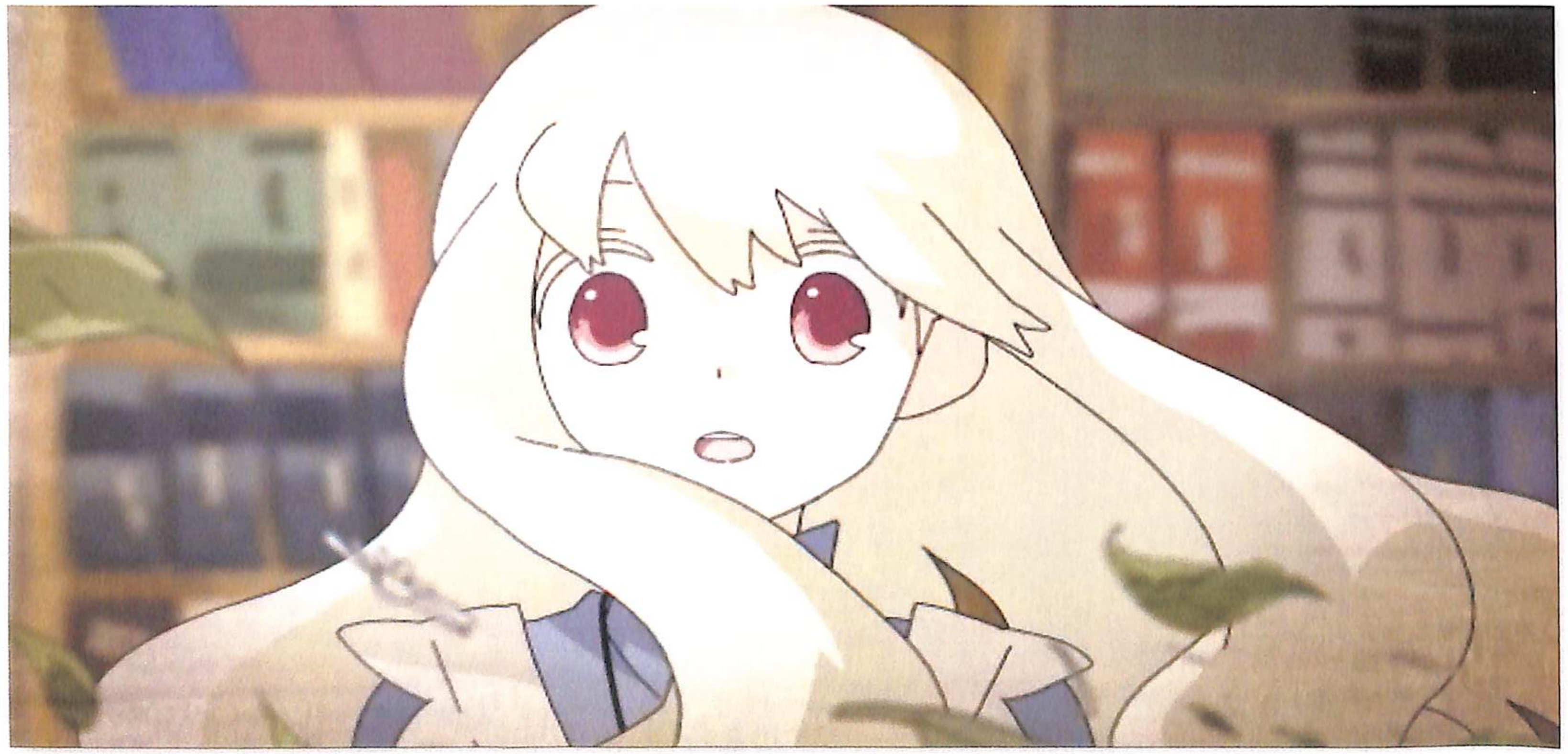
メカクシ団という存在の定義に対して、メンバーについても語りたくて、人と目を合わせて石に変える怖い能力を持ってるゆえに、人と目を合わせることが出来ない、優しいメデューサを作りたくて。〝人と目を合わせられない、臆病なメデューサ〟というテーマにしました。

(『妄想フォレスト』や『空想フォレスト』はアレンジ、詞などが違う)

「フォレスト＝for REST」

Illust&Movie/わんにゃんぷー

メデューサは、まるみがあるかわいいキャラクターで表現したくて、そんな中『カゲロウデイズ』のPVで【手描き】カゲロウデイズ【自己解釈PV】というフルアニメのPVが公開されていて、それがすごくかわいい絵だと思ってまして、ダメ元で、わんにゃんぷーさんに、「PVを作っていただきたくて」と連絡したら驚かれて、「いやーいいんですか？」と引き受けていただきました。



人と目を合わせられないで怯えてしまうという、内向的な思考です。そんな思考との対比というのを入れました。メカクシ団のメデューサ。とりあえず、かわいい女の子を入れたいという強い要求の元に作成しました。

第6話　コノハの世界事情「目を醒ます話」

シリーズ　6作目の作品。この作品の制作過程は思い出すのも辛い（笑）と語るじん（自然の敵P）さん、その努力が見る人を納得させるクオリティーの作品に仕上がった。ひとつの動画として、または絵、詞、曲のそれぞれをじっくり堪能しよう。

全てを繋ぐために、詞が、絵が、音が、リンクさせる"イシ"となっている。

『人造エネミー』、『メカクシコード』、という過去作品の次に対応するのが『カゲロウデイズ』だったんですけど、それに対応する楽曲を元々イメージしていて、例えば、『ヘッドフォンアクター』、『想像フォレスト』は、"ここと ここがリンクしてる"という思わせが主軸で、また、仲間を紹介したいという目的もありました。『コノハの世界事情』に関しては、完全にフローチャートがあって、ここの穴を埋めるために、ここのフレースがあるとか。イメージ的に表現してるから、サウンド的には、こういう感じにしたい、ここの歌詞表現はこれだから、ここでは『ヘッドフォンアクター』を実は匂わせておいて、この『カゲロウデイズ』のフレーズがあってとか、事細かにやりました。今回の作品は、動画をしづさんと、わんにゃんぷーさんのふたりに依頼させていただいて、しづさんにはPV監督メインに、絵コンテ等を描いていただいたりして、わんにゃんぷーさんの方では、アニメーション部分の制作であったりとか、配色だったりとか、背景制作であったりとかという、その分業とかもしていただいて、3人で作るのは初めてだったんですよね。次の曲はこういうのをやりたいですって、この曲で、どうしようかっていう相談から始まって、自分たちがやりたい事を話し合って、それをどう表現するかを決めて、どうやったら更に面白くなるかを、3人で相談して作った作品です。

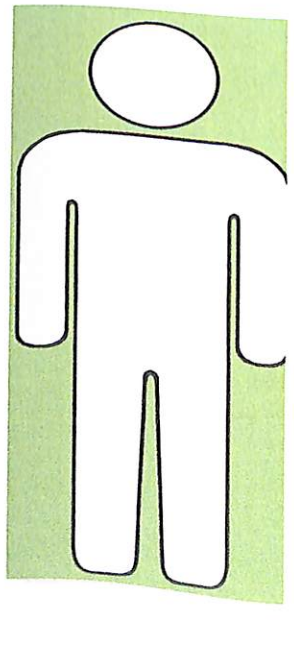
コノハとは、この作品の主人公の名前だ。彼が担っている役割は何なのか？

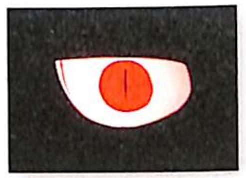
繋がりと呼び戻し

　最後で赤い目の描写があるんですが、元々赤い目というものが、いろいろとワードとして出てくるんです。『カゲロウデイズ』という世界の中で、"何が起こってるんだろう"というのを、皆さん考えて下さって。この中で"単純な悲劇"という様な描写を出したんですけど、"結局どうなっていくんだろう"とも、考えて下さったと思うんです。

　『コノハの世界事情』は、"これはなんだろう？"、"ここで何が起こってるんだろう"ではなくて、"誰が起こしたもので、一体どこで起きているもの"、という、他のキャラクター達の視点と、『カゲロウデイズ』という作品のワンパートとして見たときに、世界観の表現がきちんとなされているのかを一番大事にしました。『カゲロウデイズ』の続編というよりかは、『カゲロウデイズ』という短編があって、それは一体どこにつながっているもので、誰が何をしたものなのか。これをやるのが、一番やりたかったんじゃないかって感じです。複雑ですね（笑）

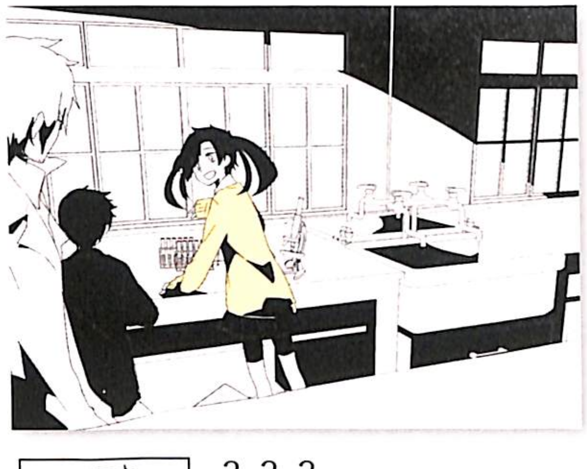
意味と夢と命を集めて作られてしまった身体は、終わった命を蒸し返す機械らしい。





秒速で流れる"繋がり"たち…

『コノハの世界事情』は、3分間という短い時間に、複雑なたくさんの人、世界、物語が存在し、補完されている。動画では秒速で流れてしまう世界を、ここにピックアップしてみた。いまは謎のままであっても、これから発売されるCD、小説、コミック、そして新しく公開される作品が、このページの謎も解いていくだろう。



？？？

『ヘッドフォンアクター』の少女。果たして『人造エネミー』に登場したエネとの関係は？　見切れている男性は誰なのか？

？？？

赤いマフラーを巻いている少女。窓際の席に座って、校庭を眺める先で、瞳に映っているモノは何なのか。

ヒビヤ＆ヒヨリ

仲良くふたりで寝ているヒビヤとヒヨリのシーン。このまま仲良く暮らせることを願ってしまう寝顔だ。

シンタロウ

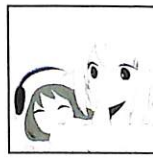
葬式に出席しているシンタロウ。動画では握りしめるこぶしが印象的だった。

メデューサ

鮮血が飛び散るメデューサのシーン。果たして『想像フォレスト』に登場したマリーと何か関係があるのか？

キド

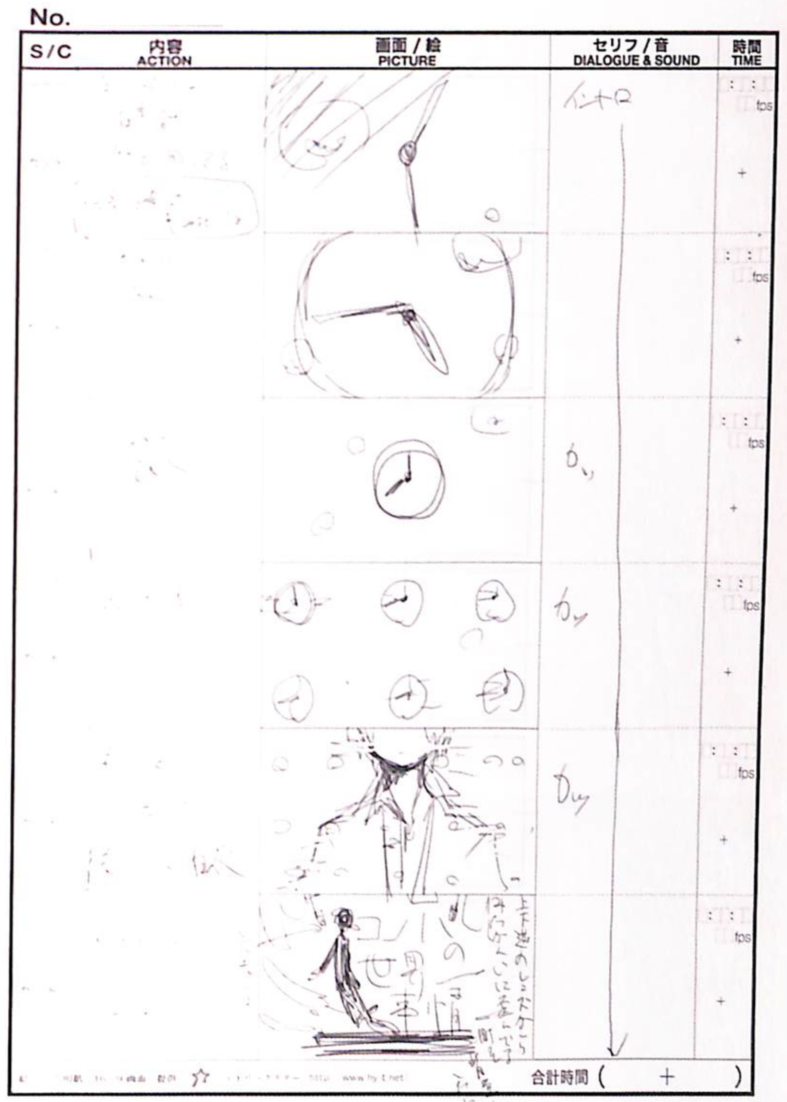
幼い頃のかわいいキド。メカクシ団は今後も大きな役割を担う。この黄色い髪の少女は？



モモ

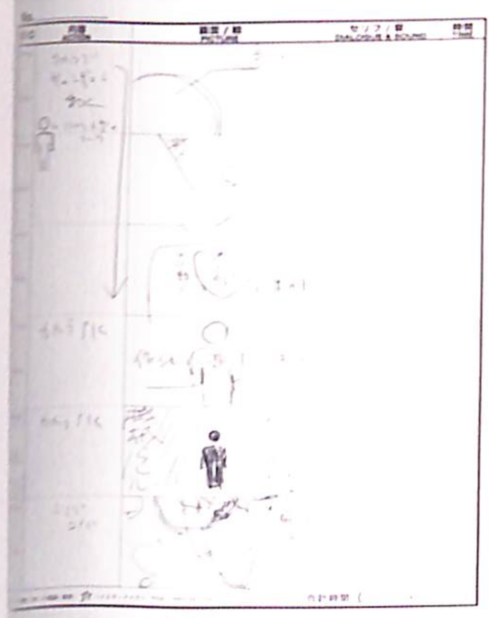
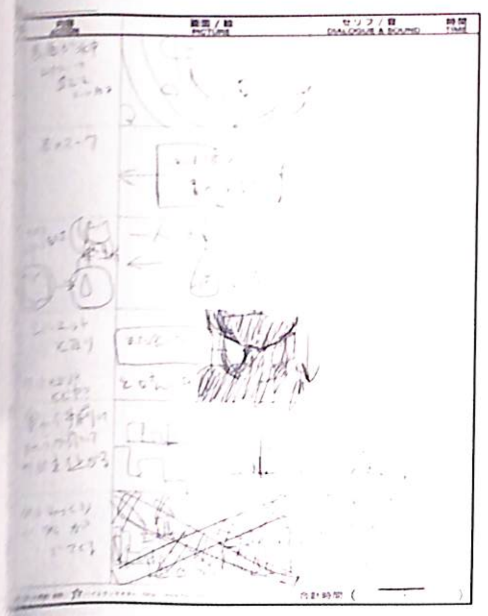
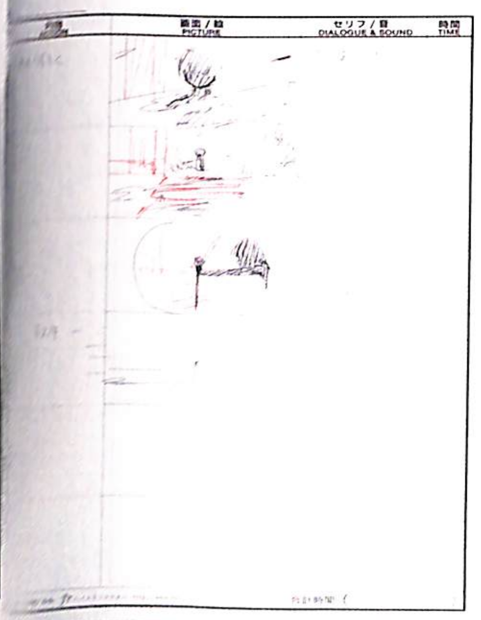
水中に沈んでいく黄色い髪の少女。彼女はこの後どうなるのだろうか？

集大成作品ゆえに綿密なコンテを…

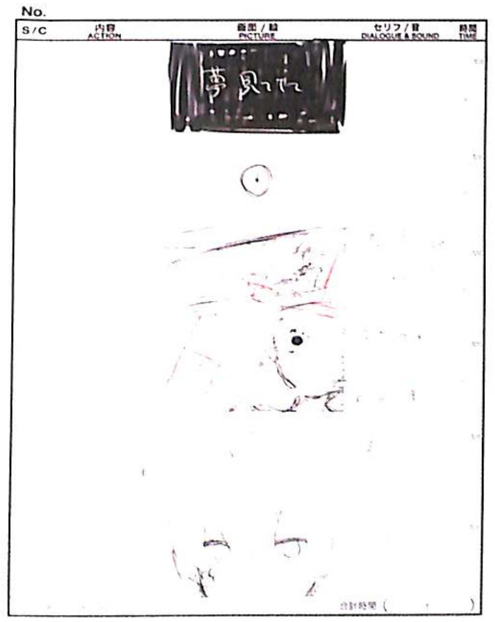
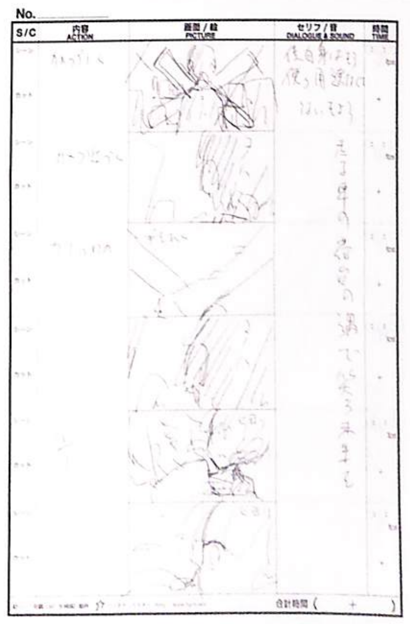


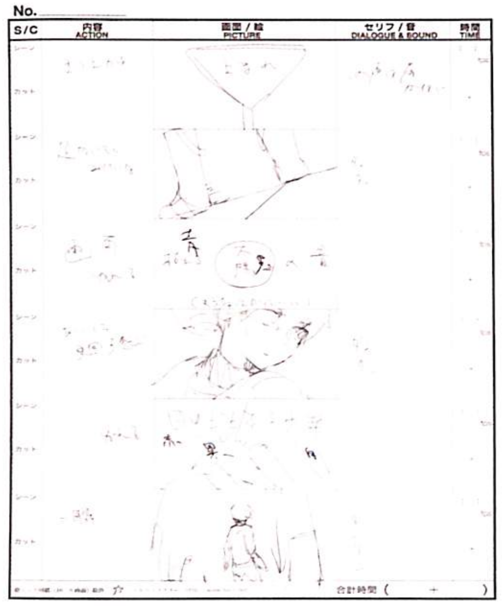
INTORO

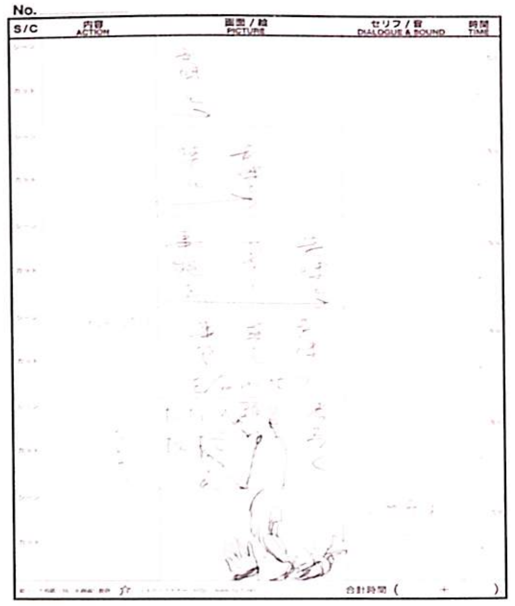
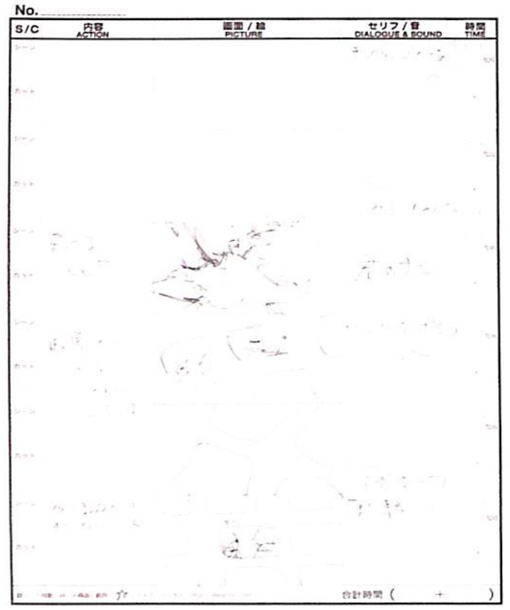
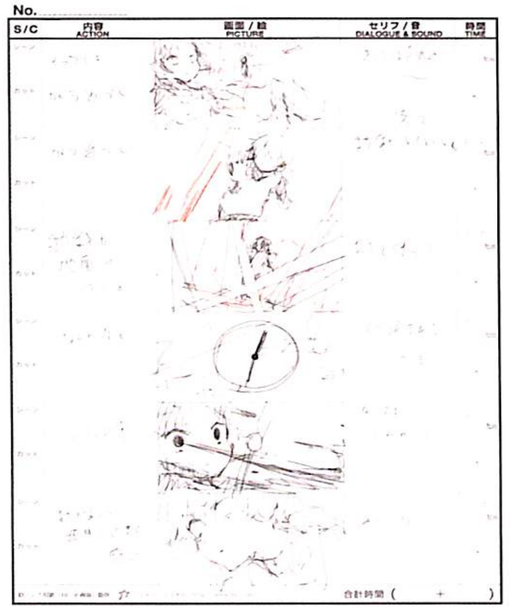
時計の針、さまざまな時間を示すアナログ時計が、たくさんあるのが印象深い曲のはじまり。なぜ培養液の中みたいなところで、無数の時計が動いているのだろうか？

『コノハの世界事情』は、いままで、じん（自然の敵P）さんの作品に関わってきた、しづさんと、わんにゃんぷーさんのふたりが、絵と動画に関わっている。3人が伝えたかったことが、この14枚の絵コンテに詰まっている。

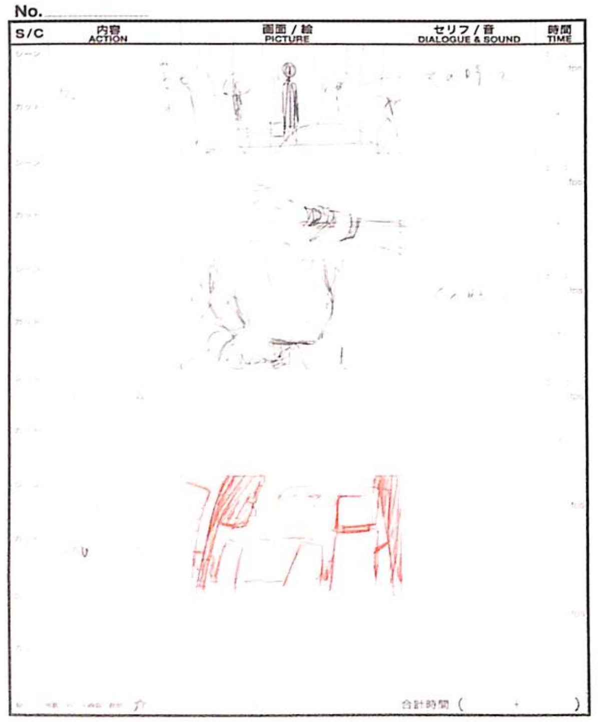
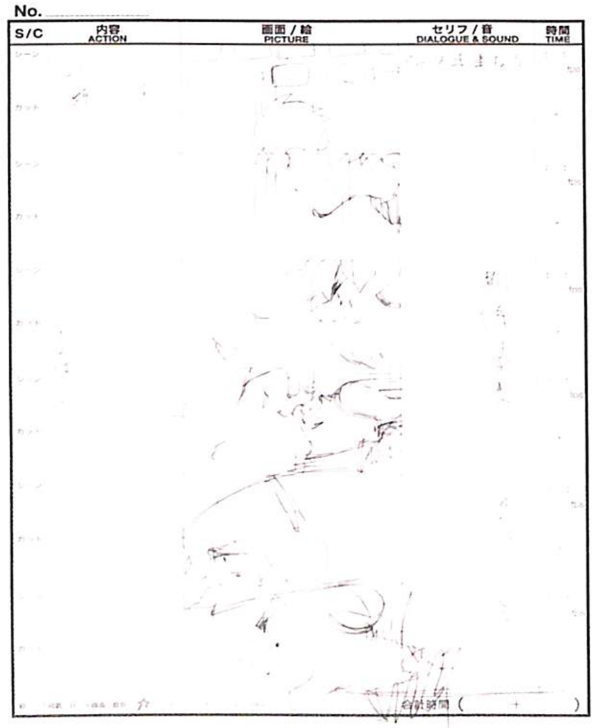
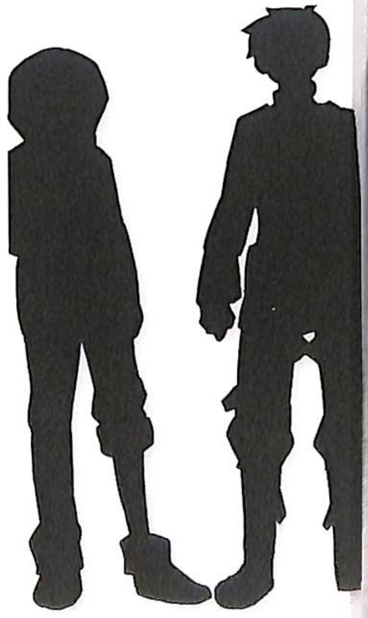





ENDING

モニターの映像を見た後に、コノハが一気に走り出すエンディングシーン。走って手を伸ばすが……。たくさんあるモニターの中で、コノハが見たモノは何なのか？

ボカロPと動画師に訊く、名作秘話

Plus ARTIST SPECIAL INTERVIEW

ボーカロイドを使って投稿される楽曲の中には、物語性のある楽曲が存在する。2010年にアップされた『Knife』もそのひとつだ。曲を聞いているだけでアニメを観ている気分になってしまうのである。全3部作構成となっており、現在、2作品が公開され、最終章は制作中だ。『Knife』シリーズの制作秘話をれるりり氏と三重の人に訊きつつ、エビナ氏の美麗イラストに酔いしれたい。

れるりり氏×三重の人氏

2009年9月11日に『いつもより泣き虫な空』にて動画投稿デビューし、5日後には殿堂入りを果たした。ギター、ピアノやベースを華麗にこなし、作曲はシンセサイザーのプログラミングで行っている。

2009年1月に164氏のミクオリジナル曲『the end』のPVを手がけたことがきっかけとなり、以降ボーカロイド楽曲のPVに携わる。歌詞を強く打ち出した手法や、コンポジットの技術に長けており多くのファンを魅了している。

Knife —ナイフ 創作秘話

“追いかける恋”と“追われる立場”。和風異世界EDOで繰り広げられる切なくも妖しい物語。

『Knife』がニコニコ動画にアップロードされたのは2010年10月4日。現在では主流となりつつある3DPVがまだ珍しかったころに登場し、楽曲及び動画制作にセンセーショナルを与えてくれた。

また、楽曲とPVを同時に見るとオリジナルストーリーが楽しめることでも話題となった。現在はシリーズ作として『Knife』『JOYRIDE』が公表されており、次回作への期待も高く“続きを正座して待つ”動画のひとつとしてタイトルが上げられている。

物語は和風異世界“EDO”。気を失っていた凜（リン）を忍の少女・魅玖（ミク）が助けたことから始まる。

意識を取り戻した凜は、自分が爆風に巻き込まれたことを思い出した。目の前にいるのは、体中に包帯が巻かれている魅玖。そこは、爆風が起こる直前まで自分がいた世界とは全く別の場所だった。そして、漣（レン）の姿も見当たらない。事の詳細を尋ねたところ、魅玖は敵と争いをする中で爆風を起こし凜を巻き込んでしまったと告げた。

魅玖は他人を戦に巻き込んでしまった事を詫びながらも、爆風の直後に漣が“人を殺め続ける妖刀・あやさき”を手にしてどこかへ消えてしまったことを告げた。

幾度も謝罪する魅玖に「謝るくらいなら、手伝ってほしいわ。私は、絶対に漣を探し出すんだから……！」と凜は瞳に強い光を宿らせていった。

凜の言葉を聞いた時、魅玖は「この少女とともに漣を追い、妖刀と再び対決することこそが、自分の選ぶべき道なのだ」と、強力な呪術と人の心操る妖刀・あやさきと再び対峙することを決意するが……。

JOYRIDE

二作品目は『Knife』の世界へ飛ばされる前の出来。http://www.nicovideo.jp/watch/sm15252735 ニコニコ動画ID→【sm15252735】

Knife

2010年に第一作品目としてニコニコ動画にアップロードされた。http://knife2.web.fc2.com/staff.html ニコニコ動画ID→【sm12324543】

※鏡音リン・レン、初音ミクはクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです

真っ直ぐ上を向いている凜はひたすら漣を追い続け、かつての日々を取り戻すことを夢にみている。傍からじっと自分を見つめ続けている魅玖の思いは凜に届かない。傍にいるけれど２人は違う未来を見つめ求めている。

EDOに飛ばされる以前、凜と漣は仲むつまじく幸せな時を過ごしていた。記憶を無くした今……おぼろげな思い出として登場する。

漣を探し続ける凜と、凜を傍から見守る魅玖。そして、人を殺め続ける漣……。複雑に絡まり合う一方通行の思いが鎖となり２人の身体に巻きついている。

物語をマルさんからお伺いして せっかくなら、ストーリーを取り入れた 音楽を作ろう……ということになりました。（れるりり）

総勢スタッフ人数８名。世界感に共感したスタッフがピアプロで集まった！

『Knife』を聴くと、壮大な物語を４分38秒という短い時間の中で語りつくす歌詞、そして圧倒的な３Ｄ動画が印象的だ。プロフェッショナルな仕事ぶりをみると、最初からチームが形成されて楽曲が制作されているかのように思われがちだが、実際はピアプロや人から人へとスタッフが集まっていったという。

「作詞を担当しているマルさんが物語を作るのが好きな方でしたので、せっかくならストーリーを取り入れた楽曲を作ろう！となったんです。（れるりり）」

マルさんとれるりりさん、そして世界感に共感したK2puddingさんが集まり楽曲の制作がスタートしていった。

『Knife』特設ウェブサイト（http://knife2.web.fc2.com/）を見るとスタッフ陣の多さも特徴的となっており、その数なんと、８人とまさに圧巻！（楽曲＝れるりり、キャラクターイラスト＝エビナ、PV＝三重の人、マスタリング＝友達募集P、ドラム＝ゆーまお、作詞＝マル、ロゴデザイン＝K2pudding、ウェブデザイン＝まろyan）

「ピアプロを通じて集まってくれた方もいるんですよ。ただ、動画に関しては、当時の僕が〝PV師〟として知っているのが三重の人しかいなかったので（笑）、〝やってください〟とスカイプで飛ばしましたね。（れるりり）」

『Knife』シリーズは現在２作品アップされているが、当初の予定では、時系列に沿わせ『JOYRIDE』から動画をアップしていく予定だったという。

多くの方に共感して頂け、ピアプロなどの募集を通して、総勢８名というスタッフ陣になりました。（れるりり）

「『JOYRIDE』は登場人物が多いために、制作期間が思っていた以上に長くなってしまいそうだったんです。なので、先に『Knife』からアップしました。結果として作品が愛されたので良い方向に進んだと思っています。（れるりり）」

目の前にいるのは、かつての恋人の漣。しかし、今は命の恩人である魅玖を殺めた敵。愛しさと憎しみの狭間に立ちながら、凜は漣に刃を向け魅玖の仇を討つことを決意した。

妖刀あやさきを手にしたことで、人を切り裂き殺め続けることを好む人間へと変貌してしまった漣。かつての恋人であった凜の言葉も記憶を失っている漣には何ひとつ届かない。

Plus ARTIST SPECIAL INTERVIEW

Plus ART SPECIAL INTERVIEW

「今までに作った動画の中で、一番キラキラ・テカテカしています。PVを観て頂いた方から"目が痛い目が痛い"とコメントを頂きました（笑）。（三重の人）」

3Dを取り入れたPVは当時としては希少！その手法には誰もが驚き感嘆をしめした！

『Knife』がアップロードされた2010年頃「PV超イイ」というコメントが多く投稿されている。今でこそ3D手法を用いたPVは多く見られるようになったが、当時ニコニコ動画内ではまだ珍しく、動画を制作した三重の人も3Dを使った作品投稿は『Knife』が2作品目だったとのこと。

「2010年の夏に3Dを導入したので背景処理が非常に楽になりましたね。After Effectsを使っている背景以外はほとんど3Dで作っています。（三重の人）」

次々に新しい手法を取り入れて進化していくPVに3D旋風を巻き起こした作品だったといえる。

「楽曲にパワーがあり、イラストも美しかったので、動画も負けないようにしようと思いましたね。れるりりさんからの要望が"キラキラざわざわテッカテカ"でしたので、私がこれまでに作成している動画の中でも一番神々しく光り輝いています（笑）。（三重の人）」

『Knife』そして『JOYRIDE』と物語が続くことが制作段階から分かっていたためこだわったところも。

「所々に凜と漣が元いた世界の出来事を彷彿とさせたり、PVの最後を和風"EDO"ではなく、巨大なビル群で終わらせています。続きがあるという暗示をこめてみました。（三重の人）」

2作品目となった『JOYRIDE』のPVも引き続き三重の人さんが手がけている。

「イラストが100枚近くありましたので、『Knife』と違って、アニメーションを見ているような感覚の動画にしました。同じ作品ですが仕上がりは違いますので、別の楽しみ方が出来ると思います。（三重の人）」

…の修行に付き合う凜。魅玖の投げたクナイは全て…外れ……ダメっぷりに凜は呆れ気味。

ギラギラさせたいという要望に応えるべく、PV上では常に光が差し込んでいる。

壮大な内容を伝えるために物語の冒頭から、世界観を伝える工夫がほどこされている。

…の記憶はすでにない。血を求める鬼と化…の周りには真っ赤な紅葉が舞い落ちる。

妖刀を手に取り魅了されてしまった漣。変わり果てた表情と行動は、まるで別人。

幸せだったころは世界が花に包まれていた。薄れ行くイラストからは切ない印象が伝わる。

…イントの言葉はPVを観ている人に伝わ…、大きな文字で印象をつけている。

魅玖と凜が身を寄せる屋敷。背景画像は動画を担当した三重の人が3Dで作成している。

命をかけて生きるEDOの暮らし。"この身"には3人の背負った宿命が重く打ち出されている。

イメージは"ミクスチャーロック"。和風ながらも16ビートのリズムを響かせたいと思いました。

『Knife』の楽曲を担当しているれるりりさんは、制作開始時からスタッフとして携わっている。物語を作詞担当のマルさんから聞くなり"ミクスチャーロック"の曲調をイメージしたという。

「凜、魅玖、漣のいる世界が、昔の日本を彷彿とさせる"EDO"なので、和の音を取り入れようと思いました。弦楽器や管楽器、そしてファンキーな16ビートの音を一緒に奏でよう……と。（れるりり）」

タイトルの由来は……？

「チャンバラっぽいアニメがいいな……と。漣の持っている"妖刀あやさき"、そして凜の持っている短刀とも関連づけています。（れるりり）」

PVやイラストなどが続々制作されていく中、同時進行で楽曲はシリーズ3作目が仕上がっているそうだ。

「まだ完結していませんし、現在の段階で3作品目も考えているので、期待して待っていていただきたいです。（れるりり）」

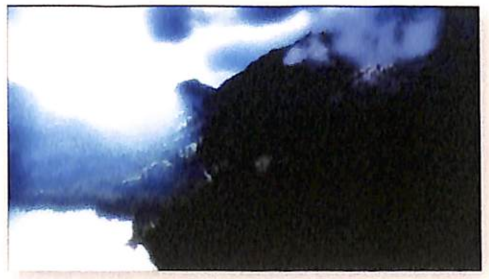
凜と漣、そして魅玖の思いが複雑に絡まる恋模様の終幕どうなるのか？ ワクワクして待機だ。

「曲のイメージは"ミクスチャーロック"和風ながらも16ビートのリズムを聴かせて格好良く仕上げたいと思ったんです。（れるりり）」

『Knife』のようにラフが無いPV作成の時は、素材を全て確かめた後にイメージを膨らませ作業に取りかかるという。PV制作の作業の大部分はAfter Effects上で行っている。

「EDO」という世界とキャラクターの洋服や刀に合わせ素材は和風の物を用意。曼珠沙華が持つ「悲しい思い出」「再会」「諦め」の花言葉と歌詞が密かにリンクしている。

素材に限りがある時は動画師のセンスが光る。風景を変えた立ち絵の使い方にも注目！



激しい戦いと対比するように、静かな山々の景色が描かれている。

コンポジットにより、ギラギラ感は最高潮に！次に繋がる宿命の対決への期待が高まる。

和風のEDOとは違い巨大なビル群が立ち並ぶ場所。PVは『JOYRIDE』へ続く暗示で終了する。

凜の負傷と妖刀が好む赤い血をイメージさせるかのように、紅葉が画面を覆い尽くす。

Information

至高のフルアルバム

れるりりさんのメジャーデビュー初のアルバムが発売決定！ これまでに作成した楽曲を富田麻帆・荒浪和沙・仙台エリ・佐久間紅美がカバー。また新曲が4曲収録されている。●価格：2500円、発売元：株式会社キティ、販売元：株式会社ムービック

笑顔と元気があふれるパワフルシンガー

Gero

PLUS! PUSH! ARTIST!

昨年、初のソロアルバム『Gourmet』（グルメ）を出してから、精力的にライブ活動を続けているGero。彼のバイタリティーに富んだライブは「もう一度来たい」と思わせる楽しさがある。

「ぜひ、ライブ、握手会待ってます！ 何喋っていいか分からなくても 僕が喋るから大丈夫です！」

Profile

Gero
マイリスト：mylist/8223623
mylist/16693072
HP/BlogURL：http://www.gero2525.jp/
Twitter：@Gero2525（official）
@Gero_NEWS（Gero 最新情報）
投稿歴：3年
使用している音楽ソフト：Cubase
マイク：SHURE SM58、SHURE BETA 58A

ライブの舞台裏

——この1年はどんな時間でしたか。

怒涛のツアーが始まる前は、バンドメンバーと「く、くるよー！」「やばいぞー！」と言っていたんですけど、始まってからは、あっという間に終わりましたね。「え!? もう終わり!?」「もう半分!?」「もうラスト?」という感じで終わってしまいました。そしてあれよあれよという感じに年が明けて、また全国ツアーですもんね！ 早いわあ。

——どのライブも印象に残っていらっしゃると思うのですが、ライブ中にあった出来事で面白かったことなど教えてください。

ありすぎて、何を言おうか……。ORANGE RANGEさんとSPYAIRさんとライブしたときは、本番1週間前ぐらい前にSPYAIRのボーカルIKEちゃんと、DJのENZEL☆ちゃんとニコ生したんですね。そこで仲良くなって飯食べに行って、IKEちゃんとはすごい気が合ったんです。お互いにマイクが好きで、着てる服のブランド、持っている吸引器（笑）、聴いてきた音楽も丸被りで、めちゃめちゃ盛り上がりましたね。

ほかには、僕、ライブ当日は時間ギリギリまでホテルで寝てるんですよ。12時集合なら、11時まで寝て、起きて用意して、朝ごはんも楽屋で食べて、みたいな。あと、時間に合わせて用意する能力がなくて、2分3分遅刻をしてしまうんです。用意するのがめっちゃ遅いんですよ。でもバンドメンバーは元気なので、朝9時に起きて、朝ご飯食べたりとか、ドンさんも城を見に行ったりとかしてます（笑）。ただ、ライブで香川に行ったときは、どうしてもうどんだけは食べたかったんです（笑）。なので香川のライブの日は、うどんを食べてそのままライブへ向かおうということになったんですよ。10時に起きて11時に集合してみんなでうどん食べにいこう、ということで、ホテルの目覚ましをセットしたんですが……古かったのか、鳴らなかったんです。起きたら11時で、用意に1時間かかるのに……おわったなって思いました（笑）。でも、どうしてもうどんをあきらめられなくて、本気を出しました。うわーって用意して、うわーってうどん頼んで、うわーっ食べてたら、先に食べていたはずのメンバーより早く食べ終わってました（笑）。本気出しすぎて、食事すら僕の方が早くなってしまった（笑）。これはきっと人生の中で1番早く用意できたと思いますね。

——今年に入ってファンクラブ"のぜ部"ができましたね。

実は最初、ドンさんに「ファンクラブ作ったほうがいいよ」と言われたときは断ったんです。「何だかおこがましいでしょ」って思ってたんです。けど、「抵抗持つ人もいるけど、ファンクラブイベントやいろんなグッズをプレゼントできたり、喜ぶ人も絶対いるから作ったほうがいいよ」と言われ、何度も何度も打ち合わせをして、結構右往左往しました。せっかくファンクラブをやることになったので、生半可なことはしたくないですね。面白いことをいろいろしていこうかなと思ってます！

名前については、かっこいいよりまったりしたほうがいいなって思って。リスナーさんやお客さんは学生さんが多い気がするのと、"部活"というくくりみたいなのがあったらいいなと思ったんです。それで"のぜ部"ってしっくりくるなあという感じで決めました。コンセプトもわかりやすいですしね。嬉しかったのは、男性で"のぜ部"に入ってくれた人が結構いらっしゃるみたいなんですよ！ 感動しました。僕自身もそうなんですけど、同性のファンになるって、やっぱりかなり魅せつけられないと好きになれないというか、人間として尊敬できないと、興味を持ってもらえないのかなと思うんです。だから、男性のファンは嬉しいですよね。

新作ミニアルバム『Cross』

——ミニアルバム『Cross』、6月6日の発売決定おめでとうございます。ミニアルバムのなかみを教えていただいてもよろしいでしょうか。

僕の初・作詞作曲の楽曲が入っています！ ゴムさんにも曲をお願いしました！ ほかには、4月から始まったGAINAXさんのドラマ『エアーズロック』のOP『感覚戦士ゴカンファイブ』という戦隊物の主題歌、さらに『ラングリッサーシュヴァルツ』というゲームの主題歌を歌わせていただいております。

あと今回もドンさんの曲が入ってます。「どうしたい？」って聞くから「ドンさんらしい曲をお願いします」って言ったらとんでもないものがきましたよ。聴いたんですけど、エンジニアさんと僕は「これ、何だ」と終始笑ってました（笑）。まあ、楽しみにしていただければと思います。前回のアルバムに入っていた『赤と黒のスタンダール』は面白く見せかけて哀愁漂うような曲だったので、今回の曲については、みなさんが怒らないことを祈ってます。

——ご自身が作詞・作曲にも挑戦されているということで、楽曲はどんな感じになっていますでしょうか。

僕は、趣味程度でギターをやっていたんです。めちゃくちゃうまいわけじゃないですが。ライブを意識してノリの良い曲を作ろうと思って、最初バラード調というか、アコギっぽいようなまったりした曲を作ったんですが「ああ、やっぱりなんか違うな」と思って、激しい曲も作って、後者を採用しました。アレンジはギターの鈴木ぷよ君がやってくれたので、僕は土台を作った感じですね。Cubaseでドラム打ち込んで、ギター入れて、自分でボーカル入れて、それをアレンジお願いします、という感じで渡しました。歌詞は後から書いて……大変でしたね。曲はパンパンと出るんですけど、今回作詞が大変でした。

昨年の冬コミで出したCDで初めて作詞をしたときは、ストーリーを組み立てたあとに、メロディを当てはめていく、という感じの作業をしたんですけど、今回もそうしようと思って作り始めました。内容を応援歌的なものにしたいなと考えていたんですが、難航しまして……気づいたら全然違うものになったな……。ちょっと様子がおかしかったです（笑）。そして様子がおかしいまま半笑いでレコーディングしました（笑）。作詞の時点でエンジニアさんに見せたんですけど、エンジニアさんも「Geroさん、これはいいんですか？」って言われたので、「いいです、いいです」って言いました（笑）。

——Cubaseを使われたということですが、Geroさん機械オンチで有名でした……よね……？

いやー、ねー（笑）。全部やってもらいました。僕は、「これを押してギターを弾いたら録れるよ」って

Geroさんに聞いてみた

——いろんな取材などで、著名人の方々に会う機会も増えたと思うのですが、今お会いしてみたい方はいらっしゃいますか？

僕はグループ魂さんが好きなので、宮藤官九郎さんとか阿部サダヲさんとかですかね……！

——宮崎あおいちゃんは……？

僕の中で、宮崎あおいさんは神格化してるので、会えないですよ。カメラマンさんとかに「あおいちゃんに話回しておこうか？」って時々言われるんですけど、「やめてくださいやめてください！ いやもう僕は見てるだけでいいんです！」みたいな。逆に会えないんですよ。あ、でも、北海道のゆるキャラのまんべくんに会いたいな！

とこまで、いろんな人の手を借りて教えてもらいました。「僕はどのタイミングで左クリック押せばいいの?」ぐらいの勢いで（笑）。「こうしたら左クリックだよ」「わかったじゃあもう帰ってくれ」みたいな。自分でも勉強したんですが、みなさんに手伝っていただいて作品が完成しました。

——ジャケット写真も撮り終わったということですが、今回女装は？

しました！（笑）。今回アルバムの方が生音で録るというコンセプトがあるので、バンドというテーマで写真を撮りました。ギター、ドラム、ベース、ボーカルを一人4役で僕がやって合成したら面白くないですか？　って感じです。キャラどうするか考えていたとき、ボーカルは僕のまま、ギターはモヒカンのような尖がった髪型でパンクを意識、ドラムはふざけましょうってことで、肉襦袢着ました（笑）。そしてベースは「じゃあまた女の子の格好する?」「まあ……そうですね……」って女装することになりました。全体的に、前衛的でかなり攻め姿勢なキャラ構成です。お母さんごめんなさい、またこういう形になりました。そして今回の女装ではフルウィッグに挑戦しました！　前回のときは髪が長かったので、前髪だけウィッグだったんですよ。フルウィッグでバンドをしてる女の子っぽい格好をしました！　内股に関してもまた言われましたよ。「Geroくんもっと内股、もっと、つま先だけ!?」「つま先だけ内股！」ってなりました。でも撮影中に女装も慣れてきてしまっています。カメラが近づいたときに「Geroくんいいねぇ！　手を顔のところに！」ってぶりっこみたいなポーズ取るんですけど、これをやりすぎて、この間とある撮影のとき、カメラが近づいてきた際、思わずそのポーズしちゃいました（笑）。「危ない危ない！　今は男！」ってなりました（笑）。今回も、はち切れんばかりの肩幅でみなさんをあっと驚かせたいと思います（笑）。

——ミニアルバム発売と一緒にまた全国で握手会をされますが、握手会の醍醐味って何でしょうか。

やっぱり、僕たちは動画でしか接点がないので、生で会えたり歌を聴けたりするのはライブとか握手会なんですね。握手会はファンの方と喋れるというのが一番大きいと思います。地方に回らせていただくことが多いんですけど、ファンの方から「こういう地方にまで来てくれて嬉しい！」というお声もいただくので、毎回、本当にやってよかったなと思います。ありがたいですね。

Gourmet Tourのときは200人の方と握手をしたんですけど、みんな緊張していて、手汗かくことをめっちゃ気にしてるんですよ！　ツイッターとかでも「私、手汗がひどいので悩んでます……」みたいなコメントがあったんですけど「いや、みんな手汗かくから大丈夫や！」って言って（笑）。手汗かかれてても僕が「お前、手汗かいてる気持ち悪い！」って言うわけないでしょって！（笑）。俺も手汗くらいかくし！　みんな変なとこびびってるというか、そんなこと気にするとこちゃうよって。普通に喋って、手汗とか関係なく握手して、気軽に触れあえるところなので、悩んでるぐらいだったら来てほしいなという思いが強いですね。

——ファンの方から言われて印象に残っている言葉はありますか？

「私、Geroさんのこと全然知らなくて、実は蛇足さんのファンなんです」って言われたことですね（笑）。「それは君、僕のアンチということでいいのかな?」って思いました（笑）。あとは、「娘が見てて、好きになりました」と言って娘さんと一緒にお母さん、お父さんも来てくださったりとか。お父さんも「今度、娘とライブにいくよ！」と言ってくださったり。各会場に親御さんと一緒に来てくれている方は必ずいらっしゃいますね。

——7月からは夏のライブツアーが始まりますが、楽しみにしていることはありますか？

大前提としては、昨年Gourmet Tourをしたので、もっと良いものをぶつけられたらなと思ってます。自分やバンドメンバーに対する「いけんのかい!?」という期待があります。自分とバンドメンバーがどこまでいけて、どこまでお客さんが盛り上がって、喜んでくれて、「またGeroのライブ行きたい」って言ってくれるのかなっていうのが楽しみですね。ライブが自分の中で一番核で、それができるというのは幸せなので、一個一個、大切に、思いっきりやってやろうと思います。

あとは全国のごはん。これも楽しみにしています。僕Gourmet Tour終わったら6キロ太ってたんですよ（笑）。ライブって無酸素運動に近いからなのかなあ……痩せないんですよね。でもライブした分、腹は減るので食べますけどね。全国ツアーの終わりにいけばいくほど、握手会とかで「太りましたか?」って言われるので、今回はちょっと気を付けながらライブしていきたいです。

好きなお酒、好きなゲーム

——お酒は飲まれるんですか？

大好きですよ！　ビールが好きなんですけど、最近流行りにのっちゃって、ハイボールばっかり飲んでます。安いし、カロリー低いんですよ。だから最初ビールを飲んで、ハイボールで酔って、みたいな感じです。僕、本籍が沖縄なんですけど、焼酎、日本酒駄目なんですよね。飲めたらかっこいいので、飲めたらいいなと思うんですけどね！

——お酒の失敗談はありますか？

ありますよ！　それこそ失敗だらけですよ！　昨年のG.W.ニコライのゴールデンウィークツアーでラストの打ち上げが終わって、ホテルに帰って、俺の部屋でバンドメンバーと遊んでたんですよ。バンドメンバーに抱きかかえられて「もう寝ろ！」って部屋の中に投げられて、枕で「寝ろ！」「死ね！」って殴られながら全裸になりました（笑）。最近はそれぐらいです（笑）。若いときは記憶飛ばしてたんですけど、最近はそこまで飲むのがしんどいです（笑）。大体記憶は残ってますが、ただツアーのラストはみんな飲むので死にそうになりますね。お酒は、楽しく飲むのが一番ですね。

——最近、何か気になるニコニコ動画関連の動画はありますか？

ボカロ楽曲だったら、『カゲロウデイズ』のじんさんとか『人生リセットボタン』のkemuさんが気になってます。最近勢いのあるボカロPさんやっぱすごいですよね。ハッとさせられる曲というか、展開もかっこよくて、音も綺麗で。機材とかもどんどんレベルアップしてきているので、これからどうなっていくのか楽しみですね。僕は昔からハチさんが好きなんで、ハチさんのアルバムはとても楽しみにしています。

あと個人的にゲーム実況を見るので、『ダークソウル』の実況をされていたふじまるさんが好きです。早く動画上げてくれ！　と思うぐらい！　ふじまるさんの『ダークソウル実況』は面白い！　あとはドグマ風見さんも好きです。

——ツイッターで『デモンズソウル』のお話をされてましたが、最近注目しているゲームなどありますか？

今年の10月に発売する『バイオハザード6』とCAPCOMさんから出る『ドラゴンズドグマ』が死ぬほど楽しみです。あと『SKYRIM』は買おうかずっと悩んでるんですよ！　ただ、主観のゲーム画面って酔っちゃって駄目なんですよ。すごく弱いです……。

ここ6~7年、なかなかゲームにハマることなかったんですよ。でも『デモンズソウル』『ダークソウル』はハマっちゃったんです、最初はソフト買ってもいなかったのに！

どうしたかと言うと、蛇足さん家に行ったら、『ダークソウル』のCD-ROMだけ落ちてたんですね（笑）。パッケージ見たら面白そうだったので、蛇足さんに「捨ててるんだったら持って帰っていい?」って聞いたら「いいよ」と言われたので、持って帰って、やってみたら死ぬほど面白かったんです！　ガンガン死んで進んでいく死にゲーなんですけど、こんなに面白いゲームと出会ったのは初めてでした。何回も死んで、すごい強そうなボスを倒したあとに広大なマップが出たときは、初見でしか味わえない興奮を感じました。調べたら前作の『デモンズソウル』があることを知って、『ダークソウル』を一旦止めて、『デモンズソウル』をクリアしてから『ダークソウル』をクリアしました。両方とも、もう一回記憶を吹っ飛ばして初見でやりたいですね！　それぐらいわくわくしました！

——最後にファンやリスナーへメッセージをお願いします！

今年も全国ツアー、握手会もやります！　行こうかな？　行ってもいいかな？　と悩んでいるうちにライブが終わってたという方もいらっしゃると思うんで、ぜひ一回来てほしいです！　僕の曲も歌いますし、みなさんが知ってるボカロ曲も歌いますし、いろんな面白い要素があると思います。多分ひとりで行くのが恥ずかしいとかっていう方もいらっしゃると思うんですけど、そんなことないんですよ！　ライブが始まったらみんなひとりになるわけですから！　ひとりだったら余計に集中しませんか？　ぜひ、ライブ、握手会待ってます！　手汗とか気にしないでください！　何喋っていいかわからなくても僕が喋るから大丈夫です！　ファンクラブもできたし、ファンクラブイベントなどもやっていくと思うので、そちらも楽しみにしていただければと思います。今年も頑張ります！

CD Information

ミニアルバム『Cross』

1.Opening
2. 道名津
3.POLARIS
4.you
5. 感覚戦士ゴカンファイブ
6.Light and Shadow
7. 何の個性も無い雑草
8.Ending

発売日：2012年6月6日
価格：￥1,575（税込）

Tour Information

Gero Crossroad Tour 2012
開催決定！

7月13日（金）	CLUBCITTA'
7月15日（日）	仙台darwin
7月16日（月祝）	新潟The PLANET
7月21日（土）	熊本DRUM Be-9 V1
7月22日（日）	福岡DRUM LOGOS
7月27日（金）	札幌ペニーレーン24
7月28日（土）	札幌ペニーレーン24
8月4日（土）	広島CLUB QUATTRO
8月5日（日）	高松MONSTER
9月1日（土）	名古屋ダイアモンドホール
9月17日（月祝）	SHIBUYA-AX
9月22日（土）	なんばHatch

さらなる成長を続けるファルセット・プリンス!

amu

PLUS! PUSH! ARTIST!

「PointFive(.5)」や「Cu6ic」などのボーカルユニット、いろんな歌い手とのコラボも多かったamuだが、今年1月にメジャーミニアルバム『step on』を発売し、ソロ活動を開始！

新作アルバムについて

——7月には2ndアルバムが発売されるということで現在レコーディング中ですが、調子はいかがでしょうか。

今回は前回とは嘘のように違いましてですね。ええ、好調でやっております（笑）。

——今回はカバーが3曲ということで選出の理由を教えてください。

全部私の意見が通りまして、この3曲になりました。まず、『celluloid』（作詞作曲：baker）は昔から好きなバラード曲だったんですが、なかなか〝歌ってみた〟を投稿することができずにいました。で、今回のアルバムで「バラードでカバー曲」という話がでてこの曲を提案したところ、通りました。

『ALICE iN BLACK MARKET』（作詞・作曲：L-Q）は、前々からかっこいいなと思っていたんですが、原曲のキーが高く断念していた曲でした。単純にキー下げすると、オケ（伴奏）の音質がダメになるんですよ。でもバンドアレンジをしていただけるということで、チャレンジしました。「アレンジで良くなって歌えるんじゃないか」と思っていたのですが、的中しました。いい感じに仕上がってます！『プロパガンダ』は前回も曲を歌わせていただいたカラスヤサボウさんの曲です。前回のアルバムからの繋がりっていうわけではないんですけど、カラスヤさんの曲がすごく好きだったのでお願いしました。

——沙Pさんが作詞作曲された新曲『bullet』はいかがですか？

地声で出る結構ギリギリのラインのキーを設定してきやがりましたね（笑）。まぁ狙ってたんでしょうね、いい意味で。声を張っていいところが出るくらいのキーで歌い上げる雰囲気の曲ですね。バイオリンとかも入っていて、壮大で激しい曲です。

——今回もamuさんが作詞作曲に挑戦されるということですが、どんな曲にする予定でしょうか。

バラードですね。もう作ってあります。前回のアルバムでもバラードだったんですけど、『step on』はしっとり、しんみり系。今回は明るめの内容にしているつもりです。

——アルバム発売に合わせてライブも行われますが、どんなライブにしたいですか？

ニューアルバムのライブという前提があるので、内容としてはニューアルバムからの選曲が多くなると思いますが、それに伴って『step on』の曲とかも入れていこうかな、と思っていますね。

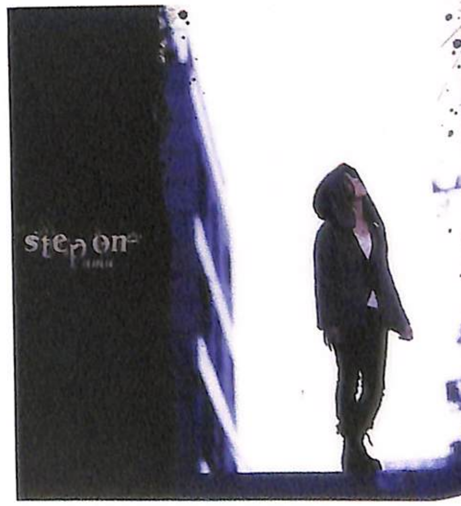
——ライブ活動も精力的にされていますよね。

3月は大阪でワンマンライブをやりました。いやぁ、ここ最近の私による私のための私のライブだったので、私としては面白く終えることができました（笑）。大阪でおこなった理由、というのが、前々から「大阪にはamHALL（あむホール）というライブハウスがある」と聞いていたんですよ。なのでここでライブできたら面白いかなと（笑）。お客さんのノリもすごかったですね、今までは自分以外にも歌い手さんが出ているライブだけだったんですが、今回は始めから2時間出っぱなしでした。「amuさん見たい！」っていう方には、よいライブだったんじゃないですかね！と思うんですけど（笑）。

4月の吉祥寺でおこなったライブは、出演者の歌い手さん方が、身内と言ってもおかしくないくらい仲のいい人ばっかりでした。なのでお客さんも僕らのワイワイ具合を楽しみにきてくれている人が多かったのかなと思います。ワンマンとは違って和気あいあいとしたライブだった気がしますね。

——1月から全国の握手会ツアーがありましたが、終わってみていかがでしたか？

行ってよかったですね！全国25ヶ所の店舗に行ったんですけど、本当によかったです。一番よかったのはいつも東京でやるライブやイベントに、わざわざ遠方から来て頂いているお客さんの大変さがわかったことですね。自分が行ったことで「こんな遠くから来てくれているんだ」としみじみ実感して、いままで以上にお客さんを大切にしようと思いました。それを感じることができて、よかったな、と思っています。



Profile

amu
マイリスト：mylist/7512373
HP/BlogURL：http://ameblo.jp/amu-nico/
Twitter：@amu2525
投稿歴：3年ちょっと
マイブーム：ヨーグルト
使用している音楽ソフト：Cubase6
マイク：NEUMANN TLM103
好きな人のタイプ：炭酸のような人

〝歌ってみた〟の経歴

——amuさんがニコニコ動画に出会ったきっかけを教えてください。

僕の友人が最初に見ていたんですけど、「面白いのがあるよ」と勧められて見てみたら、それがニコニコ動画だった、という感じです。自分はちょうどボーカロイドと、アニソンとかで盛り上がっている時期だったと思うんですが、最初に見た〝歌ってみた〟はゴムさんの動画でしたね。あとはそのとき『メルト』（作詞・作曲：ryo）がブームになっていて、ha-yosyさんが歌っているのを見て、「ああすごいいいなぁ、自分もやりたいなぁ」と思いました。

——当初、投稿されていた楽曲で印象に残っているボカロ曲は？

印象に残ったものはもう歌っていますね。『千年の独奏歌』（作詞・作曲：yanagi-P）は、あさまっくのふたりが歌っているのを聴いてすごく感動しました。「うめぇ！」と。投稿し始めた頃に、気になった曲や好きな曲はだいたい歌っています。

——〝歌ってみた〟を始めようと思ったきっかけを教えてください。

元々バンドでボーカルをやっていたんです。活動自体は3年くらいで、ロックポップみたいな系統でした。ただ、〝歌ってみた〟と出会ったときはバンドをやっていなかったんです。でも歌うのは好きで、とにかく歌いたい、という気持ちが強くありましたが、あんまりカラオケなどに頻繁に行く機会もなく、歌える場所がなかったんです。それがこういうネット上に動画として上げられる場所があるんだということを知って、すごく面白そうだなと思って始めました。それがきっかけですね。

——バンドをやってた、ということは楽器演奏ができるのでしょうか？

ギターだけ、少しできますね。でも結局、挫折して歌にいきました（笑）。中学校のときにギターを買って面白くなりやっていたんですけど、ある程度までやったら上手くならなくなって、自分には才能がないと感じました（笑）。

——それで歌う方向に向かって、その才能が開花したわけですね。

開花してるならいいんですが（笑）。単純に好きなだけなんですけど！

——今まで色々な音楽を聴かれてきたと思うのですが、自分の根底にある音楽は何かありますか？

うちの親がサザンオールスターズが好きで、毎日歌がかかっていたんですよ。本当に毎日サザン、サザンでした。家族が歌が好きで、家でも頻繁に音楽が流れていたので、僕自身も自然にサザンが歌えるようになりましたね。それがきっかけなんですかね？ 気が付いたらよく聴くようになっていました。

——amuさんの青春時代の音楽はなんでしょうか？

みんな知っていると思いますけど、L'Arc-en-Cielですね（笑）。今も聴いているんですけど、ずっと聴いていますね。流行りの曲やテレビで流れる曲をピンポイントで聴いたりするんで、「このアーティスト！」ということでずっと聴いているのは、L'Arc-en-Cielだけです。

——ボカロ曲でお気に入りは？

いい曲をひたすら聴き続けるタイプなので、結構昔の曲をいつも聴いています。いつ聴いてもいい曲だなっていうのは『夕日坂』（作詞・作曲：doriko）ですね。好きな曲です。歌ってみたいな、とも思っています。あとは『カナシキヒステリックガール』（作詞・作曲：ほえほえP）や『rain stops, good-bye』（作詞・作曲：におP）とかですね。夏に似合いそうないいバラードがあるんです。

歌以外のすきなもの、やりたいこと

——結構ゲームをプレイされるamuさんですが、最近ゲームは何をやっていますか？

最近『FINALFANTASY XIII-2』をやっていますね。あとは、リスナーさんに最近「何か面白ゾンビゲーないか？」と聞いてみたら、『レッド・デッド・リデンプション』をオススメしてもらって買ってみたところ、なかなか面白いゲームでした。西部劇のゾンビが出てくるやつです。

——何か挑戦してみたいことはありますか？

運動ですね。まだ始めてないんですが、最近自転車を買ったんですよね。いけるところは自転車で行って運動しようかなと思っています。自転車は沙Pさんが詳しいので聞いて参考にさせてもらいました。

——最近発売されたコーラはどうですか？

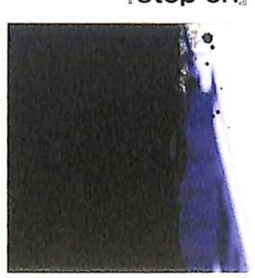
あ〜、脂肪分を分解するコーラですね。そんなのコーラじゃないです！ コーラは見るからに健康に悪そうじゃないですか、これを飲むにあたって健康とか気にしている時点で間違いです！ 太りたくないなら飲まなければいい、飲むにあたって太るなら覚悟の上だと。収録に入ってるときは2本とか消費しますね、1曲1本は飲んじゃいます。

——最後にメッセージをどうぞ。

そうですね、コカコーラさんCM待ってます！ というかまだ新しいコーラは飲んでないですが、でも健康になるなら乗り換えてしまう可能性ありますね（笑）。ファンの皆さんには、毎日ヨーグルト食べろよと！ そしてアルバムは前回より、よりハードになっていますので、よいロック色が出ていますので、ぜひ聴いて頂ければと思います。あとライブが楽しいので遊びに来て頂ければと思います！

CD Information

1stアルバム
『step on』



〝着実な一歩〟を進みだしたamuの最初の1枚。
発売日：
2012年1月18日
価格：￥2,100(税込)
販売：ティームエンタテインメント

2ndアルバム
『Intensity』

now printing

次のステップは何を求め、何に挑戦するのか。答えはこのシングルに——！
発売日：
2012年7月4日予定
価格：DVD付き初回盤￥2,940（税込）
通常盤￥2,100

中性的な歌声が魅力の帰国子女!

ナノ

PLUS! PUSH! ARTIST!

英語で歌ってみた初投稿動画が3日でカテゴリランキング1位となり、大ブレイクした“ナノ”。ボカロ楽曲を自身で英訳しており、力強い歌声と洋楽を聴いているかのような心地よい英語が特徴。

“歌ってみた”との出会い

——ナノさんがニコニコ動画に“歌ってみた”を投稿される際、英訳した歌詞で歌われようと思ったきっかけは何だったのでしょうか。

“歌ってみた”を初めて投稿しようと思ったとき、“歌ってみた”がすごく流行っていて、大物の歌い手さんがいたり、投稿数もかなり多かったんです。そんな中で、自分なりに何ができるのか、自分の色をどういうふうに出せるのかなと考えました。そこで、一番気持ちよく歌える英語で、英訳して歌ったらほかの歌い手さんたちとは違うことができるんじゃないかなと思いました。

英語で歌ってみた初投稿の当時はコミュニティに参加するとか、ツイッターもしていなかったんです。ニコニコ動画を見ている方たちとの関わりがゼロの中で投稿して、リスナーさんたちが盛り上がっているのを一方的に受けとる側だったので、どうなっているんだろう? って思いましたね。数日経ったら自分の動画がランキングに入っていて、何があったの?って。その頃、ランキングがあるのを知らなくて、ニコレポにランキング何位達成、みたいな表示が出て、初めてその存在を知ったんです。

——「歌ってみた」を投稿されるまでの音楽歴を教えてください

それこそ趣味ばっかりなのですが、元々歌が好きで、歌や楽器など音楽と共に育ってきました。それからアコースティックギターを始めたときに、コード3つか4つで曲が作れてしまうんだという衝撃を受けて、作曲をやり始めました。

——外国にいる間にバンド活動などはされたのでしょうか?

よく言われるのですが、いまだにバンドは組んだことがないんです。これまでユニットやバンドで何かしようという気持ちではなく、とりあえず「歌いたい!」「歌を聴いて!」という思いだけだったんです。バンドとして、100%の生音で歌ったことがないので、どちらかと言うとライブをやってみたいです!

——歌詞を英訳される際に気を付けていることはありますか?

英訳というよりも、英語で歌詞を書くという感覚で書いています。単純に日本語を訳すのではなく、外国のリスナーさんが聴いたときに「これは洋楽なんじゃないか?」と思ってもらえるような歌詞を書くのが目標なんです。なので、もちろん意味や雰囲気は守りつつ、自分が聴いて育ってきた洋楽の雰囲気も上手く出せるように意識しています。原曲を知らないリスナーさんが、曲の感想で「え、これ洋楽じゃなかったの?」って言って貰えるとすごく嬉しいですね。

デビューアルバムを経て、1stシングル『Now or Never』へ——

——今年の3月に発売された1stアルバム『nanoir（ナノワール）』について、このタイトルの意味を教えてください。

いろいろな意味を込めているんですが、まず「ナノ」とフランス語の「ノワール（黒）」をくっつけた言葉です。なので、ジャケットは白と黒のモノクロでまとめています。でも、ブックレットを開けると虹色になっているんですよ。テーマは「外から見たら中の色はわからない」という感じですね。とりあえず、音を聴いてほしいです。音を聴いてもらえれば、色がばーっと溢れだしてくると思います。

——アルバムにはコラボ楽曲も入っていますが、nekoさん、——（アンダーバー）さんとコラボするきっかけは何だったのでしょうか。

元々nekoさんは、自分が投稿するよりも前から英語で“歌ってみた”を投稿されていた先輩なんですが、DECO*27さんの『愛迷エレジー』をコラボさせていただいて、相性がよく楽しかったので、今回のアルバムにぜひ参加してくださいとお誘いをしました。

——（アンダーバー）さんは、コラボをしてみたいなと思って自分からお誘いしました。そして『【 】FREEDOMにアンハッピーリフレインを歌ってみた。【ナノ】』(sm15745428)や『【 】FREEDOMにクリスマス?なにそれ美味しいの?を歌ってみた【ナノ】』(sm16439977)のコラボを経て、アルバムでは『第一次ジブン戦争』を一緒に歌いました。“歌”の違う楽しさを教えてくれたのが——（アンダーバー）さんですね。人を笑わせる感じとか、わちゃわちゃする感じとか、すごくリスペクトしてます。

——5月23日に発売された1stシングル『Now or Never』は、Wタイアップシングルということで、アニメ『ファイ・ブレイン 神のパズル』第2シーズンのOPに起用されていますが、お話をいただいたときのお気持ちを教えてください

耳を疑いました（笑）。まったく予想していなかったので、「嘘でしょ?」って。でも嘘じゃなかったので本当に驚きました。これまで、洋楽だけでなく、アニソンにも影響を受けて憧れていたので、アニソンを歌えるという本当に夢のような話で、テンションが上がりました。

Profile

ナノ
マイリスト：mylist/18170963
HP/BlogURL：http://nanonano.me/
Twitter：@niconico_nano
投稿歴：1年半弱
マイブーム：iPhoneで写真撮ること
使用している音楽ソフト：Garageband
マイク：audio-technica AT2020
好きなタイプ：ツンデレデレ！　えっ、猫のことだよ??

——『Now or Never』は、これまでのナノさんとは違うなという印象を受けたのですが、どのような点にこだわられましたか?

今回は日本語だったのですが、自分の曲というだけでなく『ファイ・ブレイン 神のパズル』というアニメ作品の歌でもあるので、歌っているときにそのアニメの世界を表現できるように意識しました。もちろん、曲単体でも成り立っているように書いています。

▲Illustration：イナ

——曲を作る上で、アニメはご覧になりましたか?

そうですね。お話をいただいたときに第1シーズンが放送中だったので見ました。ものすごく好みの感じのストーリー、キャラクター、声優さんだったんです。そのプレッシャーに押しつぶされないように努力しました。OPができあがって見たのですが、本当にすごかったです! アニメーションもカッコいいですし、曲もリズム感のある曲なので、映像がそのリズムと絡んでいて、自分の曲ながら映像のおかげで鳥肌が立ちました。

『Destiny～12回目の奇跡～』（PSPゲーム『CONCEPTION 俺の子供を産んでくれ!?』とのタイアップ）は書いていただいた曲なので、『Now or Never』とはまったく違う歌い方をしました。ファンタジーの世界を表現した曲調かつクラシックな雰囲気もあったので、その不思議感を上手く声に出そうと思いました。ガツッとギャーギャー歌うのではなく、ちょっと品のある感じのロックにしたいなと。この曲は特にこれまでに歌ったことのない曲調だったので、本番で「精一杯やるしかない」という感じでしたね。

——そうすると、この1stシングルは、ナノさんの新しい面がいっぱい詰まっているということですね。

新しい扉を開いた、引出しをいっぱいガーって開けた感じですね。

——歌っていて辛かったことは?

歌っていると、常に苦しい部分があります。歌唱的な部分ではなく、毎回「どうやったら前回の自分を超えられるか」というのを意識しているので。「この曲では、ほかの曲で出したことのない自分をどういう風に出そうかな」といつも考えているので、常に自分との戦いです。

もしもライブをするならば?

——もしライブをするとしたら、どんなライブをやってみたいですか?

ライブをやるとしたら初めてのライブで、人前に姿を出すので、それだけで十分サプライズになると思うのですが、ほかにもたくさんサプライズの詰まったライブにしたいですね。ライブでしか表現できない自分というのもあると思うので。『magenta』なんかも、曲を書いているときから、イントロの「wow」っていう部分を観客のみんなとやっている想像したり、ひとりでイメージトレーニングしていますから（笑）。肉体トレーニングもしないとですね。そっちはまだまだなんで。

あとドラムをやってみたいなと思ってるんです。歌いながらではなくても。結構、何でもやってみたがりですよ。ベースもやってみたいですし。器用貧乏というか、何でもかんでもやりたいんですよ。ただ、あまり極めないっていう（笑）。ベースやドラムを覚えることによって、曲作りにも影響してくるかなと思うんですよ。できるだけ、味見程度でいいので、いろいろなことをやりたいですね。

——ライブでドラム演奏は素敵ですね! いったんステージから下がって、また出てきたらナノさんがドラムの位置にいて……。

それ最高ですね! ちょっとメモっておこうかな（笑）。そしたら、ボーカルはナノ面をかぶって——（アンダーバー）さんに出てもらって（笑）。

——ナノさんのルーツになっている音楽はありますか?

実は、クラシックなどボーカルのない曲を聴いて育ってきたんです。なので、ずっと「ボーカルがほしい!」と「ボーカルの入った曲を聴きたい!」と思いながら育ったんです。ある程度の歳になってラジオを聴いたときに、「めっちゃボーカル入ってる!」と思って、歌の表現力というものを知って、さらに歌を好きになりましたね。曲を作るときには、クラシックとかフォーク、古いテイストのロックみたいなものが影響していますね。歌に関しては、この人みたいになりたいというのはなかったのですが、いろいろなものに影響を受けていますね。

——最後にメッセージをどうぞ。

英語で歌ってみた初投稿から1年と数カ月が経ちましたが、こんなふうに広がっていくとは思ってもいなかったです。生放送をやっているときもリスナーさんたちが来てくださって、リスナーさんたちがいたからこその結果だと思うので、本当に感謝の言葉しかありません。これからもいろいろと新しいことに挑戦していきたいと思っていますが、グダグダになる可能性もあります。そんなナノをよろしくお願いします。

CD Information

1stアルバム
『nanoir』

謎に包まれたバイリンガル・シンガー“ナノ”のメジャーアルバム。虹色にあふれ出す歌声と言葉は必聴だ!
収録曲：全12曲
発売日：2012年3月14日
価格：¥2,400（税込）

1stシングル
『Now or Never』

収録曲：全4曲
1.Now or Never (TVアニメーション「ファイ・ブレイン　神のパズル」第2シリーズオープニングテーマ)
2.Destiny～12回目の奇跡～(PSPゲーム「CONCEPTION?俺の子供を産んでくれ!?」オープニングテーマ)
3.Now or Never(Instrumental)
4.Destiny～12回目の奇跡～(Instrumental)
発売日：2012年5月23日
価格：¥1,100（税込）

編集部大注目!! UTAITE INTERVIEW

今、気になる歌い手さんにインタビュー!!

いい曲は歌いたくなる、ボカロ以外の声でも聴いてみたくなる、ということで一大でブームとなっている〝歌ってみた〟カテゴリに投稿している歌い手さんに注目。今回は編集部が今注目しているおふたりにインタビューをお願いしました！

UTAITE PROFILE

ゆりん

ゆるい雰囲気を漂わせ、爽やかで安定感のある歌声の持ち主。多くのボカロ曲を歌っており、自身もボカロ曲を投稿するボカロPである。

マイリスト：mylist/13506924
HP/BlogURL：http://yurinblog.blog12.fc2.com/
Twitter：@yurin03　投稿歴：2年
マイブーム：睡眠
使用している音楽ソフト：Cubase
マイク：XML2003A
好きな異性のタイプ：YUKI、宮崎あおい

――お名前の由来を教えてください。

ゆりんという名前は、覚えやすくて、3文字ぐらいで、まるっこくて、ひらがながいいなと思って付けました。わりと気に入っていたのですが、ほかの名前にしておけばよかったかなと最近は思っています。名前が女性に間違われやすいので、動画のコメント欄は「こんばんは。男です」から始めています。最近は間違われることが少なくなってきたのですが、名前で女性だと思って動画を見てくださる方には申し訳ないです。

――ゆりんさんが〝歌ってみた〟動画を投稿するきっかけは？

あんまりよく覚えていないのですが、たまたま機材は家にありましたし、結局は暇だったからだと思います！ 2007年頃から見ていたと思います。主に実況や歌ってみた、演奏してみた、踊ってみたを見てました。

――ニコニコ動画で投稿を始めてから2年間で、一番印象に残っていることは何でしょうか？

もちろんCDに参加させていただいたこともなのですが、やっぱり一番は昨年末、ライブイベント（「SMILE WINTER FESTIVAL IN FUKUOKA～ちょっと早めのMerry☆Christmas～」）に参加させていただいたことだと思います。ライブは高校の頃からバンドでやっていましたが、その頃はギターとして参加していました。なので、ボーカルとなるとやっぱり緊張しました。でも、あまり経験できないことだと思いましたし、すごく楽しかったです。めっちゃ照明が暑かったですけど（笑）。

最初はイベントなどの露出に対して、少し抵抗がありました。ネットで顔が見えない状態で活動してるので、いざ表に出ようと思っても、結構勇気が必要でしたね。恥ずかしいというか。でも、ほかの出演者さんが知っている方ばかりでしたので、楽しく参加することができました。

――ステージに立ってみて、いかがでしたか？

緊張もあってか、あんまりよく覚えていないですのが……（笑）。でも、「ゆりん！」と名前を呼んでいただきました！ 嬉しかったですね。自分のことを知ってくれているんだ、って感動しました。

――一緒にライブされたでにろうさんも今回紹介しているのですが、でにろうさんに一言お願いします。

その節は、本当にすみませんでした！ でにろうくんのパフォーマンスはすごく勉強になりました。またいつかお話も面白くて好きです。またいつか聞かせてください。なんか手紙チックですね。

――先ほど、バンド活動されていたということですが、現在も？

今もしてます！ 月に1～2回はライブしてますよ。本当はボーカルをしたいんですけど、ギターです。ボーカルは競争率が高いんですよ。ギター弾く人があんまりいなくて仕方なく、という感じで……。でも、あんまり上手ではないんです（笑）。

――歌やギターの練習はどこで？

あまり練習をしない方だと思うんですが、するとしたら自分の部屋ですね。でも、歌の練習の仕方がよくわからないんです……。メロや歌詞を覚えるために何回も聴きながら口ずさむぐらいかもしれません。ボイストレーニングもやってみたいんですが……！

――今後歌ってみたいボカロ曲は？

ラムネさんの『夜を超えろ』という曲を歌いたいですね。ほかには電ポルPさん、ハチさん、ナノウさんが好きなので、まだ歌っていない曲をいつか歌えたらなと思います。

――今後の活動の目標を教えてください。

とりあえず曲作りをいっぱいしたいなと思ってます。〝歌ってみた〟をやめるつもりはないですよ！ ボカロ曲も作ってみたいですが、オリジナルの曲を自分でも歌いたいなと思ってます。NNI（ニコニコインディーズ）ですね。ライブも予定が合えば、って感じですかね……！

――最後にメッセージをどうぞ。

インタビュー、いかがでしたでしょうか。ちゃんと質問に答えられているでしょうか。不安です。でもインタビュー結構好きです。相変わらず露出は少ないですが、元気です。と言いたいところですが、昨年はなんと救急車にお世話になりました。みんなちゃんと飯食った方がいいです、まじで。これからもまったりやっていくと思いますが、よろしくお願い致します。

――ありがとうございます……と言いたいところですが、救急車って大丈夫でしたか!?

急に尋常じゃない腹痛に見舞われまして……！ 大変でした！

――お体にはお気を付けください！

ありがとうございます（笑）。

自分の動画にタグを付けるとしたら「体弱そう」です。軟弱そうな声してますからね……。

オススメ動画

『ゆるふわ樹海ガール　歌ってみた【ゆりん】』(sm16109371)
石風呂さんの『ゆるふわ樹海ガール』(sm15880465)を歌った動画。ゆりんさんの柔らかくのんびりした歌声がぴったり当てはまった1曲。タグに付けられた「ゆるふわ（成功）」している声をぜひ聴いてほしい。

UTAITE PROFILE

でにろう

初投稿は2007年とニコニコ動画初期から〝歌ってみた〟投稿をしている。10代とは思えないほど安定した歌声を持つが、時折何かが崩壊している。

マイリスト：mylist/6207629
HP/BlogURL：http://iddy.jp/profile/denirow/
Twitter：DENi_ROW　投稿歴：4年半
マイブーム：ネットラップ
使用している音楽ソフト：GarageBand
マイク：AUDIX CX-112
好きな異性のタイプ：お姉さん

――でにろうさんのお名前の由来を教えてください。

名前の由来は親に付けられるかもしれなかった名前を流用しました。初投稿のときのノリで決めたわりには気に入ってます。

――〝歌ってみた〟動画を投稿しようと思ったきっかけは？

元々〝歌ってみた〟カテゴリの動画を見るのが好きで、見ているうちに自分もチヤホヤされたくて始めました！ 初投稿の楽曲は、しもさんの組曲『ニコニコ動画』ですね。当時、大流行してましたから。でもボロックソに叩かれました(笑)。〝くそ〟〝きもい〟〝しね〟とか。以後2年そんな感じが続くことになります。『嘘つきのメリーゴーランド』まで大体そんな感じの反応でした！ でも、コメント0よりは〝しね〟でも一言ほしいなぁとか思います（笑）。いやぁ無反応が一番こわいですから。再生二桁コメント、マイリス一桁の時代がとても長かったので。見てくれる方がいるというのは、ありがたいことですよ。〝しね〟って書いてる人も〝しね〟ってわざわざ打ってくれてるわけですから、もう最高ですよ、結婚したいです！ 養ってもらいたいです！ 僕の脳内では完全にタイプの女子がそのコメントを打ってることになってます！ しかし歌い手はモテるって完全に嘘ですねアレ。信じた僕が馬鹿でした。都市伝説でした。それは〝しね〟コメントよりショックでしたね。「まじか!?」と思いました。まぁ、そんな冗談も交えながら（笑）。

――『嘘つきのメリーゴーランド』では、クワガタPさんとコラボされてますが、きっかけは？

AHO Project主催の企画で、「ボカロPに曲を依頼してオリジナル楽曲でリレーしよう！」という企画でした。個々の歌い手が直接Pさんたちに依頼することになっていたんですが、僕はクワガタPさんに当時面識がないのにいきなりメールして、普通に考えたらあり得ないんですけど何とかOKをもらい、動画の方もつかまえて……っていう流れでした。クワガタPさんが『パズル』で一気に有名Pになる前に声をかけられたのは本当にラッキーだったとしか言いようがありません……というか感謝しかできない……。やっぱり初めて人に曲を書いてもらう……ということで絶対に良いものにしなければいけない！ と思い、必死に録音したのを覚えています。そこらへんから歌うことが本当に楽しくなってきた覚えがあります。

――でにろうさんが憧れている歌い手さんはいらっしゃいますか？

UmiNekoさん(mylist/9247970)と、びすさん(mylist/19498200)ですかね。UmiNekoさんの『rain stops, good-bye(sm7054821)』は、個人的にはこれまで聴いてきたすべての歌ってみた動画の中でも3本の指に入るぐらい好きです。曲もさることながらUmiNekoさんの歌唱力、表現力とアレンジが泣かせます。びすさんは音源の完成度の高さ的な面で憧れています。ニコニコ動画には公開してないのですが、ツイッターにて公開していた『カゲロウデイズ』（作詞・作曲：じん（自然の敵P））が本当に本当に良くて……。どの曲でも曲への愛がびしびし伝わってくるのでとても好きな歌い手さんです。

30歳超えの胸毛ボーボーのスペイン人みたいなのを想像して似顔絵送ってきた人がいて笑いました

――実は今回、昨年末のライブで、でにろうさんとコラボされたゆりんさんも紹介しているのですが、印象はいかがでしたか？

動画通りかわいかったです！ 年上ですが。生でも音源と変わらない歌い方で感動しました。初めてのコラボは無謀な挑戦でしたが何とかやり終えることができました（白目）。声帯と顔とプロップスと乳首の色を交換してください。お願いします。ガチ希望です。

――2009年～2010年に行われた「ニコ生☆生うたオーディション～注文の多い音楽祭～」に応募されたきっかけは？

ノリです。当時15歳だったので、年齢補正あるし多少へたでも受かるかなーと思って受けました。ファイナルの選曲は歌うキッチンさんの『少女A』から『熟女B』へという動画を参考にしました。面白いし曲のキー的にも歌いやすかったので。

――あの曲をステージで歌うというのは相当勇気が必要だったのでは？

いやぁ……別にそんなことはなかったです。『熟女B』でスベったらどうしようかな……ぐらいは考えてましたが。幸いウケたので良かったです。

――審査委員特別賞を受賞したときのお気持ちはいかがでしたか？

「え――!?」という感じでした。頭が真っ白でよくわからなかったです。あんな大舞台で歌う機会はもうなかなかないと思うので、今思うと貴重な体験でしたね……。おとんが会場来てたんですけど泣いてたらしいです（笑）。

――でにろうさんのお気に入り曲を3曲教えてください！

その日によっても変わるのですが、『Flim/Aphex Twin』『虹／電気グルーヴ』『漂流教室／銀杏BOYZ』ですかね。元々テクノが好きなのですが、Aphex Twinと電気グルーヴは大好きです。銀杏BOYZはめっちゃ熱いので大好き！

――最後にメッセージをどうぞ！

「名前は見たことあるけど、歌は聴いたことない」ってよく言われるので、ぜひ音源を聴いてみてください！ あわよくばコメントしてください！ よろしくお願いします！

オススメ動画

『クワガタP feat. でにろう『嘘つきのメリーゴーランド』（動画:Mingna)』(sm8366677)
オリジナル曲リレー企画「avaredacue」の1曲。10代とは思えない色気がたっぷりつまった低音と、少年っぽさを残した高音とのギャップは必聴。そしてでにろうさんが成長するきっかけになった動画でもある。

ゆるゆる系男子トーク
あさまっく紙面らじお

今回、おふたりがずっと歌ってきたNemさんの楽曲『あやつりピエロ』シリーズがなんとドラマCD化！というわけであさまっくのおふたりに紙面らじお（!?）をお願いしちゃいました！

祝!!〝あやつりピエロ〟シリーズドラマCD化!!

——この企画のお話をきかれたときの感想をお願いします。

あさまる：嬉しかったですね、すごくいいストーリーなので、誰か小説化しろよって思ってました（笑）。

じゃっく：言ってたね、そういうことね（笑）。

あさまる：これ小説1本書けるよねって言ってたので、このお話をいただいたときに、「キター！　ktkr－！」って感じでしたね。

——製作過程はいかがでしたか？

あさまる：じゃっくさんはまぁ、関西なので、基本見ていただけなんですけど、俺のほうは一応セリフ収録のときはちょっと顔を出してみたり、ね？

じゃっく：うん。

あさまる：アフレコ現場はすごかったですね。1ページ丸々をミスらずに、すらーっと読み進めていったりして、すごいなと

[illegible]

[illegible]

あさまる：読みました

じゃっく：読みました読みました。もうね、泣くよね？

あさまる：まぁ泣くよね（笑）。

じゃっく：「あやつりピエロ」シリーズの歌のなかに出てくる歌詞がセリフになって出てきているんです。

あさまる：だから開始直後のおばあちゃんがアリョーシャを見つけて「不思議なこともあるものね」と言った瞬間にもう、涙腺がバーン！（笑）。涙腺が爆発したんじゃないかと思うくらい。あれはびっくりしたっていうかもう。脚本を見たときは泣かなかったんですよ。でも声を聴いたときに、どばっときました。

じゃっく：声聴いたらね～。

あさまる：やばいよね。

じゃっく：やばいやばい。やばいです！　おばあちゃんの……。

あさまる：おばあちゃん好き過ぎでしょ（笑）。

——一番気に入っている登場人物を教えていただけますか？

じゃっく：おばあちゃん。エレーナのおばあちゃん。

あさまる：一番しょっぱなにはおばあちゃんに泣かされたんですけど、やはいですよ全部やばいです（笑）。

——個人的・オススメしたいポイントをお願いします

あさまる：オススメではないですが、ちょっとだけ、一言だけ僕らが入っているんですよ。

じゃっく：本編で。

あさまる：入っているんです。たぶんあさまっくを知っていて聴いた方はすぐわかると思うんですが。

じゃっく：Nemさんもいるよね。こそっと3人がね、空に黒い点、鳥？

あさまる：ちょっとだけ入っているんですよね。まぁオススメではないですけどね（笑）。

じゃっく：面白要素として入っているんだぜっていうところですね！

あさまる：あとはやっぱりね……おばあちゃんが歌詞と同じことを、歌の歌詞と同じセリフを言っているところと、やっぱり一番最後のナレーションというか、語り手の「人は好きだ」っていうところですね。泣き所です。やばいです。

じゃっく：やばいです。

あさまる：俺聴いてたとき、ティッシュの新品の箱を隣に置いて、聴き終わったらなかみが半分減ってたんだよ。それくらいヤバイですね（笑）。

じゃっく：そこ以外だとどこだろう……でもアリサも可愛かったよね。

あさまる：おじいさんもいいね！

じゃっく：アリサとおじいさんのやり取りもいいですね。

——お話つながりでお聞きしたいのですが、おふたりは普段から本などは読まれたりしていますか？

あさまる：じゃっくさんはあんまり読まないんだよね。

じゃっく：ちょっと活字があんまり頭に入ってこないんで、漫画もあんまり読まないですね。

あさまる：面倒くさくなっちゃうんでしょ？

じゃっく：うん（笑）。途中で、数ページでやめてしまう。

あさまる：あの某黒いノートの漫画は、主人公がノートを拾う前に読むのをやめたという（笑）。

じゃっく：ノートを拾わなかったデ●ノートですね（笑）。

あさまる：でもたまにオススメしたので読み続けるやつもあるんですよ、『ぼくの地球を守って』とか。

じゃっく：そうそう、『ぼくたま』は全巻一気にいったねぇ。ぐっと入り込めたら、一気に読んじゃうんですけど、それまでがちょっとね。

あさまる：俺は昔はよく小説とか読んでいたんですけど、最近は小説は読まなくなって、漫画ですかね？

じゃっく：週刊誌は毎週買ってる？

あさまる：今はジャンプだけ。昔はサンデーとマガジンとジャンプと、ヤングジャンプとヤングマガジンを毎週買っていたんですね。一週間の紙のゴミを出すとすごいことになるんです（笑）。

——[illegible]ら……」ということで、どんなテーマにしたいですか？

あさまる：じゃっくさんは、中世ヨーロッパとかでしょ？

じゃっく：中世ヨーロッパいいね！

あさまる：そっち好きそうだよね、ローマとか、そんなイメージがある（笑）。俺は、宇宙？

じゃっく：宇宙～！

あさまる：あとは何だろう、RPG？　冒険ものとか、SFもいいな。

——自分たちが主人公ですか？

あさまる：どうなんだろう、主人公で出るのかなぁ……どうかなぁ？　じゃっくさんは名作劇場的なイメージ（笑）。

じゃっく：名作劇場的なのかなぁ？　もっと怖いのがいいです！

あさまる：怖いの？　ホラー系？

じゃっく：何かグロいのを（笑）。

あさまる：ドラキュラとか出てくるのか？（笑）

じゃっく：うん（笑）。

ふたりも大好き、お酒のはなし

——じゃっくさん、ツイッターでお見かけしたのですが、最近飲みすぎていらっしゃるそうで……？

あさまる：最近だけじゃないよね？

じゃっく：そうです。飲みすぎに注意してください、というファンレターをよくいただくんです。でも家にいるときしか飲まないんですよ？

——一回でどれくらい飲むのでしょうか？

じゃっく：でもほぼ梅酒なんで、ロック4杯くらいですね。

あさまる：でもアルコール度数20%くらいあるでしょ？　それでロックで4杯って結構飲んでますよね。

じゃっく：うん。たまにビールを飲んでみようかなと思ってビールを買っても、何かビールでは、もう酔えなくなってしまって。

あさまる：耐性がついちゃってるよ。やばいですね。

——最近、あさまっくらじお中に記憶を飛ばしていたりとかは？

じゃっく：していますよ、ラジオ中はいいんですよ。タイムシフトがあるから。放送終わってから何かしゃべっていることを全部忘れてしまっていて。

あさまる：放送終わったあとにしばらく10分20分くらい一緒にしゃべっているんです。次、面白そうだからこういうことをやろうかという話を全部飛ばして、「あれ、あの話どうなったの？」みたいなことを次の日に言ってくるんですよ。「昨日言ったじゃん！」みたいな（笑）。

じゃっく：そうそうそう。あと、お酒は味が好きで飲んでいるのではなくて、ふわっとした感じが好きです（笑）。二日酔いにはならないですしね。

——あさまるさんが飲むときは何をメインで飲んでいますか？

あさまる：うちの父が酒屋さんからケースで毎月ビールを頼んでいるので、ビールですね。家に常に瓶ビールがあるんですよ。週に一回、週末とかに、じゃっくさんが「今日は飲もうよ」と誘ってくれたときに、ちょっとビールを1本頂戴と言ってもらって、それを飲んでますね。だからだいたいビールですね。

——お酒はそんなに強くない？

あさまる：年々弱くなっていますね。

じゃっく：弱くなっているよね！

あさまる：どんどん弱くなっているんですよ。

じゃっく：弱くなってるなってる。

あさまる：最初の頃は、4年前くらいはそんなに弱くないと思っていたんですけど、2年前くらいからぐっとくるようになりましたね。ジョッキ1杯とかでぐらってきて「あれっ？」って思うことがありますね。最近は1杯でベロンベロンになりますね。

——じゃっくさんは逆に強くなっている感じですか？

じゃっく：ん～、そうなんですよね。このあいだ、ロゼワインのボトル1本飲んでみたんですけど、酔わなかったですね。やっぱり梅酒が一番キますね。

あさまる：だって度数的にそうでしょう？

じゃっく：そうですね。

——これからやりたいことを教えてください。

じゃっく：あさまっくでのコラボで動画アップですね。

あさまる：それ去年からずっと言ってますよ！（笑）　ちゃんとやりますよ！　プライベートのほうは何かある？

じゃっく：何だろうなぁ、お菓子作ってみたいですね。

あさまる：じゃっくさんはお菓子得意なんですよね。パウンドケーキがめっちゃ上手いです！　独自の丸秘レシピがあるので。

じゃっく：そうなんです。

——最後にリスナーさんにメッセージをお願いします！

あさまる：Nemさんに、楽曲をシリーズで書いてもらって、それを歌わせてもらって、こうなったらいいなぁみたいに思っていたものが実現して、制作スタッフさんや声優さん、関わってくれた方々には本当に感謝です!!　あさまっくを知らなくともぜひぜひ聴いていただきたいです！　よろしくお願いします！

じゃっく：『あやつりピエロ』もだけど、今後も何か動きがあると思うし、あさまっくを見ててくれたら何かあると思うので、この雑誌もこっそ見ていてください！

あさまる：これからもよろしくお願いします！

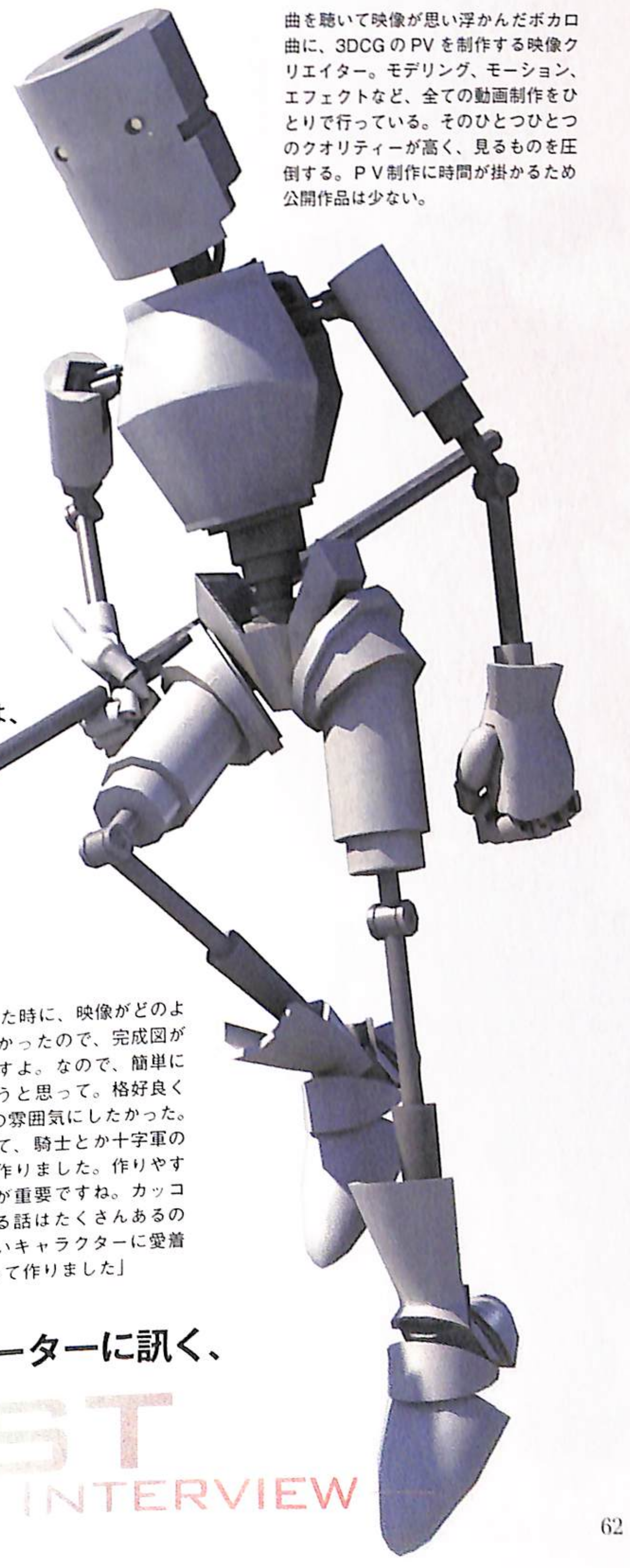
ドラマCD『あやつりピエロの物語』

ボカロPのNemが制作し、あさまっくが歌った名曲『あやつりピエロの恋の歌』『あやつりピエロと君の歌』『アリョーシャ～あやつりピエロのはじまりの歌～』を原案としたドラマCD。
発売日：2012年5月23日
価格：￥2,520（税込）
特設サイト：http://www.team-e.co.jp/sp/pierrot/
あさまっく Official Web Site：http://www.team-e.co.jp/sp/asamack/

「歌詞を見なくても、動画を見ているだけで核の部分がなんとなく伝わる感じにしたいと思っています。そこに、〝これを表現したかった〟というような気持ちを込めるというか……。」

ニョホホ氏

曲を聴いて映像が思い浮かんだボカロ曲に、3DCG の PV を制作する映像クリエイター。モデリング、モーション、エフェクトなど、全ての動画制作をひとりで行っている。そのひとつひとつのクオリティーが高く、見るものを圧倒する。PV 制作に時間が掛かるため公開作品は少ない。



の人氏のインタビューで『気になっているスゴイ動画』として
介された映像クリエイターがニョホホ氏だ。3DCGを使った動画は、
ャラクターや世界を創造するモデリング、表情や動きを指導する
ーション、照明（光源）や爆発などのエフェクト、
、カメラマンが必要になる。その全てを
とりで担当しているのがニョホホ氏なのた。

「コストをかけないで作業をした時に、映像がどのように出来上がるか分かってなかったので、完成図がまったく分からなかったんですよ。なので、簡単に作れて、不器用なやつにしようと思って。格好良くない感じというか、作りかけの雰囲気にしたかった。それと、学生が喜ぶ要素として、騎士とか十字軍のヘルメットの感じも入れつつ作りました。作りやすい、見た目が格好良くないのが重要ですね。カッコイイキャラクターが大活躍する話はたくさんあるので、日の当たらない脇役っぽいキャラクターに愛着が湧く感じになればいいと思って作りました」

気鋭の3D動画クリエーターに訊く、

Plus ARTIST INTERVIEW

VOiCE

ラヴリーP氏が作ったボカロ曲に、ニョホホ氏が 3DCG で PV を制作したデビュー作。コストのことを考えシンプルにしたというロボットのデザインと、場面の少なさが逆に良い形で作用している。
ニコニコ ID：sm5857175

ニョホホさんがボカロ曲のPVを作るきっかけには、実の弟さんがかかわっているという。

「その頃は、会社を辞めて無職でした。夏の暑い日に部屋でゴロゴロして、毎日市民プールみたいな所に行ってばかりいたんです。いつも出勤で使っていた電車が通りすぎていくのを、〝普段の俺だったら、あの電車に乗っているんだろうな……〟と思いながら、ぷかぷか浮いているみたいな感覚で眺めてました。

子連れの親の〝あの人なんなんだろう、仕事しなくていいのかしら〟という視線に耐えながら、健康的になろうと思って太陽の光を浴びていたんですけど、それを1カ月ぐらいやっていたら、弟が〝兄貴が会社を辞めたらしい〟と聞いてやってきたんですよ。僕が部屋で芋虫みたいになっているのを見て、〝なにしているんじゃー〟ということになりまして、創作的なことをやってみたらどうだと言われて。その時、危うく弟のお気に入りの曲のPVを作らされそうになったので、慌てて自分が好きなものを作ると言って、作り始めたのがきっかけですね」

初めてのPVは、ボカロPとのコラボではなく既存曲にPVを付けるという方法だった。どのようにして曲を選択したのだろうか？

「初めの曲は自発的に選んでいないんです。デイリーランキングとかを垂れ流しにして、作業をしながら何気なく聞いている時に、映像が音楽に合わせて浮いてくるということがあって……。〝いいなー〟と思いつつ、このイメージで作っていくとこういう構成になるなぁなんて思い始めたんですよ。

そうすると、これはあの系統の作品っぽいという風に分かり始めてきて、〝これは泣ける〟とか、〝この辺がすごい格好良く見せられる〟という思いが出てくるので、それを並べていって細かく作り始める感じですかね。だから、〝一番最初に何の曲でPVを作ったのか？〟ということに関しては、僕自身が選んでいるわけではなくて、勝手にイメージが浮かんできたものを作品にしているだけなんです。だから、この曲で作れって言われると、結構大変なんですよ。この前もそれで苦労したんですけど（笑）」

曲に合わせて構築するのではなく、あくまで曲から感じる映像のイメージが創作の源ということなのだろうか？

「映像が浮かんでこないと、どんな動画を作ったらいいのか分からなく

「自分の作品の中で一番好きなのは、現在作っているものです。それはなぜかと言うと、作る前の、頭の中でもやもやしている時が一番楽しいからです。

なるので、ただカッコいいだけの動画とか、ただカワイイだけ、みたいな動画になりがちなんですね。

まあ、個人の趣味という範囲だったら、頭に浮かんできた内容を動画にしていく方が見ている人も楽しいと思うので、基本的に依頼は断る展開になりがちです。イメージが浮かばないと難しいんです。変なモノを作ってがっかりさせたくもないし」

頭の中に浮かんだイメージを実際に映像にしていくとなると、やはりコンテの存在が欠かせなくなってくると思うのですが、どのように描かれるんですか？

「人と組んだり仕事でやる場合は、綿密に字コンテから始めて、絵コンテを描いて、ビデオコンテを作って秒数を見ていくんです。けど、コンテとかって人に正確に伝えるための手段だと思ってるんですね。なので、絵で描いちゃうと、その構成が決まってしまうので、個人でやる場合は、もっと流動的にしていきたいと思ってます。

既に構成が決まっていたものでも、朝、会社に行く時にふと曲を聴いてみたらワンカットを思いついたりしちゃうんですよ。それで全体をずらしてしまったりもするので、や

「軍とかではなく、宅配便のおっちゃんが、実は大したことしてないんだけどカッコイイ、みたいな。そういうの作ると伸びないんですが、どうしてもやりたかったんです。

BRIGHT RAiN -Another mix.-

ラブリーＰ氏のボカロ曲を聴いて映像が思い浮かんだニョホホ氏が、ＰＶとして3DCGで制作した２作品目。前作はロボットの出演が多かったが、本作は人間が全編にわたって出演しているため、その感情を表現している繊細な表情にも注目して欲しい作品。夕焼けが似合う街並みもニョホホ氏により作られた近未来の世界だ　ニコニコID：sm15212185

はり流動的なものとして捉えていますね。

とりあえず、繰り返し曲を聞いて、どっから始めても、その時の映像が頭に浮かぶぐらいにイメージし続けてから作り始める感じなので、絵コンテに割く時間を聞かれることがあるんですが、個人で動画を作る時はほぼ描きません。

時々、〝あれ、ここの秒数ってどうなっているんだろう〟と思い始めた時に、まとめるために走り描きしたりはしますけどね」

コンテはもちろん、曲もイメージも頭の中に入っていて、ある程度まで固まっている状態まで練ってから作り始めると。

「逆を言えば、そこまで頭の中で構成やイメージが固まらないと動画を作れないんですよ。だから、〝同じ曲ばかり繰り返し聴いていてよく飽きないね〟って言われるんですが、完成した瞬間に聴かなくなりますね（笑）

いま作っている動画もそうなんですけど、いつでも聴いていて、イヤフォンを外すと、それが鳴っているという状態です。『BRIGHT RAiN』は1年半ぐらい掛かったので、1万回以上は聴いているんじゃないかなと思いますね」

ニョホホさんの動画と言えば、滑らかなモーションやモデリングが特徴として挙げられる。動画ノウハウはどのように学んだのだろうか？

「小さい会社に勤めているので、人が足りなくなったらその仕事をやらないといけないということもあり、最初はモーションを担当していたん

をやれみたいな感じで、だんだん投げられる内容がアバウトになってきたんです。〝ここキャラクターが必要だけど、キャラの人、手が埋まっているから自分で作るか〟みたいな感じで自分で作って、〝エフェクトがいるなー、エフェクトの人に投げてる時間ないなぁ……。自分で作るか〟とやっていたら、頭の中にある映像とか人に聞いた映像とかを画面に再構成することが出来るようになってきたので、そういう仕事も増えていったんです。趣味でやる作業はそれの延長に近いので、もし100％自分で作るんだったら、どう作るんだろうと試しながらやっている感じですね。なので、いまも手探りな状態です」

腰を据えて動画を作るニョホホさんだが、製作期間についてはどのように捉えているのだろう？

「1作品の製作期間はだいたい1年ですが、目標は半年ですね。『VOiCE』は3ヵ月で作りましたが、時間がふんだんに使える時に作ったのと、あんまりコストをかけないで済むように作ったからこの期間で作れました。

2つの場面を作ってあったので、あとは2つの背景を用意するだけという感じだったんですけど、それだと不自由なんですよね。違う場面も使いたくなりますし。なので、こうして考えてみると、1曲1年ぐらいが丁度いいのかなとも思います」

曲を活かすために、あえて動画にSEや効果音を入れないクリエーターもいる。ニョホホさんは、動画

「背景は相当手を抜いてるんですよ（笑）。夕日に関しては夕焼けのようなイメージもあったんですけど、夕焼けにしてしまうと、逆光にした時に真っ黒になってしまうじゃないですか。なので、あのようになりました。背景に関しては、窓だけ光っていればビルっぽいから、そうやってみたというのもあります。時間的にずっと夕日というのはおかしいので、この地球は地軸が傾いている日本なんだとか、いろんなことを考えていましたが、さすがにそれは無理があるだろうと。昼間のようなシーンも挟んだんですけど、それ用には作ってなかったので、すごい違和感がある絵になってしまって。やっぱり、夕日の中にいないと、このキャラクター達と街並みは映えないなと思ってすぐにやめたんですが、1カットだけ挟んであるんです。あれは自分で見ていて辛かったですね」

「BRIGHT RAiN」を作っている時は、いま作っている作品を、早く作りたかった。その時作っている作品の次の作品が一番好きになってしまいますね。ちなみに、いま作っている作品は夏に完成の予定です。

今年の夏に公開を目指して制作中の最新作。このキャラクターの構想については、2009年03月23日に本人のpixivで公開されているので、チェックしよう。

ているのだろう?

「前は知らなくてやってなかったんですけど、安くて版権がフリーの効果音の素材集が売っているのでそれを買って、ドアを閉める音とか入れたりしてプロっぽいとかニヤニヤしてます。音を混ぜられるのは楽しいですね」

動画をご自分で作り、それを発表する立場にあるニョホホさんにとって、動画作りとはどのようなものなのだろう? また、様々な音楽のジャンルがある中で、ボカロ曲を選んだ理由も知りたい。

「動画作りはライフワークですかね。遊びでもあるんですけど。クリエイターとか表現者というような、絵を描いたり音楽を作ったりという人達は、いまの風潮だとプロになりたいって人が多いですよね。そのために専門学校にいったり、大学や美大にいったり、音大にいったりする人が多いと思います。なんですけど、それで、どういうわけかプロにならないと理想の自分になれないと考えている人が、とても学生に多いと思ってまして。

でも、実際のところ、歴史上の偉人達を見ると、例えばアンリ・ルソーとかは郵便局員をやりながら、ずっとじじいになるまで絵を描いていて、歴史上の画家になっているわけですよ。アインシュタインだって、特許局で働きながら相対性理論を考えて、あれがヒットしたから特許局を辞められたわけで、彼らは働きながらサイドでやっているんですよね。生涯の職にしている人はそんなにいない。

実際に僕は、当初はプロを目指してゲームの道に入ったんですけど、ただ、人に言われて作るものだと、それって、“自分の作品なのか?”と問われた時に、言い訳したくなる感じがあるじゃないですか。“これはこういう企画があって、上にこう言われて、納期がこのぐらいで。”って。でも、それで作ったモノを死んだ後に、あの世みたいな所で、ピカソやダヴィンチみたいな人達に“君はどんなもんを作ったの?”って聞かれた時にその作品を出して、“これは納期が”っていう風に言えるのかって言われたら、違うだろうと。“いろいろ事情はあったけど、これは全身全霊を込めて僕が作った作品です”って言えるような作品が必要だなと。そんな作品を作るのが最初の目的だったのでは、と思い立ったんですね。

ただ、動画を作りたいと前から思ってはいたんですけど、音がないとどうしようもなくて。たまにYouTubeとかにクラシック音楽とか版権が消滅した曲を使って動画を作っている人がいるんですけど、クラッシックで全部作れるかといったら、まあひとつふたつならともかく、そんなことはないんですよね。それで、どうしようと思っていた時に、ボカロ曲に出会ったんです。

だから、人からは“他人の楽曲に、こんな手間をかけて動画を作ってすごいね”って言われることもあるんですけど、僕からしてみれば、“え? どの曲にも自由に動画を付けてもいいの?”っていう感じです。しかも、“人に見せても[illegible]るの?”っていう。さらに言えば、曲もよりどりみどりじゃないですか。すごくチャレンジャー的な曲から、古めかしい曲から、最新のPOPSまで何でもあるので、僕はよだれが止まらない感じなんですよ。“よし、この音楽を使って、いろいろ自分の作品が作れるかもしれない”と。

他の人達は、自分達の好きな曲を支援するつもりでPVとかを作っていると思うんですけど、僕は、その曲を乗っ取るぐらいの気持ちでぶつかっているつもりです。それでも負けることが多いですけどね。

ラヴリーさんの曲に、最初PVを付けた後は、どうだ! っていう感じで見せたんですけど、すごい喜んでくれて。それで、ラヴリーさんから、“いま作っている新曲はコレなんだよ”って言われて聴いてみたら、“コレはすごい! 僕の好みだ”って感じで。不意打ちで殴ったつもりが、ものすごいパンチで返されちゃったので、僕自身も、ものすごい真剣にやっていますね。遊びな感じはあんまりないです。死んだ後も残るモノを作るぐらいの覚悟でやっているつもりです」

いま作っている作品は、悪のカリスマのような、絶対関わりたくない凶悪な歌姫というイメージですね。感動的なモノばかり作っているとフラストレーションが溜まってくるので、逆方向に全振りしたくなるんです。

クリエイター、または芸術家として、自分のライフワークをしっかりと持っているニョホホ氏。作品に費やす時間と思いの重さが伝わってきた。

ニョホホさんの動画は、「心の交流」や「絆」がクローズアップされている印象がある。これからの作品はどのような傾向になっていくのだろうか?

「今までは、わりと感動系が多かったんですけど、それはラヴリーさんの曲を聴いた時にそう思ったからそうなっているだけなんです。

僕としては、熱血とかノリのいいものが好きなので、大迫力の大戦闘とか爆発しまくりみたいなものを作りたいと思ってます。

あとヒーローものとか変身モノみたいな、ただTVでやっているようなやつではなくて、サイバーSFみたいなものを作ってみたいんです。テクニックも付いてきたので」

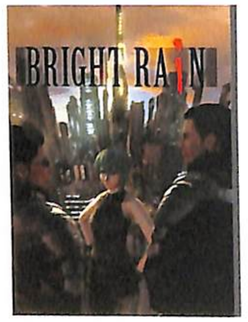
アクションもののような、激しい動画になるかもしれないと。今までの動画とは、まさに正反対の世界観ですね。

「ただ、時間が掛かるので、何でもいいから制作期間を短縮させる方法がないかなと思ってます。さり気なくツイッターでMAYAなんかを勉強している学生とかを見つけて、フォローしてきてくれた場合は、なんとか青田買いとか出来ないかなと思っているんですけど(笑)

基本的にボカロは趣味で、お金の提供を受けない文化じゃないですか。そういう人を使うってことはタダで使うことになってしまうので、それは無理だなと思ってはいます。たぶん、リテイクしまくっちゃうと思うんですよ。なので、お金がないけどどうですか、ってことを聞くレベルではないだろうと思ってます。

若干諦め気味ですね。でも、1年立てば1本作れるので、3本だったら3年だから、あと3年ぐらいこの文化が持ってくれれば、いま作りたいものは作れるので、地道に作るしかないと思っています」

Information



BRIGHT RAiN

ラヴリーP氏の名曲「BRIGHT RAiN」をニョホホ氏が3DCGで映像化したPV作品。DVDに収録されているメニューは、BRIGHT RAiN(アレンジ)/BRIGHT RAiN(オリジナル)/BRIGHT RAiN トレーナー2010予告映像の3種類+α。カラーのブックレットには、キャラクターや世界観の設定やラフスケッチが掲載されている。ネットでファンになった人はDVDクオリティーの綺麗な映像で見よう。通販価格:788円、イベント:500円。

※初音ミクはクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです

Plus ARTIST SPECIAL INTERVIEW

虹原ぺぺろん／ぺぺろんP氏

それぞれのボーカロイドの歌声と特徴を理解し、その調教テクニックを積極的に公開しているぺぺろんP氏は、作詞作曲を行なうサウンドクリエイターとしての面と、ボーカロイドの歌声の調整を手掛けるボイストレーナーとしての面の二面性を持っている。そんな多才なぺぺろんP氏を、それぞれの面から紹介しよう。

1988年生まれ。静岡県出身。A型。ボーカロイドの歌声ライブラリの調整が得意なボカロP。日々どのようにしたら各ボーカロイドを上手く歌わせることができるのか研究を行い、ノウハウをボーカロイド講座などで公開している。

Side1 : Sound Creator 虹原ぺぺろん

「LAWSON × GUMI祭り」の期間中に全国のローソン店舗で流れていたGUMI曲『シルバーバレット』は、ぺぺろんP氏が制作したボカロ曲だ。この曲ができるまでの話を彼に聞いてみた。

シルバーバレット

作詞・作曲：虹原ぺぺろん
絵・動画：御厨わた

V3GUMIの歌声ライブラリwhisperとpowerの2つを起用し、静と動のメリハリを表現した作品。ヤマハミュージックコミュニケーションズから発売されたV3GUMIの発売記念コンピレーション・アルバムCD『Happy Party ☆彡 -VOCALOID(tm)3 Megpoid(GUMI) -』に収録された曲。「LAWSON × GUMI祭り」でも採用され全国のローソンで流された。

ぺぺろんP氏のこだわりは歌声の表情、歌声の組み合わせが重みのあるテーマを演出している。

全国のローソンで流れていた『シルバーバレット』は、ご自身でも聴きに行かれましたか？

「ローソンに聴きに行きました。4分もあるので結構長いですが、自分の曲がフル尺で流れていて感動しました。ローソンは、日本に1万店舗くらいあるらしいのですが、5人がコンビニの中にいるとしたら、一回流れるだけでも5万人くらいの人に聴いてもらえるんです。反響も多くて〝ローソンで聴きました〟と動画にコメントをくれた方もいて、それがすごく嬉しかったです」

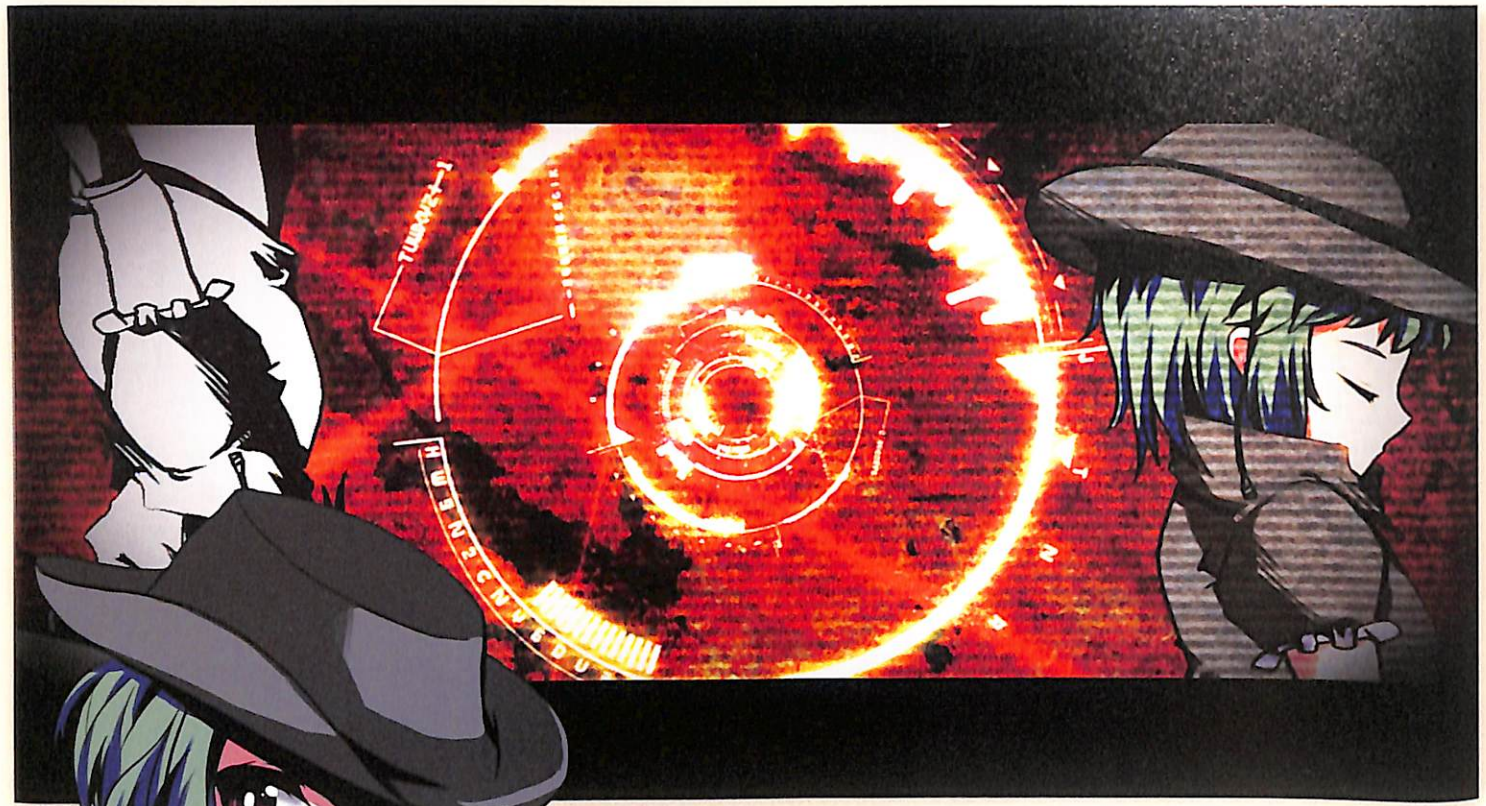
GUMIは5種類の歌声を持っていますが、この曲で表現したかった歌声について教えてください。

「V3のGUMIで作った一曲目の『レクイエム』という曲が、静かな感じだったので、もう一曲GUMIで作ろうと思ったときに、今回は反対に激しい曲にしたいと思ったんです。ですが、ただ激しい曲では面白くないので、GUMIの持ち味である豊富な歌声を使って変化をつけようと考えました。激しい歌声といえばPowerが一番適していますが、それとは別にもうひとつ歌声を使うことに決め、GUMIの中でも一番おとなしいWhisperを選んで組み合わせました」

「GUMIの豊富な歌声を使って変化をつけようと考えました。激しい歌声といえばPowerが一番適していますが、GUMIの中でも一番おとなしいWhisperを選んで組み合わせました。」

激しい曲を作りたかったとの話ですが、相反するふたつの歌声を使うことでギャップが付きました。その歌声で表現したかったテーマを教えて下さい。

「あの曲のテーマは「因果論」なんです。銃が弾を撃って、それが人に当たって人を死なせる。でも、銃を撃つのは人の指で、指を動かすためには頭の中の意志、殺意というものがなければならない。一番悪い根源を追求していくと、人を傷つけるのは、銃とか指とかじゃなくて、



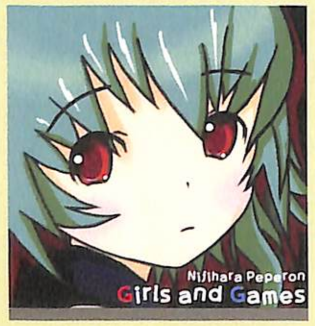
絵、動画を担当した御厨わた氏によるデザイン。銃にこだわるぺぺろんP氏から依頼されたM 92 Fと、ウェスタンをイメージさせるGUMIの衣装デザイン。作品に使う色は、赤と黒と白の3色を中心に、色が印象的な動画を作ってほしいと指示があった。

思って作りました。確かCメロあたりの歌詞で『この指が腕が体が心が』という箇所があるんですが、因果が起こる順番になっているんです。動画のコメントの中に、〝弾丸っていうのは人間の言葉を表しているんじゃないか〟という書き込みがありましたが、それは、僕の意図するところで、よく言葉をナイフに例える事がありますよね。傷つけたら治らないとか。そういうところに近いです」

激しい曲の中にある重みのあるテーマ、そのギャップを視覚的にも演出している。動画との連動について、動画を担当した御厨氏とは、キャラクター等、どのように決めていますか？

「あの銃はM92Fという銃で、映画にもよく出てくる銃ですが、米軍採用の銃なのでウエスタンのGUMIが持っているはずではないんです。敢えて最近の銃を持たせたのは、あの銃は彼女の所有物ではなくて、他人の所有物を彼女が使って人を傷つけているというのを表現するためです。帽子や服、スカートもウエスタンガールのような姿ですが、あれは僕から大体の指示を出して、動画を担当した御厨さんと相談して決めました。シーンについても、いくつか指定をしたんですが、例えば1番のAメロで影のGUMIが倒れている様子を描いて欲しいとか、銃声の音と共に画面が割れるような演出など、細かく対応してくれたので嬉しかったです。僕はビジュアル的な面もこだわりたいので、希望を伝えますが、こちらから一方的に伝えるだけではなくて、相談しながら希望するものに近づけてもらっています。動画との連動という点では、銃声についても注意して聴いてもらいたいです。〝トリガーに指をかけた〟では銃声は鳴りませんが〝トリガーをひいた〟では鳴ります」

Information



『Girls and Games』

ボーカロイド3のキャラクターを中心に作成したアルバム。ジャケットはぺぺろんPさんの描き下ろし。【収録曲：シルバーバレット feat. GUMI／ラスト・セレネイド feat. 結月ゆかり／Thousand Regrets feat. 兎眠りおん／blessed child feat. IA／ヒイフウミイヨ feat. 鏡音リン／Your crimes feat. 初音ミク／ロスト・メモリー feat. CUL／瑠璃色銀河 feat. 蒼姫ラピス／冬の牢獄 feat. 猫村いろは・miki】全9曲、￥1,000

※ GUMIは株式会社インターネットのキャラクターです。

Side 2 : VOCALO-P ぺぺろんP

ボーカロイドを調整する方法はさまざまだが、ボーカロイドエディタ内での調整にこだわっているボカロPがぺぺろんP氏だ。歌声ライブラリの可能性をテクニックで引き出すぺぺろんP氏に、話を聞いてみた。

Lying and Lying

作詞・作曲：ぺぺろんP
動画：ぺぺろんP

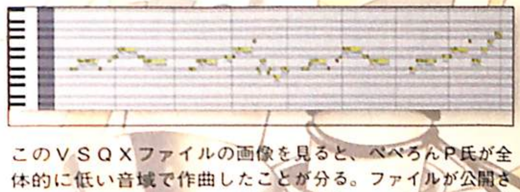
ゲームのように駆け引きを楽しむ女性がテーマの楽曲。タイトルのLying（嘘）という単語はLilyという単語からヒントを得たとのこと。デジタル楽器はあまり使用せず、アコギやピアノで渋くまとめ、ところどころでソロが挿入されているのも特徴。サビではハーモニックマイナーを使用したメロディが不安定な妖しさを生みだしている。

ボーカロイドの性能を正しく導き出すことができるぺぺろんP氏が作るデモソングとは。

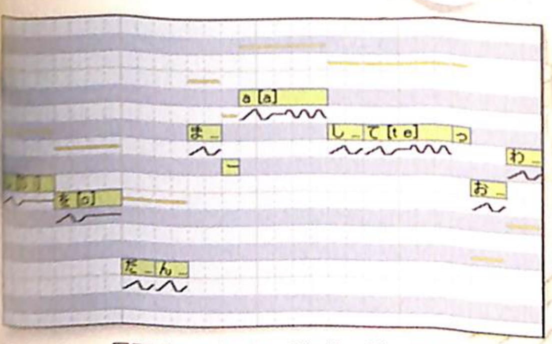
新しいＶ３用のＬｉｌｙの歌声ライブラリを使ってみたの感想を教えてください。

「Ｖ３のＬｉｌｙはＶ２版とは正反対で、いかに低い音でうまく歌わせるかが重要になります。基本的に人間は、高い音を聴くほど気持ちが盛り上がるんです。音階が下がっていくと気分も落ち着いてしまい、音階が上がると気分も上がります。だいたいの楽曲は、サビに一番高い音がくるようになっているんです。でも、高ければ高いほどＬｉｌｙは苦手なので、サビで一番高くしてしまうとサビが一番弱い声になってしまう可能性がありました。だから、バランスを大切にしました。調整については楽だったので、あんまり弱点を補正するようなことはやってないです。僕は、弱点とか、苦手なところがあるボカロっていうのは、そこを補ってから自分の表現を入れるっていう手段でやるんですけど、Ｌｉｌｙはその必要が無く、いきなり自分の歌わせ方を入力しました。高さは注意しないといけないんですけど高さを決めたらあとは問題ないです」

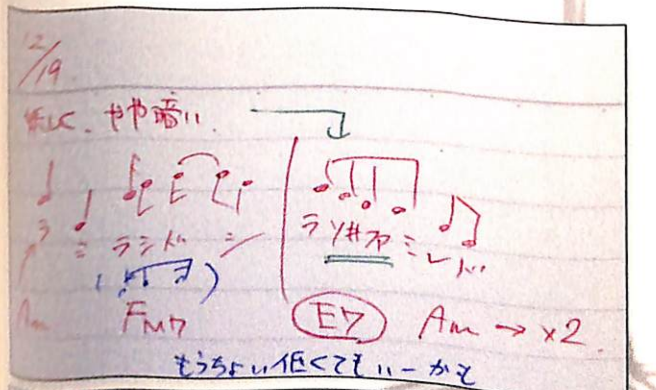
すごく人間的で自然な歌声に聴こえましたが、どう意識して調整をしましたか？

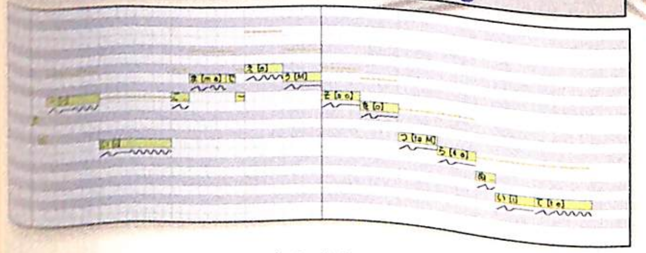


このＶＳＱＸファイルの画像を見ると、ぺぺろんＰ氏が全体的に低い音域で作曲したことが分る。ファイルが公開されているのでダウンロードしてみよう。



コブシは、一回下がって上がっており。低い所から高い所に上がるようなところで頻繁に使っている。一回下がる事によって、声が一瞬重い方向にいって上がるような、グイっという感じになるので、コブシのような表現ができる。





このメロディは、大人っぽい声のボカロが発売されたら使おうと、メモ帳に書き残していたもの。思いついたメロディは必ずメモをするぺぺろんＰ氏。

「歌いだしで印象が変わるので、最初の30秒で、〝これは人間だ〟と思わせたら勝ち。最初の『さ』という音に一番力が入っているので、あの音で引きつけることができれば、デモとして価値がある。」

©2012 avex marketing Inc. All rights reserved.　©2012 INTERNET Co., Ltd.

超低音が得意なＬｉｌｙの魅力を、彼はデモソングとして、どう表現するのだろうか

「歌いだしで、印象は変わるので、最初の30秒で、〝これは人間だ〟と思わせたら勝ちです。最初のサビは、特に力を入れています。歌いだしのところのピッチは結構迷いまして、何回もボカロエディタで打ち込んで、3回くらい試していまの形になりました。とりあえず最初の『さ』という音に一番力が入っているので、あの音で引きつけることができればＶ３Ｌｉｌｙのデモとしては価値があったと思います」

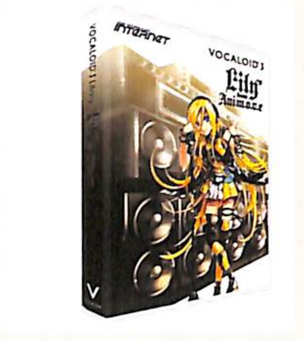
デモソングは、購入を検討している方が聴きにくるという用途がありますが意識しましたか？

「Ｌｉｌｙの一番いいところが生きるように心がけて、デモソングということは意識していました。普段は、静かな歌声に激しい曲を歌わせるなど、無理をさせる事があるのですが、今回はデモソングなので、〝Ｌｉｌｙの声〟を聴かせられるように意識しながら作りました。ジェンダーとかも分けて、デフォルトから少し高い声を用意するなど、よりデモらしく作りました」

Ｖ２版からのＬｉｌｙ Nativeも同梱されていますが、こういう試みはいかがですか？

「歌声ライブラリは多ければ多いほど選択肢がひろがるので嬉しいです。音の繋がり方、母音の発音のしかたは、所々違いを感じましたが、Ｖ２版で作った曲を聴いている人には、Ｖ２版とネイティブの違いは、ほとんどわからないと思います」

Information



V3 Lily

日本語の女性 VOCALOID の中では珍しい低音に特化したタイプで、深みのある大人っぽい声質。人間の女性ボーカルと同程度か、それよりも少し低いくらいの音域が得意。激しい曲でも静かな曲でも設定はあまり変えない方が良い。分割しても発音が途切れにくいので、複雑に音符の形を変えたしゃくりなどの表現がしやすいのも特徴。13,440 円／ 19,740 円（スターターパック）

魅力的な低音の歌声ライブラリと、高音が使いやすい歌声ライブラリの極端に違う２種類の歌声を持つＬｉｌｙは、更に魅力的な歌姫として進化した。

Plus ARTIST SPECIAL INTERVIEW

もっと知りたい神PV

プリティパンティ☆悪マリン シリーズ

http://www.nicovideo.jp/watch/sm5630948

2008年にアップロードされてから、ドタバタとした内容と会話調のメロディー、そして可愛いダブルリンが話題の「悪マリン」シリーズ。カオスな世界と称される楽曲の制作秘話に迫ってみた。

ゆーりん

鏡音リンとレンのイラストを描くことが多い。また同人活動の他にも雑誌や書籍などのカバーを手がけるなど幅広く活動中。可愛らしいリンとレンのイラストは男女問わず大人気。【http://www.ne.jp/asahi/happy/you-ring/】

ぶっちぎり

鏡音リン、KAITOを利用して楽曲を制作することが多い。代表作による「ぶっちぎりにしてあげる♪」「のろいのめがね」がある。サイケなテクノポップが好みということもあり、作曲の中に取り入れることも多い。【mylist/7885235】

ゆにめも

鏡音リンとレンを使用することが多い。デビュー作は2008年1月「リンレンラリリン」。打ち込み＋ギターによって楽曲をつくりあげている。また、ボーカロイドを喋らせることも多く同人誌などで手腕が披露されている。【mylist/3920588】

〝カオスにしよう〟というコンセプトから始まった「悪マリン」。

「悪マリン」シリーズが制作されるきっかけは、ぶっちぎりさんとゆにめもさんが〝何かやりたいね〟と思い立ったことから。すべてはそこからだ。

2008年を振り返り当時のことをゆにめもさんが語る。

「ぶっちぎりさんと共同だから、名前のままに〝ぶっちぎった〟作品にしたいなと思いました。僕もぶっちぎりさんも変わった曲調を作る性質があるので、2人でやるなら相乗効果で〝カオスにしよう〟と、まずコンセプトが決まりました」

そして、鏡音生誕祭とクリスマスというタイミングから、〝サンタを待っていたら何者かが家に突っ込んできた〟という第一弾の物語が決まったという。

「歌詞は基本的に僕が全部作っているのですが、曲というよりもおしゃべりに近いので、どんなメロディーを作ろうかな？ と考えるのではなく、リンとレンがおしゃべりするのを待つという形ですね。ひとつ会話を投げると勝手に3人が喋り始めるので、僕がそれをメモしてひとつに繋げていく形で作っています」

メロディーを作るというよりも、おしゃべりを聴いている感じでした。

かわいいイジメが大好きな悪マリン2人。なかでも好物はレンを女装させること!?

リンが2人登場する楽曲のため、デザインは対称的に仕上がった。元気なリンとおしとやかなリン。「僕の好みです」とゆーりんさん。

ゆにめもさんの投稿にはボーカロイドたちがおしゃべりをしている動画が多くみられるが、この悪マリンシリーズもまた同じ手法に近い作品といえる。

歌詞とある程度の調整がおわった段階で、ぶっちぎりさんへ素材を渡し調教をお願いしたところ、

「仕上がってきた内容を聴くと、ぶっちぎりさんらしい〝カオス〟な世界だったので、僕ももっともっとカオスにしないと！ と思い、さらにギターのギミックを調整したりしました」とゆにめもさん。

[illegible]

突然来たかと思えば、周囲をひっかき回してあっさり退散！ 悪マリンの恐ろしさだ。

ていた。

「悪魔のリンなので悪マリン。そして、可愛いリンという意味でプリティまではすぐに決定しました。あとは単純に語呂と〝ティ〟繋がりで言葉を探したら〝パンティ〟しかないでしょう！」

というのがタイトル決定秘話である。イイ話だ。

コンセプトが〝カオス〟という事のみ決定し突き進んでいった楽曲制作だけに着地点はなりゆきに近く、どこに辿り付くのかは誰も予想できなかったという。気がつけば、リン2人がレンに女装をさせて楽しんでいたのだ。

「まだ足りません、どんどんレベルを上げていきたい」と次回作への意気込みを語っていただけた。

一体、リンやレンはどこへ向かって進んでいくのか……。現時点ではまだ誰も分かっていない。3人が楽しくおしゃべりを始めてくれる日を待とうではないか。

鏡音リン、レン2周年記念、悪マリン1周年、悪マリン＆悪マレン殿堂入りを記念して描かれたイラスト。pixivや同人誌の中で紹介されている。

強い者には巻かれろの〝ルイーネブレイン。味方になってもすぐに裏切るから注意が必要！ 墨のように中身は真っ黒。

第一部ではサンタクロースを待っている純情な少年だったが……。悪マリンへの憂さを晴らすため、レンも悪魔の格好をして新入りKAITOをいじめにいくぞ！

※鏡音リン・レン、初音ミク、巡音ルカ、MEIKO、KAITOはクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです

物語

現在「悪マリン」シリーズは3曲が完成している。カオスな世界を作るというコンセプトから生まれた物語の内容を紹介します。ちなみに次号では設定や絵コンテとった奥深い世界をご紹介します。お楽しみに！

1 プリティパンティ☆悪マリン

http://www.nicovideo.jp/watch/sm5630948

2008年12月23日に投稿されたシリーズ第1弾。ハチャメチャなワールドが展開されて、いじめっ子のリンたちが可愛いと評判になった。

クリスマスにやって来たのはサンタではなく悪マリン！

クリスマス＆誕生日のレン。サンタが来るのを待っていると、なぜか目の前に悪魔が現れた。それも２人!?

悪マリンと名乗るリンたちはドレスやスクール水着をプレゼントに持ってきて……。いたずらっ子の悪マリンはレンをいじめることに快感を覚えている様子。強制的に女装をさせられるレンは必死の抵抗を見せるが、悪マリンたちの前ではあまり効果が無いようで……。聖夜に繰り広げられるドタバタコメディー。

悪マリンたちが唱える悪魔の呪文「リンレンラリリン」。レンをいじめることしか考えていない悪マリンたちの思いつきにより、レンはお姫様ドレスを着させられたのだが……。なぜか、似合いすぎてしまったようです。

悪マリン２人にスクール水着を着させらてしまったレン。終盤のメインイメージとなっている。

悪マリンたちをフィーチャーしたスピンオフミニアルバム。現在は「とらのあな」にて販売中

2 プリティふんどし☆悪マレン

第２弾はレンも悪魔の仲間入り！

http://www.nicovideo.jp/watch/sm8923574

第１弾から１年後2009年11月26日に配信された待望の第２弾。いままではいじめられていたレンが悪魔になって必死に対抗!?

悪マリンに対抗すべく、レンも悪魔になったのだが……。

やられてばかりじゃたまらない!? 第１弾で悪マリンに好き勝手されてしまったレンが悪魔になって登場。悪マレンのターゲットにされたKAITOは、以前のレンと同じくスクール水着姿にされてしまう。思い通りに操れて安心していると、またまた予告もなく悪マリン２人がやって来て……。悪マリンの強力な魔法の前には、やはり為す術がない!?

面白そうな現場は絶対に見逃さない悪マリンたち。キラーンとなにやらターゲットを発見した模様。

悪マリン２人の力は強力。レンも悪魔の格好で対抗してみたが……結局は悪マリンの思うツボ。

3 プリティパンティ☆悪マリン ep.0

http://www.nicovideo.jp/watch/sm15272313

第３弾は物語の成り立ちのエピソードが語られている。悪マリンたちがなぜレンをターゲットにいじめるのか……。全ての始まりが今、明かされる。

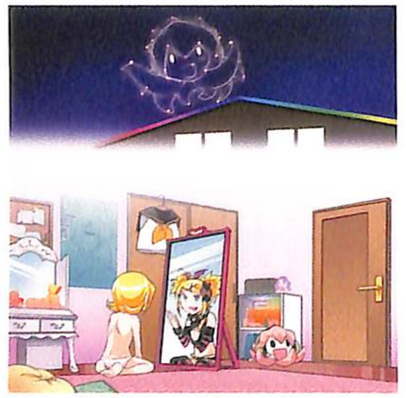
始まりは女の子の些細な願いごとだった

「好きなの!」と突然告白されて、不意打ちキス!? リンの思いを知ったレンは？

一張羅を着てリンの元を訪れようと決めたレン。殴り込みの洋服相談相手はがくぽなのだが。

最終決戦は必殺ベロベロ対決！ 長くのびた舌を使った殴り合い。

第１弾から続く「悪マリンシリーズ」の始まりが描かれた物語。凶悪な悪魔である悪マリンの誕生するシーンが描かれている。恋する少女リンが鏡に向かってお願いごとをすると、何故か鏡の向こうに悪マリンが現れ、レンを手に入れるには「悪マリン」になるしかないと教えられる。とまどいながらも悪マリンとなったリンだが力がメキメキと湧いてきて……。



「レンに思いを告げたい」とささやかな願いを鏡に相談すると、なぜか悪マリンが登場した。

悪マリン２人がついに合体して１人の強大な悪マリンに変化した。成長した悪マリンに敵う者などいない。

※大事なことなので、２回言いますが、この特集は次号にも続きます。次号（7月30日頃発売）もお楽しみに！

もっと知りたい 神PV

夕日のバイオリニスト

http://www.nicovideo.jp/watch/sm13101737

変拍子に合わせ耳に届く、繊細なバイオリンの音色。作り込まれた動画と、世界観が詰めこまれたイラスト。『夕日のバイオリニスト』は神PVと呼ぶに相応しいクオリティーだ。今回と次号、2号に渡ってこの名作の〝もっと知りたい〟を探求していこう。

Danzig

ニコニコ動画に投稿されている楽曲は他ジャンルも含め約30タイトル。合計14人の作曲者とコラボを行った。アニソン系、歌謡曲、ポップス、ロック、ジャズ、替え歌などリクエストがあればどんなジャンルの作品でもOKだが、叙情的で切ない歌詞が得意。【mylist/6466598】【ツイッター→@Danzig】

かずい

変拍子大好きなMIDI職人。DAWを使わず作業は全てマウス。インスト曲ばかり書いていたが鏡音リン・レンと出会い歌に挑戦。現在、時代の流れに逆らえずにDAW修行中。動画投稿の中にはクラリネットで演奏してみたなどもあり幅の広さが伺える。【mylist 8408213】【ツイッター→@kazuitachi】

壱村

2008年3月からVOCALOIDのイラスト投稿を始める。何でもやりたがる性格のためイラストだけにとどまらず、手描きPVを作ってみたり作曲にも挑戦してみたり、面白そうな事にはとりあえず手を出している。【mylist 10507993】【ツイッター→@ichimura123】

ピアプロにアップされた1枚のイラスト……そこから2年7ヶ月に及ぶ制作コラボが始まった！

投稿サイトから始まったコラボ作品

ニコニコ動画にアップされる楽曲の多くは、最初に曲または歌詞が完成し、そこにイラストや動画が付随していくパターンが多い。しかし、今回紹介する『夕日のバイオリニスト』は少し異なる始まり方だった。

「夕日のバイオリニスト」という題名が最も現れている一枚。この瞬間、レンは「美しい旋律」を手にすることが出来た。

ニコニコ動画には「荒ぶるバイオリン」とタグ登録されている。4分39秒から始まるバイオリン演奏のアニメは、まさに超技巧テクニック！イラストの差分を全て統合するとこのような手の動きになっている。

きっかけはクリエイタ
作品を投稿し、新たなコ
を作り上げるために利用
サイト「ピアプロ」に
た1枚のイラストだ。
8年5月、イラストと
している壱村さんが
うと勝手に思っていて
イオリンを弾いても
ボカロの中世風の歌
いなと密かに願って
ストをアップ。つま
楽曲を制作すること
たわけではなかった
　そして、投稿当日
トを見たDanzigさ
作し、壱村さんにコ
った。「誰かが曲を
といいね」と互いに話
6月に曲が「ピアプロ
された。

2008年5月21日、壱村さんがピアプロにアップした一枚のイラストがこちら。イラストの世界から曲になっていった。

歩み寄るのではなく、各々が高みを目指した合作！

音楽担当のかずいさんは「冒頭の歌詞〝沈み行く夕日よ〜〟の部分をみて、5拍子のメロディーがパッと浮かびました。そのまま歌詞を当てはめていったら曲ができていたんです」と楽曲制作秘話を語ってくれた。

こうして、曲が投稿されたことにより、ひとつの世界を共有したクリエイターたちが一同に集い、新たなコラボチームを結成。まさにボーカロイドが繋げた出会いと言える。

かずいさんが投稿した1コーラスの曲を聴いたDanzigさんは「このままでは曲に歌詞が負けてしまう！」と感じて、さらに物語を深く追求。

かずいさんへは、「フルコーラスをつくる過程で歌詞の文字数の制限に捕らわれず、メロディーを作ってください」と要望し、「互いに歩み寄っていくという形ではなく、互いが各々高みを目指し、作ったものを合わせましょう、歌詞はそのためならどれだけでも書きます」と約束を交わしたという。

曲と歌詞が仕上がったのが2008年の10月。そこから歌詞の修正とアレンジが始まり、同時に壱村さんによる動画制作が始まっていった。

曲と歌詞を活かすため、壱村さんの元でコンテを含め綿密な計算が加えられながらPVが制作されていった。3人に共通していたのは「楽曲の世界観」だけではなく「妥協しない」精神だったのだ。

物語は瞳の光を失ってしまったバイオリニストの少年レン。そして、ひとりの少女リンの物語だ。同じ時間を過ごす中で互いに惹かれ合うが、少女は家の都合で結婚することが決定する。愛し合っていた2人は人生を共にすることができず、少女は海を越え遠い場所へ嫁いでいってしまった。

ストーリーだけ聞いていると〝悲劇〟のように思えてくるが、少女は「あなたなら奏でられる」と少年のバイオリンの音色に言葉を残していた。

「結果として一緒にはなれませんでしたが、レンは情熱の音を手に入れることができました。リンへの愛のためにバイオリンを弾き続ける強い決意をしているんです。悲しみもありますが、その中に前を向いて自分の道を進んで行こうという強さが、バイオリンの旋律に秘められています」とDanzigさんが語ってくれた。

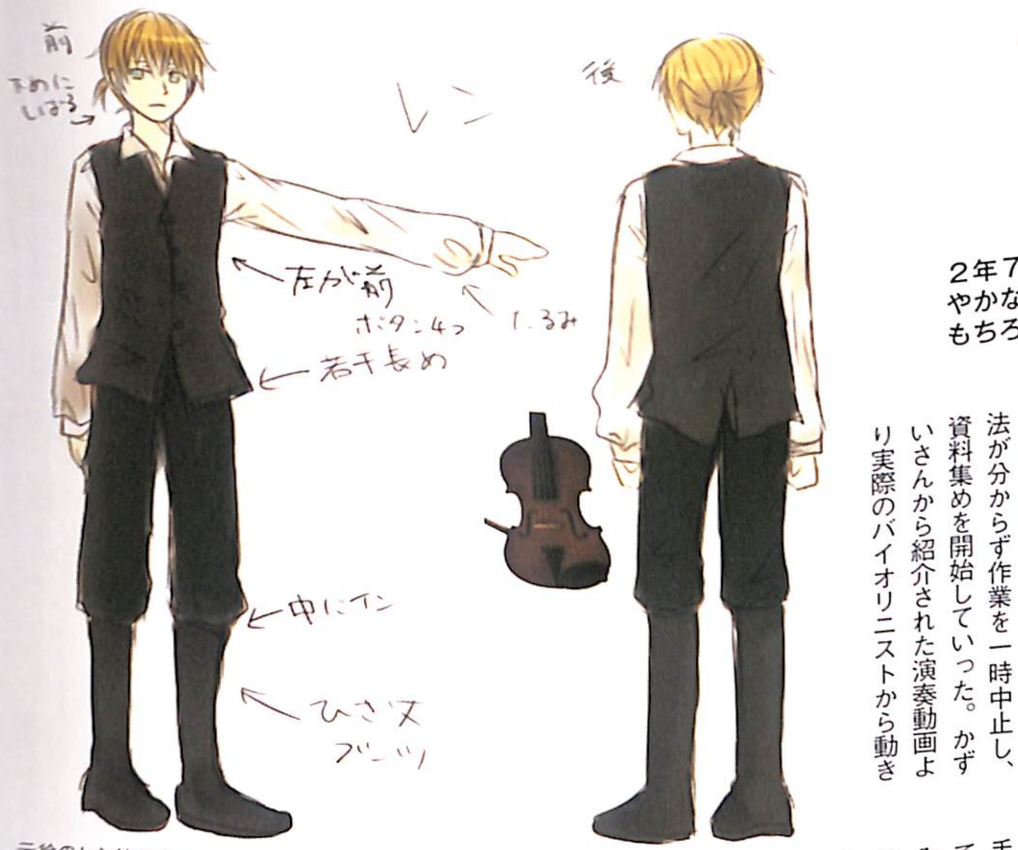
それぞれが一切の妥協を許さず高みを目指したからこそ、2年7ヶ月という制作期間の大作となり、完成と相成ったのだ。

愛し合っていても一緒になれなかった2人。リンは海を越え、花嫁衣装に身をつつみ嫁いでしまう。在りし日の思い出と現実が交互に登場しPVの世界、レンの感情へ、見る側を惹きつけていく。

※鏡音リン・レンはクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです

設定

2年7ヶ月の制作期間が必要不可欠だったと細やかな資料から伺える。キャラクターの衣類はもちろん、気になるバイオリンも！



元絵のレンはサスペンダーだったが、ヨーロッパの服装などを調べてベストを採用した。リンとは他人という設定のため髪の毛の色は若干茶色っぽくしている。

バイオリニストのレンはシンプルな衣装

華々しいリンの衣装と対比するかのようにレンの衣装はシンプルなベスト。2人の立場の違いが瞬時に聴き手にも伝わってくる。

実はバイオリニスト不在。資料と格闘の日々。

キャラクターの設定や動画を作る上でポイントとなったのは、後半。歌が無く、バイオリンが約1分間響き渡る部分だった。

「これはもう、レンにバイオリンを弾かせるしかない！」

イラストと動画を担当した壱村さんはそう考えたが、実は制作者3人の中に実際バイオリンを弾ける人間がいなかったため、表現方法が分からず作業を一時中止し、資料集めを開始していった。かずいさんから紹介された演奏動画より実際のバイオリニストから動きを学び、初心者向けの弾き方のサイトを見ながら研究を深めていったという。

「最初は雰囲気で弾いてる感じが伝わればいいかなと考えていたのですが、曲に合わせていくうちに、実際に弾いているようにしたい！とこだわってしまいました」

そこから、弦の動きと弓の動きを確認するためにテスト動画を作り、さらに清書を加えていったという。

「細かい動きを表現するために右手、左手とレイヤーを細かく分けて描いたり、バイオリンの部分のみ楽譜を別に作っていただき、指は音階や音の配置を考えて動画を仕上げていきました」

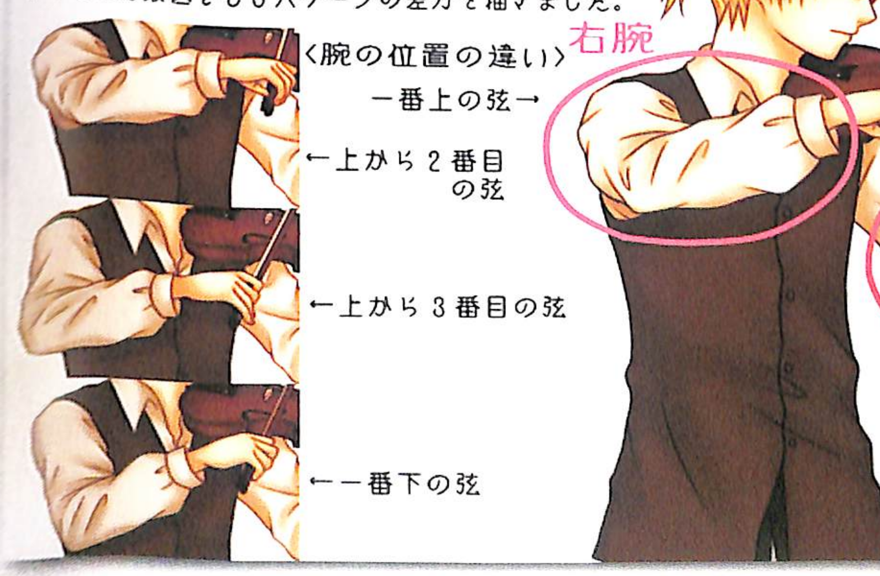
この圧倒的なこだわりこそが超絶技巧バイオリンアニメーションの完成に繋がっている。

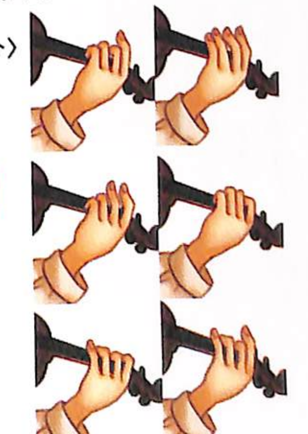
「夕日のバイオリニスト」バイオリンソロ解説

動くパーツごとに差分を作り、様々な動きに対応できる動画素材を作りました。

①右腕
弓を持つ方の腕。
バイオリンの4本の弦に合わせて肘の高さが変わり、
弓の上下の動きによって腕の曲がる角度が変わるので、
1本の弦に最低でも6パターンの差分を描きました。

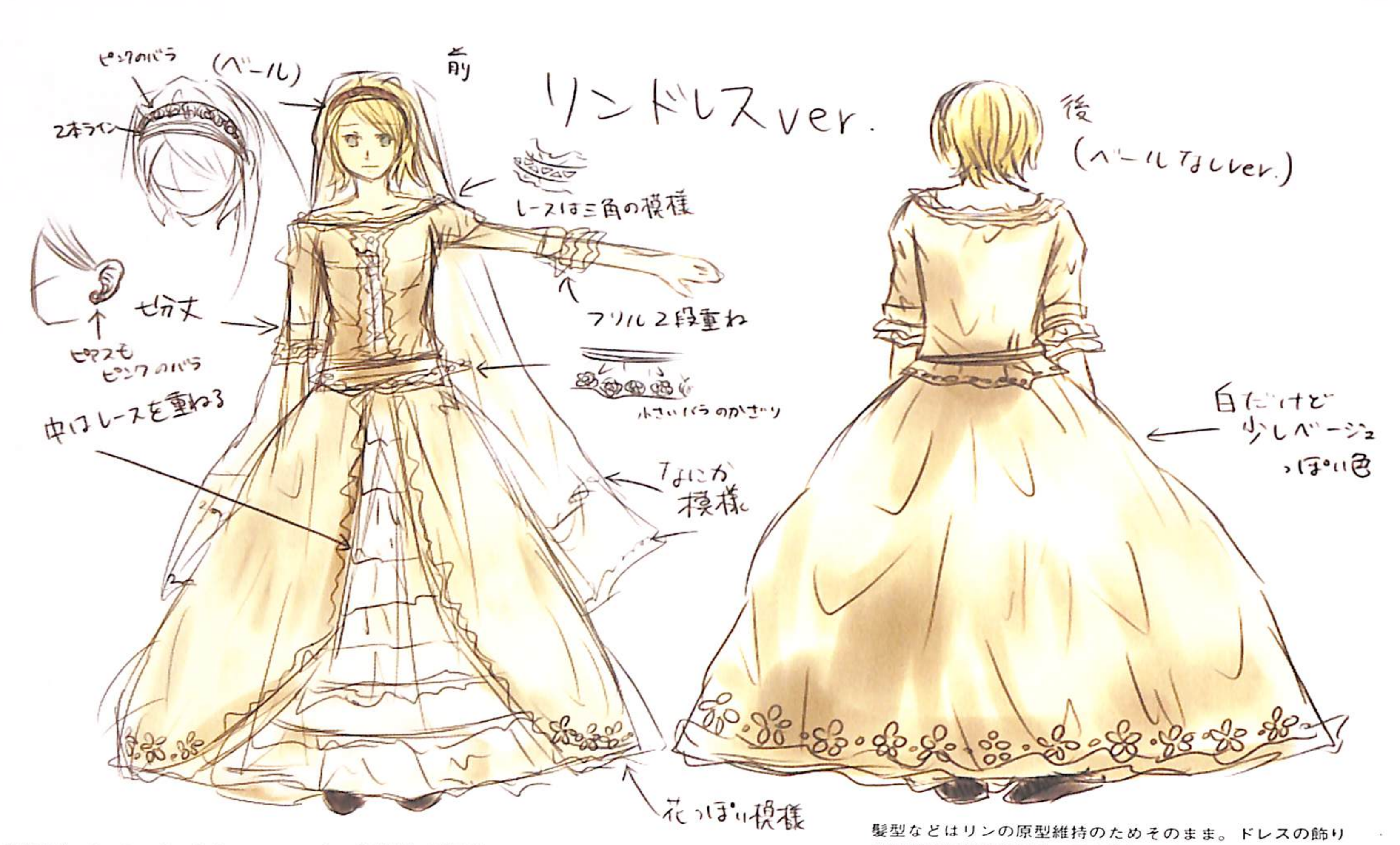
②左手
弦を押さえる方の手。
左手は音階のポジションに合わせて弦の上を4箇所に移動するようにしました。指使いに関してはそれっぽい指使いを7パターン描き、音に合わせて押さえる指を変えています。





③左腕
左腕は左腕の動きに連動するので、
左手のポジション移動に合わせて
4パターンの差分があります。

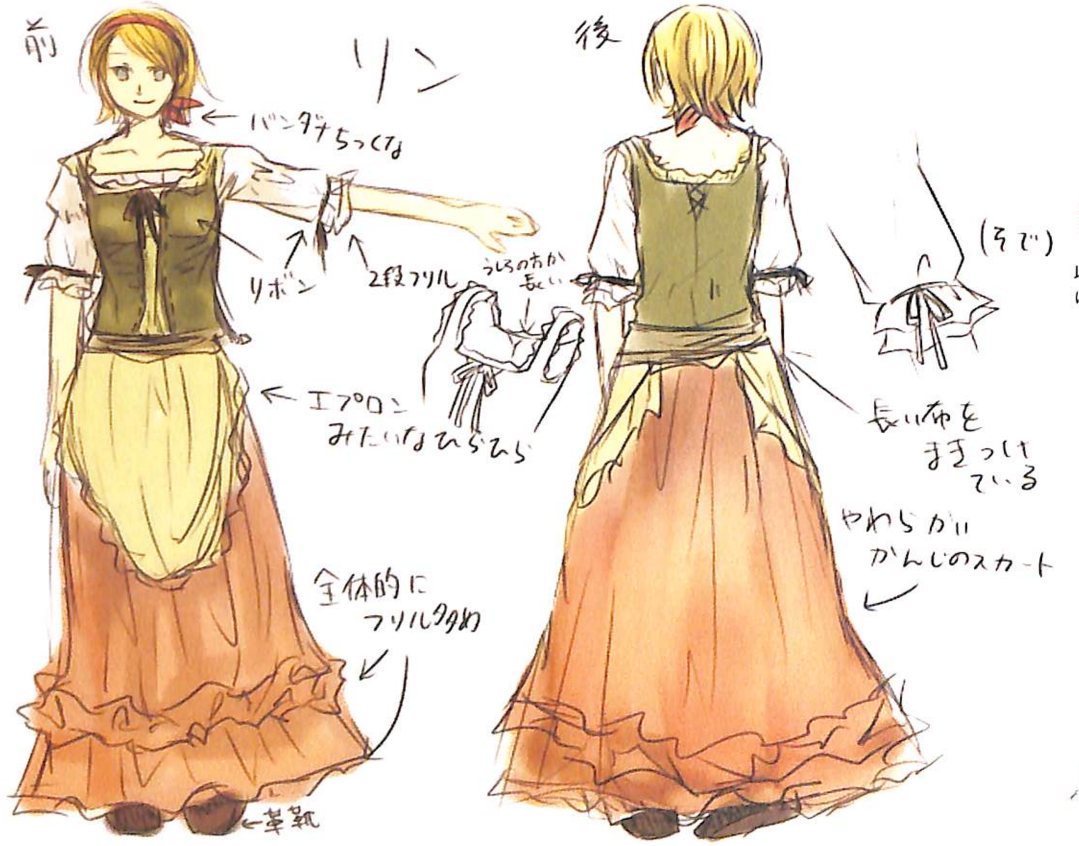
動画ではこの他にも体や髪の毛などの差分を作って動かしています。



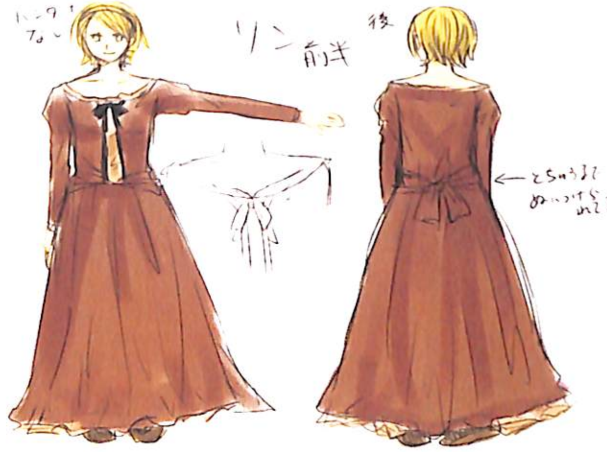
髪型などはリンの原型維持のためそのまま。ドレスの飾りや装飾品にバラのモチーフを入れ、オフホワイトのドレスで落ち着いた印象に。

花嫁となり嫁ぐことが決定しているリンの衣装数は多め

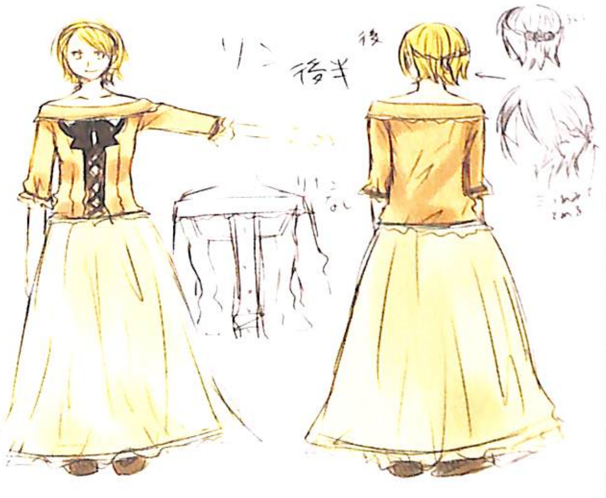
レンの想い人役のリンは、結婚を間近に控えた新婦。そのため普段着、新郎との顔合わせ衣装、ウェディングドレスとバリエーションが豊富。



形はヨーロッパの民族衣装などを参考にし、リボンやフリルを多く使い女の子らしい衣装に。
頭のバンダナはリンのリボンの原型を残したかったので追加した。



以前から持っていたドレス。元々それほどお金持ちではないため、明るすぎない色合いで清楚な雰囲気に。



リンが婚約者にもらったという設定。少し大人っぽく華やかな感じになっており、他の衣装とは違った印象になっている。

※大事なことなので、2回言いますが、この特集は次号にも続きます。次号（7月30日頃発売）もお楽しみに！

Plus-CosPlayer

以前、「本当にスゴイボカロ曲」の選者をやっていただいた現役コスプレイヤーのちゃまろさん。
一体どんなコスプレイヤーなの？　そんな疑問に答えるべく今回はグラビアでご本人に登場していただきました。
清楚な顔立ちながらもチャーミングな笑顔が愛らしいちゃまろさんのコスプレを堪能してください。
さらに、ボーカロイドへの愛も語っていただきました。

ちゃまろさん

2007年に初音ミクの存在を知り、ニコニコ動画で楽曲を聴く。初音ミクの衣装を購入したことがきっかけとなりコスプレを始めた。現在はVOCALOIDを中心に多数のアニメやゲームのキャラクターに扮している。

コスプレを始めた頃は右も左も分からなかった。衣装は〝手縫い〟で作っていました。

ボカロプラスVol.1ではおすすめ楽曲を紹介してくれたコスプレイヤーのちゃまろさん。2007年からボーカロイドを愛し続けている彼女にボカロコスプレの魅力を語っていただいた。

「ボーカロイドのコスプレはちょっと特別PVを見ながらコマ撮りをします！」

有名な楽曲のコスプレをするというよりは、自分が気に入った楽曲のコスプレを楽しむ派だというちゃまろさん。思い出深い出来事としては、ゆちゃPの楽曲〝空想パレット〟をコスプレした時だ。ちゃまろさんのコスプレをカメラマンがミクシィ日記にアップしたところ、ゆちゃPご本人がツイッターにて〝自分のコスプレをしてくれているレイヤーさんがいる〟とツイートしてくれた。

当時は〝空想パレット〟の衣装をしたコスプレイヤーがちゃまろさん以外にはおらず、画像投稿サイトではキャラクター&衣装登録から始めた状態だった。

「コスプレイヤーとして、楽曲制作の方に、自分の写真をみて頂けるのは本当に嬉しいことです」と、カメラマンさんと一緒に喜んだと教えてくれた。

コスプレを始めたきっかけは2007年の初音ミク発売から。パッケージ衣装を通販サイトで購入し、コスプレに興味をもった。しかし、次にやりたい楽曲の衣装を探してみたが、市場に流通しておらず〝自分で作るしかない〟と一念発起。

「ミシンを持っていなかったので、最初は全て、チクチク、チクチク手縫いでしたね。さすがに無理だと思いミシンを購入したら作業ペースは飛躍しましたが、コスプレの衣装数も増えました」

ボーカロイドの他にも多くのアニメキャラクターに扮することもあるが、ボーカロイド撮影は特別な部分がある。楽曲ごとにストーリーが存在するため、撮影時にPVに合わせてコマ送りに撮影し、複数枚を合わせ物語調に写真を編集するのだ。コスプレイヤーが多く登録するSNSの中には1枚アルバム機能があるため、1枚のキメショットではなく物語を楽しめるようにもなっており、人気を博している。

「楽曲の世界感とイメージを壊さないように、可能なかぎり忠実に再現したいです」

撮影はカメラマンと一緒にロケーションをさがし、歌詞とPVを見ながらどのようなアングルで撮影するかを相談することが多い。原曲はとにかくリスペクト主義！

普段と違うミクの姿が可愛い！衣装が公開されたらすぐ作りました！

雪ミク・2010ver

2010年、「第61回 さっぽろ雪まつり」を記念して制作されたねんどろいど『雪ミク』。初音ミクがホワイト×ブルーのヘアスタイルに変化するのは雪まつり期間だけの仕様。

漫画家が彩色で使用する〝コピック〟を使い、ホワイトウィッグの上からブルー部分を毛染め。コピックはカラーが豊富なので理想の色が再現できる。

ネクタイとレースの色を揃えるために、既製品のレースは使わず全て自作。ヒダを作りながらミシンで縫うのは愛と根気のなせる技。

メタリック感を出すために布屋を奔走。通常は洋服に使用しない生地だが、イメージを優先しシルバーの布を選択した。薄い生地のため裏芯を貼りスカートを作っている。

※初音ミクはクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです

衣装がシンプルなので髪飾りとウィッグに全力投入！

ウィッグはバンスという付け毛を使い、撮影現場で三つ編みとお団子を作る。髪飾りは公開されている設定を忠実に再現するため、花の種類も同じ物を用意した。

全体が黒衣装のため分かりづらいが、羽織の生地は中が透けるタイプになっている。些細な部分までこだわってしまうのがコスプレイヤーの性というもの。

指切り

楽曲：すこっぷ、イラスト：まつとり、ニコニコ動画 ID：sm10533832。タイトルの指切りとは「変わらない愛の誓い」という意味であり、遊女の恋にも遊びではなく真実があるという内容。伴奏にピアノとドラムが使われており、レトロなジャズ調に仕上がっている。

※初音ミクはクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです

ポーカーフェイス

楽曲：ゆちゃ、イラスト＆動画：HND、MIX& マスタリング：kaichi。ニコニコ動画 ID：sm12894209、2012 年 3 月 29 日にミリオン再生を達成した人気楽曲。前作『Blackjack』に引き続き、トランプをモチーフにした歌詞になっている。曲調はゆちゃ P いわく〝あげぽよ〟でアップテンポ。

大好きなゆちゃPの楽曲は小道具にこだわりました

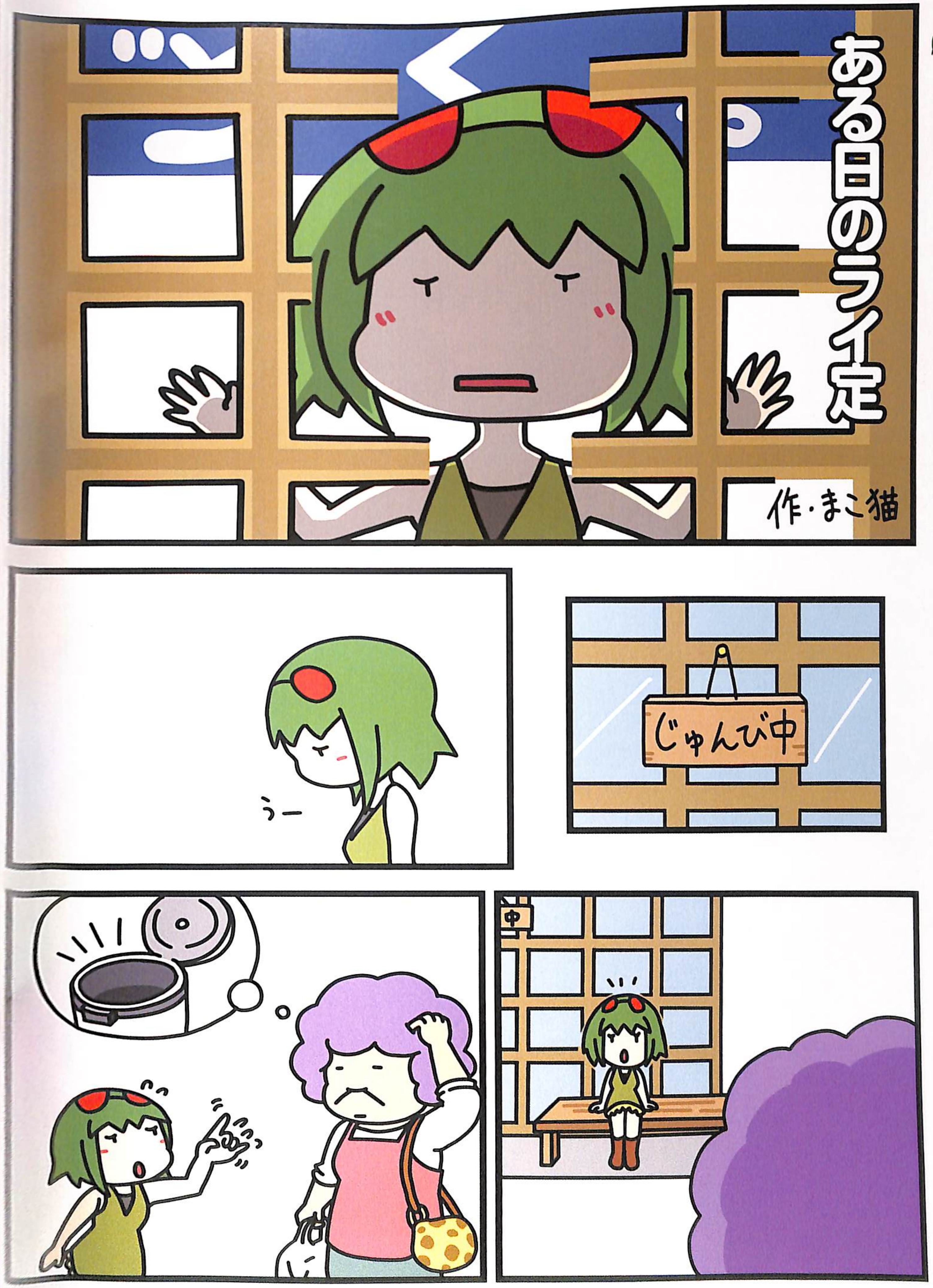
角は軽さと強度が重要なポイントとなるため、土台をアルミホイルで作り、上からブラックのビニールテープでぐるぐる巻きに！　ヘアピンを刺しウィッグに固定している。

仮面ならではの丸みを出すために画用紙を細かく切り接着。その上から合皮を貼り動画に出てくるお面が完成。小道具は簡単に手際よくがコスプレのポイント。でも見た目は大切。

瞳の上に付けているのは、なんと携帯のデコパーツ。ダイヤ型パーツは入手困難だったがデコパーツ屋で発見した。こだわりポイントは立体感。

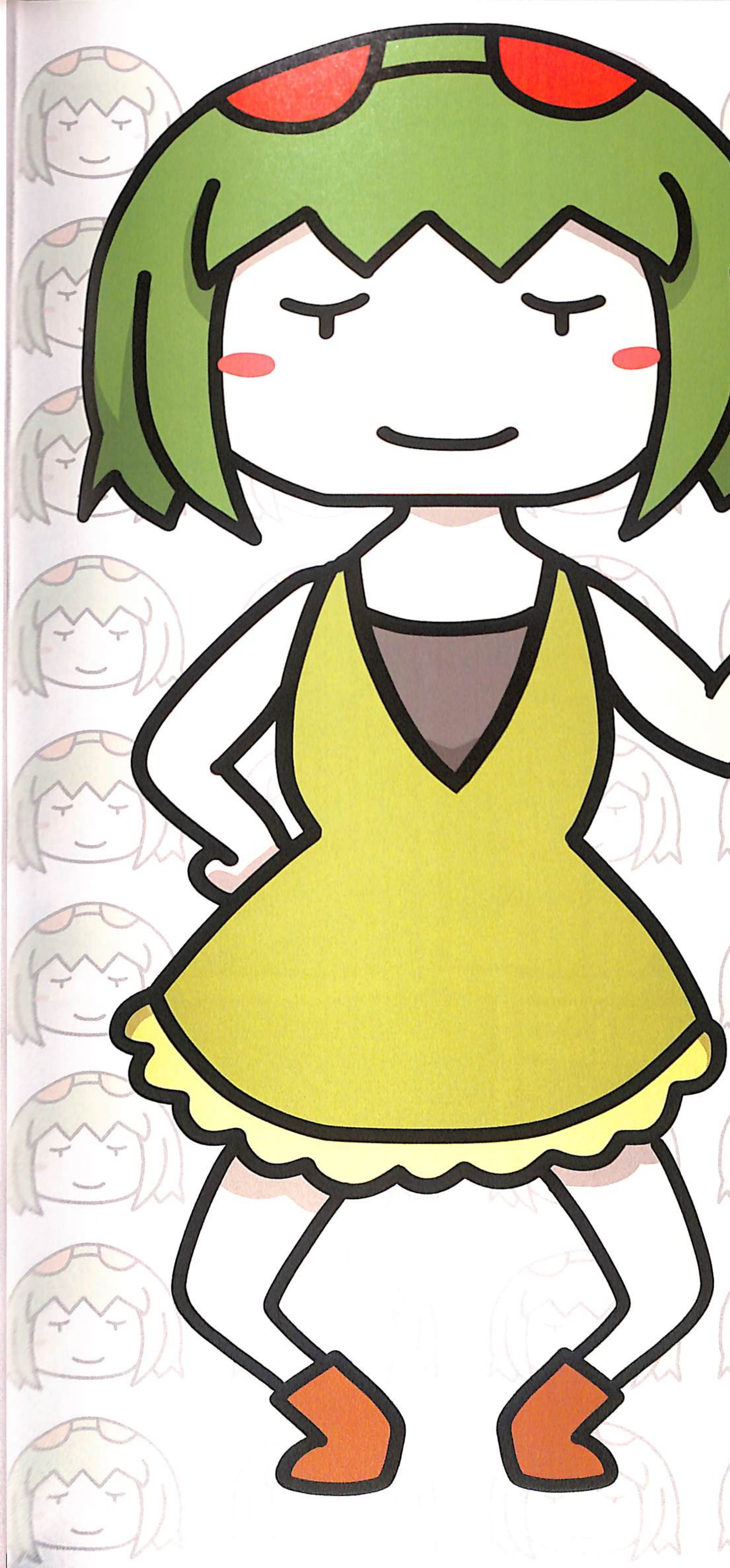
※ GUMI は株式会社インターネットのキャラクターです

まこ猫さんによる「わたしライス定食たべにきた」のスピンオフまんがです。



おばちゃぬがあめちゃぬをくれたのでした。ライス！

まこ猫作品食べてみた。



まこ猫さんのサイレントまんが「ある日のライ定」いかがでしたか？
ここでは、まこ猫さんの作品を初期からウォッチしている「るかなんP」さんにご登場いただき、まこ猫作品の魅力について語っていただきましょう。

解説・LUKANAN_P（ヒゲノフ・ダンスカヤ＠るかなんP）

まこ猫さんは視聴者を乗せて引きずり込むのがすごく上手いんだと思います。

『わたしライス定食たべにきた』の魅力ですが、やはり意外性ですね。意表を上手いこと突いてきてるなと思います。やはり第一にネタ部分、歌詞や映像が最も意表を突いてきていて面白いです。

『ライス定食～』の前の『チョッピリゲンガー』も注目を集めていたと記憶してますが、この2作を含め最近の作品では特に「繰り返し」の妙が発揮されていると思います。

まこ猫さんは初期は単発ネタが多めでしたが、最近は長い作品も増えてきました。とはいっても『ライス定食～』でも1分半はないのですが（笑）。

その内容はネタの繰り返しが中心なのですが、そのネタを繰り返す度にこちらの予想を少しずつ上回っていくという意外性は、まさに４コマまんがが雑誌で面白い連作ネタを見ているかのようです。

まこ猫さんは４コマまんががルーツの一つのようですが、私も４コマまんがは大好きです。22年前にドラクエ４コマへの投稿を、ライアンが描けなくて断念したことがあるくらい大好きです。

加えて特に『ライス定食～』では敢えて曲や動画のリズム、テンポもピックアップさせていただきたいところです。

このリズムって、舞台になってる定食屋さんとか大衆食堂とかのイメージとえらいかけ離れてます。定食屋さんでこんなリズムが流れてたらあちこちでお茶碗が鳴って騒がしいことこの上ないと思います。イントロからこの作品の魅力は始まっていて、映像も相まってノリがいいので一旦乗ってしまうと降りられないんです。

つまり、まこ猫さんは視聴者を乗せて引きずり込むのがすごく上手いんだと思います。今回まこ猫さんの作品を何本かレビューさせていただいてますが、すべての作品でそう思います。

まこ猫さんの作品の中では『ライス定食～』はかなり直球度が高いと私は思います。「ライス定食」と言うその言葉。落ち着いて考えてみれば非常にわかりやすい言葉だと思うんです。

よく考えて落ち着いて見れば最後まで避けられないボールではない……でも避けられないんです。ぶち当たってしまうんです。

それはなぜかと言うと、テンポの良さなんだと思います。序盤でまこ猫さんのペースに乗せられて、サビとかオチでガーンとやられてしまってくやしい……、でも……となってしまうのです。

まこ猫さんの作品は「いかにオチを鮮やかに見せるか」を追求していると感じますが、実際にそれを成し遂げるのは簡単ではないと思います。私はこの文で「いかにオチを鮮やかに見せようか」と考えて30分で断念しました。

作品の中では多くの視聴者が「どんなオチを持ってくるか」を待ち構えます。待ち構えるように持って行くのも手腕だと思いますが、そうやって出来上がる「動画を開いてからオチまでの動画とコメントの一連の流れ」。これは視聴者とまこ猫さんとのゆる～いせめぎ合いであり、コミュニケーションであり、新たにやってくる視聴者にとってのエンターテイメントでもあると感じています。

まこ猫さんの作品を観ていていつもすごいな～と思うのは「動画でコメントによる視聴者との掛け合い、コミュニケーションが見事に成立している」ことです。

総合すると、練られたネタにテンポの良さを絡めて、上手く視聴者を巻き込んで作品全体のエンタメ度を高めてるんだな……と唸らされます。いや、本当のことを言います。コメントたくさんでうらやましいです。

『わたしライス定食たべにきた』

ニコニコID sm16405963

このライス定食、作品の最後でお値段が明らかになってますが調べたところ、お茶碗１杯の約４分の１に相当するそうな……。ライス定食ばかり注文してたらこのお店は大変なことに！？

まこ猫作品食べてみた。感想。

『チョッピリゲンガー』

ニコニコID sm15980251

何種類かのゲンガーさんが登場しますがことごとく予想の少し斜め上を行きました。悔しい。このPVには予想の幅を巧みに狭める効果があると思います。ぜひ一緒に悔しがりましょう。

『ピー★ス★ピーカー』

ニコニコID sm13720120

動きや可愛さが段違いですね。オチは途中である程度読めるし時間も長めですが、テンポよく最後まで目が離せないです。見終わった後また最初から見て伏線を確認したくなります。

『べっしゅ』

ニコニコID sm11975749

このPVで「しつこい」だとか「追い打ち」といった気持ちを感じてしまったそこのアナタ！もうPVの術中に堕ちているに違いない。なぜならこの作品の長さはわずか28秒なのだから。

『鳥になりたいわけ』

ニコニコID sm11854494

「あ、ちょっと可愛い」なんて思った次の瞬間に「今までのは何だったの」と盛大なオチが。私がまこ猫さんの作品で初めて爆笑し、そして初めて敗北感を味わったのがこの作品でした。

『私は泣きました』

ニコニコID sm11824530

ルカさんがいつの間にか大変なことに…！初期のまこ猫さんの作品はテンポが速い！考えてるヒマはありません。ヒキも強烈。画面は動かないんですが流れるような動画だと思います。

「ぺんぎんさーふらいだぁ」が立体化…だと？

剛速球コラボは新しいクリエイターの参入で3DCG&三次元化の領域に……。

【鏡音リン】ぺんぎんさーふらいだぁ【オリジナル】
http://www.nicovideo.jp/watch/sm16981039

★詞・動画・イラスト
森田せらぎ【mylist/12726203】
雪月佳【mylist/18783808】
tourou【mylist/14413734】
★マスタリング
かごめP【mylist/13631314】kagome_p】
★きょく
いたちま【mylist/12517482】

おけ→ http://piapro.jp/t/IHDT ﾝﾊﾞｯ！

『ぺんぎんさーふらいだぁ』の"イェエエエー"が耳にこびりついて離れない今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか？ どうやらジョイサウンドでのカラオケ化も進んでいるようで、"ペンギンのペンギンによる、ペンギンのための羽…〈中略〉…荒ぶりたいときだってあるのよぉ～"と叫べる日も近いと言うことです。

さて、そんな今日この頃でありますが、ツイッターを見ていたら、いたちまPが本当にサンシャイン水族館に行き、ペンギンたちに「ぺんぎんさーふらいだぁ」を聴かせているツイートが目に入りました。い、いたちまPさん……。

『ぺんぎんさーふらいだぁ』がクリエイター同志による"剛速球キャッチボール"によるコラボレーションであることは、ボカロプラス・キャラクターSPでお伝えしたとおりなのですが、そのコラボレーションが飛び火しているのであります。

バーグPという人が"ペンリン"ちゃんにいたく感激して連絡してきたのである。

「僕の友だちにすごく3DCGが得意なヤツがいるんで、3DCGデータにして立体にしましょう」

普段使わないカタカナ用語が多かったので、右のコメントはものすごくシンプルにしている。ローランドという言葉は聞き取れたのだが、平面イラストから立体化までの道のりなど想像もつかないので、いたちまPさんと森田せらぎさん、そして雪月佳先生に"とある人が立体にしてくれるらしい、なったら見せます"とメールしたのである。

そんなこんなで、2・3日して編集部にバーグPからメールが。

イェエエエー……。って、すげぇぇぇ、コレ。雪月先生の"ヘドバンぺんりん"が3DCGになっちょる！ そしてまた、『ぺんぎんさーふらいだぁ』制作委員会におメール。

すると、いたちまPさん以外からメールにお返事をいただきました。

「ペンリンちゃんが3D化とかなんかとんでもない事になってきてますね！ どんどん『ぺんぎんさーふらいだぁ』のコンテンツが大きくなっているのが楽しみで仕方ありません。しかし3Dがめちゃくちゃ滑らかで流石の仕上がりですね（雪月先生）」

「3DCGペンリンちゃんかわいいです。これが不思議な技術で立体化されるのですね……感動です（森田せらぎさん）」

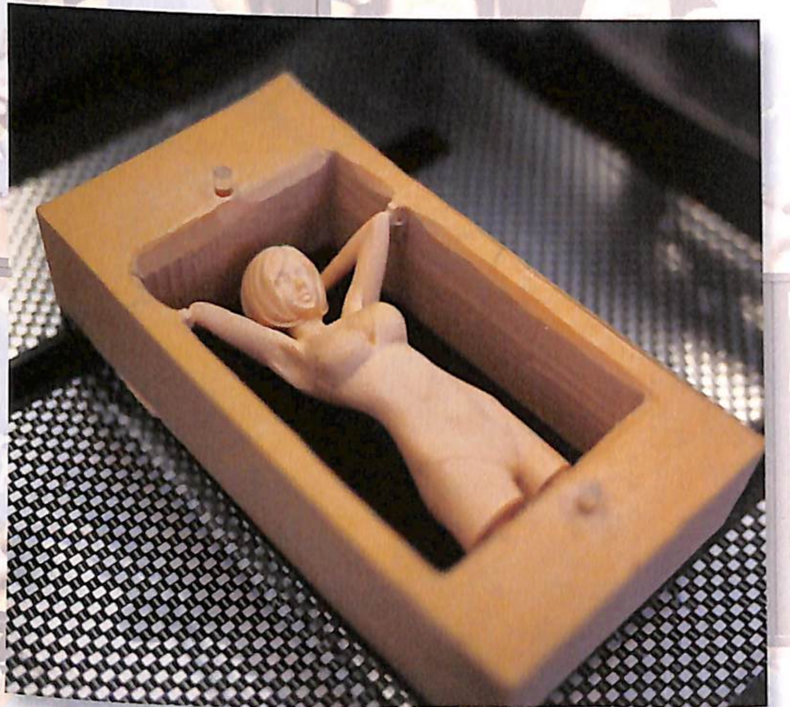
おおおっ、いたちまPさんからはツイッターのDMできました！

雪月先生の"ヘドバンペンリン"がベースとなっているのだ。

ペンギンの、ペンギンによる、ペンギンのための3D…。削りたい時もあるのよぉぉ！

IKEDAさんが3DCGソフトShadeで生みだした"3Dペンリン。かわいいです。(´∀`)

※鏡音リンははクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです



グラマラスな美女が立体になってる！ これはIKEDAさんが描かれた"けしからん。3DCGデータをiModela（アイモデラ）で削り出したもの。

iModela（アイモデラ）iM-01 ／ Roland

ローランド ディー．ジー．株式会社から発売されているデジタル クラフトツール。コンピューター制御で樹脂などのやわらかい材料を切削加工できる。最大加工エリアは86㎜×55㎜×26㎜（X×Y×Z）。外形寸法／重量214(幅)×200(奥行)×205(高さ)mm／1.7kg。標準価格は78,750円
http://icreate.rolanddg.com/iModela/DGJ/Japanese/index.html/

問題は、誰がこのペンリンちゃんに色を塗るのか……

立体ペンリンちゃんは3つのパーツに分かれてやってきた。

IKEDAさん

ニコニコ動画で活躍中の3DCGクリエイター。3DCGソフトShadeを駆使して、同人とは思えないクオリティの作品を生み出している。『CORRUPTION GARDEN featuring 巡音ルカ [Blu-ray]』（発売元：デイライト）で堪能できる。次号ボカロプラスではその作品作りも取材させていただく予定。

iModela（アイモデラ）はパソコン制御で動作する。写真は削っている最中の状態。コレはまだ荒削りで、必要によってはマシンの刃を変更してなめらかに仕上げていく。浮き出てきたのはぺんりんちゃんの腹ですね！

CORRUPTION GARDEN featuring 巡音ルカ [Blu-ray]
【収録内容】■ CORRUPTION GARDEN 3D－PV（2D / 3D）
■ Corruption Garden【オリジナル】(2D)
■ Computer Graphics GALLERY（2D / 3D）

「本当に悪ノリ最高です！！ｗｗｗｗｗ大人の本気って怖い！」

どちらかといえば、生ペンギンに『ぺんぎんさーふらいだぁ』を聴かせにいく人のほうが怖いですけど。

そして、バーグPがペンリンを3DCGにしてくれた友人のクリエイターを紹介してくれるということになり、お会いする場所となった"超会議"の『ニコつく』へ。

「どうも～」と現れたのは、なんとIKEDAさん。そう、あのIKEDAさんですよ！（完成版【巡音ルカ】CORRUPTION GARDEN-3DPVのIKEDAさん）

バーグP、有名クリエイターとお友達なのね……。

IKEDAさんによれば3DCGソフト『Shade』で作られた3DCGデータをローランド ディー．ジー．製『iModela（アイモデラ）iM-01』で削り出すことができるとのこと。

「こんなのが作れるんですよ」と、IKEDAさんから渡されたのはIKEDAさんの作られた"けしからん"3DCGデータを『iModela（アイモデラ）』で削り出したもの。キェエエエーッ、スゴイ、スゴスギル、コンナディテールマデコマカクケズレテシマウノカ！

「削り出したらお送りしますよ」

ていうか、IKEDAさん、イケメンなナイスガイなんですけど……。で、来たんです。IKEDAさんから削り出しほやほやのペンリンちゃんが！ そして、当企画は次号"色塗り編"に続きます！ が、いたちまPさんは色塗り苦手な感じ。どうする～。

© IKEDA © Caz © 夏野 式 © 夢見白猫 ©Crypton Future Media, Inc.
© e frontier, Inc.All rights reserved.

Rio Bandのこともっと知りたい!!

KEI先生の描くKEI'sキティラー「聖葉リオ」と「雪代マイ」に新たに「北条ミミ」「倉嶋タツキ」のふたりの仲間が加わって四人組バンドが結成されたのは皆さんご存知ですよね。2012年３月には公式サイトに出逢いのストーリーも掲載され、今後どのような展開を見せるのか気になります。このバンドの大躍進を前に、今回は新規メンバーも含めて「Rio Band」をおさらいしちゃいましょう！

連載第一回

HELLO KITTY：著作 株式会社サンリオ
© 1976,2012 SANRIO CO.,LTD.TOKYO,JAPAN
イラスト：KEI
© 2009,2012 SANRIOWAVE CO.,LTD.

Mai Yukishiro
雪代マイ

ベース担当（ギターも弾けるけど、という設定）。クールなリオが口に出さないことも言って、みんなを引っ張るキャラクター。でもリオが熱い音楽魂を持っていることも理解している気の効いた存在。リオがサラサラのストレートな感じに対して、彼女はちょっとくせっ毛の印象。キティの中でも地元の雪うさぎキティが好き。頭の後ろについているフード部分も雪うさぎキティ。かぶるとうさぎの耳が垂れる感じになる。

年齢：16
誕生日：2月12日
身長：163㎝
体重：？
出身地：北海道札○市
パート：ベース

何事も積極的な活発な女の子　リオのいちばんの理解者

Rio Kiyoha
聖葉リオ

大小分け隔てなく、物事にたいして真剣な情熱家。だがその部分が同性からのウケが悪く友達が少ない。その事がコンプレックスで、口数が少ない。音楽（特に歌うこと）に真摯に取り組んでおり、真剣な分厳しい事もちゃんと口に出す性分。口数が少ない中でそういった発言が外見もあいまって、冷たい性格に思われてしまっている。また、音楽以外のことには無頓着な性格で、飄々とした物言いが拍車をかけてしまっている。

年齢：16
誕生日：11月1日
身長：160㎝
体重：？
出身地：東京都○場
パート：ギター・ボーカル

普段は口数が少ない物静かな女の子　音楽で自分の思いを伝えたい

「バンドやらない？　私と」
　このとき唐突に、リオの口から出た言葉はこれだった。たった一言。語気は冷静だったものの情熱がにじんでいた。
　リオは知っていた。自分は、この一言を告げるために北海道まで来たのだと。
　マイは絶句した。ずり落ちかけた髪留めのキティをつけ直そうとしていたが、手が震えてうまくできないようだった。
　バチンと音を立て髪留めが直ったとき、心底嬉しそうにマイはこう言ったのだ。
「実はそれ、私も言おうとしてたことなの」
　リオとマイ、ギターとベースのたった二人、ドラムもいない編成だけれど、それはたしかにバンド誕生の瞬間だった。

リオバンドのメンバーが揃ったよ！

リオとマイに新たな出逢い！個性溢れるメンバーが加わってバンド始動です！

←さて、ここからは新メンバーふたりの加入エピソードをご紹介！

お嬢様キティラー登場【北条ミミ】

繊かな琴の調べが響いていた。

開け放たれた障子戸の向こう、20畳はあるかと思われる和室で2面の琴が向かい合わせに置かれている。うち1面を、水色のキティ柄の着物を来た少女が弾いていた。

手前に奥に少女の指が弦の上を滑るたび、音が生まれる。格調高く、儚げでありながらも芯に強さを感じさせる美しい音色。

押し離しで余韻を響かせた少女の指がついに琴を離れ、ゆっくりと膝の上に戻ったとき。部屋の隅で聞き惚れていたほかの練習生たちが一斉にほうっとため息をついた。

「とてもお上手ですよ、ミミさん。もう何もお教えすることはないくらい」

向かい側にいた壮年の女性がにこやかな笑顔で告げる。

「ありがとうございます」

少女は畳に指をつき、すっと頭を下げた。

「遅れちゃったかしら？」

キティの顔を模した腕時計に視線を落とし、北条ミミは道を歩いていた。服装は着物から学校の制服へと着替えている。琴の稽古が終われば次はピアノ教室だった。教室のあるビルまでの距離を考え、計算してみる。

このままだとギリギリ間に合うかどうか。走ればおそらく余裕を持って教室で先生を待てるだろう。

ミミはそのことについて少し考えた後、肩をすくめ、そのまま歩いて行った。

ビルの自動ドアをくぐった先、腕時計で再度時間の確認をしながら歩いていたミミは、ぽすんと音を立てて何か柔らかい物に衝突した。

「あ、ごめん。邪魔だった？」

笑いを含んだ声が額の上で起きる。顔を上げると、少女の笑顔があった。

飾り気のない満面の笑顔。それがまずミミの気を引いた。歳は彼女と同じ15……か、1つ2つ上かもしれない。あちこち跳ねた髪がエアコンからの風に揺れている。一緒に揺れて、光を弾いているのはキティの髪留めだった。見れば、背中側に垂らしたフードも雪うさぎキティだ。首にもキティのヘッドホンをかけている。

順に見ていくうち、ミミの興味は横に伸びた彼女の右手へと移った。その手は壁に設置されている掲示板で紙を押さえている。4辺のうち右上の1箇所だけ、画鋲で止まっていた。今まさに左上を止めようとしていたところでミミがぶつかってしまったのだろう。

「いえ。わたしも前方不注意だったから」

儀礼的に口にしつつ、彼女の手が押さえている紙に書かれた文字を目が追う。そこには人目を引く大きめのゴシック体で『キーボード募集』との文字が書かれていた。

「キーボード奏者を募集しているの？」

「うん。ここ、結構大きなピアノ教室が入ってるでしょ。いい人いないかと思って」

少女はそう言うと、画鋲で手早くほかの3辺を止めつけた。

彼女の手が離れて、ようやくミミにも募集内容の詳細が読めるようになる。そこには少女のほか、バンドメイトらしいもう1人の写真と、2人が演奏しているライブハウスの場所、連絡先等が記載されていた。

少し長く見つめすぎたのかもしれない、とあとになってミミは思った。だから興味があると思われたのかもしれないと。

「弾けるの？」

少女の下を向いた指は、ミミの教材用鞄から覗く楽譜を指していた。

「あ、愚問だったわね。ここにいるんだから」

「練習生よ。ジュノームとリュツォウはマスターしたわ。今、第二戴冠式を練習中なの。今度発表会があって、そこで弾くことになっているから」

なぜこんなことを口にしたのか、ミミ自身よく分からなかった。琴の稽古とピアノの練習の合間に何かほかにもしてみたいと漠然と考えてはいたが、それは音楽以外のものだ。音楽は琴とピアノで十分。なのにこんなことを言ったりしたら、まるで自分を売り込んでいるみたいではないか。

案の定、少女はきょとんとした顔で見返している。

ただし、その表情の理由はミミの予想したものとは違っていた。

「えーと……それ、何？」

「モーツァルトを知らないの？　あなた。よくそれで音楽をしているって言えるわね」

そう口にした直後、ああまたやってしまった、とミミは内心思う。胸に浮かんだことをそのまま口にする彼女を「裏表がなく正直」と言う人もいるが、ほとんどの人は「無礼、偉そう」ととる。この人もそうだろうか？　……まあ、どうせここで別れたらもう二度と会うこともない人だし。開き直る思いで仰いだ少女は、しかし意外にも笑っていた。

「手厳しいなぁ。でもほら、私がしてるのはロックだから」

「ロック？」

「そう。知らない？　こういうの」

少女はごそごそポケットを探ると、キティデザインのプレイヤーを取り出した。首にかけていたヘッドホンをミミにかぶせ、ボタンを押す。途端そこからあふれ出した音に衝撃を受け、ミミはパッとヘッドホンをはずした。そうしないと、心臓が爆発しそうだった。

「これ……」

「結構いいでしょ。私たちのオリジナル。明日ここで初披露するの」

少女が誇らしげに張り紙のライブハウスを指差したときだった。

「マイ」

横手から素っ気ない声でだれかを呼ぶ声がした。自動ドアの向こうからキティのギターケースを持った長髪の女性がこちらを見ている。

「そろそろ移動するわよ」

「あ、ごめん！　すぐ行く！　——って、そうだ！　これあげるから、よかったら私たちの音を聞きにきてよ。気が向いたらでいいから！」

マイと呼ばれた少女はチケットを強引に手渡して、走り去ってしまった。

「騒々しい人」

ミミは素っ気なく肩をすくめて背を向けると、あらためてピアノ教室へ向かうべくエレベーターに乗った。もう完全に遅刻だった。

「ふう」

帰宅早々、ため息とともにミミはキティのぬいぐるみを抱いてベッドに仰向けになった。

『とてもお上手』

『すばらしいわ、ミミさん』

琴やピアノの教師の言葉がよみがえる。練習生たちもみんなこぞって称賛の拍手をくれた。

「上手……か」

それは聞きなれた言葉だった。琴の名家の家に生まれ、物心つく前から音楽とともに育ってきた彼女は、自分に音楽の才があることを知っていた。この手は、彼らが望む音を正確に生み出すことができると知っている。

宙に手を伸ばし、幻のキーを捉えて弾く。だがすぐにぱたりとキティの上に落とした。

「タン、タタン、ターン、タタタ……」

一体いつからだろう？　教師から称賛を受けても、練習生から憧憬の目で見られても、何も感じられなくなっていた。だから音楽以外の何かをしたいと考えたのかもしれない。以前は思いつきもしなかった。今の自分に満足していたのに。

ふうとまたため息が口をついて、そっと目を閉じる。今も耳に残るのは、琴の音色でもピアノの旋律でもなく、昼間出会ったマイという少女に聞かされた音だった。

あれはまるで、色の洪水だった。

リズミカルに叩かれるドラム、複雑で重厚なベースの音を背景にギターが透き通るような主旋律を生み出す。それらがぶつかり合い、カラフルな火花を飛ばしているようだった。そして今まさに紡がれようとしていた歌……。

ふと身を起こしたミミは、壁に吊るしていた制服のポケットをさぐった。手に触れた物を引っ張り出す。それは、マイから強引に渡されたライブチケットだった。日付は明日になっている。昼間見た通りに。もしやと思ったのだけれど、やっぱり明日だ。

「明日は発表会だもの。無理よね」

机上のキラデコされたキティの置物に、まるで無理やり納得させるような口調で話しかける。

「だから、これは不要なの」

ミミはゴミ箱の上で、思い切ってつまんでいた指を開いた。

翌日。ミミはピアノの発表会のホールにいた。

水色を基調にしたオフショルダーのワンピース型ドレス。ヘッドドレス、チョーカー、そして右の胸元には水色のキティリボンが付いている。イメージはもちろんキティだ。所々に小さめのフリルがあしらってあり、気品の中にかわいらしさもある。

何人かの演奏が終わった後、ミミは司会者に名を呼ばれ、舞台袖から歩み出た。スポットライトの光の中、埋め尽くされた客席に向かって一礼し、ピアノの前へ腰かけるとおもむろに弾き始める。

しんと静まり返った中、ミミの奏でる旋律だけがこの世界でただひとつの音となる。荘厳な調べに黙して聞き入る聴衆。そして演奏を終えた彼女に向けられる盛大な拍手。——それらはすべて、ミミの中のうつろな闇に吸い込まれて消えた。

「……違うわ。こんなのじゃない」

「え？　何か言いましたか？　ミミさん」

舞台袖に戻ってきたミミの呟きを拾って、ピアノ教師が訊く。だがミミにはその言葉も、教師の姿も見えていなかった。

「あっ、ミミさん！　まだ終わっていませんよ!?」

Mimi Hojo
北条ミミ

ストレートな物言いがきついかも…
ただし本人に悪気はありません

年齢：15
誕生日：4月7日
身長：152㎝
体重：？
出身地：神奈川県鎌○市
パート：キーボード

ミミは、駆け出していた。
自分でも理解できない衝動に突き動かされるまま、ミミはあの張り紙にあったライブハウスへ来ていた。その手には、1度は捨てたもののすぐゴミ箱から救い出していたチケットが握られている。
「やっぱり来てくれたのね！」
薄暗いライブハウスでもドレス姿のミミは目立つ。マイはすぐに彼女を見つけた。
「あれ？　どうかした？」
「……走るの、きらいよ」
ぼそり。それだけを言って、懸命に息を整えているミミの姿に、マイがくすりと笑う。
「終わったの？」
「ううん、グッドタイミングよ。今前の組が終わったばかりで、私たちはもう少ししたらすることになってるの。それまでここで座ってて」
チケットにはサービスドリンクがついていた。マイに案内された端の席に座り、ジュースで熱を冷ましていると、やがてカッとまばゆい光が左手の方で起きた。
照明に照らされた小さなステージに雪うさぎキティのベースを持つマイと、それからあの自動ドアの向こうにいた少女がキティのギターを手に立っている。
「はじめまして。私は雪代マイ、こっちは聖葉リオっていいます。最初っからとばしていくけど、みんなついてきてね！」
いよいよ始まるのか……周囲の意識が彼女たちに集中して、ざわめきがピタッと止まった。だがそれも長くは続かない。
「1・2・3・4」
ドラムがスティックで数を数え、軽快な音楽が始まるとすぐに人々は声を上げ始めた。立ち上がり、手拍子を打ち出す。
ライブハウスは小さくて、20名も入れば満員だ。手を伸ばせばだれかにぶつからずにすまない。しかしそんな窮屈さも気にならないといった様子で、観客は体を揺すって音楽に乗っていた。
ベースソロ、ギターソロを折り込みながらアップテンポでノリのいい曲がメドレーのように連続して続く。ミミの体も自然とリズムをとって揺れる。無意識のうち、机上でピアノを弾くように動いていた彼女の指に気付いたのは、マイだった。
「来て！」
間奏に入ったと思うや、突然マイが手を差し出した。観客は最初のうちこそ戸惑ったものの、マイの視線も、伸ばされた手も、ミミだけに向いているのだとすぐに理解する。
「――えっ？」
ミミはわけが分からなかった。隅でひっそりとマイたちの音楽を聴いているだけのつもりだったのに、いまや場の注目はステージのマイたちではなくミミに集中してしまっている。
ミミが座席で固まっている間も、マイの手は差し出されたままだった。彼女は、自分を待っている……そう思ったミミは、ふらりと立ち上がってそちらへ歩み寄る。だがステージの強いライトが足先に触れた瞬間、はっと我に返った。
私なんかがステージに立って、どうするの？
「あ……私……」
最後の一歩を踏み出せず、ステージの前でためらう。そんな彼女に向けて、リオが無言でキーボードを差し出した。
それは、ミミが来たと聞いて、もしやと舞台袖に用意しておいた物だった。まさかこんなふうになるとは思ってもみなかったが。
ミミはじっとリオの手の中のキーボードを見つめた。奇しくもそこには、ミミのカラーである水色のキティリボンがついている。偶然かもしれない。あるいは、昨日ミミを見たマイがわざわざ付けてくれていたのかもしれない。どちらにしても、それはミミの目には象徴のように映った。さながら、天からの啓示のように。
気が付くとミミはステージに立っていた。観客はミミがそうしたことで、この一連のやりとりをパフォーマンスと受け取ったようだった。
「うん、これで完璧！」
マイがにっこり笑って、カウントを刻み始める。ベースのリードで始まったそれは、一番最初に演奏した曲だった。頭でそうと悟るよりも早く、ミミの手がキーボードの上を滑っていく。
それを、リオは視界の隅で伺っていた。マイの意向を尊重したものの、ステージでいきなりの初合わせに少なからず不安を感じていたリオだったが、とても即興とは思えないミミのしっかりした演奏に納得し、これなら大丈夫そうだと小さく安堵の息を漏らす。そして、一瞬全ての音が途切れる絶妙のタイミングで入ったリオの歌声が、会場を満たした。
ミミは無我夢中だった。
客は騒々しい。琴やピアノのように黙って聞き惚れてはくれない。手を叩いてリズムをとったり、一緒に歌ったり、踊ったり。だがその熱狂こそが、この瞬間までミミ自身も気付いていなかった彼女の中の飢えを癒していた。
音楽を生み出す自分と、音楽を愛する者たちとの一体感。そして少女の指先が生んでいるとはとても思えない重厚なマイのベースと魂をわし掴んで揺さぶるようなリオの歌声。それらが混ざり合い、螺旋のように絡み合ってミミの中にあったうつろな空洞を埋め、満たしていく……。
なぜ音楽以外のことを始めてみようなんて考えたのかしら？　こんなにも音楽はすばらしいのに。
「……ふふっ」
押さえきれない笑みがこみ上げ、唇からあふれた。
今、この瞬間。ミミは完全に満たされていた。
「まあまあね」
「演奏を終えた後、楽屋でキーボードの手入れをしながらミミはそう言った。
「でも、飛び入りで入った私でもすぐ合わせられる曲では駄目よ。もっとこのバンドならではの個性を出さなきゃ」
いきなり偉そうなことを言い出したミミにムッときて、リオはかすかに顔をしかめる。これまでのリオだったら「ごめんなさい」と言っていたかもしれない。
「あなたとはやっていけそうにないわ」
と。けれど、まだ体に残る彼女とのすばらしいセッションと、このライブハウスの備品とはいえ楽器を大切に扱う姿に音楽に対する敬意を見て、ぐっと言葉を飲み込む。
そしてそんなリオと対照的に、マイは屈託ない笑顔のままだった。
「うーん……ま、そうかもね。私たちじゃ気付かなかったところっていっぱいあると思う。それを見つけるの、手伝ってくれる？」
「仕方ないわね。手伝ってあげる」
大仰に、少々芝居がかったしぐさで振り返るミミ。言葉とは裏腹に、その顔はついに望んでいたものを得られた喜びにきらきらと輝いていた。

ラーメン屋の看板娘ドラマー【倉嶋タツキ】

博多には、屋台村と呼ばれる場所がいくつかある。その内の一つ、ＪＲ博多駅からタクシーで三十分ほどのそこにリオたちが訪れたのは、まだ寒さの残る時期だった。
ちょうど昼食時で人も多い。ずらりと並んだ小さな店舗に、ラーメン、餃子、焼きそば、天ぷらといった様々なメニューが置かれているのは、十代の乙女としては心躍る光景だ。
ミミは屋台そのものが初めてらしく、興味津々の様子だ。フランス料理の店舗を見つけて、目を丸くしている。
「どこにする？」
とリオが尋ねると、ミミはもちろん「フランス料理」と答えたが、
「博多に来て博多ラーメンを食べないでどうするの！」
というマイの強引な一声で、メニューはあっさり決まった。
「あそこにしようよっ」
マイが選んだのは、見物客の多い店だった。
「もう少し、空いているところでもいいんじゃない？」
リオはミミに同意を求めたが、この年下の少女はフッと笑うばかりだ。
「どうせなら、人気のある店がいいでしょっ」
というマイの性格を既に承知しているらしい。
人垣の後ろから、三人はそのラーメン屋を覗き込み、目を瞠った。彼女たちと同じ年頃の少女が、両手に持った振りザルを茹で湯から引き上げたところだった。
少女はその腕を高々と上げ、一番上でぴたりと止めると、一気に振り落とした。それを二回繰り返し、さっと丼に入れていく。ダイナミック且つ素早い作業に、見物客が「おお」とどよめく。
「すごいね」
と、マイがリオに囁いた。まるで両腕がそれぞれ意思を持っているかのようだ。
「感心してなかで、早く食べてくれ」
苦笑しながら店主が客に言っている。
三人が座った頃にはピークは過ぎて、客はほとんどいなくなっていた。
「いらっしゃい」
少女が笑顔で迎えてくれた。「あ」と、リオが小さく声を上げた。少女がかぶっている三角巾の端に、小さくキティの刺繍がしてある。
少女も、リオの帽子、マイのネックレス、そしてミミの腕時計に目を留めた。ああ、と口の両端を上げる。
「キティラー！」
互いに指差しながら、四人は異口同音に言って、笑い合った。
「あたしは見ての通りデカイからさ、あんまり目立つの付けられないんだよね」
身長一七〇センチの少女は、倉嶋タツキと名乗った。この屋台村で、父親の営むラーメン屋を手伝っている。彼女の天空湯切りはちょっとした名物だ。
しかし父親の口癖は「早く嫁に行け」。
「素直じゃないんだよ」と、タツキは微笑む。「ありがたいって言えばいいのにね」
「うるさい」と声が飛んできた。ラーメンは美味しかった。
その夜、リオたちは博多駅に程近いライブハウスを訪れた。そのライブハウスは、若手のバンドに演奏の機会を提供することで有名で、リオたちも出演することになっていた。
一組目はコミックバンドだった。
二組目は、女子高生の部活動ということだった。全員、真っ赤なゴスロリ調の衣装に身を包んでいる。
皆、可愛らしく観客の受けは良かったが、残念なことに演奏は素人レベルで聴けたものではなかった。ミミなど、耳を塞ぐべくヘッドフォンを取り出したほどだ。
しかし、ドラムは違った。
最初の内、てんでバラバラだった音は、いくつもの川が合流するように混ざり合い、やがて一つの演奏へと変化していった。
ドラムがリードしているのは、間違いなかった。
――タツキだった。
出番の終わった彼女に、マイが声をかけた。タツキも「意外なところで会うね」と驚いた。
「あたしはヘルプなんだよ。頼まれればどこでも叩くんだ」
「じゃ、特定のバンドには参加してないの？　何で？　気に入ったトコがないとか？」
リオがそうだったように、タツキもぴたりとくるバンドに出会ってないのだろうか、とマイは思った。
「そんなことないよ。ただあたしはさ、店を手伝ってるから」
「……ああ」
忙しそうなラーメン屋を思い出して、リオは頷く。
「お父ちゃん一人残して、バンドに夢中になるわけいかないからさ。ヘルプだと、あたしの都合で動けるしね、わりと」
「お父様は、あなたがドラムを叩いていることを知らないの？」
「お父様なんて柄じゃないよ」
ミミの言葉にタツキは笑い、
「だろうね。バンドのことも、キティを好きだってことも。あたしのことは何も知らない。でも、それでいいんだ。あたしはドラムを叩ければ、それでいい」
それは強がりでもなく、諦めでもなく。
「じゃ、あんたたちの演奏、楽しみにしてるよ」
ただ、受け入れた人間が持つ強さ、だった。
二日後、屋台村はより多くの観光客を呼び込むべく、イベントを開催した。
屋台村フェスティバルと称されたそのイベントには、いくつかの企画があった。
取り分け注目を浴びたのは、活躍の場のない若手の芸人やマジシャンたちのために作られた、中央ステージだった。
「まさかあんたたちが出るとはね」
控室のテントで、タツキは苦笑した。
このイベントには、あのライブハウスのオーナーも名を連ねていた。リオたちは、最初からイベントの下見も兼ねて、屋台村を訪れたのだ。
「気づくべきだったなァ」
「……御免」
リオは小さく俯いた。
「何で謝るわけ？」
「何となく……」
黙っていたことで、結果的に騙したような気になっていた。
「話す義務はないんだから、別に気にすることないわ」
「……あんたは少し、口のきき方を直した方がいいね」
「あら、どうして？」
ミミはきょとんとしてタツキに訊き返した。
「ま、とにかく、いい演奏聴かせてよ。この前のは悪くなかったけど――」
「ドラムが悪かった」
「ミミ！」
「本当のことでしょ」
リオが顔をしかめたが、ミミはけろりとしている。
あの夜、三人はオーナーに紹介されたドラマーと組んで演奏をした。
彼女の腕は良かった。しかし、過剰なまでにテクニックに走る演奏は、三人とは明らかに噛み合わなかった。
「まあねえ。あの時も、何とかうまく合わせていたみたいだけどねえ」
リオは驚いた。あの夜の三曲だけで、問題点を見抜いたのだろうか。
「その心配は、なくなっちゃったよ」
マイがため息と共に入ってきた。片手には携帯電話が握られている。
「別の心配――というか、困ったことになったけど」
「どうしたの？」
とリオ。
「ドタキャンされた」
「え？」
リオとミミは、目を丸くした。
「なんか、どうしても外せない用事があるんだって」
「どういうこと？　電話貸して！　わたしが話す！」
ミミがマイの携帯電話に手を伸ばした。マイは請われるまま渡したが、
「電源切ってる。無理」
「そんな無責任な話って！」
ミミの顔が見る見る真っ赤になる。
「オーナーにも話したけど、今から新しい人を手配するのは無理だろうって」

倉嶋タツキ

年齢：17
誕生日：8月20日
身長：170㎝
体重：？
出身地：福岡県
パート：ドラム

メンバーのお姉さん的存在。姉貴というより兄貴に近いかも…

「それはもちろん……」
第一、音合わせをする時間もない。だが、リオが言葉を飲み込んだのはそのためではない。
「で、ドラムの音だけ入れたCDかテープを至急探します、って。曲が限定されちゃうけど、大丈夫？　——リオ？」
その時になって初めて、タツキはリオに見つめられているのに気付いた。
「あ、あたし？」
「そうか……その手があった！　タツキちゃんなら、この前聴いてるし、合わせるのは楽かも。お願い、タツキちゃんっ」
マイはタツキの手をさっと握った。
「ちょっと待ってよ！　ここじゃ無理、お父ちゃんに見つかったら……」
「店はおじさんとタツキちゃんだけでしょ？　用事が出来たとかで抜け出せば、店は閉められないでしょ？」
「そりゃ……」
「後で一緒に謝ってあげるからっ」
「それは余計に困る！」
とにかく無理！　と一点張りのタツキに、フン、とミミが鼻を鳴らした。
「あんた本当にいくつ？　その態度」
「怖いんでしょ？」
タツキは絶句した。言い返す言葉も思いつかない。
「お父様に知られるのも怖いし、今の自分と変わるのも怖い。前にも後ろにも横にも進めない。現状で満足です、なんて嘘。ただ勇気がないだけじゃない」
「ミミ」とマイが窘めるが、ミミはタツキに背を向け、控え室を出て行ってしまった。
「ゴメンね」
と、マイが代わりに謝る。
「……あ。ううん、別に……」
「でも、あの子の言うことも一理あるんじゃない？」
「それは……」
「考えてみて。まだ、時間はあるから。ね、リオ？」
こくり、とリオは頷いた。そして一言だけ付け加える。
「信じてる」
——何を？　何を信じるって？
タツキはその問いを飲み込んだ。リオの目が全てを語っていた。
一時間後、メンバーの一人が都合により来られなくなったこと、ドラム部分をCDで補うこと、その結果、曲目が変更になることを詫びた上で、リオたちはステージに立った。
ドラムがいない状況で、どこまでやれるのか。客が向けているのは、好奇の目。失望されるほど、彼女たちはまだ期待されていない。
すうっ、とリオが息を吸った。
「1・2・3（ワン・トゥー・スリー）」
——結局、二曲だけ演奏した。CDに入っているのはそれだけだったし、三曲以上あっても、覚えられなかったろう。
無難な仕上がり。
客のまばらな拍手からも、それは窺い知れた。
リオは唇を噛んだ。マイもミミも悔しそうだ。こんな演奏で、満足できるはずがない。こんなものではない。自分たちが求める音は——。
「顔を上げて」
背後から声がして、リオたちはハッとした。
「お客さんが見てる。笑って。そんな顔したら、失礼でしょ」
ゆっくりと振り返る。
真っ赤な衣装に身を包んだタツキが、ドラム・ストゥールに座っている。日の下で見れば、その服にキティが描かれているのが分かる。
リオのギター、マイのベース、ミミのキーボード、そしてタツキと期せずして揃ったその姿は、一枚の絵のようだった。
くるり、とスティックを回し、
「さあ、何をやる？　『GLORIA』？」
ライブのラストに演奏した曲を思い出し、タツキは尋ねた。だが、リオはかぶりを振る。
「ジャムセッションしよう」
ジャムセッションは即興で行う演奏だ。ほぼ初対面のメンバーで、簡単にできることではない。だが、
「いいよ」
タツキは腕を高々と上げ、振り下ろした。
不思議な光景、いや、音だった。
リオのギターとマイのベースの相性は完璧だ。二人だけで、色鮮やかな音を紡ぎだすことが出来る。
そこにミミが加わり、それぞれの音を軽やかに繋ぐ。
タツキのドラムは潤滑油だ。更に滑らかで大きな光景が広がっていく。もっと高く、高みへ、空へ、もっともっと——！
曲ですらなかった。だが、それは間違いなく「音楽」だった。
アンコールで「GLORIA」を演奏した。
全てを出し切った。
「ありがとう」と、ステージ裏でタツキは言った。しゃがみ込む彼女の手は震えていた。感動と、心地よい疲れと、スティックを握り締めた強さのために。
「何言ってんの。お礼を言うのは、こっち」
と、マイ。
「楽しかった。物凄く。こんな……自分を高めるような、どこかへ行ってしまいそうなのは初めてだった」
「あたしたちも。なんかこう、サイコーだった！」
まるで本当にケミストリー（化学反応）のようだった。どんな結果が出るのか、当人たちにも分からない。
「……満足？」
ぽつりとリオは尋ねた。うん、とタツキは頷いた。
「こんなので、満足？」
畳み掛けたのはミミだ。
「嘘。わたしはもう一度やりたい。このメンバーで、四人で、もう一度！」
ミミは、泣き出しそうになっていた。
ゴメン、とタツキは呟く。スティックと己の手の平を見つめ、
「本当はまだ叩きたい。足りない。……でも、あたしはこれ以上を望めない。ここにいる、それでいいんだ」
「……そう」
リオもマイも、頷くしかない。
一緒に来て。
一緒にやろうよ。
喉元まで出かかった言葉は、どうしても言えなかった。
「馬鹿野郎」
四人は振り返った。前掛けを肩にかけた、タツキの父親が立っていた。
「お父ちゃん……どうして？　店は？」
タツキは慌てて立ち上がった。リオたちも続く。
「休憩中にしてきたとよ。俺だって、イベントに興味があるからな」

タツキの顔から血の気が引いた。
「ゴ、ゴメン……あたし……」
「お前がこっそりしとることば、知らなかとでも思ったか」
タツキは目を丸くした。
「……知ってたの？」
「服ば隠して、時々出かけとったろうとよ。気づかなかはずはなか」
リオとマイは顔を見合わせた。やるね、お父さん、と目だけで会話する。
「どうして黙ってたんですか？」
と、これはミミだ。
「やりたいことがあるなら、自分からゆうのが筋やろうとよ。大体タツキは、物分かりが良すぎるとよ」
「言えてる」
と、マイが頷く。
「でも……店は……」
「あんなパフォーマンスに頼らなくても、味だけで勝負できるとよ。馬鹿にするな」
タツキは俯いた。拳を握り締め、キッと顔を上げる。
「あたし、音楽をやりたい。このメンバーと！」
言った！
マイとミミは、思わずハイタッチをしていた。リオは目を細めている。
「やればよかよ。三年やるとよ。そん代わり、三年経って物にならなかったら、帰ってきてどっかに嫁に行け」
その言葉にカチンときたミミが文句を言おうとしたが、マイがその口を塞ぐ。
「物にならないわけがない！　この子たちと一緒で、トップになれないわけがない！」
父親は、にやりとした。
タツキはリオを見た。リオはただ微笑んでいる。こう言っているように思えた。
——だから言ったでしょ？「信じてる」って。
翌日、タツキは必要最低限の荷物だけを持って家を出た。
見送る者は誰もいない。しかしタツキは、気にしなかった。彼女の目には、未来へ続く道しか映っていない。振り返る必要はない。
強がりでも、諦めでも、受け入れでもなく、自分で選んだ。
リオ、マイ、ミミ、そしてタツキ。
ここから物語は始まる。
『ガンバって！』
カバンについたキティが、そう言うかのように小さく揺れた。

Books

2008年３月ニコニコ動画に投稿された鏡音リンの楽曲『ココロ』。あたたかく優しい楽曲に定評があるトラボルタ氏によって制作されたこの歌は、多くの反響を呼び、500件以上の派生作品が生まれた。楽曲は現在170万回以上の再生回数を超えている。楽曲が投稿された翌年に舞台化、次いでニコニコミュージカルでも演じられた。そして投稿から４年経った今、舞台の脚本を担当した石沢克宜氏によってあたたかく切ない“ココロ”の物語がノベルとなって登場。制作に関わったみなさんからのメッセージを読んだら書店へGOです！

『ココロ』

著：石沢克宜
原作：トラボルタ
イラスト：なぎみそ
出版元：PHP研究所
発売日：2012年4月27日（発売中）
定価：本体1,200円（税別）
■公式ＨＰ
http://kokoronovel.com/

© Torabolta 2012
© CRYPTON FUTURE MEDIA,INC. www.crypton.net

▶▶ トラボルタさん（原作）

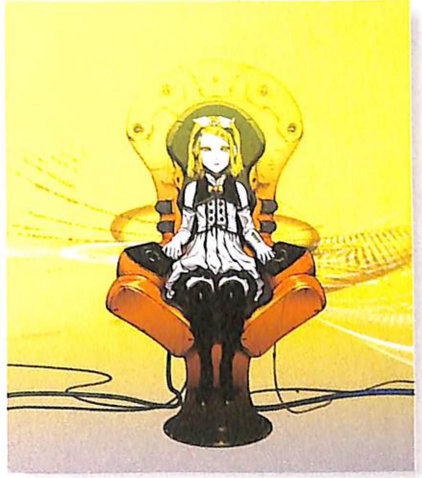
原作曲を作りましたトラボルタです。石沢さんには以前この『ココロ』を舞台化していただきまして、それはとても光栄な出来事でした。さらに今回小説にもしていただけて、なんだか恐縮です。なぎみそさんにもいつもお世話になっているのですが、タイトなスケジュールにも拘らず素晴らしいイラストをたくさん描いていただけて幸せです。自分以外の誰かの力のお陰で今があることを常々感じさせられると共に、感謝の気持ちでいっぱいです。この小説が作成されていく工程を最初から見てきましたが、とても良い作品に仕上がっていると思います。ぜひ多くの方に手に取っていただけたら嬉しいです。

▶▶ なぎみそさん（イラスト）

石沢版『ココロ』に関わるのは舞台版の映像演出からになります。挿絵の仕事をしてみたいと思っていたところ馴染み深い作品を手伝うことになり、ここぞと全力で挑みました。本誌イラスト、４コマ漫画、トレイラー動画編集とできる限りを尽くしました。装丁にも口を出したりと、かなり五月蝿いやつだったんじゃないかなぁ、と思います（笑）。またこのチームで仕事がしたいですね。そんなこんなで思い入れのある企画になりまして、より多くの方に読んでいただけるとありがたいです。

▶▶ 石沢克宜さん（著）

ボカロ楽曲の二次創作として始まった最初の舞台化企画から約３年。最終的に小説というかたちで決着をつけることができて、本当に嬉しく思っています。この小説は、『ココロ』という曲に対する、私が今できる限りのリスペクトです。ベースは舞台の脚本ですが、舞台に比べて小説は自由ですので、場面も飛ばし放題ならキャラクターも出し放題ということで、いろいろと再構築してみました。舞台版とはまたひと味違った物語を楽しんでいただければと思います。



イラスト（ピンナップ）：なぎみそ

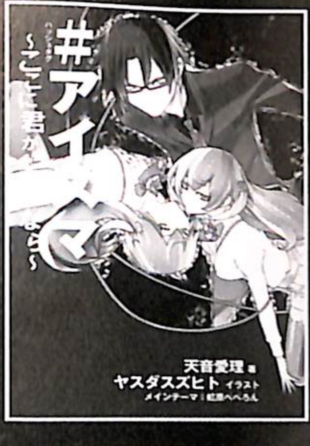
イラスト（ピンナップ）：なぎみそ

#アイスマ スピンオフCOMIC

安土桃色時代

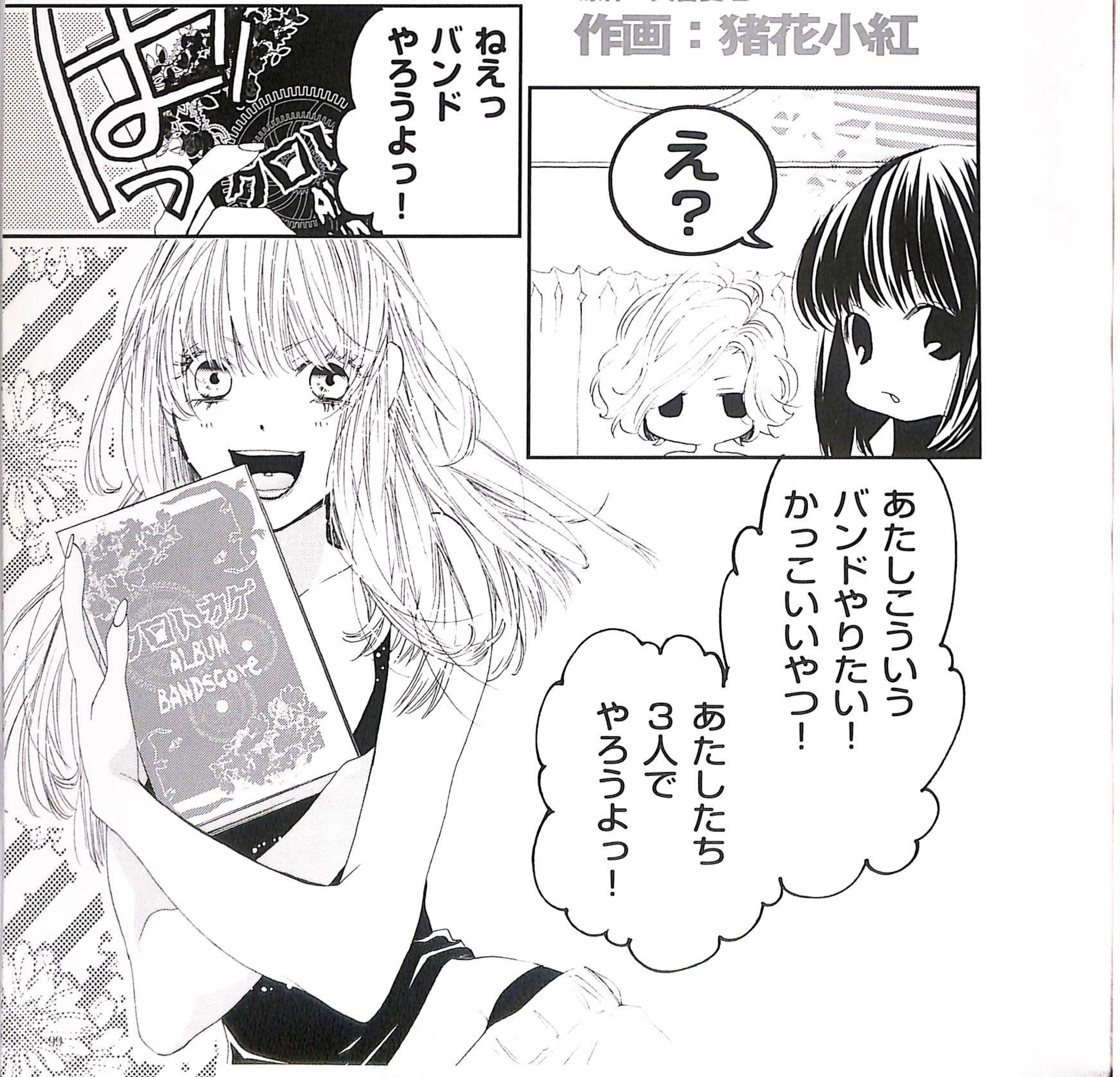
「#アイスマ ～ここに君がいないなら～」の登場人物、安土トウマと天音ハルトを主人公にした物語がスピンオフ。時代はさかのぼってトウマさんは高校１年生！（この作品は徳間書店「月刊COMICリュウ」にておしかけ連載中）

始まりは高校生ガールズバンド？



『#アイスマ ～ここに君がいないなら～』
天音愛理・著　ヤスダスズヒト・イラスト
1260円／四六版ソフトカバー
徳間書店より絶賛発売中です。

原作：天音愛理
作画：猪花小紅



いいかも！楽しそう
私たちせっかくおんなじバンド好きなんだしねぇ
でしょでしょっ！やろうよっ！そんで文化祭出ちゃうの！
クロトカゲ♪
クロトカゲ♪
クロトカゲ♪
小紅
お泊り女子会なう
5分前 mobileから
猪花小紅
いのはなこべに●高校一年。ギター担当。メインギターはギブソン・レスポール。寡黙でほとんど喋らない。
辰木サユリ
たつきさゆり●高校一年。ボーカル、ギター担当。メインギターはギブソン・フライングV。大らかで清楚な美少女。
寅田キッカ
とらだきっか●高校一年。ボーカル、ギター担当。メインギターはギブソン・レスポールカスタム ファイヤーバード。明るく純粋で奔放で粗暴。
じゃあ あたし 私 わたし ギターやりたい！
やったことないけど…
ユニゾン
えっ サユリも小紅もギター志望？
てゆーか あたしたち気が合いすぎ♪
キッカちゃんギターの練習とかやり方知ってるの？
知ってるわけないじゃん！でもアテはあんの！
うちのクラスの安土ってやつが大人とバンド組んでんだって！あいつに教わればなんとかなんじゃね
ギター？
ギター？
ギター？
んっ
…てゆーか、なんで俺が？
安土トウマ
あづちとうま●高校一年。実家は剣術道場で、高校生ながら師範代（免許皆伝）。中学時代から道場そっちのけでベースを極め中。※「＃アイスマ」では28歳の小学校教諭で登場してます。
いいじゃ～ん 教えてよ！
減るもんじゃなし♪
あのな～ 俺ベースなの ギターじゃないの しかもそんなヒマないの！
いいじゃ～ん 教えてよ！
しつけーよ 寅田っ マジしつけー
あっちいけ！
だいたいおまえら全員ギター志望ってなんなんだよ？
ベースとドラムはどーすんだ？ キーボードはいなくていいのか？
だって あたし 私 わたし ギターがいいんだもん♪
やったことないけど…
きはっ
ユニゾン
いいんだもん♪
じゃねえよ わがまま通り越してわけわかんねーよ しかもドヤ顔で言うのがさらにイラっとくるぞ…
じゃあさー あんたがやってよー ベースとドラム♪
意味不明すぎておまえら気味悪いからあっちいけ
逃がさないよ
あづちー 女の子をむげにするなよー サユリなんか巨乳なんだよ
きょ…巨乳？
安土トウマ しぶしぶコーチを引き受ける…
あづちーおまえ おっぱい星人かっ ココロゆれたか？ ハーレムハーレム
ちげーよ なんなんだ おまえはっ
妖怪か？

とりあえず今日から
うちの道場で練習するぞ
当道場の優秀な門下生にして
おまえらの指導をしてくださる
天音ハルトさんだ!
ちゃんとご挨拶しなさい
先輩、今日特別稽古って言いましたよね
よろしくおねがいしまーす!
ちょっと先輩っ どういうことですか? なんなんですか? 私はなにも聞いてませんっ
天音ハルト
あまねはると●中学三年。ドラム、キーボード、ピアノ、その他担当楽器多数。俗に言う天才。どこから見ても美形。実家は大金持ち。安土流剣術道場門下生。安土トウマの後輩にして世話焼き女房的存在。口うるさい。「#アイスマ」では27歳の音楽教師として登場。
いいじゃ～ん おまえ楽器なんでもできるだろ? 俺を助けると思ってさ
じっ…
……
いっつも助けてるじゃないですか!
うるせー
こんな急に なんの相談もなく どうして先輩はいつも…
え……?

……………
送信中…
その制服は天響学院中等部ですね。すごいです。年下なのに安土君に頼りにされるなんて……。わたしたちギターもバンドもド素人なので天音さんが頼りです。右も左もわかりませんが、お引き回しのほどよろしくお願いいたします
…受信中
……
いえ、こちらこそよろしくお願いいたします
ペこ
そのコミュニケーションはてればしーなのか? そうなのか? ハルトよ
おっ
せんぱい あのひと なんだか 怖いです
うん 実は俺もこええ
てゆーかハルト 猪花と霊界通信できる おまえもちょっと こええよ
俺には ムリ
猪花小紅は 正真正銘の オカルト電波であった
わー たのしそー

安土くん ごめんね ちょっといい？
辰木…
そうじゃなくて…
どうしたん？ ギタ練 今日じゃねえぞ
うっかりさんだな
相談があって…
ふたりとも 私の おっぱい のこと どう思う？
ばーん
し、質問の 意図が 意味不明すぎっ
ハルトがむせとる
あのね キッカちゃんが なんか変なの
いつもうしろから わし掴んできて ため息ついて 去っていくの…
私の胸って そんなに おかしいかなぁ
わぁ
わしっ
はぁ…
はは〜ん
65A
70E
た、辰木さん
貴女たちは いったいどんな 関係なんですか
高校生らしく 節度ある……
ハルト落ち着け… 辰木は気にすんな
…それは寅田の問題だ
まあ胸でかいと ギター弾くには じゃまかもしれ……
……ない
パイスラッシュ
π
的な意味で
…いや 辰木の胸は 最強だ！ 超自信もて！
そうかな… ありがと
せんぱいっ
辰木さんも納得しない！

JOYSOUND ×ボカロ plus

＃1 泣いた赤鬼
ひとり暮らし
●アイスマコラボ楽曲「ベジタブル・ビューティフル」 Dong
泣いた赤鬼
お城の学校
一生の友だち
●アイスマコラボ楽曲「Take off!」 イメソラP

＃2 三角関係
いきなりグー
オレは男だ
●アイスマコラボ楽曲「バスストップシケイン」 かごめP
ドラムやらねえか？
風林火山
●アイスマコラボ楽曲「夏葬詠」 アキバヲタP
オトコノコ
●アイスマコラボ楽曲「チルダマチルダ」 ミキトP

＃3 宿直室
逡巡
●アイスマコラボ楽曲「breed」 いたちまP
焦燥
安土桃色時代

＃4 向日葵
向日葵
同情
幼なじみ
迂闊
●アイスマコラボ楽曲「GTK!?」 takamatt

＃5 ここに君がいないなら
後悔
伝言
告悔
不始末
アイスマウンテン
ここに君がいないなら
●アイスマコラボ楽曲「ここに君がいないなら」 虹原ぺぺろん（ぺぺろんP）

ノベル『#アイスマ』コラボ楽曲・全曲カラオケ配信中！

徳間書店版・アイスマウンテンにはノベライズに向けて書き下ろされた8曲の持ち歌があります。サブタイトルになっている『ここに君がいないなら』も当ノベルのために書き下ろされたテーマ曲。テーマ曲を含む8曲は実力派のボカロPさんとのコラボレーションで生まれました。作中の内容ともリンクしたPV付きの楽曲はニコニコ動画で視聴することができます。

そして、2012年5月、ジョイサウンドの協力により、『#アイスマ』のコラボ楽曲が全曲カラオケ配信となりました。

『#アイスマ ～ここに君がいないなら～』
ヤスダスズヒト・イラスト
天音愛理・著
1260円／四六ソフトカバー 徳間書店より絶賛発売中です。

アゴアニキ

AGOBOT

アゴアニキ（Vo.&ba.）／ヒトミ（Vo.&Gu.）／だい（Gu.）

アゴアニキさんが関西を拠点に活動しているバンドがAGOBOTだ。バンドの信念は「気軽に楽しく本気で」だという。音楽性についても本人たちはポップスだと思って活動しているが、受け取る人の自由でいいのだという。そんなAGOBOTのライブを紹介しよう！

本気で楽しめるライブがある！ アゴアニキさんのカリスマ性が最高のパフォーマンスへと導く

さまざまな業界の中にはアニキと呼ばれる人達がいる。アニソン界の水木一郎さん、俳優界の哀川翔さん、ニコ動界のビリー・ヘリントンさん、最後のひとりは少し違う意味合いも含まれているが、その業界の中で頼れる存在であり、親近感と包容力を持つ存在がアニキと呼ばれる人達だ。ボカロ界のアニキに、アゴアニキさんの名前を挙げる人は多いだろう。名前にアニキがついているからではなく、彼が作るボカロ曲には、若い気持ちを包み込んでくれるような暖かいアニキ感が漂っているからだ。

現在490万再生を超える巡音ルカが歌った『ダブルラリアット』は、彼の魅力が詰まった代表曲だ。作詞や作曲が素晴らしいのは勿論のこと、動画に使われている自作のドット絵で描いたキャラクターが個性的な可愛さを持っていて人気がある。さらに動画を一時停止することで、色々な仕掛けが現れる楽しい作品になっている。クリプトン製のボーカロイドのみを使用してボカロ曲を作っており、中でも鏡音リンACT1のベタ打ちの魅力を彼は語る。

「ライブは、その場、その瞬間の熱が大事だと思ってやっています。」

左からベースのアゴアニキさん、ギターボーカルのヒトミさん、ギターのだいさん。後ろにいるドラムは、サポートメンバーのUSKさん。演奏される楽曲は主にアゴアニキさんが作詞作曲をしている。

アゴアニキ「〝あいうえお〟と言わせて、〝あいうえお〟と言ってくれないリンちゃんが可愛くてしかたがない。リンちゃん好きはアペンドを喜ぶ反面〝リンちゃんは、もう俺たちの手を離れてしまったのか……〟と、ちょっと悲しい気持ちになる」

アゴアニキさんだけに限らず、リンちゃんを熱く語るボカロPさんは、そのリンちゃんへの愛が深く、リンちゃんの全てを受け入れた状態が、ある意味悟りを開いたかのような空気感さえ漂わせる。

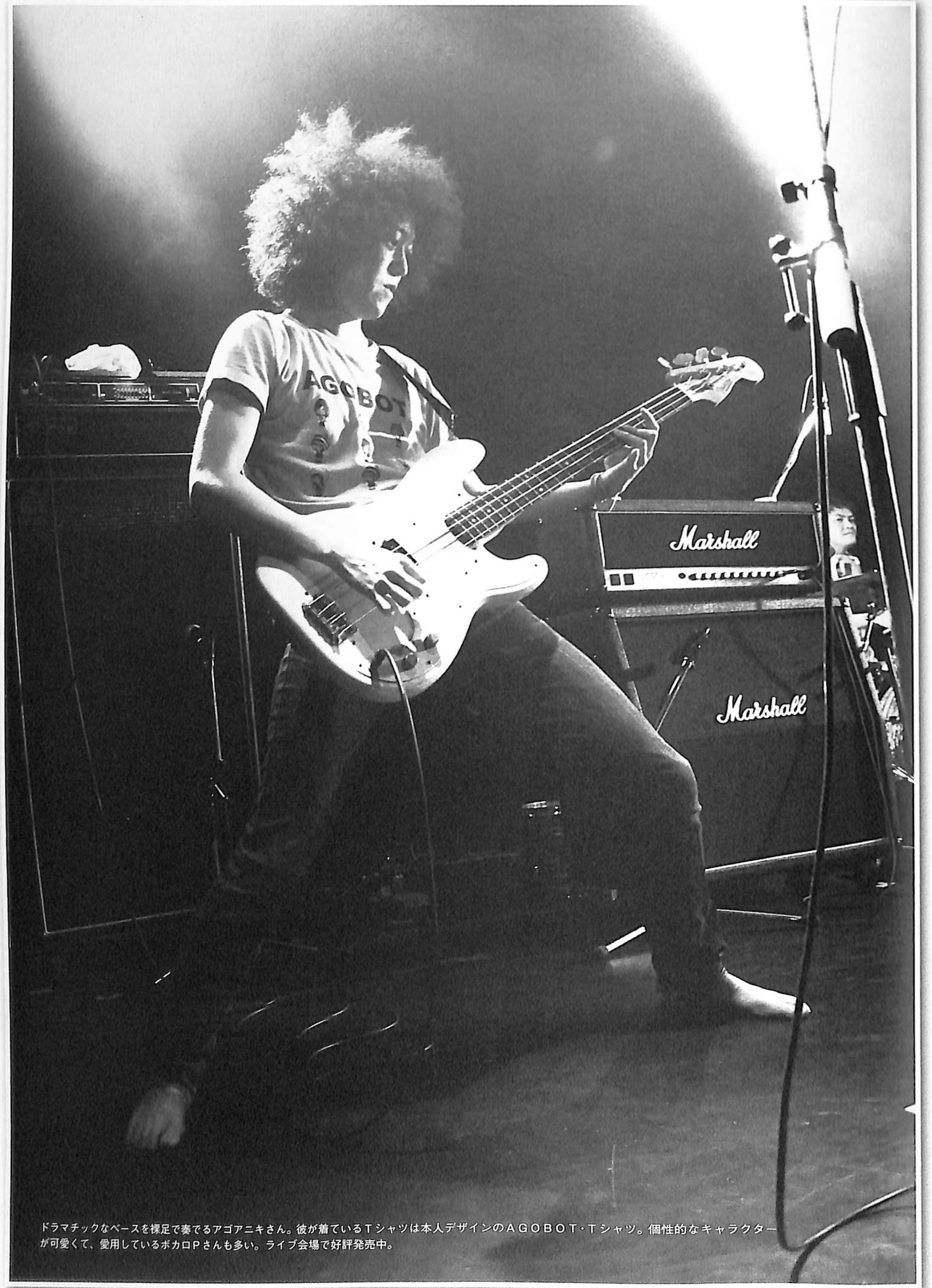
そんなアゴアニキさんのバンドがAGOBOTだ。ドラム不在のため、バンド活動を休止していたが2008年11月29日に活動を再開させた。バンドの演奏曲は、彼がボカロ曲として公開している曲がメインなので、ボカロP活動とライブでの活動は特に分けていない。

アゴアニキ「自分がリーダーで作詞作曲をするバンドを作ろうと思った時に、大学からの友人の〝だい〟を誘って、ボーカルは女性が良かったのですが、歌ってくれそうな女性がいなかったので妹を誘いました」

BAND PROFILE

AGOBOT

アゴアニキさんの楽曲を中心に関西を拠点としてアゴアニキさん、だいさん、ヒトミさんと、サポートドラマーによる４人編成のバンドで活動中。ボカロ系のライブには積極的に参加している。



ドラマチックなベースを裸足で奏でるアゴアニキさん。彼が着ているTシャツは本人デザインのAGOBOT・Tシャツ。個性的なキャラクターが可愛くて、愛用しているボカロPさんも多い。ライブ会場で好評発売中。

ベースが語りかける！ドラマチックなベースラインに引き込まれるサウンド！これは必聴！

現在は、ベースのアゴアニキさん、ギターのだいさん、ボーカル&ギターのヒトミさんと、サポートドラマーによる4人編成のバンドになっている。だいさんのギターパフォーマンスは、背中で弾いたり、歯で奏でたり、ステージを見に来た人を必ず釘付けにする。ヒトミさんは、アゴアニキさんの実妹だが、似ていないところが可愛いところとの評判で、「かわいい」との声援に絡むアゴアニキさんのMCがステージを暖める。ギターや、ステージでの立ち回りも、段々成長しており、〝ドキ生〟など古くから回を重ねていたボカロ系ライブでは、ヒトミさんの成長過程を観客も含め〝親心〟として共有することができた。MCを通じての兄妹の掛合いとだいさんの優しいフォローが、AGOBOTの熱いライブの中にある暖かさに繋がる部分である。だいさんも、ヒトミさんもニコ動に自分たちで作ったボカロ曲を公開している。

ライブにかける思いについてアゴアニキさんに聞いてみた。

「ライブは、その場、その瞬間の熱が大事だと思ってやっています。自分たち自身が楽しんでできるよう全力で演奏しています」

さて、そんなAGOBOTの演奏を直接目の当たりにしたのは、〝MUSIC PLACE Vol.2〟と〝ニコニコ超会議2012〟のライブだ。とにかく観客の盛り上がりがすごく、音楽的なものだけではない、見せるパフォーマンスが優れている。ベースのメロディーラインがドラマチックで、動きのあるベースのフレーズに感情がグッと引き込まれてしまう。ギターボーカルのヒトミさんは、ローからハイまでのキーが広く魅力的で、ロングトーンもすごく長く、ロングトーンが響いた瞬間、全ての観客の意識がヒトミさんに集中していた。曲によって、過激になる歌い方の変化も印象深い。そして、だいさんのギターパフォーマンスは、テンションが最高に上がっているタイミングで披露されるので、さらに会場の空気が盛り上がる。〝よっこらせっくす〟など、みんなで一緒に歌えるワードが入っているので、外で叫ぶ機会が少ない言葉を、みんなで歌う一体感も楽しい。

更に、AGOBOTの魅力を知る方々に話を聞くことができた。まずは、MUSIC PLACEでMCを担当したエクシングの石井さんにAGOBOTの魅力を聞いてみた。

「だいさんの歯ギターはもちろん、ライブでのMCも兄妹での絡みに、だいさんのツッコミという楽しいライブです。『ダブルラリアット』『よっこらせっくす』は必聴です」

次に、惜しまれつつ幕を閉じたボカロ系ライブ〝ドキ生〟の主催者であったアカサコフ（にいとP）さんにも魅力について聞いてみた。

「アゴアニキさんを中心に関西で結成された熱いバンドで、彼の書く歌詞同様、暖かいMCとステージでの演奏が魅力的です」

共通しているのは、MCの面白さと暖かいステージという点だ。この楽しさはネット動画では味わえないので、ライブに足を運んでほしい！

さて、そんなバンドメンバーの方々にも会うことが出来たので、メンバーのライブについての生の声を御紹介しよう。

俺が作った曲を、どう伝えるかを考えた結果が、いまのかたちです。

ギターボーカルのヒトミさんが一生懸命弾いている姿は、とっても好感が持てる。聴き取りやすい歌声で、ローからハイまでキーが広い。響き渡るロングトーンは、その場に居る人を引きつける。

アゴアニキ「ライブをやる理由は、いろいろあると思うんですけど、どうしても俺らを好きになってくれる人の入り口は、インターネットからなので、ライブでは生の演奏を伝えるためにやっています」

だい「真面目なこと言っているな」

ヒトミ「全部しゃべってくれたらいいと思う」

アゴアニキ「昔はライブをたくさんやってましたが、最近は減ったので、1カ月に1回はやりたいです」

だい「どうやってライブをやっていたのか思い出せなくなるな」

アゴアニキ「俺の場合は、しゃべりのクオリティーが下がる（笑）」

ヒトミ「ガッチガチになるもんな」

ボカロ系ライブと通常の対バン形式のライブだと違いはありますか？

アゴアニキ「ボカロ系のライブと通常のライブは大幅に違いますね。ボカロ系ライブは、お客さんが曲を知っていることが大きい。はじめから見てくれる空気ができている」

だい「全バンドを最初から最後まで見ていく人が多いのがすごい。通常は、友達の出演時間を聞いて、その時間だけ見て帰るとか多いけど」

ヒトミ「せやな、確かにすごい」

アゴアニキ「ブッキングだと、初めて見るバンドは1曲目を見て、最後まで見るか決めるけど、その厳しい感じもいい。どちらがいいという訳ではなく、ボカロ系は、やりやすい」

ライブ活動だけではなく、自分たちの曲をネットで公開することについての考えを教えてください。

アゴアニキ「ネットで音楽を発表する場が弱かった頃から思っていたことで、AGOBOTの音楽はインターネットでやると決めてました」

ヒトミ「ずっと、言ってたもんな」

だい「一番最初にバンドに誘われたときも言ってたな」

アゴアニキ「ボカロができ、オリジナル曲が発表しやすい環境ができた。自分たちの発表の場を選んでいるだけで、俺が作った曲を、どうやって伝えるかを考えた結果がいまのかたちです」

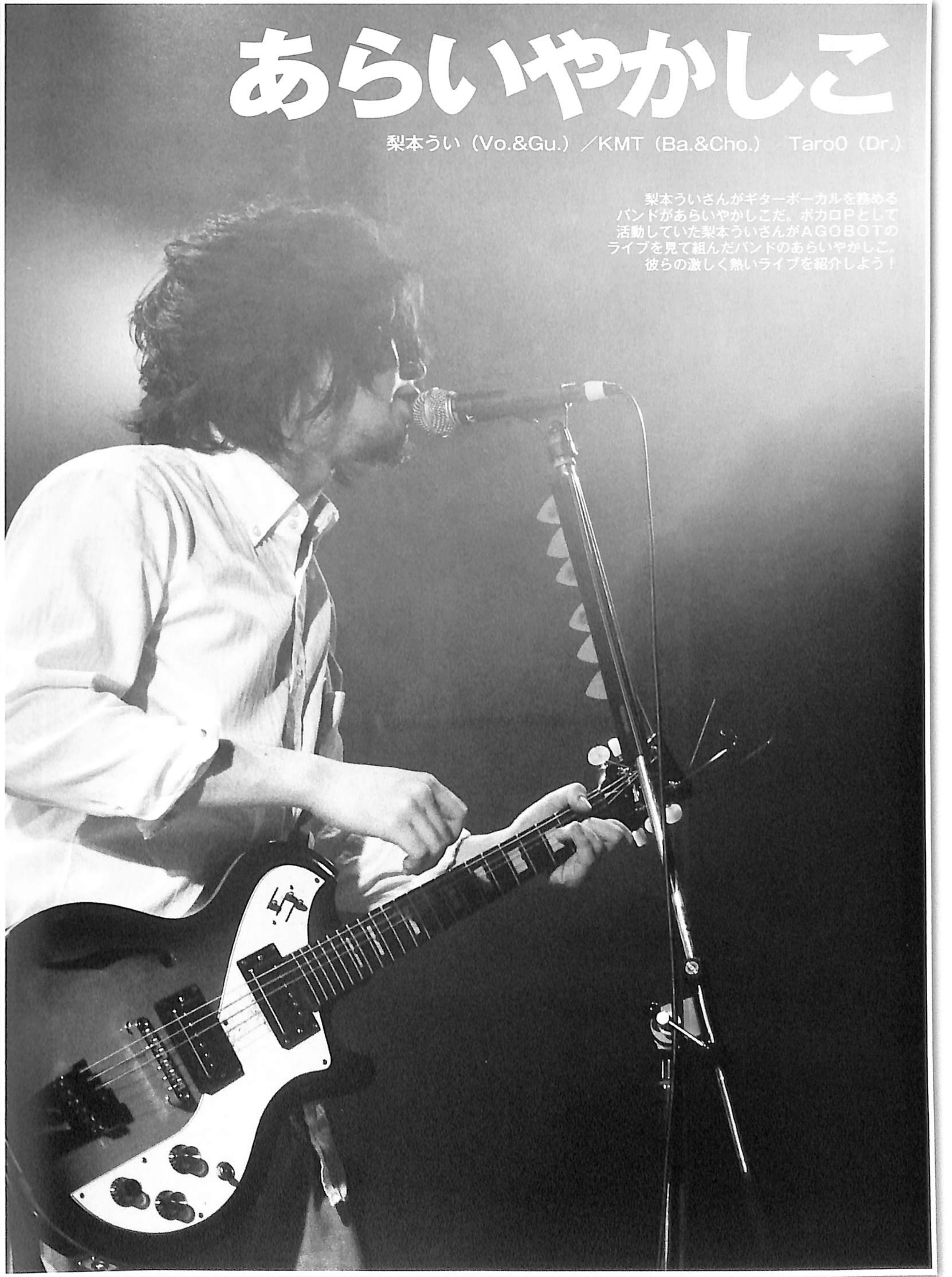
ギターのだいさんは、普通にギターを弾くだけでもカッコイイのだが、背面奏法、歯ギター奏法、ラジコン奏法など、テクニカルなギターパフォーマンスが得意だ。

ステージに寝転がってベースを弾くアゴアニキさん。後ろで小さく笑っているのは、ドラムとして参加しているサポートメンバーのUSKさん。

Information

アゴアゴーゴーゴー

新曲２曲＋既存曲もスタジオで録り直し。『ひとつうえのおとこ』はフルVerで収録。ゲストミュージシャンに小柳“Cherry”昌法（GLANZ、ex.LINDBERG)、鈴木秋則(ex. センチメンタル・バス)も参加している。【収録曲：HAKOBAKO PLAYER／わすれんぼう／方向音痴／河原町行き／ひとつうえのおとこ FullVer／パラダイス明晰夢／剛毛ハート／サルでもわかる／ダブルラリアット／よっこらせっくす】通販価格2,000円



あらいやかしこ

梨本うい（Vo.&Gu.）／KMT（Ba.&Cho.）／TaroO（Dr.）

梨本ういさんがギターボーカルを務めるバンドがあらいやかしこだ。ボカロPとして活動していた梨本ういさんがAGOBOTのライブを見て組んだバンドのあらいやかしこ。彼らの激しく熱いライブを紹介しよう！

梨本うい

激しいだけのライブはたくさんあるけど、あらいやかしこのライブは心に響く激しさだ！

編集部に届くハガキには、好きなボカロPさんの名前が書かれている場合が多く、中高生の読者からのハガキに梨本ういさんの名前が書いてあるものを度々見かける。若い層から支持を受けている梨本ういさん。彼が作る楽曲から受ける本人のイメージは、白と黒の複数の線から描かれるイラストの少し不気味なイメージだったり、曲名の尖ったイメージだったり、ロック調な楽曲の激しいイメージだったり、人が触れない、触れづらいテーマを扱うイメージだったり、一度聴いただけでは、理解が難しい歌詞のイメージだったりと、一面だけのイメージのみで受け取ると、激しくて、とっつきにくい人物を想像する方も多いと思うが、P名の由来になった〝恐縮です〟という一節からも分るように礼儀正しい方なのだ。

純粋な上に感受性や表現力が豊かな場合、強烈な色にも染まりやすい。

アゴアニキさんから〝バンドを組んで来年でろよ！〟と言われて、バンド組みました

一作品や一場面だけを取り上げたとしても、正しい梨本ういさんを伝える事ができないかもしれないので、まずは、彼の作品を視聴することをおすすめする。

彼の代表作に「ペテン師が笑う頃に」「死にたがり」などがある。単純に聴いて楽しめばいいのだと思うが、どの曲も一度聴くと、その曲が持っている意味や、彼の作品に込めた意図を知りたいという衝動にもなる。動画に付くコメントからも、それらを受け取れる。

現在、彼の作品の中で一番再生数が多く人気が高い『ペテン師が笑う頃に』の制作にまつわる話を聞くことができた。

梨本うい「あれはですね。自分の嫌いな人物像を作りだして、その人から自分が言われているような曲を作りたいと思って作りました。あれは外に向けた曲ではなくて、自分をいじめるために作った曲なんです」

歌は聴いた人の受け取り方次第で意味合いが変わるものだから、その歌に込められた作者の意志を感じ取れなくても問題はない。だが、作者が制作するに至った経緯や背景を理解した上で歌を聴くと、歌に込められた本来の意味を受け取ることができるので、今回のような、制作にまつわる話を聞けるのは貴重なことだ。

そんな梨本ういさんが取り組んでいるバンドが〝あらいやかしこ〟だ。ギターボーカルの梨本ういさん、ベースのKMTさん、ドラムのTaroOさんの3人で2010年3月に結成したスリーピースバンドで、梨本ういさんが作ったボカロ曲を演奏している。

大阪を拠点に、全国のボカロ系ライブにも積極的に参加している。自分たちからライブを企画することはなく、基本的にはオファーを待っていることが多いのだという。

梨本うい「あまり外向きのバンドではないので、外に連れ出してください（笑）。ライブは、月に1回やれば頑張っている方ですね。企業が主催するライブがほとんどで、あとは歌い手のイベントや後輩に誘われたライブとかが多いです」

特にAGOBOTとの対バン率は高いらしい。そもそも〝あらいやかしこ〟を結成した経緯はアゴアニキさんに関係している。はじめはニコニコ動画に上がっている梨本ういさんの作品をアゴアニキさんが聴いていたところ〝いいぜおい、いいぜおい〟とはまってしまったらしい。梨本ういさんについて調べてみたら大阪在住だったので、当時、AGOBOTが出演したボカロPたちによるオリジナル曲オンリーライブイベント〝西日が強い〟を見に来るように誘ったのだという。

梨本うい「アンコールの時にアゴアニキさんから〝バンド組んで来年でろよ！〟って言われまして、その3、4カ月後にはバンドを組んでいまし

BAND PROFILE

あらいやかしこ

梨本ういさん、KMTさん、TaroOさんの3人で2010年3月に結成したスリーピースバンド。主に梨本ういさんのボカロ曲を演奏している。大阪を拠点に、全国のボカロ系ライブに積極的に参加している。

左からベースのKMTさん、ドラムのTaroOさん、ギターボーカルの梨本ういさん。梨本ういさんが作詞作曲したボカロ曲を演奏するバンドだ。

Information

かしこ一号

ニコニコ超会議内のイベント、ボーマス20において頒布した“あらいやかしこ”の1stミニアルバム。『死にたがり』では、ゲストコーラスとして、アゴアニキさん、鬱Pさん、kaichiさん、ジギルさん、ポチ山さん、まのさんが参加している。【収録曲：】あぁあぁあぁあああぁあぁああぁ／心の形／ペテン師が笑う頃に／夜行性ニワトリ行進曲／死にたがり】全5曲／¥1,000

音圧にしか興味がないと語るドラムのTaroOさん。彼のドラムは本当にすごい音圧だ!

た。アゴアニキさんには、一番はじめにスタジオで演奏したのを見て貰って、バンドに対してのアドバイスも貰いました」

さて、そんな感じで結成した〝あらいやかしこ〟のライブ演奏は、とにかく劇的に熱く〝MUSIC PLACE Vol.2〟と〝超会議2012〟でも激しいライブ演奏を披露した。超会議のステージでは、ステージ奥の巨大モニターに〝あらいやかしこ〟と名前が出た瞬間に観客がざわめいた。衣装は、3人とも白いシャツでシンプルな装いだが、全員が揃えると統一感があり、かなり格好いい。ひとりひとりは個性的で、TaroOさんのドラムは全身で振りかぶるような激しさで、サビの部分では魂が入ったかのように音圧が高い。梨本ういさんのギター演奏もギターを壊しそうな勢いのある弾き方で、破壊的なイメージを受けた。全体的に激しい中で、KMTさんのベースラインが、ルートに忠実な面や、しっかり守るところを守っている。スリーピースという楽器が少ない編成の中では重要なことだ。全身で歌いながらギターを演奏する梨本ういさんは、1曲演奏する毎に酸素を補給する。その繋ぎでKMTさんがMCのフォローをする。最高に熱いライブで観客も盛り上がっていた。

MUSIC PLACEでMCを担当したエクシングの石井さんにも、〝あらいやかしこ〟の魅力について語っていただいた。

「梨本ういさんが自分自身に向けていた辛辣な歌詞は、他者へも強い影響力を持つようになる。ライブでは心の叫びを体が感じるままに体現し、たちまち聴衆はその世界に引き込まれて行きます。オススメは『なれのはて』という曲です」

更に、伝説のボカロ系ライブ〝ドキ生〟の主催者であったアカサコフ(にいとP)さんにも彼らのライブの魅力について聞いてみた。

「〝あらいやかしこ〟は、梨本ういさんがギターボーカルを務めるバンドで、勢いがあり、乱雑に見えるライブパフォーマンスも全てが彼らの魅力です」

共通するライブのイメージは激しさという部分だろう。激しく盛り上がりたいときは、〝あらいやかしこ〟のライブを見に行こう!

ボカロ系のライブに積極的に参加している〝あらいやかしこ〟にボカロ系ライブの特徴を教えて貰った。

梨本うい「ライブとしての違いは、客層が違いますね。それと心構えが違う」

KMT「ニコ動は若い方が多いから、ライブ慣れしてない人も多い」

梨本うい「バンドを見に来ている人と、いかにも本人を見たいという人も多いです」

KMT「あとは飛び道具が多いとか」

TaroO「ああ、演出が凝っているバンドが多いですね」

梨本うい「パフォーマンスのこだわり方はすごいですね」

殿堂入りした曲が多い〝あらいやかしこ〟はライブで演奏する楽曲を、イベントによって変えている。

悩むのは『あぶらむし』をいれるか
ニコ動では伸びてないがライブではいい

テクノ系のボカロ曲を公開しているベースのKMTさん、まずは1万再生を目指せとメンバーに応援されていた。ドラムのTaroOさんはボカロ曲は作っていないとのこと。

梨本うい「一番悩むのは『あぶらむし』を入れるかどうかです。ニコニコ動画では伸びてないけど、バンドとしては演奏したい曲なんですよ。いい曲なんだよね。『過呼吸ダンス』も演奏していて楽しい曲です。『あぁあぁあぁあぁあぁあぁあぁあぁ』は疲れます(笑)」

超ボーマスに合わせて、〝あらいやかしこ〟としての初のCDアルバムが作られた。

梨本うい「超会議でやっと出せました。バンドのCD聴いてもらいたいな〜。収録したのは8月でした」

KTM「そうそうそう」

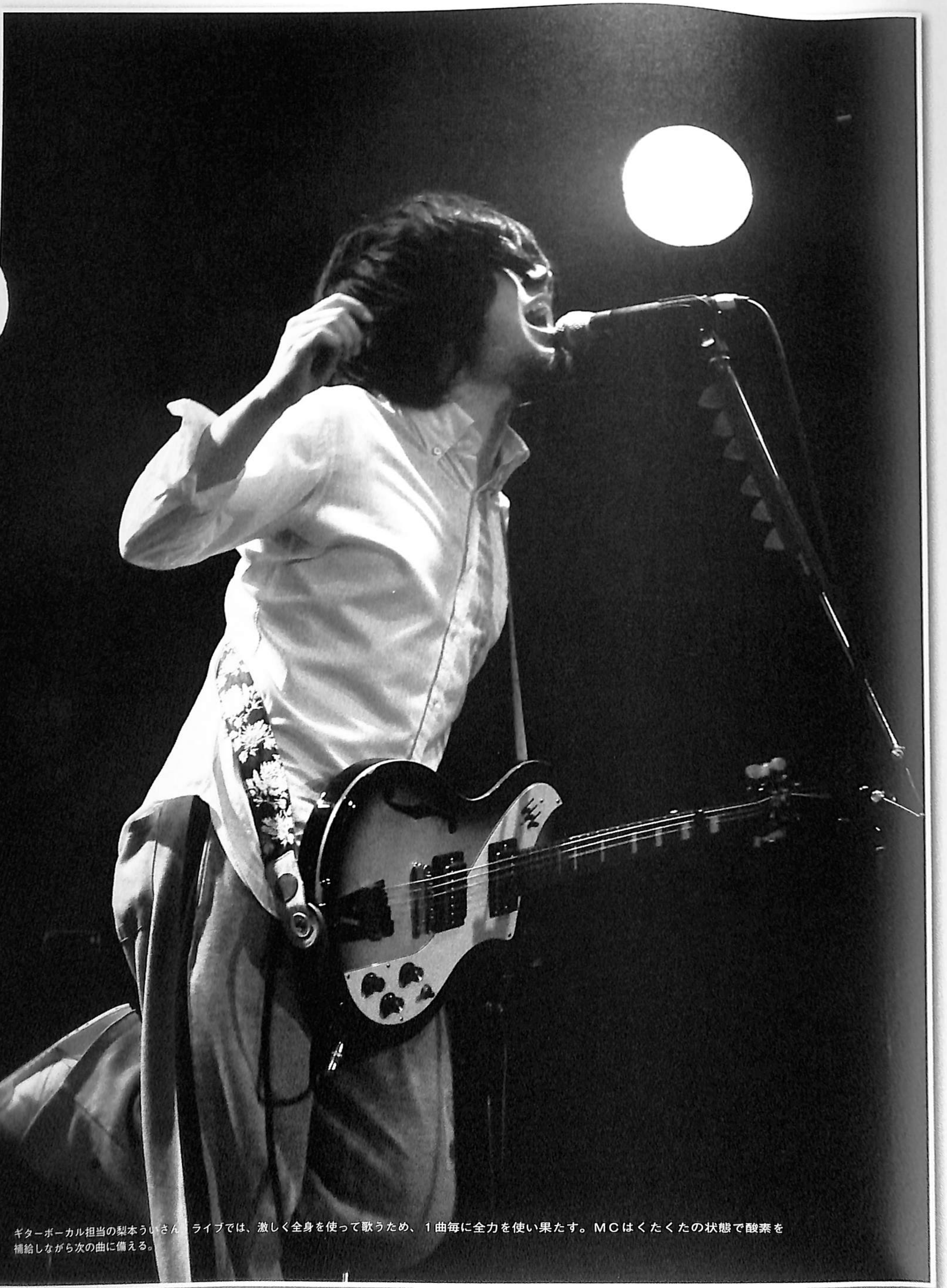
TaroO「デモみたら半袖やった」

KMT「夏やん」

梨本うい「俺、じんべえ着てたもん」

最後に、梨本ういさんにとって、ライブ活動とニコニコ動画でのボカロP活動のそれぞれの良さを聞いてみた。

梨本うい「ライブは、ダイレクトに反響があって観客と面と向き合った距離の良さがあります。ニコニコ動画には本音が聞ける良さがありますね」



ギターボーカル担当の梨本ういさん。ライブでは、激しく全身を使って歌うため、1曲毎に全力を使い果たす。MCはくたくたの状態で酸素を補給しながら次の曲に備える。

ポニー

家の裏でマンボウが死んでるP
（タカハシ　ヨウ）

タカハシ　ヨウ（Vo.&Gu.）／店長（Ba.）／ケンタウロス（Gu.）／
ビタミンC（Dr.）／花火職人のカスミさん（Key.）

「家の裏でマンボウが死んでるP」さんが、ボカロ以前から組んでいるバンドがポニーだ。バンドの音楽性は“コメディーロック”ニコニコ動画であったり、観客と一緒に叫べるようなライブ向き曲。とにかく笑って観てもらえる曲を目指している。

常に、新しいことを目指している。それは音楽的にも、そしてパフォーマンス的にも！

ストーリー性があるボカロ作品はたくさん公開されているが、オチに感動がある作品は、そんなに多くないので、探すのが大変である。家の裏でマンボウが死んでるPさんの作品は、最後に考えさせられるオチの作品が、いくつか公開されている。だが、「聴く人を驚かせようとしているだけで、何のメッセージ性もない」と彼はいう。とても長いタイトル名が印象には残るが、正式に覚えるのに苦労するというだけではなく、彼の作品に感動したり、メッセージのようなものを感じたりしている人は多いだろう。それは彼らのライブでも同様の効果があって、先日開催されたイベント〝超会議2012〟のライブ会場でも、彼らの楽曲を聴いて、目に涙をためていた方も見かけた。

そんな彼らのバンド名は、彼らしくなく短い。ポニーだ。

〝ポニーは観るもの〟というスローガンを結成当時から掲げてきたのは、家の裏でマンボウが死んでるPさんが率いるバンドのポニーだ。音源データだけでは、伝わらないライブを目指してきた。その結果、いい意味でコント集団に近いバンドになっている。

家の裏でマンボウが死んでるP（以下、タカハシ　ヨウ）「今後も会場でしか伝わらないことを、やっていきたいです」

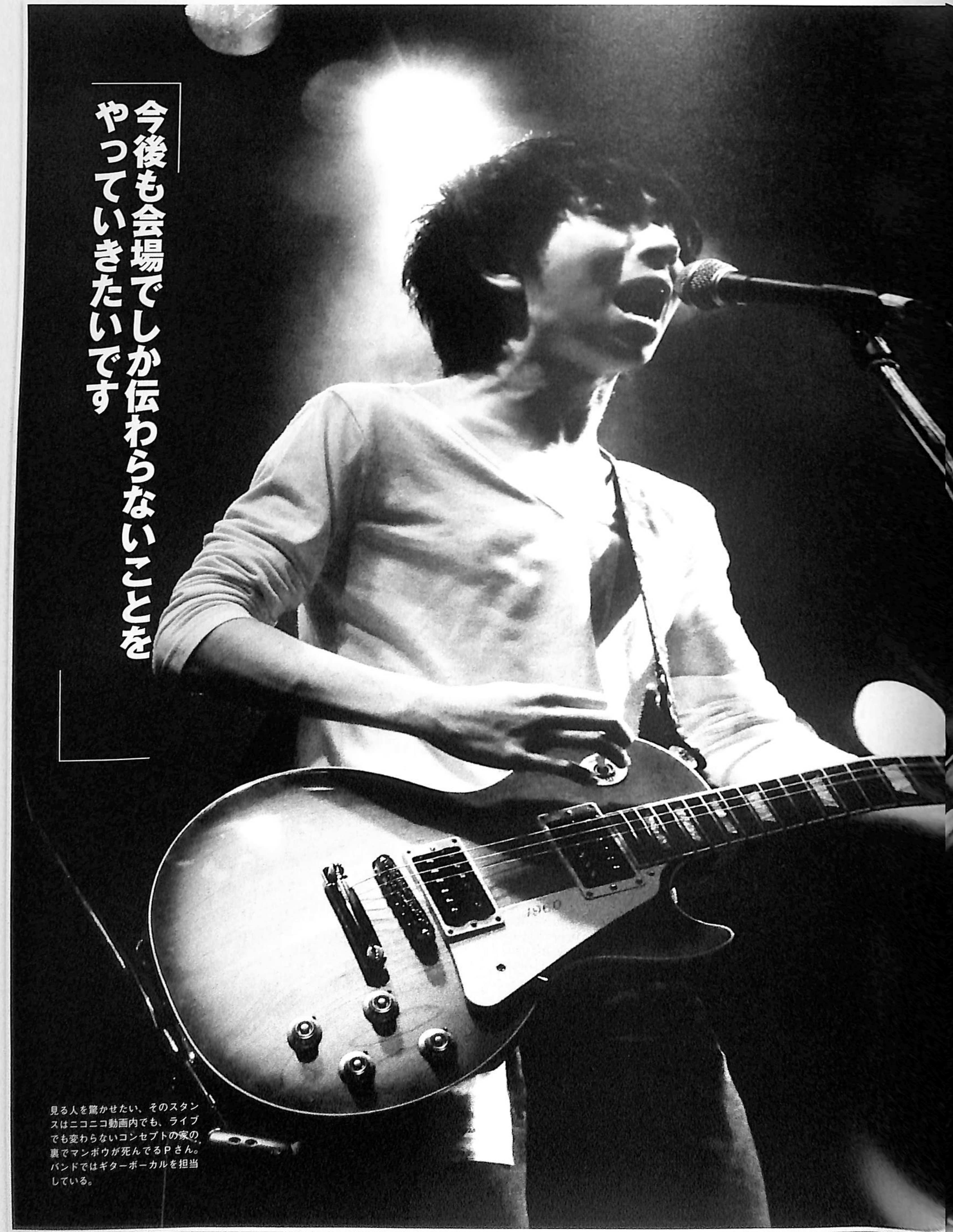
タカハシ　ヨウさんと言えば、なんといっても、その独特な楽曲が魅力と言えよう。奇抜でインパクトのある題名の面白さから始まり、引きつけられるストーリー性がある作詞と作曲のセンス、そして楽曲を盛り上げる実姉である竜宮ツカサさんのイラスト、この4つの要素が合わさることで、更に魅力が増す。

そんな彼の代表曲は、『家の裏でマンボウが死んでる』や『クワガタにチョップしたらタイムスリップした』などが上げられる。特に『クワガタにチョップしたらタイムスリップした』は、彼の初ミリオン作品になり、ニコニコ動画でも、ライブでも、人気の曲になっている。ストーリーも「どうなるんだ？」と思わせるハラハラドキドキ感があり、最後のオチの評価も高い。

2012年4月25日にビクターエンタテインメントから発売されたアルバム『My Colorful Confuse』でメジャーデビューとなった。メディア展開も多くなり、bayfmでは、5月度レギュラー番組「真夜中のbayfmでマンボウが死んでるP」が放送された。また、2012年5月10日発売のメンズノンノでは「人気ミュージシャンのファッションコーリング」の特集で掲載された。今後の彼のメジャー活動からも目が離せない。

BAND PROFILE
ポニー

家の裏でマンボウが死んでるP（タカハシ ヨウ）さん、店長さん、ケンタウロスさん、ビタミンCさん、花火職人のカスミさんの5人組バンド。活動休止後、2011年11月3日のJOYSOUND主催MUSIC PLACEで1年8ヶ月ぶりにライブを行なった。



「今後も会場でしか伝わらないことをやっていきたいです」

見る人を驚かせたい、そのスタンスはニコニコ動画内でも、ライブでも変わらないコンセプトの家の裏でマンボウが死んでるPさん。バンドではギターボーカルを担当している。

ライブでもニコ動でも、僕の中では同じもの。同じような楽しみ方ができるようにしたい。

さて、バンドの話に戻そう。ポニーは、ロックスター（タカハシ ヨウ）さん、店長さん、ケンタウロスさん、ビタミンCさん、花火職人のカスミさんの5人組のバンドだ。活動休止後、2011年11月3日のJOYSOUND主催MUSIC PLACEで1年8ヶ月ぶりにライブを行なった。メンバーとの出会いについて、詳しく聞いてみた。

タカハシ ヨウ「メンバーは高校のクラスメイトと後輩です。音楽性というより人間性という意味で、天才ばかりで、言葉が通じないことも多いです。安心して背中を預けられる頼りになるメンバーたちですが、それぞれソロでもやっていける力があると思うので、負けないようにがんばります」

活動停止から復活したポニーは、積極的にライブ活動を行なっている。〝MUSIC PLACE Vol．2〟と〝超会議2012〟のライブでも、ポニーらしい楽しいライブを観ることができた。パフォーマンスでは、店長さんが一輪車に乗り、前後の動きでリズムを取りながらベースを演奏していた。更にベースを首の後ろで弾くパフォーマンスも披露していた。手作り用意したというケンタウロスは、上半身裸のままでギターを演奏し、ステージを盛り上げていた。また、どの曲もストーリー性の強い楽曲になっていたのだが、中でも、ステージの巨大モニターで流した動画と演奏が連動した2曲目は、映像が加わることで、歌詞が言葉としてより耳に入る効果があり、観客を引きつけていた。

ポニーが2回も出演したMUSIC PLACEで、MCを担当したエクシングの石井さんにも、ポニーの魅力について話を聞けたので紹介しよう。

石井「耳だけでなく、目でも楽しめるバンドです。常に斜め上を行くライブパフォーマンスは必見！ ベースは一輪車に乗り、ギターの下半身は馬で、MCは毒舌です。百聞は一見に如かずなのでライブに足を運ぶことをオススメします」

そして、このバンドのリーダーであり、ボカロPでもあるタカハシヨウさんにも、ポニーについて話を聞けた。

ポニーのパフォーマンスは、どんな感じで決めるのですか？

タカハシ ヨウ「飲みの席で話した冗談が、そのまま形になってしまいます。普通は、朝になれば冷静になって辞めるんですけどね。うちは違うんです。パン食い競争しようぜ、って一輪車の奴が言うと、じゃー具体的にどうするかという話になるんです。本当にやるって話になって、自分たちでパンとかも買いに行くんです」

今後は、どんなライブやボカロ活動を行なっていきますか？

タカハシ ヨウ「ニコ動を見ている人が、ライブを見ても同じような楽しみ方ができるようにしたいですね。ライブの後ろで動画を流すとか。ライブの要素をニコ動に持って行くのは難しいかもしれないけど、ライブでもニコ動でも、僕の中では同じものとしてみています。同じような楽しみ方ができるようにしたいです」

〝ポニーは観るもの〟だ、とお聞きしましたが、どんなものを見せていきたいですか？

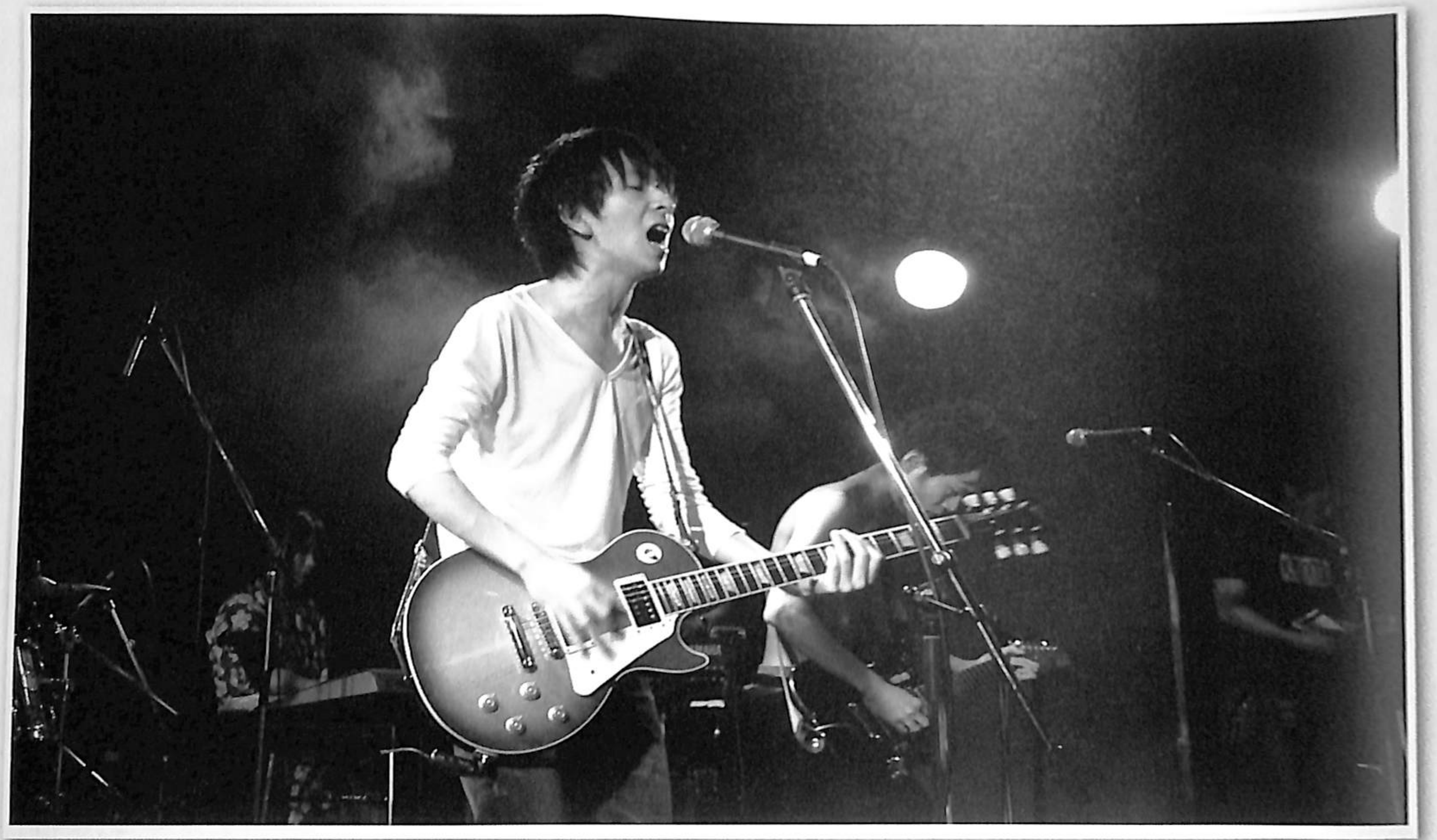
タカハシ ヨウ「〝ポニーは観るもの〟だ、というのはメンバー共通の認識です。演奏だけではなく、表現する場として活動していきたいです。曲を聴きたいならCDでもいいと思うんです。ネットでも聴けます。そういう考えがあって、ライブはライブなりの面白さの追求として、何かできないかな、というのが常にあります。本当は人形劇とかやりたかったんですけどね。でも、尺の長いライブでないと、それで30分使ってしまうのも無理な話ですから。台本までは出来ているんです」

最後にライブにかける思いがあればお願いします。

タカハシ ヨウ「過去のライブ全てを振り返っても、毎回、毎回新しいことを取り入れながらやってきたバンドだと思います。今後も演奏なのかどうか微妙なラインのパフォーマンスをしていきたいです」

「〝ポニーは観るもの〟だ、というのがメンバー共通の認識です。」

一見、ライブの写真なのは分かるが、なんで、このような場面になっているのかが理解に苦しむポニーの日常ライブ風景。上半身裸のケンタウロス氏がビニール傘を片手に持っている。



全力でパフォーマンスをこなして、全力で歌いあげるポニー。どちらも手を抜かないからこそ、満足感の高いライブになる。

手作りで用意したというケンタウロスの勇姿。ライブでは、始まって早々横に倒れることがある。

一輪車は全国で3位という腕前のベースの店長さん、前後にバランスをとりながらベースを奏でている。たまに首の後ろで演奏を行なう。

Information

My Colorful Confuse

【収録曲：家の裏でマンボウが死んでる／神様はエレキ守銭奴／誕生日、ペペロンチーノにやさしくされる／へし折れろ、君の心／消火器がダンディーで気が利く場合／おでこに生えたビワの性格が悪い／おニューのかさぶた、ペットに食われろ／筋肉痛駆け落ちの滑稽な結末／My Colorful Confuse／ウヒヒ！脱穀しそこねた！／キッチンでカッパがタニシ茹でてる／粘着系男子の15年ネチネチ／クワガタにチョップしたらタイムスリップした】全13曲、￥2,800　レーベル：SPEEDSTAR RECORDS

壱百四拾字のハンター・トンプソン

～山本ニューのボカロティック・ゴンゾ・ジャーナリズム、あるいは、メディアは足裏マッサージ～

●山本ニュー
元ボカロP。詩人としての活動の傍らボカロを用いた楽曲制作なども行なっていたが、先日この原稿を書くためのSkypeでのインタビュー中にPCがクラッシュ（1年ぶり3度目）し、死ぬときには消そうと思ってた恥ずかしいデータも含めすべてが吹っ飛んだため、ボカロPを卒業し有名歌い手となった。最新作は『山本ニューがローリンガールを歌ってくれたよ「越冬つばめ」』

編集部注：心配だったので事実確認したところ、「山本ニューがローリンガールを歌ってくれたよ「越冬つばめ」」は世の中に存在しました。

文・山本ニュー

「テーマは、ボカロ好きな中学生に向けて贈るという形で、若い世代にメッセージをお願いします。いろいろなことに影響を受けやすい年齢です。次の山本さんを育てる感じでお願いします」それが編集部からの指令でした。

今まで一度たりとも編集部のご希望通りに書いたことのない自分ですが、今回は頑張る！

シーンの全体像には興味がない。ぼくは今ここにある一瞬が好きだ。生半可な気持じゃなく本当に大好きなんだ。というわけで中学生と話してみないことには何も始まらないのでツイッターで募集をかけてみた。

『急募。ボカロ好きな中学生。インタビューしたし。心は中学生のままの大きいお友達も可。報酬応相談』

結果、女子2名、男子1名の応募あり。惜しくもぎり中学を卒業してしまった方も含まれたがOK、心は中学生。なんら問題はない。ないったらない。

ここからはできる限り生（き）のままの形で3人のことばをお届けしたい。これが「ボカロ好きの中学生」の典型ではないし、数少ないサンプルで全体を推し量る意味もない。彼らのことばを読み、曲を聴きながらぼくが感じたこの興奮が少しでも伝われば幸い。

最初の登場はアンズちゃん（仮名）。この春高校3年になった17歳。聴き専コンシェルジュ・じばばんさんのご紹介でメールを介しての取材となった。次に紹介する妹さんとともに、アニメ周辺に造詣の深いお父上の影響があったこともあわせてお伝えしておこう。

「YouTubeで歌巡りをしていてたまたまボカロに出会いました。好きなボカロは、ミク、ルカ、MEIKO、KAITO、レン、がくぽ、氷山キヨテル、初音ミクオ、巡音ルキ、AKAITO、帯人、ニガイト、弱音ハク。友人等にボカロ好きはあまりいないです。好きな色は黒、灰色、白。好きな曲はアニソン、ロック系、ボカロ。心に残る絵本は醜いアヒルの子です」

ここからはアンズちゃんお気に入りのボカロ曲をコメント付で抜粋紹介。後で紹介するアンズちゃんのマイリスと一緒に読んでほしい。ただ純粋な気持ちで。

①【初音ミクオ】「peace maker」
08年4月　アリアP
「架空の戦争の話なんですが、ニュースで報じられる戦争と重なって聴いていると涙が出てくる曲です」
いわゆる亜種もの。2万再生だからまだ「埋もれ」の部類か。アンズちゃんは割と発掘熱心らしい。

②【巡音ルカ】　ナイフ　【オリジナル】
10年2月　パワーコードP
「初めて聴いた時に思わず泣いてしまいました。自分と同じ気持ち、同じようなことを思っている人がいる。この曲を聴くと不安な時も安心することができます」
30万再生の殿堂曲。アンズちゃんお気に入りの中ではちょっと毛色が違うなと感じた。歌詞は大事。

③【ミクオリジナル】偽善正義【NfN】
11年9月　偽善者P
「正直になりたいけどなれない、本当の自分を他人に知られるのが怖い。臆病な女の子の歌です。自分もそうだと共感する人が多い曲だと思います」
6万再生。最高13位まで登った正統派ボカロック。

④【氷山キヨテル】ここに君がいないなら【オリジナル】
11年10月　ぺぺろんP
「前奏から聴いているだけでテンションが上がってしまう曲です。でも、テンポは良いのですが少し悲しい歌詞で、心にグッとくるものがあります」
先生キター！　カラオケでも友達と歌ってるんだって。

⑤【初音ミク】グロリアス・ワールド【オリジナル曲PV】
11年10月　蝶々P
「歌詞がすごく共感できる曲で、本当はこの曲の歌詞のような人も多いんじゃないかと思います」
殿堂入りピアノロック。カラオケ化済。アンズちゃんは「歌詞　テンポ」を重視するみたい。

以上、5曲に絞ったアンズちゃんセレクション。「初音ミクの消失」「ローリンガール」「アンチ　パラジクロロベンゼン」「正義粉砕」は泣く泣く省略。

つづいて、アユちゃん（仮名）。アンズちゃんの妹でこの春から高校に入学した15歳。中3の記録。

「姉さんが興味を持ってCD（Re:package）をプレゼントしたのが出会ったきっかけです。KAITOお兄様、鏡音レン君、色々な亜種の方々…が好きです。声優の同好会に入っていて先輩方、全員がボーカロイド好きです。ボーカロイドの良いところは、全てです！　悪いところはあえて言うなら、無いです！　ボカロ以外の音楽はTWO-MIXさんが好きです。好きな色はエレガントな色、緋色。心に残る本は『赤いくつ』。今考えてみるとグロテスクな内容で幼子の見るような本ではないなと思います」

ガンダムWについても熱く深く語ってくれましたが誌面の都合とぼくの趣味でばっさり省略。ごめんね！

①【オリジナル曲】絵本『人柱アリス』【歪童話】
08年4月　歪P
「曲名の通り悲しい曲なのですが、このPVで初めてKAITOお兄様という素敵な存在に出会い、もしも一目惚れする事が無かったとしたら、現在のようにCDやゲーム、グッズを購入したり、KAITOお兄様の新曲を聴いたりという事も無かったと思うので、ボクにとっては一番好きな曲です！！！」

言わずと知れた超特大ヒット曲のコメントをちょっと長いけど全文紹介。やべえ俺今マジで感動してる！

②【鏡音レン&KAITO】erase or zero【デュエット／オリジナル】
08年5月　クリスタルP
「テンポの良い曲で歌いやすいと思います。この曲はカラオケに入っていて、歌っている人も沢山います」
30万再生殿堂曲。カラオケでこれ歌ってるんだ……

3【神威がくぽ　KAITO　鏡音レン】「IMITATION BLACK」オリジナル曲
09年6月　natsuP
「許されない愛をテーマにした曲で共感する事が出来る所もあり、とても気に入ってる曲です」
120万再生超王道V系ボカロック。これは熱い。

4【神威がくぽ・他】ヴェノマニア公の狂気【中世物語風オリジナル】
10年7月　悪ノP
「あまりカラオケに入ってない曲ですが、テンポは良いと思います。曲の好みは人それぞれですが」
120万再生のオールスター物語曲。主役はがくぽだが、一番美味しいところはKAITOがもっていく。コメントが控えめなところから逆に熱い想いが伝わる。

⑤【初音ミク】オリジナル曲「タイムリミット」【製品版】
07年10月　North-T
「明るい曲ではないですが、個人的にこの曲を聴くと感動します。ゲームとCDの歌詞が違っているので、ぜひ一度聴いてみて下さい」

意表をついたボカロ黎明期のミククラシックを選曲。本来のお薦めは「初音ミク ベスト～memories～」収録バージョンとのことで、じばばんさん情報によると姉妹そろってDIVAアーケードが大好きとのこと。

以上5曲。すっかりスレてしまった自分が恥ずかしくなるまっすぐな選曲で本当は全曲載せたかったが、ミク「崩壊歌姫」、ルカ「RIP=RELEASE」がくぽ「接吻は刹那」「Paranoid Doll」は字数の都合上省略させてもらう。

姉妹ながら対照的なふたりの選曲、ヤワな分析が無意味なほどの熱量。ふたりに好きな色と心に残る絵本を尋ねた俺の勘は間違っちゃいなかったんだぜ。

次はろびんくん（仮名）。アユちゃんと同じく先日まで中学生だった吹奏楽部員。姉妹よりもさらにコジらせ気味なろびんくんにトリを飾っていただこう。

「仲が良かったオタクな先生から初音ミクという単語を聞いたのがボカロとの出会いでした。ニコニコに精通していた友人とカラオケに行くためにツタヤで『初音ミクベスト』を借りて、いろんな曲があって全然飽きませんでした。念願のiPodを手に入れニコ動で毎時をチェックするようになり、そしてPodcastで聴き専ラジオを発見します　ほんっと面白かったですね　やべえ！　中高生の文化を大人がガチで解説してやがるぜ！　かっこいい！　って。そこで紹介される曲の鋭さ。びっくりしました。自分はボカロの浅いところしか探ってなかったんだな、と。ねずもずさんのボカロ文化に対する考察がほんっと素晴らしくてやばい弟子入りしたい　熱い想いの吐露が続くが割愛」

彼が選んだ曲は5千再生から多くても20万再生、背伸びしたコメントがこそばゆくも眩しかったんだけど、これ曲だけろびんくんの心のテーマを選んでもらった。これを聴きながら、今回の筆をおこうと思う。

巡音ルカオリジナル曲　「rainy」
10年11月　ジミーサムP
「聴いていると本当に泣けてきます。広大で優しい透き通るようなサウンド、でも寂しさの伝わる歌詞。乾いた心であろうと、形のない命を。まさにルカさんがそれを代弁してくれているのではないでしょうか！」

【参考リンク】
アンズちゃんマイリス　http://www.nicovideo.jp/mylist/31497804
アユちゃんマイリス　http://www.nicovideo.jp/mylist/31498269

最後に
今回あえて自分の感想は極力省きました。彼らはボカロ好きな中学生だったけれどその代表ではありません。でも、彼らから送られたメールを読みながらぼくは正直泣きそうだった。中学生よ、クソしてとっとと寝ろ。明日も元気でな。これが俺からのメッセージだ。

V3・Lily登場! インターネット 村上代表に聞く

V3歌声ライブラリ開発記

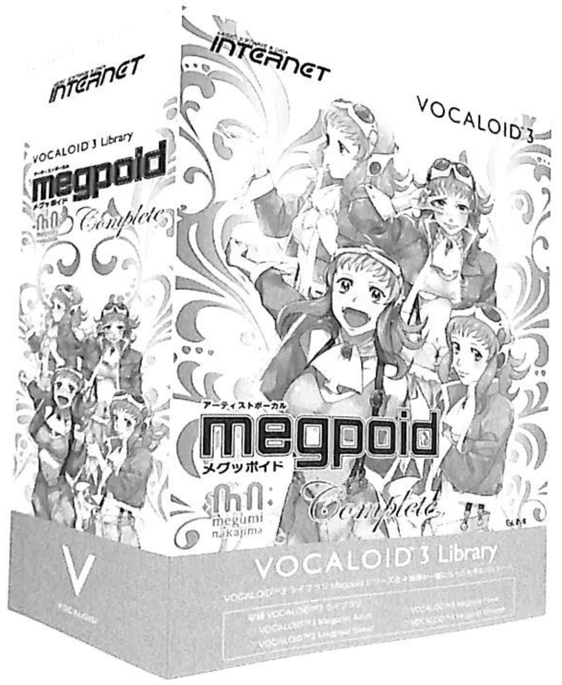
既存のボーカロイドに新しい歌声ライブラリを用意することで楽曲制作の幅を広げたり、まったく新しい歌声のボーカロイドを開発したりと、V2版をV3用の歌声ライブラリに進化させることでユーザーを支援したり、V3化にともなう流れの中で、あらゆる方向からクリエイターをサポートするインターネット。その真意と取り組みについて同社代表・村上氏にお話を伺った。

メグッポイドはV3化に合わせて、個性的な4つの歌声ライブラリを用意。感情表現が豊かな楽曲が作れるようになった。

豊富な歌声ライブラリがクリエイター達に大人気のメグッポイドに続いて、V3版の「Lily」が4月19日に発売された。V3では、各社からたくさんの新キャラクターが発売されて話題となっているが、インターネットでは、既存のキャラクターに対しても、歌声ライブラリのバリエーションを増やすなど、ファンやクリエイターのために力を注いでいる。まずは、メグッポイドの例を時系列で見ながら追っていこう。

2011年10月21日にV3エディタと同時に発売されたのが、メグッポイドの4つのライブラリだ。同年10月に発行されたボカロPlus創刊号でも、村上代表がメグッポイドの新歌声ライブラリの発売について明確なビジョンを語っている。

「すでに発売しているキャラクターには、既存のユーザーがいるわけで、同じキャラの新しい声というのは、非常に魅力的だと思う。GUMIとして曲を作るときに、声のバリエーションが多くあれば、曲の部分ごとに歌い分けができます。これはボカロPにも、聴き専にもメリットがあることです。特にV3は同じトラックの中でも、声（キャラ）を変更できる仕様なので、声の種類が多いキャラクターは使いやすいと思います。これからボーカロイドを始める方々にも、GUMIは声の種類がたくさんあるということが選択するポイントにもなると思います。新キャラクターも大事だと思いますが、V3では新規参入メーカーも増えますし、新しいキャラクターもどんどん広がります。有り難いことだと思いますが、はじめに買うときに、どれにしようか悩むと思うので、その時の選択肢として声が多いというのは魅力的だと考えています」



2011年10月21日に発売されたV3 Library Megpoid シリーズ Adult、Power、Sweet、Whisper の4種類の歌声ライブラリと、4種類がセットになった Complete を発売中。本格的な歌声データ作成・編集を行える「V3 Editor」が同梱されたスターターパックも用意されている。価格：各11,340円、各17,640円（スターターパック） Complete：26,250円、31,290円（スターターパック）

V2の発音の甘かった点などを修正したうえでV3としてリリースされたメグッポイドNative。声質自体は〝V2のまま〟というコンセプト。

メグッポイドでは、個性的な4つの歌声ライブラリ、Power、Whisper、Adult、Sweetが追加され、感情表現が豊かな楽曲が作れるようになった。

しかし、スタンダードな歌声はV2版の製品を購入する必要があったため、新規ユーザーにとっては、金銭的にも負担が生じていた。そこで、同社ではV2版のメグッポイドを、V3版の歌声ライブラリのNativeとして発売することにした。これで新規ユーザーにとっても購入しやすい環境を整えることに成功している。2012年3月16日に発売されたメグッポイドNativeの発売に対して、当時の村上代表は同月発行された本誌で語っていた。

「V2のメグッポイドを既に持っている方は、V3にインポートして使っていらっしゃると思いますが、V3からメグッポイドに触れられた方がV2のメグッポイドの声を使いたいと思うと、V2のソフトウェアを買う必要が出てきてしまいます。V3はライブラリの単体発売なので1万8000円です。しかし、V2はシステムが入っているため1万5000円と高額になってしまいます。ですから、V3ライブラリとして、V2の歌声を商品化するほうが、今後メグッポイドを始める方には手に取りやすくなると思ったんです」

V3エディタは、WaveトラックとVSTエフェクトが使えるので初心者には本格的な音楽編集ソフトがなくても使いやすくなっている。

また、ベロシティの変化量の幅が大幅に変更されたことでより使いやすくなった。

そして、V2版の歌声ライブラリ部分をインポートして利用することもできるが、改めてV3用の歌声ライブラリとして発売することに対しても、村上代表は取材に答えていた。

「V2の発音の甘かった点などを修正したうえでV3版としてリリースさせていただきますが、声質自体は〝V2のまま〟というものを目指しているんです。

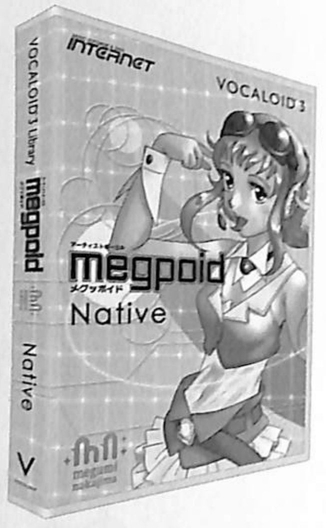
つまり今回はV2の〝声質〟をライブラリとして加えていただけるということです。

さらに、V2をインポートしてV3で使うよりは発音や子音を修正していますから滑舌がよくなっているのは確かです。トライフォンを新たに追加しましたので言葉の繋がりが進化していますから、ノイズなどが入ってしまう場合の調整作業も軽減されています」

そして、V2版からのV3化という流れでLilyが発売されることになった。

V3版のLilyについては、V2版の歌声ライブラリが初めから同梱される仕様になっている。Lilyは、音楽グループ「m.o.v.e」のボーカリストyuriの声をベースに制作されたボーカロイドだ。V3版では、新たに録音・制作した歌声ライブラリと、V2版の声質やニュアンスを限りなく忠実に再現した歌声ライブラリの2種類が収録されている。村上代表に2種類の歌声ライブラリについて語って貰うことができた。

「2種類のライブラリを収録させているのは、V2版のパッケージ販売を終了させていく方向なので、その声質のままのV3版を用意するのが目的です。V2版とV3版は歌声ライブラリの制作コンセプトが違っています。V2版はインターネット製ではないので、人間らしさを追求しているライブラリではなく、合成音的な部分を強調して作られました。ピッチの揺らぎも無くしていて、殆ど揺れない



歌手・声優「中島愛」の声を元に制作した「V2 Megpoid」の声質やニュアンスを限りなく忠実に再現したV3専用歌声ライブラリ。V3のトライフォン技術の採用や音声データベースの再調整、子音部分の修正などにより、さらに高音質な歌声合成を実現することができる。価格：11,340円、17,640円（スターターパック）

LilyのV3化においては、新たに録音・制作した歌声ライブラリと、V2版の声質やニュアンスを限りなく忠実に再現した歌声ライブラリの2種類がセット!

のですが、V3版では人間らしさを追求しつつ、中の人の声も再現することを目指して制作しているので、コンセプトがまったく違う歌声ライブラリになっています。そのおかげで、V3版のLilyは、いままでにない歌声になりました。同じLilyでもV2版とはコンセプトが違うので、似ている部分はありますが、根本的な声質はかなり変わっているんです。そういう意味では既存のキャラクターですが、新しいライブラリに近いと思います。GUMIのように声質違いではなく、両方ともLilyなんです。ライブラリの名前もLily NativeとLily V3にしました」

V3版のLily、「Lily V3」は新たに録音・制作されたライブラリで、人間らしさと、中の人の声を再現することを目指している。

V2版をV3化するということは、V2版の販売を終了させることを意味する。商品を販売終了にすることで、店頭在庫や流通の倉庫にある在庫が全て返品として戻ってくるリスクがともなう。場合によっては経営状態を悪化させる恐れもあり、多くの企業ならばリスクを回避すべく努力をするだろう。

ましてや、販売終了になると回収作業が発生してしまう。V2版とV3版をそれぞれ存在させ、併売するというスタンスも可能だが、ユーザーが混乱する可能性があり、不親切になってしまう恐れがあるのだ。

つまり、インターネットは、ユーザーに対して、まっすぐな気持ちで経営方針を定め、行動していると言えるのではないだろうか。なぜ、リスクを背負いながらもV3化を進めるのだろうか?

「V2版の方がいいという方も当然いらっしゃると思うんですけど、V3化をする理由のひとつは価格差で、もうひとつは販売形態が大きく違うというところです。V2版は、どれを買っても毎回システムが入っていますし、V3はライブラリだけを足せばいいという形式ですので、どうしても価格差が出てしまう、店頭でV2版の値段を下げればとの話もありますが、流通業者など関連企業がたくさん入っていますから、メーカー側から価格の統制って、なかなか出来ないんですよ。

価格改訂は難しいので、V2版のパッケージに関しては、回収していくのが、正しいやり方だと思うんです。どうしてもV2版がいいという人の為に、ダウンロード版だけは残していきます。ダウンロード版であれば価格も調整できますからね」

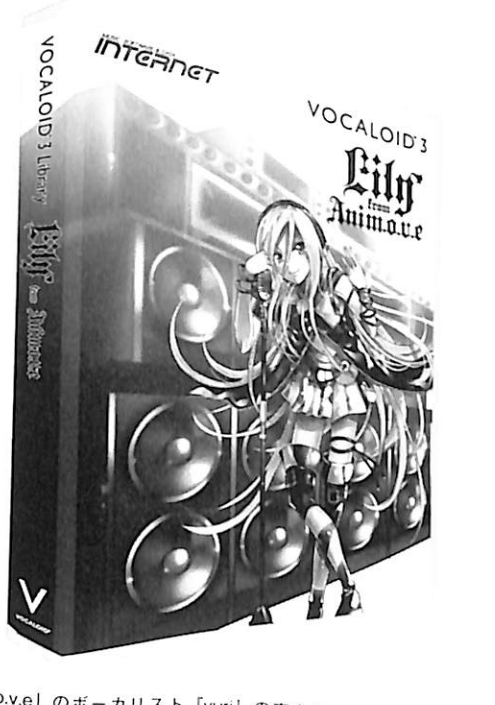
なるほど、ダウンロード版を残すことも含めて、ユーザーのことを第一に考えた英断のようだ。歌声ライブラリとして、V2版をV3に進化させるメリットも当然あるのだろう。V3化を積極的に進めることで、ユーザーが受けるメリットについても話を聞いてみた。

「V3は、使いやすくなっていると思うんです。あまり調整をしなくても、それなりに歌うようになっていて、より初心者には使いやすくなっていると思います。合成音についても、微妙なところで音のつなぎ目や切れ目などが良くなっていますので、クオリティーが上がっているんです。クリエイターのことを考えると、今後もV3化は積極的にしていきたいと思っています。

合成エンジンは異なるので、細かいところでは違いがでますが、声質そのものは引継いでいる歌声ライブラリです。V2版の声が好きだという人の為に、V2版の歌声ライブラリもV3化して提供していきます」

V3化にともなう、ユーザー本位の在り方と、ソフトメーカーの誠意を見せてもらった。

V2版をV3化するということは、V2版の販売終了を意味する。店頭在庫や流通の倉庫にある在庫が全て返品として戻ってくるリスクもともなう。



「m.o.v.e」のボーカリスト「yuri」の声をベースに制作したV3専用の歌声ライブラリ。新たに録音・制作した歌声ライブラリと、「V2 Lily」の声質やニュアンスを限りなく忠実に再現した歌声ライブラリの２種類を収録。価格：13,440円、19,740円（スターターパック）

「3つの指を立てているのはV3だからです（笑）振り返っているのはバンドメンバーであるボカロPさんに向かってサインしているイメージです」

ボーカロイドの発売元で同人イベントに出展している企業は少ないが、同社はボーカロイド関連の同人イベントにも積極的にブース出展していることでも知られている。同人イベントにソフトメーカーブースがあることで、同社製歌声ライブラリのユーザーがどれだけ心強いかは、推して知るべしだ。

ニコニコ超会議のなかで開催された「超ボーマス20」では、展示ブースだけでなくイベントも開催していた。実力派ボカロPさんをゲストに迎えて開催されたボーカロイド講座は、実にためになる内容で、盛況であった。

読者のみなさんは村上代表がインターネットの代表取締役であると同時に、ボーカロイドの歌声ライブラリの開発者であることもご存知だろうか? 作り手として、ライブラリ制作のこだわりはどこにあるのだろう?

「弊社はピッチをあまり直さないんです。ピッチをストレートにするとフォルマントが変わるので声質まで変わってしまいます。微妙な揺れは人間らしさに繋がるので。実際は平均ピッチを録るから、そのまま揺れるわけではないんですけどね。若干の揺れがリアルな歌声に結びついていると思います」

インターネットから発売されているボーカロイドは、中の人に近い声で、まるで人間のように歌うと評価が高い。その秘密は、この作り方にあったようだ。ライブラリ開発の評判が高いため、他社と[illegible]

イラストは、人気イラストレーターKEI氏が担当、黒と黄色のイメージカラーからハチ姿の派生キャラ：ハリィが作られたの

新作のLilyはエイベックスがキャラクターを担当している。

「キャラクターについては、V2版を踏襲するということで一致し、衣装を変えるとの話もありましたが、衣装含めて固まったデザインのキャラなので殆ど変えていません。ポーズと表情に関しては変更しました。3つの指を立てているのはV3だからです（笑）。振り返っているのはバンドメンバーであるボカロPさんに向かってサインしているというイメージです」

次々とV3用歌声ライブラリを発売している同社は、LilyがV3用歌声ライブラリとして7製品目となる。ボカロP-us創刊号インタビューでは、がくっぽいどのV3化の話を聞くことができたが、開発は進んでいるのだろうか?

「いま新しいがくっぽいどを制作中です。新録した歌声はひとつではないので、どちらかというとGUMIと同じような販売形態になると思います。衣装は、ほぼ変わりませんが、インナーの色が声によって異なります。夏頃に発売予定です。がくっぽいどもV2版のV3化はしていきます。新作については、いままで連続して発売しているので、ちょっと一服しようと思っています（笑）」

β版サンプル曲
http://www.nicovideo.jp/watch/nm17655205

V3用歌声ライブラリ『がくっぽいど』の新パッケージ用イラスト。新たにGACKTさんの声をV3用に収録して開発中。GUMIと同じように声質の違う歌声ライブラリが、いくつか発売される予定。イラストは、コミック作家の三浦建太郎氏が担当。声によってインナーの色が変化する。発売は夏を予定している。

エハミックの

クリエイター魂

今回のお客様はマルチクリエイター北條俊正さんです。

エハミック

音楽家。 チョコレートとマックグリドル中毒。本職は図書館司書。
http://www.nicovideo.jp/mylist/14279807

ボカロ界でも独自のスタンスで創作を続けるエハミック氏。当企画はエハミック氏がインタビュアーとして、今旬のクリエイターと対話するというもの。今回、お話をお伺いするのは北條俊正氏。氏は映像作家・シナリオライター・写真家・小説家・TV番組プロデューサーなどなど、さまざまな肩書きを持った、いわば〝マルチクリエイター〟だ。『踊ってみた』で活躍する若者をテーマにした写真集ムックの企画・取材・撮影、そして直近、女子高校生ボカロPを主人公にした小説を上梓した。さて、マルチクリエイターってカッコよさげですが、その正体やいかに！

クリエイター自身が作ったモノを責任持って売るということ……。

エハミック（以下：エ）●今日は北條さんのクリエイター魂についてお話を聞かせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

北條（以下：北）●こちらこそ、よろしくお願いします。今をときめくエハミックさんにインタビューされるなんて緊張しますね（笑）

エ●ぜんぜん、緊張されているように見えません（笑）。プロの作り手として修羅場をくぐっていらっしゃると思いますので、私のほうが緊張しきりです。

北條さんはボーカロイド界においては〝CUL〟をプロデュースする『ボカロレボリューション製作委員会』の中の人というお立場でもあり、本業はTV番組ディレクターで、ご自身で制作会社も経営されてますよね。そして、TVドラマ脚本も手がけ、小説執筆も行ううえに、写真家でもあられる……。

北●はい。

エ●最近ですと、『踊ってみた』で活躍する若い女性たちをテーマにした写真集的なムック『D-GIRLS ～ソーシャルメディアの踊り手たち～（玄光社MOOK）』を手がけられていますよね。ボカロプラスのこの号が出る頃にはボーカロイドをテーマにした小説『拝啓、あなたはボーカロイドを知っていますか』も刊行されますし……。マルチというか、ものすごく広い守備範囲ですね。作るだけではなく、営業的な動きも率先してやってらっしゃるとお聞きしました。

北●僕、初めて会った人には、作った人ではなく〝これを営業してる人でしょ？〟って思われます（笑）

エ●思います、思います！

北●営業的なこともやっていますが（笑）、『D-GIRLS』は撮影も、取材も僕がやっています（笑）

エ●企画者であり、カメラマンであり、ライターでもあると……。この一冊の取材を積み上げることがとても大変なのは想像がつきます。制作の現場と営業的（プロモーション）な部分まで、どうしてそこまで？

北●今までだったら、写真を撮る人、文章を書く人、売るのを頑張る人は、別ですよね。まあ今でも別なんでしょうけど（笑）。それが何か面白くないな……と思ってるんですよ。〝作ったら責任持って売らなアカン〟って思うんです。でも、そこは、ボカロPの人たちが自分でCDを作って〝よし、頑張って広めるぞ〟って思ってるのと一緒なんじゃないかな～って思ってるんですけど、感覚的には……。

エ●いや、それは違いますよ。違うんですよ（笑）

北●違うんですか！ ちょっとそのへん聞かせてください。

エ●あのですね、何というか、まぁ自分もそうなんですけど、口べたな人が多いです

北●そうか！ そこですか！

エ●そうなんですよ。クリエイターとして、内に籠もってしまうタイプの人間っていうのは、やっぱりそこが非常に難しくて、曲をかいて動画を作るという、一連の流れを一人でやってしまうと、数字が伸び悩む傾向にあります。私自身はそれでいいと思っているんですが。その動画を出すことで成果を得たいと考えている人にとっては〝どうしたらいいのか？〟というジレンマに陥ってしまったりも……。

そうなると「作り手と営業」っていうリレーションシップ、役割分担の重要性を感じざるを得ないです。北條さんみたいに〝作って売る〟というスタンスで取り組めるのは、すごいことだと思うんですけど

北●すごいことじゃないんです（笑）。根本的にモノが売れない状況からです。むしろこれが景気のいい時だったら、版元さんから〝北條さん、自分で売りにいかんでもいいですよ～〟みたい言われると思います（笑）

エ●モノが売れない時代……。

北●作り手としての責任や、役割をクロスオーバーさせて、よりよい成果をというのは当然なんですが……。それとは別に僕はこういう時代だから、作ったものがどういう状況で、どのように世の中に広がって行くのかを知りたいんです。そしてそれを手に取ってくれた人のリアルな感想も含めて。

エ●マーケティング的な関心と受け取ればよいのでしょうか？

北●〝マーケティング〟っていう言葉になると、それは業務みたいじゃないですか。業務というよりはもっとこう原始的な欲求なんです。〝どう思ったんですか？〟的な（笑）

エ●感想を聞きたいという思いが、膨れ上がって、マーケティング的になったと？

北●作り手とかクリエイターっていう意識だけでもないんです。なんていうのかな、〝いち市民〟です。それこそ、橋下市長を応援するのと同じ。どんなふうに自分の地域の街づくりが、良くなっていくのかな～っていうのを見ている感覚。そんな感じなんです。

エ●では、やはり、スターシステムをのし上がったというか、大々的に売られているタレントさん達よりも、一般の代表的な踊り手に興味をひかれるという感じですか？

北●そもそも、『D-GIRLS ～ソーシャルメディアの踊り手たち～』は、一般の子達の取材から企画がスタートしているんです。

エ●このムックには一般の方とタレントの方がミックスされて掲載されているんですよね。一般の方から始まったんですか！

北●一般の子達がどんな曲を踊っているのかを取材してるうちに、ボカロの曲も勿論踊るんですけど、〝今、踊っているのはナントカというアイドルの曲な

北條俊正 氏

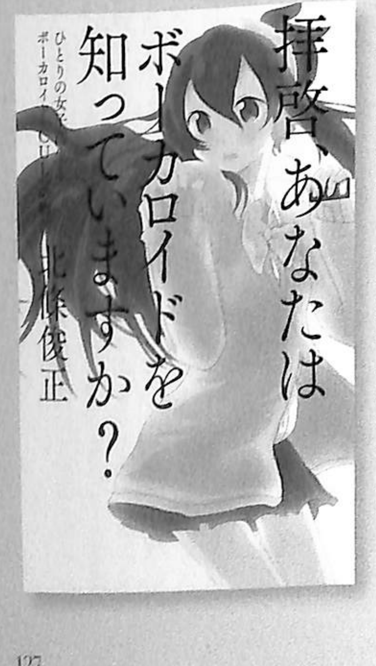
1974年生まれ。映像作家・シナリオライター。株式会社ブロッサムレポート代表取締役。主な作品に、『ヒナの魂』（角川文庫）、倉木麻衣 LIVEDVD「Grow Step by Step」writer、「中垣内祐一のファンダメンタルバレーボール」監督、音楽番組「MU-GEN~Music Generations~」企画・構成。産学協同テレビドラマ「ニトナツ ~恋も仕事も~」「ヒナの魂」（共に前13話）監督・脚本などがある。

D-GIRLS

～ソーシャルメディアの踊り手たち～（玄光社 MOOK）

価格 1260円　玄光社　発売日：2012/4/11

岡井千聖（℃-ute）、さくら学院、アップアップガールズ（仮）など、ニコニコ動画やYouTubeなどのソーシャルメディアに積極的にダンス映像をアップしているアイドルたちから、仙台を拠点に活動するドロシーリトルハッピー、ニコニコ動画の「踊ってみた」カテゴリーへの投稿から出発したDANCEROID、さらには地方から「踊ってみた」カテゴリーに名乗りを上げ、「常連」「カリスマ」として人気を博すアマチュアの“踊り手”まで、ソーシャルメディアのダンスシーンをリードする女のコたち11組、総勢28人を、美しいグラビアとロングインタビューで紹介する一冊。



拝啓、あなたはボーカロイドを知っていますか？

価格 1365円　廣済堂出版
発売日：2012/5/19

CUL使いの〝女子ボカロP〟が主人公の青春小説。ボーカロイド〝CUL〟で楽曲を作って地元の伝統的なお祭に参戦し、ボカロ曲で踊りまくる女子高生たちのストーリー。主人公・パルコは高校1年生のガチオタ女子。リアル充実デビューを果たすため、高校に入ると野球部に入部し、マネージャーになったのだが……。

んです〟って状況が見えたときに、そうか……と。その子たちがそのアイドルを追っかけているのなら、僕もそっちをチェックしないと……という流れで取材の幅が広がった感じですね。
エ●この、踊ってる人たちが、手本としてアイドルを見ている感じですか？ こういうメディア（『D-GIRLS ～ソーシャルメディアの踊り手たち～』）で、アマチュアとプロが同じ立ち位置で掲載されている例は今まであまりなかったので、最近の若い子たちにはプロとアマに境界があるようでないのか……という印象を持ったんですが、やはり、依然としてあるんでしょうか？
北●大衆の代表というニュアンスでの今のアイドルと、かつてのスターとは違いますよね。近く感じるという部分はあると思いますが、プロとアマの置かれている環境は圧倒的に違いますね。芸能の子達は、戦場ですよね。ライバルがたくさんいる中で日々戦いがあり、朝から晩まで練習。それが毎日続くわけです。歌のレッスンもあるし、踊りもフリをすぐ入れなアカン……というプレッシャーの中で生活しているんです。

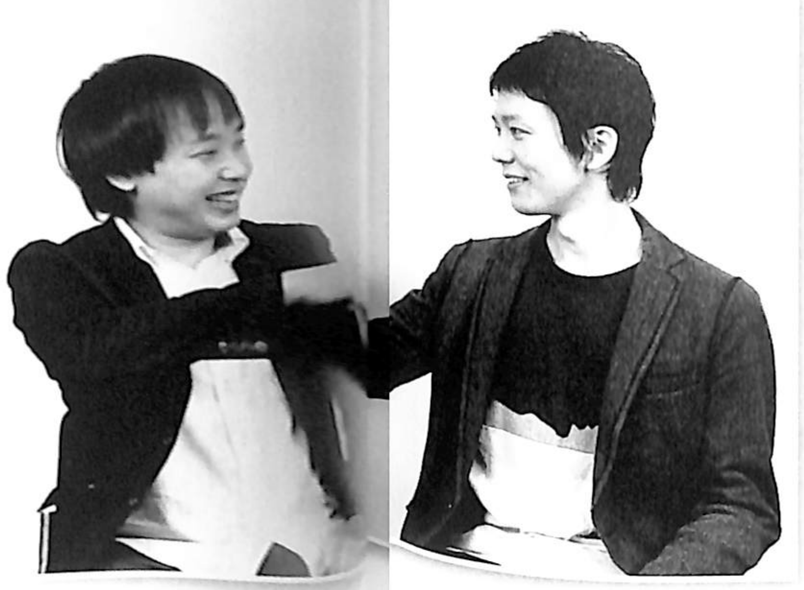
かたや一般の子達はそこまで別に追い詰められていないですよね。ただ、あれほど練習してるんだから芸能の方が偉いとか、練習してないから一般は中途半端……のような視点はないです。踊ることに夢中になっている若い子たちがいる……、結果その中にプロもいればアマもいるということです。

今回ムックに載ってるような子たちは、取材すると同世代特有の思いだったり、共通する大切な何かを抱いているんです。なので、取材する僕自身が〝人気ありますね〟という感じで彼女たちを捉えてないんです。〝明日、あなたここに載りますから〟みたいな……。
エ●この感じというのは、北條さん自身の方向性なのか、それとも、業界全体でそういう所に目が向いているんでしょうか？
北●それは前者ですね。僕がたぶん、イヤなんです（笑）。つまり、〝芸能はこうだ〟みたいなこととか、〝華やかでしょ〟みたいな見せ方がイヤというか（笑）。

〝所詮人間じゃん〟と思ってしまうので……。だからその、僕自身の死生観に関わってくるんです。〝明日死ぬかもしれんのにな〟っていう。あっ、この話をしだすと長くなるんでまたの機会に（笑）
エ●そうなんですね。実はですね、こういう一般の子が表立った舞台に立つ機会が増えてきた昨今、私は逆に、ジャニーズが面白いなって思うようになったんです。カウンターカルチャーでしかないんですけど、自分の中で。ちゃんと出来上がった舞台で作り込まれたエンタメの良さも、再確認できたんです。

大人の表現者のリスクと踊ってみた動画をあげる女子高校生のリスク。

北●エハミックさんは、アイドルシンガーをプロデュースしたいという思いがあってボカロを使ってらっしゃるんですよね。大きなバジェットでジャニーズ的なアイドルシンガーをプロデュースしたいって野望とかはあるんですか（笑）
エ●あ、それはまた別です。個人である程度できる時代なので、そうではなくて、個人レベルじゃ全然到底及ばないようなもの、巨大なものを楽しみたいということです。
北●なるほど。
エ●巨大なエンターテインメント、ボカロのようなもの、世の中的に〝どちらも素晴らしいよね〟というところに行き着くんじゃないかと思うのですが。
北●そうですね。二極化します。
エ●ですよね。
北●草野球かオリンピックかです。僕もどっちもしたいなとは思っているんですが……。
エ●どちらも素晴らしいものがあるので、どちらも関われたら、それは幸せですよね。
北●はい。エンタメの立ち位置にいると、草野球するのは覚悟がいりますが……。
エ●覚悟？ それは、プライド的な問題ですか？
北●一回突き抜けられたらいいんですどね。神と崇められるような立ち位置になってるエンタメの中の人だったら、〝これもマーケティングの一環〟と言いつつ出来るでしょうけど。上司がいるとか、部署の中での自分の位置・ポジションで、そういう草野球をしようと思ったら、もう割り切って日曜日にちょこっと趣味、それも密かな楽しみ……みたいな取り組みになるんではないかと。大手を振って〝どっちもやってます〟とは、言い難いんです。
エ●そういうものなんですか？
北●さっきの、大きなバジェットで……というお話。例えば〝これ冒険だなぁ〟みたいな映画で、大きな予算がついてる場合は、監督が自分の家を抵当に入れてたりしますよ。
エ●えええ？
北●だから、やるからにはそのリスクですよね。大きな予算で、当たり障り無い感じのは、別に誰も家を抵当には入れてません（笑）。やはり、好きな事をするだけのリスクはあります。
エ●対比すると、若い子っていうのは、リスクが無いって言えるんですかね。自分の生活の範囲でやる分には……。
北●パラレルに考えを巡らしてみるとそうも言えないんです。ニコ動で〝お前痩せろよ〟とか〝太ってる〟って弾幕が流れるリスクを背負ってまで顔出しで踊った子のことを考えてしまうと……。
エ●確かに……そうですね。
北●その子にとってみれば、そのリスクって、大人のリスクと変わらないと思ってるんです。
エ●多感な時期ですしね。
北●よっぽど傷つきやすいですよ。僕なんかは散々傷ついて、もう何でもいいですもん（笑）
エ●そうですよね（笑）。そりゃ、おじさんと、この少女達の心を一緒にしちゃ駄目ですよね。
北●むしろこの、絶対値としては、この子達の方がもっと……。
エ●対価払ってますよね。
北●はい。だから〝君たちすごいなぁ〟って単純に思ってます。
エ●誹りと不用意な発言と、傷つく事と引き換え。喜びと傷ついた事が、どれくらいの対価か？ 大人は分かってないのかもしれないですね。
北●これがね、そうなんですよ。これを大人たちが分かる時が来たら、本当に面白いですよ。何



万人もフォロワーがいる子は、それを一瞬にして手に入れた訳じゃないんですよ……ってこと炎上やら何やら、いろいろ傷ついた事があっての、今があるという。そのノウハウを、お願いします、という気持ちで貰おう。教えをこおうよ……という思いですね。だから、僕がやってる事は、教えをこうてる訳です。

女子高校生ボカロPが主人公の熱い青春物語を執筆する経緯とは？

エ●では、今度は5月19日に出版される小説のことも交えながら……。ストーリーはボーカロイドで楽曲を作り、伝統の祭に参戦し、ボカロ曲で踊り狂う女子高生たちの青春物語。ボカロ楽曲を作ったことがない人や、お父さんお母さん世代にも向けて、ボーカロイドの魅力を分かりやすく伝えるという意気込みで執筆……と。小説に取り組まれた経緯が知りたいです。
北●ソーシャルメディアで活躍するダンサーの子達の取材を重ねていくうち、今の中高生の子達が、どのようにネットに触れ、自発的に創作活動を行い、仲間をつくり、それが日常化しているか、親は知らないんじゃないか？と思ったんです。

若者がネコのように走り回って手に入れている〝ネット現場の知恵〟、〝コミュニティづくりの知恵〟を、相当数の大人は知らないんじゃないか？ と。

その〝知恵〟を知れば、この国の大人はもうちょっと、楽しい雰囲気になるんじゃないかなぁと思ったんです。

これは知識系の新書とかにするのではなく、物語にするのが、一番分かりやすい形だとも思いました。さっきの〝教えをこうたこと〟の共有です（笑）。それがちょうどボーカロイドソフト〝CUL〟の発売前、2011年の秋頃のことです。
エ●あ、そうです。小説の中でですね……。主人公が、ランキングの順位を結構気にしてたんですよね。あれはたくさんのリアルを取材する中で得られた〝感覚〟なんですね？
北●そうです！ あのですね、今回読んでいただいたゲラ、まだそこから修正しているんです。
エ●まだ、直すんですか？
北●ええ、ある意味で達観したオッサン（自分）の諦めとかが入っていないかを捜索して排除するっていう（笑）。単に僕が忘れただけで、本来そういう過程を踏んで、悶々とした中学高校を経て、今に至るというか。喉から手が出るほど欲しかったものが、今現在を生きてる世代の子たちの感覚ですから。
エ●番組『ボカロレボリューション』、踊り手を取材した『D-GIRLS ～ソーシャルメディアの踊り手たち～』の取り組み、〝CUL〟をプロデュースする『ボカロレボリューション製作委員会』での取り組み、そういうもので得た〝世代の子たちの感覚〟を伝えたいということなんですね。
北●はい、だからボーカロイドを知らない外の大人たちに伝えたいんです。
エ●この本を読むと、世の中のヲタクじゃない大人たちが考えているヲタクの概念自体が違うというところに気づけるんじゃないかと。そこに、引け目を感じない世の中になってきたなって感じるんです。勝手に認識されている〝ひとりっきり〟っていう意味でのヲタクと、意味合いが違いますからね。
北●アニメが好きとか、フィギュアが好きとかは属性のことで、趣味嗜好の話ですよね。それは表層の部分で、引け目ではないんですよ、今は。たとえばクラスで、自分は童貞だと。クラスの半分は経験済みだと。そういうのが引け目（笑）。弁当一緒に食えない感じ（遠い目）
エ●あります？ それ？
編集部●ありましたよ。当然。
エ●ありましたか！
北●あなた無いんですか！（笑）
エ●無いです。無いですね（笑）。え、なんでだろう。何か多分そのような感情って、大槻ケンヂさんの『グミ・チョコレート・パイン』あたりの感覚で、結構クラシックな男の子の心情だとは思うんですけど、実はその辺りがよく分かってなくて。高専出身だからですかね。ほぼ男子校だったんで。
北●そういう意味では実は今回の小説って、コミュニティを出る、勇気を持ったか持たなかったかという。アウェーを、楽しめるかどうか、っていう所の主眼なんですよ。ヲタか非ヲタかっていうのはアイテムであって、分かりやすくA点B点をつけなければならないので、両極のものを対峙させてますけど、要は、自分が普段仲のいい友達の輪から出て、あっちの子達と話をして、〝何とかこのクラス、もっと良く出来ないかな〟って思う奴と、〝え、いいじゃん別にバラバラで。知るかよ〟みたいな奴の物語っていうところですかね。どうです、しっくり来ます？
エ●あ、しっくりは来ます（笑）。小説の中ではそのアウェーであっても、まあ、一般的な生き方という像でしかないんですけど、そういうものでも、あんまり2人のリスクの差というか、〝こっちを選んだから駄目だったね〟という描き方はされていませんよね。ただ、今後その違いが世の中では表層に出てくるんでしょうか？
北●主人公の女の子も、生きて誰しも、勝負する時はそれなりのリスクがある。けれども、それがどうなろうが、やらなかった事の後悔を考えた時、人はやるんじゃないでしょうかね。
エ●何かに興味を持って取り組める……というのは幸せなことだと思います。ただ、続けられない事に対して、ジレンマを感じている方もいると思うんです。北條さんから、なにかアドバイス的なことって……。
北●うーん、それは〝無理せんでええ〟と思うんです、僕。
エ●そう思われますか！
北●あんまり頑張らなくてもいい気がして、そんなに躊躇しないと思うんです、やってしまう時って。楽しくてね。〝続けるべきかどうしようか〟なんていうのは〝完全にそれ、企画として終わってるんちゃうか〟という見方もありますから。物事がうまくいっている時は、イケイケでそんなに考えない。うまくいっていなくても自分の中で〝これやるもんだ〟って思ってたら、やってしまっているものですから……。

セクシー&キュートなボカロ界のきれいなおねえさん

“MEIKO”が大好き！座談会

数多くのキャラクターが存在するVOCALOIDの「お姉さん」的存在と言えば「MEIKO」。ハードロックからアイドル路線まで、幅広く歌いこなすVOCALOID「MEIKO」について、MEIKO大好きな3人が語りあう！ 謎の組織「MEIKO親衛隊」とは？ MEIKOのアイドル時代とは？ MEIKOの魅力、教えます！

イラスト：「おまめ」さん
http://piapro.jp/omame0909

MEIKOの魅力とは？ そしてMEIKO親衛隊とは？

いぶし銀次●今回の座談会、テーマはずばり「MEIKO」ということでお送りします。初音ミクをはじめ、VOCALOID2以降のボカロは何かとメディアでも取り上げられる機会が多いんですが、今回は、それ以前に発売された「初代」ボーカロイドである「KAITO」と「MEIKO」のうち、「MEIKO」についてて、MEIKOに造詣も愛情も深いお二方をお招きしてですね、熱く語ってまいりたいと思います。

柿太郎●よろしくお願いします。

ぼか主●どうも、よろしくお願いします！

いぶし銀次●まず柿太郎さんですが、「咲音メイコファンクラブ」の発起人であり、ご自身もMEIKOを使用してカバー曲もアップされていますね。

柿太郎●そうですね、「MEIKO親衛隊」のほうに片足を……片足というか、両足を（笑）

いぶし銀次●むしろ先頭に（笑）。そもそも、柿太郎さんがMEIKOにハマったきっかけは？

柿太郎●ニコニコ動画を見始めたのは08年の9月ごろで、ボカロがグッと上がってきた後でしたね。

いぶし銀次●ミクはもちろん、リン・レンもすでにいた頃ですね。そこで、あえてMEIKOというのは？

柿太郎●僕の場合、ただ聴くだけじゃなくて、カバー曲とかで動画を作りたいな、と思っていたんです。

いぶし銀次●ご自身が「使う」ということを考えていたわけですね。

柿太郎●そうですね。で、最終的にミクとの二択で悩んだんですが、yuukissさんの『ぼかんないです』シリーズと、ぼか主さんの『アンインストール』のカバー、斜め上Pさんの『咲音メイコ』ツアーを聞いて、MEIKOの幅の広さとか可能性を感じたんですね。

いぶし銀次●なるほどなるほど。

柿太郎●「MEIKO生誕祭」が始まったのがちょうどその年で、旗振りPさんの生誕祭の告知動画を観て「すごい、アツい人がいるんだな」と思ったことも決め手でした。

いぶし銀次●確かに、あの当時からMEIKOファンは何かアツいものを持っていましたよね。初音ミクが数多くのヒットを飛ばしていく中、「いや、MEIKOだっていいんだよ！」と（笑）

ぼか主●そうそう（笑）

いぶし銀次●僕の場合、ちょっとさかのぼって07年末。ドッPさんが作った水谷麻里さんの『21世紀まで愛して』のカバーがきっかけですね。「こんな声も出せるんだ！あとメイちゃんかわいい！」と、一気にファンになりましたね。

柿太郎●あの作品は「MEIKO親衛隊」発祥の地と言われていますね。

いぶし銀次●そうそう。観に行ったときにはすでに、コメントが超盛り上がっていて。もうのっけから「メイちゃーん！」と弾幕が。「なんだ、このアツさは！」と（笑）

ぼか主

ニコニコ動画初投稿は07年4月。「初音ミク」登場以前からMEIKOを使用したカバー曲を投稿している、VOCALOID動画制作のパイオニア。「伝説のMEIKOマスター」の一角にも数えられている。

柿太郎

カバー曲を中心に投稿するMEIKOマスターであり「咲音メイコファンクラブ」発起人。現在、名だたるMEIKOマスターが共演するMEIKOコンピレーションアルバム「暁 -AKA-TSUKI-」を制作中。

いぶし銀次

伝説のボカロ系ライブ『ドキ生』副主催をはじめ、多数のユーザー発ライブに携わる。自身もおっさんホイホイオンリーのライブを主催するなど、歌謡曲やアイドル歌謡を偏愛するMEIKOファン。

ぼか主●すごいノリでしたよね。まさに80年代アイドルのノリ（笑）

いぶし銀次●それで、タグを観たら「MEIKO親衛隊」って、書いてあって、「え、そんな組織があるの？」って（笑）。最初はそう思っていましたね。

柿太郎●特にちゃんとした組織があるわけではないですね。自分が「親衛隊だ」といったら親衛隊だと。

いぶし銀次●その割に、今やニコニコ大百科に隊規までできている（笑）

柿太郎●そうそう。ありますね　あれも　作ったのは自分の先輩なんですけど……（笑）

全員●（笑）

いぶし銀次●ちゃんとした組織ではないんですが、「メイコ親衛隊」という言葉があることで、ゆるやかにではありますが、MEIKOファンは「誇り」とか「つながり」みたいなものは持っているんじゃないかなと思います。帰属意識というか。

柿太郎●「MEIKO親衛隊」と、それからBingoBongoPさんの提唱する「姐党」というのもありますね。

いぶし銀次●「姐党」は、まさに「姐さん」という感じで、HR/HM系の曲に多くついているタグですね。

ぼか主●「MEIKO親衛隊」については、本当に80年代アイドルを知っている年代が多い感じだなと。それこそハッピ着て声援とばして、っていう（笑）

柿太郎●作っちゃいましたからね、ハッピ（笑）

いぶし銀次●あの「MEIKO親衛隊」のハッピはそもそもどういうきっかけで作ったんですか？

柿太郎●盲想Pさんの「VOCALOID劇場」という動画があって、その中でミクとKAITOが着ているハッピがあるんですね。それをメイコ親衛隊歴の長い先輩が実際に作ったんです、手作りで。で、「自分もほしいな……」と（笑）

いぶし銀次●結局どのぐらい作ったんですか？

柿太郎●2年ぐらいかけて60枚〜70枚ぐらいですかね。今はもう在庫がない状態です。

いぶし銀次●なるほど、そうすると、日本国内の中に60人〜70人ぐらいは、あの赤いハッピを持っている人間がいると（笑）。集まったらまさに親衛隊ですね。イベントで着たりするんですか？

柿太郎●そうですね、即売会などのイベントで。ただ、簡易コスプレではあるので、普段アレを着ていてはまずいだろうと（笑）。なので、「着るのは会場のみで」という内々の規律はあります。「カタギさんに迷惑かけるな」と（笑）

Vocaloid MEIKOに「21世紀まで愛して」を歌わせてみた（ドッP）

「MEIKO親衛隊」発祥の地と言われており、前奏から親衛隊のアツい声援が鳴りやまない、一体感あふれる動画。歌詞にいちいち反応する親衛隊のコメントが楽しい。80年代アイドル・水谷麻里の原曲、ドット絵・チップチューンと、往年のアイドル全盛時代を思い起こさせる記号がちりばめられている

http://www.nicovideo.jp/watch/sm1762805

初代VOCALOID「MEIKO」の特徴と、V3に期待すること

いぶし銀次●ぼか主さんについては、07年4月にMEIKOを使った動画を投稿していますね。

ぼか主●そうです。その当時はボカロの動画自体ほとんどなかった。だからMP3を作って、2chの板で「こんなのできました」って公開するぐらいでしたね。

いぶし銀次●「MEIKO」は、当時からヒットしたソフトではあったんですが、知名度としてはDTMerの中に限られていた印象ですね。

ぼか主●そうですね、そこまで一般的な知名度はなかったのかな、と。

いぶし銀次●そのような状況の中で、ボカロの動画をアップしようと思ったきっかけは？

ぼか主●ニコニコ動画が新しくできて、初めてステレオ対応になったんですね。で、「ステレオならあげてみよう」と。色々試してみたいなあという気持ちがあって。ボカロをはじめて聴く人は、それをどういう風に聴くのかな？ と。

いぶし銀次●「気持ち悪い」と思っちゃうのか、とか、「この辺人間っぽいね」とか？

ぼか主●そうそう。だから、動画上げるときに「VOCALOID」という名前は出すけど、それがどういうものかという説明はなしで、いきなり（笑）。その時に「これってソフトウェアの声だよね」ってわかるのか、っていう興味もあって。

いぶし銀次●その後、ミクをはじめ色々なボカロが出てきて、もちろんそういったボカロも使われているかと思うんですが、今もMEIKOを使っていらっしゃるんですか？

ぼか主●そうですね。やっぱりVO

MEIKO親衛隊隊規

<「ニコニコ大百科」より一部抜粋>

第1条　MEIKO親衛隊たる者、MEIKOを心より愛すること。

第2条　MEIKO親衛隊たる者、MEIKOタグの巡回を日課とすること。

（中略）

第24条　MEIKOは誰の嫁でもない。あえて言うなら親衛隊員がMEIKOの嫁である。MEIKO親衛隊たる者、俺嫁論争による不毛な争いを禁ず

（中略）

第27条　MEIKO親衛隊はMEIKO支援こそ真髄。他のVOCALOIDを貶める発言は慎むべし。またMEIKO支援へと繋がるならば、他のVOCALOID動画への支援も惜しまぬこと。

（注・あくまで個人の創作です）

もっとMEIKOをよく知ろう！ 初心者MEIKOファンのための キーワード5選

1 MEIKO親衛隊
MEIKOファンの呼び名の一つ。明確な組織ではない。MEIKOを使用したアイドルポップ調の楽曲の動画などに駆けつけては、熱い「メイちゃーん！」の掛け声で埋め尽くす、熱意と団結力にあふれるファン集団。

2. 姐党
MEIKO親衛隊と並ぶ、MEIKOファンの呼び名の一つ。「伝説のMEIKOマスター」の一人、BingoBongoPが提唱。MEIKOを使用したHR/HM系の楽曲に「姐党」のタグがつけられる。

3. 咲音メイコ
斜め上Pと絵師のdaigomanが創作した派生キャラクターで、「MEIKOのアイドル時代」として、08年4月11日に「【MEIKO】咲音メイコ『デリケートに好きして』【カバー】」の動画とともに発表。アイドルと呼ぶにふさわしい歌唱と愛らしいルックスで、MEIKOファンの心をつかみ、2009年にはクリプトン社公認の二次創作キャラクターに。商品化やゲームへの登場などが実現した。

4. ハイパーかわいい姉さんリンク
MEIKOを使用した動画の中で表情・仕草・ダンス・歌唱など、MEIKOの可愛らしさが際立つ動画につくタグ。ウインク一つもしようものなら「今のは俺に向けて」「いや俺に」とMEIKO親衛隊が争いを繰り広げる。

5. MEIKO生誕祭
発売日である11月5日には「MEIKO生誕祭」として、オリジナル曲やカバー曲の動画、描いてみたや踊ってみたなど、様々な動画がアップされるMEIKOファンの祭典。他、4月11日は「咲音メイコ発掘記念日」、5月5日は「MEIKOの日（May・5の日）」とされている。

MEIKOはクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクターです。

CALOID1が使いやすいです。慣れもありますし。
柿太郎●こうしたらこんな声が出る、っていう感覚は、長く使っているほうがつかみやすいですよね。
いぶし銀次●必ずしも新しいからいい、というわけでもない?
ぼか主●そうですね。インターフェースにも慣れていますし、例えば、VOCALOID1の場合、最初から歌声のプリセットが入っていて、それをパレットに載せていくだけでも形にはできるんです。だから初めて触る人にやさしいという部分もあります。
いぶし銀次●MEIKOの歌声の魅力はどんなところでしょうか?
柿太郎●芯のある歌声で、中高音がおいしいといわれていますね。高音でも耳に痛くない。
ぼか主●高音域での音の抜けの良さ、それと、ロングトーンでずっと同じ音量で伸ばせる点も魅力です。
いぶし銀次●イメージ的には「パワーボーカル」という感じ?
ぼか主●自分としては「歌のお姉さん」という感じですね。マイルドな歌声が特徴だと思います。
柿太郎●それと、俗にいう「性転換」、男声にも簡単にできるというのも特徴ですね。いわゆる「MEITO」。
いぶし銀次●なるほど、そういう幅の広さもMEIKOの魅力ですね。VOCALOID3エンジンで「MEIKO」を発売することが発表されているんですが、期待度はいかがでしょうか?
ぼか主●もちろん期待はしてます。
柿太郎●ただ、今はまだ情報が少ない段階で、ソロでガッチリ歌ったデモ曲もないですから、楽しみは楽しみですね。
ぼか主●MEIKOの特徴である声の抜けとか伸び、中高音の太さが残っているといいな、と思います。VOCALOID1は子音の発音が弱くて、早口に向かないという弱点もあります。V3になって、そのあたりが改善されるといいですね。
柿太郎●それと、今だとWindows XPまでしか対応していなくて、導入に二の足を踏んでいる方は多いと思うんです。だから、新しい環境で使える新しいMEIKOが出る、というのはユーザー層を広げることにもつながると思いますね。
いぶし銀次●あとは「人気」という部分ですね。「再評価」という言い方もおかしいと思いますが。
柿太郎●グッズとかそういう展開になると、MEIKOはちょっと弱いかな……という感触はぬぐえないんですよね。
いぶし銀次●遺憾ながら(笑)
柿太郎●「ひとつグッズが出た、ありがたい!」と(笑)。それでも「まあ、しょうがないよね」と(笑)
全員●そうそう(笑)

MEIKO、幻のアイドル時代!?「咲音メイコ」を語る

いぶし銀次●そのあたり、ユーザーが増えて人気がガーンと上がれば、さわれるMEIKOさんも増えてくる……かもしれないと(笑)
いぶし銀次●今やMEIKOを語るうえで欠かせないのが「咲音メイコ」というキャラクターの登場ですね。
ぼか主●そうですね。それまでは「お姉さんキャラ」ってところしかなかったんですけど、ちょっと別の角度が加わって深みみたいなものができたのかなと。
いぶし銀次●お姉さん、あとは「酒豪」キャラもありましたね(笑)
柿太郎●「大人の女性」と「アイドル時代の過去の咲音さん」が同居している点がMEIKOのキャラクターとしての魅力だと思います。
いぶし銀次●他にも派生キャラってあるんですが、「咲音メイコ」に関しては「MEIKOの過去=アイドル時代」という設定なんですよね。それって、結構思い切った提案だなあと(笑)
柿太郎●それも、今やすっかり定着しましたね。クリプトンでも「公認」されているので、商用展開もしやすくなりましたし。
いぶし銀次●「咲音メイコ」というキャラがあるので、僕はMEIKOの曲を聴くときに時系列的なものをなんとなく想像するんです。たとえばロリ声のものは「あーこれはアイドル時代の……」とか、「姐党」タグの曲だと「あ、これは脱アイドル宣言した後の……」みたいな。なんか工藤静香さんとか本田美奈子さん、あと菊池桃子さん的な(笑)
柿太郎●そのあたり、「初代前説屋」さんが「Project=DIVA Extended RED」というシリーズで、咲音メイコがいかにして、いまのMEIKOになって戻ってきたか、という物語を創作していますね。これがまた、すごくアツいんですよ。コンピレーションアルバム。すごく長いんですけど(笑)

【MEIKO】咲音メイコ「HONEY」【カバー】(斜め上P)

台湾のアイドル・王心凌(シンディー・ワン)の「HONEY」を、斜め上Pオリジナルの、原曲の響きも活かした日本語訳詞でカバー。可愛らしい歌声とdaigoman氏によるイラスト、右下で踊るディフォルメキャラ「しゃきねめ～こ」にも注目。
http://www.nicovideo.jp/watch/sm4218369

ぼか主●咲音はキャラクターとしても可愛らしいですね。「あー、若いなー、可愛いなあ」と。「若い」と言っちゃうのはアレですけど(笑)
柿太郎●「アイドル」という設定があることで、ハードな曲からポップス系までこなせることもアピールできていると思います。
いぶし銀次●柿太郎さんは今、ニコニコ動画で「咲音メイコファンクラブ」というコミュニティを管理していらっしゃいますよね?
柿太郎●そうですね、毎年4月11日には咲音メイコ発掘記念日として『ドキッ☆咲音だらけの生放送』という生放送を、あとは年に2回ぐらいボカロ系の生放送のリレー企画に参加しています。
いぶし銀次●そこでの盛り上がりはいかがでしょうか?
柿太郎●第1回は09年だったんですが、その時は1時間で1万コメント越えしました(笑)
いぶし銀次●それはやっぱり「MEIKO親衛隊」が……。
柿太郎●そうですね、最後の『ファイナルステージ』を流した時には「みんな叫べー!」と(笑)
いぶし銀次●まさにでも、それは「MEIKO親衛隊」にとってはライブそのものですね。動画上で疑似的に騒ぐことができるのもMEIKO親衛隊のいいところかな。誰にも迷惑かけない(笑)

MEIKO親衛隊予備軍におススメMEIKO動画を紹介!

いぶし銀次●さて、アイドルポップからメタルまで、何でも対応できるMEIKOですが、これから「ちょっとMEIKO聴いてみようかな」という方におススメなどあればお伺いしたいとおもいます。
柿太郎●そうですね……MEIKOさんは結構じゃじゃ馬なので(笑)
ぼか主●そうそう。だから、人によって歌わせ方にも幅があります。まずはクリプトンの公式ページにある、デモ曲の「ふるさと」を聴いていただくと、MEIKOがどういうものか一番わかりやすいかと思います。
柿太郎●聴きはじめであれば「伝説のMEIKOマスター」というタグがありますので、まず巡ってみていただいて、好きな曲調のPさんから聞いていくのがいいかなと。
いぶし銀次●本日参加していただいているぼか主さん、アイドル系であれば斜め上Pさん。それと『Nostalogic』という大ヒット曲も作ったyuukissさん。大人かつハードなMEIKOであれば、メタル路

線のBingoBongoPさんなどが、いわゆる「伝説のMEIKOマスター」ですね。
柿太郎●斜め上Pさんは、王心凌(シンディー・ワン)の「Honey」のカバーがおすすめですね。僕自身、咲音メイコを知ったきっかけですし、日本語の訳詞にも感動しました。カバー曲だと、ぼか主さんの「アンインストール」、yuukissさんの「Dearest」は「MEIKOはここまでできるものなんだ」と感動しました
ぼか主●BingoPさんの「宇宙戦艦ヤマト」の「無限に広がる大宇宙」のカバーもいいですね。機能制限がかなり厳しいデモ版MEIKOを使い倒した名作です。最近ではKzさんの「Tell Your World」をIGASIOさんがカバーした「Tell Your World feat.MEIKO」も、初音ミクとの色の違いが分かりやすいかと思います。
いぶし銀次●オリジナル曲でのおすすめはありますか?
柿太郎●コメントの熱さでいうと、シンPさんの『それが僕らのジャスティス』。親衛隊の先輩である「前説屋」さんの歴戦の跡地でもありますし、親衛隊の魂を感じられる、アツい曲です。他に、ポチPさんの『深い深い海の底に』はおすすめです。すごく好きなMEIKOマスターさんの初のオリジナル曲です。
いぶし銀次●僕はBingoBongoPさんの楽曲は是非聞いてみていただきたいなと思います。MEIKOの持っているパワーとか声質、キャラクターはコッテコテのメタルと親和

【ロリMEIKO】Nostalogic (single edit)【実写PV】(yuukiss)

完成度の高い楽曲と歌唱、ダンス、PVで話題となった、MEIKOオリジナルの代表曲の一つ。公開は2010年3月だが、実は2007年9月投稿の「打倒・初音ミク！自作曲でMEIKOをロリ調教してみた(画質&高音質版)」が原形であり、ショート版の「single edit」などを経て完成まで2年半の歴史がある。
http://www.nicovideo.jp/watch/sm9874560

【MEIKO, 初音ミク, KAITO】それが僕らのジャスティス【FULLVer.オリジナル】(シンP)

ニコニコ動画で大ブームを生み出した「卑怯戦隊うろたんだー」と対をなす本作。「前説屋」と呼ばれるコメント職人による熱すぎる前口上、サビでの弾幕など、コメントの盛り上がりに注目。「正義!」を高らかに歌い上げるMEIKOの、のびやかな歌唱を堪能できる。
http://www.nicovideo.jp/watch/sm2398354

【MEIKO】メタル組曲 -Transilvania-【姐党】(BingoBongoP)

「姐党」党員から「党首」と呼ばれ、熱狂的な支持を受けるBingoBongoPの作品。4楽章・10分47秒に及ぶ、様式美ボカロメタルの金字塔。激しいメタルの演奏に埋もれることのない、MEIKOのパワーと高音の伸び、幅広い表現力を堪能できる。
http://www.nicovideo.jp/watch/sm4426257

性が高いと思います。それである程度慣れてきたら「MEIKO親衛隊リンク」で検索していただく、と(笑)
柿太郎●「MEIKO親衛隊」ですか、厳しいかもしれないですね(笑)
ぼか主い●いやでも、結構今の若い子もノリすごいですからね。
いぶし銀次●実際、MEIKOファンの層ってどのぐらいの年齢の方が多いんでしょうか?
柿太郎●そうですね、イベントの後に「赤いクラスタ」でオフ会をしたりすることもあるんですが、男性はやっぱりおっさんが……(笑)
いぶし銀次●ここにも3人……(笑)
柿太郎●そう、なんですけど、女性は若い人が多いですね。
いぶし銀次●えぇー! そうなんですか。いいですね(笑)
ぼか主●そうそう。結構女性の人気は高いですね。コスプレしている人でも、MEIKOが好きって人は多いですよ。
柿太郎●コスプレだと「コンチータ」、「ピアノ×フォルテ×スキャンダル」、「番凩」などのコスプレは良く見かけます。それともちろん「咲音メイコ」も多いですね。
いぶし銀次●なんだろう……赤いからですか?(笑)
柿太郎●女性の方だと比較的、受け止めてくれるお姉さん的な感じなところで人気が高いようです。
いぶし銀次●うーん、やっぱりこう、お姉さま的な安心感……。
ぼか主●まあでも、女の子のことはわかんないですよ。おっさんですからね(笑)
いぶし銀次●全くです(笑)。

暁 -AKA-TSUKI-

26名の楽師と24名の絵師が集結。名だたるMEIKOマスターによる幅広いジャンルの楽曲で「元祖」バーチャル歌姫・MEIKOの実力を堪能できる、MEIKOの魅力が詰まった2枚組MEIKOオンリーコンピレーションアルバム。Vocaloid M@ster 21(2012年7月8日)にて頒布予定。

参加楽師：シンP / オレジナルP / 涼介P / さといも / 涼風涼雨 / CALFO / 奈都魅P /MineK / 斜め上P / No.D / function / L.A.M.B / みじぴんP / あわけんP/endy / shu-tP / やんちゃP / O-9 / ふなむしP / バレットP / maharo(まはろ) / BingoBongoP / ゴゼン / ワンカップP / yanagi / hal
参加絵師：みゆきしょうこ / トユ / カコロ / るめこ / サキ / あんこ / 富夫和人 / daigoman / ササキ / Nez@紅緒 / わっしー / うむ / 陽之介 / りもか / 春野 / アサミ / カコ / 五反田 / ワタナベ / あちこあこ / うえP / 九和
http://vocalo1.com/meiko_compilation
http://www.nicovideo.jp/watch/sm17745622(クロスフェード)

ということで、ここまでMEIKOの魅力を語り合ってきましたが、これからのことを少し聞かせて下さい。まずぼか主さんは……
ぼか主●今、MEIKOの痛車を作っています(笑)
全員●(笑)
いぶし銀次●それはどんなデザインになりますか?
ぼか主●右がMEIKO、左が咲音という感じで……(笑)
いぶし銀次●期待してます!(笑)それと、柿太郎さんは現在「MEIKOコンピレーションアルバム」の制作をしているとのことですが?
柿太郎●そうですね、2枚組仕様でMEIKOのオリジナル曲オンリーなんです。
いぶし銀次●新旧のMEIKOマスターが一堂に介していて、本当に楽しみですね。ちなみに、どんな作品になりますか?
柿太郎●作風もポップス・ロック・メタル・バラード・ジャズ・民族調と幅広いです。「MEIKOのコンピレーションである」という点以外、細かなコンセプトなどは決めていないんですね。その分、いろいろなMEIKOに出会えるアルバムになっています。やっぱり、MEIKOの歌声をたくさんの人に聴いてほしいんですよ。「MEIKOっていろんな曲を歌えるんだよ」と。ひと通り聴いてみて、気に入った人がいたら動画を巡ってみてほしいですね。
いぶし銀次●発売のご予定は?
柿太郎●Vocaloid M@ster 21(12年7月8日)で頒布予定です。
いぶし銀次●その時はそうすると、MEIKOの真っ赤なハッピを着ている人が目印、と(笑)
柿太郎●そうですね(笑)。でも、人ごみだと意外と埋もれちゃうんですけど。
ぼか主●ちょっと異様な集団が(笑)。あー、でもあのハッピ、在庫ないのか～。ちょっとほしかった(笑)
柿太郎●あ、今回、ちょっとコンピレーションアルバムに合わせて再作成をする予定も……。
いぶし銀次●おお、それも合わせて楽しみですね(笑)。注目のコンピ、そしてV3でのMEIKOの発売と、今後も更なるMEIKOの活躍、MEIKOファンの広がりを期待したいですね!

先天性ブリキ症候群

ゆずひこ

『↑人生ゲーム↓』を収録したファーストアルバム『パズル』に続き、セカンドアルバム『Mrs.Terror』をリリース。「ファンタジー要素をちりばめた不思議な楽曲たち。中毒にご注意。用法用量を守ってご使用ください」との注意あり。

今日も明日も変わらない毎日、死におびえるだけの退屈な日常。
「あーあ、何か面白いことないかなぁ」
先日面会に来たおばさまからもらった雑誌をぱらぱらとめくってみると、ふとあるページに目がとまりました。
「素敵なお洋服……」
私はぽつりとつぶやきました。

僕は検診の為にサヤカの部屋へと向かっていました。僕は某難病研究センターで研究医をつとめており、サヤカという少女の担当医をしています。サヤカはブリキ症を患っており、余命いくばくもなく、研究センターで隔離され余生を過ごしています。
ブリキ症とは正式名を「先天性ブリキ症候群」といい、幼年期の少女のみに発症する奇病です。先天的な要因により体が徐々にブリキ化し、最後にはブリキの人形になってしまうという恐ろしくも儚い病であり、未だに治療法は見つかっていません。
サヤカの部屋から突如大音量で音楽が流れ出してきたので僕は急いでかけつけました。
「いったいどうしてそんな大きい音で音楽をかけているんだい？」
大声で彼女に問いかけます。この病棟は特別設計のため大音量で音楽をかけても周りに迷惑にはならないつくりとなっていますが、それでも僕の耳が持たないかもしれないほどの音量でした。
「そういう気分なの。毎日毎日薄暗いこんな狭いところにいたら気が滅入ってしまうわ」
そう言ってサヤカは音楽プレイヤーを停止させました。
「もう検診の時間？　ずいぶんと早いようだけど」
「そうなんだ。この後会議が入ってしまってね、検診の時間を前倒しさせてもらってるというわけ」
そう言って淡々と検診の準備を始めます。
「ねぇ明さん。明さんは小さいころどんな大人になりたかった？」
突然サヤカが問いかけてきました。
「それは将来の夢ってことかい？」
「そう。やっぱりお医者さん？」
「全然違うものだったかな。小さいころは建築家になりたかったんだよね」
慣れた手つきで彼女を診ながら僕は話を続けます。
「ただ、やっぱり親が医者だったせいか、中学に上がるころには医者にならなきゃいけない、みたいな空気があってさ」
「ふうん」とつまらなさそうにサヤカは相槌を打ちました。

「[illegible]」
「私ね、小さい頃から全然夢なんて持ってなかったの。8歳でこの病気にかかってから夢なんて考えたことすらなかったんですもの。でも、最近もしも病気が治って退院することが出来たらやりたいことが出来たの」
サヤカは一転して嬉々として僕に夢の話をしてきます。
「へえ、どんなことだい？」
「お洋服を作りたいの！　とっても可愛いお洋服！　ロリータっていうのかしら？　この前おばさまにいただいた雑誌に沢山載ってたの！　私、入院してから殆ど支給された患者衣しか着てなかったから、あんなに素敵なお洋服があるなんて知らなかったわ」
[illegible]
検診が終わり僕は服を買ってくる約束をして会議に向かいました。サヤカは少し寂しそうに「バイバイ」とお別れを言うとまた雑誌に目を落として熱心にロリータ服のページを読んでいました。

次の休日に僕は原宿へ来ていました。サヤカに約束した洋服を買いにきたのです。めったに原宿に縁がなかった僕は駅を降りた瞬間に圧倒されてしまいました。
竹下通り側の出口だったのですが、既に改札からロリータ服や派手な色彩の服を着た女の子たちがゆらゆらと歩き回っているではありませんか。「これが原宿か……」とぽつりとつぶやきながら僕はラフォーレを目指して歩き出しました。
事前に調べたところによるとロリータ服が売っているお店はラフォーレの地下に沢山集まっているようなので、まずはそこに行こうと思いました。いざラフォーレの地下に到着すると僕はさらに圧倒されてしまいました。
フリルが沢山ついたロリータ服や赤と黒のパンキッシュな服などが沢山並んでいるではないですか。僕はこういった洋服には造詣が深いわけではないのですが、それでも心揺さぶられる何かがありました。
[illegible]リキ症になっていなければ今頃こうして原宿の街を出歩いているのかな、なんて考え事をしながら原宿の街並みを眺めていました。

センターに戻ると僕は急いでサヤカの部屋へと向かいました。ノックをすると「はあい」という声が聞こえてきました。
「こんばんは。この前約束していた洋服、買ってきたよ。僕のチョイスだから気に入ってもらえるかわからないけど……」
「まあ、本当！　嬉しいわ！」
サヤカは早速かけよってきて紙袋を開封し始めました。紙袋の中には様々なロリータ服が入っています。
「着てごらんよ」と僕はサヤカに言いました。「えーでも……」としぶる彼女に、絶対似合うからと強く言い、着てもらうことにしました。僕が廊下に出てしばらく待っていると、中から入ってきてという声がしたので中に入りました。
「どう？　変じゃないかな？　可愛くない？　可愛くないよね？」
不安そうにサヤカは僕になんとも尋ねてきます。
「すごく似合ってるよ！　とても可愛らしくてお人形みたいだ。やっぱり買ってきてよかったよ」
僕は何度も彼女のことを褒めました。事実、ひいき目を除いてもサヤカはものすごくロリータ服が似合っていました。色白の肌に控えめだけどどことなく上品な顔立ち、小柄な体格、その上にロリータ服を着せてあげると、もうお人形としか言えません。
唯一惜しいと思うところがあるとすれば髪型でしょう。サヤカの髪はほぼブリキと化してしまっており、自由に髪型を変えることが出来なくなっていました。そこを除いても洋服に負けていないということを伝えると、彼女はとても嬉しそうにしていました。
「明さん、本当にありがとう。一生の宝物だわ。ねぇ私、やっぱりお洋服が作りたいの。実物を見ていたら、すぐにでもお洋服作りに挑戦したくなってしまったわ」
サヤカは嬉しそうに鏡の前でポーズを決めています。僕はそれを微笑ましく眺めながら彼女に応援すると伝えました。サヤカは早速、叔母に連絡をして裁縫セットや布、教本などを用意してもらったようで、毎日必死に勉強をしながら洋服作りに精を出しているようでした。
サヤカは服を作り始めてからというもの、以前は退屈そうだった毎日をとても楽しそうに過ごしています。それが理由かは定かではありませんが、病気の進行が以

Mrs.Terror

01:Mrs.Terror
02:わがままメアリー
03:原宿の女王
04:サーシャ
05:カトレア
06:ダウト
07:先天性ブリキ症候群
08:トウメイショウジョ
09:ワンダーネコシティ
10:毒林檎とシンデレラ

Music by ゆずひこ(mylist/16453500) @yuzuhik0
Illustration : 有坂あこ(mylist/16375067) @stem04
Mastering : かごめP(mylist/14483299、mylist/13631314) @kagome_p
Narration : 害(M1)(mylist/2996402) @gai_nanodesu
Bass : 宮下大(M1〜4,8,9)、mao(M7)(mylist/14134845) @mao_alpaca_love
Piano : 樋渡和裕(M10)

【ボーマス20】Mrs.Terror【クロスフェード】
ニコニコID sm17584217

前よりも遅くなっているように感じます。

事実、ブリキの侵食状況のデータを見比べてみると以前より三割ほど、力が弱まっているのがわかりました。彼女は不器用ではありましたが努力家でした。少しずつ少しずつサヤカの作る洋服の質や可愛さが向上していることが僕にもわかりました。

彼女は色々なモチーフをもとに洋服を作ることが好きなようで、特にお菓子をモチーフに洋服を作ることがよくありました。

「サヤカはお店を作って洋服を売る気はないのかい?」

ある日、僕は尋ねてみました。サヤカが洋服を作り始めてから一年ほどが経っていました。

「うーん、考えたこともなかったわ。それにまだまだ売り物になる程のものではないと思うし……」

天才、と言っても差し支えのないぐらい彼女は服を作る才に恵まれていました。もちろん普通の子とは違い、一日中洋服作りに没頭していた、ということを考慮しても努力以上の何かがサヤカにはあったと思います。既に売り物にしてもおかしくないほどの出来栄えだと僕は思っていたのですが、サヤカにとってはまだまだ満足出来るものではなかったようです。

ただ彼女の体はもう既に七割ほどがブリキに侵されてしまい、腕が無事なのが奇跡としか言いようがない状況でした。僕はサヤカの作る洋服がとても好きでしたから、彼女が洋服を作れなくなってしまう前に色々な人に見てほしかったのです。僕は素直にサヤカにそのことを伝え、今はインターネットなどで気軽に通販のお店が開けることなどを細かく説明しました。

しばらくは渋っていたサヤカでしたが、僕が何度もその話を持ち出すとついに根負けしたのでしょう、お店を出してみたいと言いました。そこからはとんとん拍子でサヤカの洋服店がインターネット上で開店する事になりました。

サヤカはブランドの名前を『Faily Dolce』と名づけました。〝妖精のお菓子〟まさにサヤカの作る洋服にぴったりの名前だと僕は思いました。Faily Dolceは開店後しばらくの間はそれほど賑わうことはなかったのですが、口コミで評判が広まると瞬く間に人気ブランドへと押し上げられました。サヤカの作る服は全て一点ものであり、同じものは二つと存在しません。特にお菓子をモチーフにした洋服はインターネット上にアップされた瞬間に売れてしまうほどの人気作品でした。

「スイートデコラアイスクリームホリック」や「クッキーストリップパーティナイト」など独特のネーミングセンスも話題となりました。サヤカ自身が表舞台に出ることは研究所の規則上かなわなかった為、ブランドの内側は殆ど謎に包まれており、そのミステリアスさが人気の一因でもあると僕は思っていました。

先天性ブリキ症候群

パパもママも居ない孤独な私の心(セカイ)
光も届かない真っ白なこの部屋から
誰か私を連れ出して

ゼンマイをギリギリと巻いて
もて遊んだブリキの椅子
アリス中毒の部屋の隅で
ばら撒いたトランプで遊ぶ

心臓の縮小は早くて
痛みはもう脳髄に達す
残された時間は短く
純潔のまま死ぬのでせう

機械仕掛けの恋
プログラムされた愛
お気の毒さまね
向ける相手はもういない

白いシーツの上
赤い花弁が散るの
抱いた人形から
こぼれるナミナミダ
錆ついたブリキの私

日々硬くなっていくこの体
可愛くないブリキの胸
金槌で形作りましょう
デカダンに付け込まれぬよう

ある日白衣を着た大人たちがぞろぞろ
グリグリと願うこれは悪い夢だったと

死へと向かう日々にしたためた手記を君へ
(わたしが死と、ブリキと向き合う日々を)
16まで生きた私のことをただ
知って欲しかったのでせう

土に還る日を待ちわびていたのか
黒衣着た大人たちが無表情でした

未練があるとすれば叶わぬ願いを抱き
(脳髄が晴れ渡る)
花を咲かせたままブリキの人形に
なってしまうことでせうか

誰か私を壊して下さい

サヤカの病魔はスピードを速めたとはいえ、着実に彼女のことを蝕んでいました。ブランドの人気[illegible]、段々とサヤカが洋服を作るスピードは遅くなっていきました。

「最近調子はどうだい?」

定期検診で僕はサヤカに尋ねました。彼女のブリキはついに腕にまで侵食をしてしまい、洋服を作ることさえもままならなくなってしまいました。

「最悪だわ　自由に腕が動かせなくなってきたの　まだまだイメージしているお洋服は沢山あるのに、全然手がつけられないなんて悲しいわ」

僕もサヤカも直接口に出すことはありませんでしたが、そろそろ最期の時を意識[illegible]お洋服を作り続[illegible]最期の時を迎え[illegible]ブリキの人形に[illegible]お洋服を着せて[illegible]その日サヤカは[illegible]着のお洋服を僕に差し出しました。それは僕が前に原宿で彼[illegible]の中で一番でした。そしてよくよく見てみると色々な部分にアレンジが施されていました。

「明さんが最初に買ってきてくれたこのお洋服は私の大事な宝物なの。もちろんこのままでも可愛いのだけど、もっと可愛く出来ると思って色々アレンジしてみたの。これを着せたら私のことをめいっぱい抱きしめて。これが最期のお願い」

そう言ってサヤカは恥ずかしそうにうつむきながら検診を受けていました。僕は「わかったよ」と優しく言いました。

サヤカはそれからしばらくしてついに最期の時を迎え、ブリキの人形となり果てました　これを死と呼ぶべきかはまだ明確な答えが出ていません　唯、ブリキ症として十六歳まで生きた貴重な症例ということで学会では大きな話題となりました

僕はサヤカの望み通りブリキの人形となった彼女に用意していた洋服を着せ、めいっぱい抱きしめました　Faily Dolceは完売と共にデザイナー兼代表の、身上の都合ということで閉店となりました　依然高い人気を誇っていた謎のブランドのお店が突然閉店してしまったということで、インターネット上では色々な噂が広まっていましたが、それも時間と共に忘れ去られていきました。

サヤカの部屋からは僕宛の手記が見つかり、それには彼女が死（のようなもの）と、ブリキと向き合う日々、洋服と出会ってからの日々、そして僕への恋心が綴られていました。僕はサヤカが僕に対して恋心を抱いていると薄々感じてはいましたが、病院の規則上の問題やひとまわり以上離れた年齢などから彼女の恋心を受け止める術を持ち合わせていませんでした。

もしも、別の出会い方をしていたら僕たちはお互いに恋に落ちていたのかもしれません。今となっては妄想の彼方のお話です。ひとつだけ言えることは、僕もサヤカとの日々が楽しいものであったということです。

それは永遠に変わらない真実として僕の中で生き続けるのです。

動画投稿奮闘記

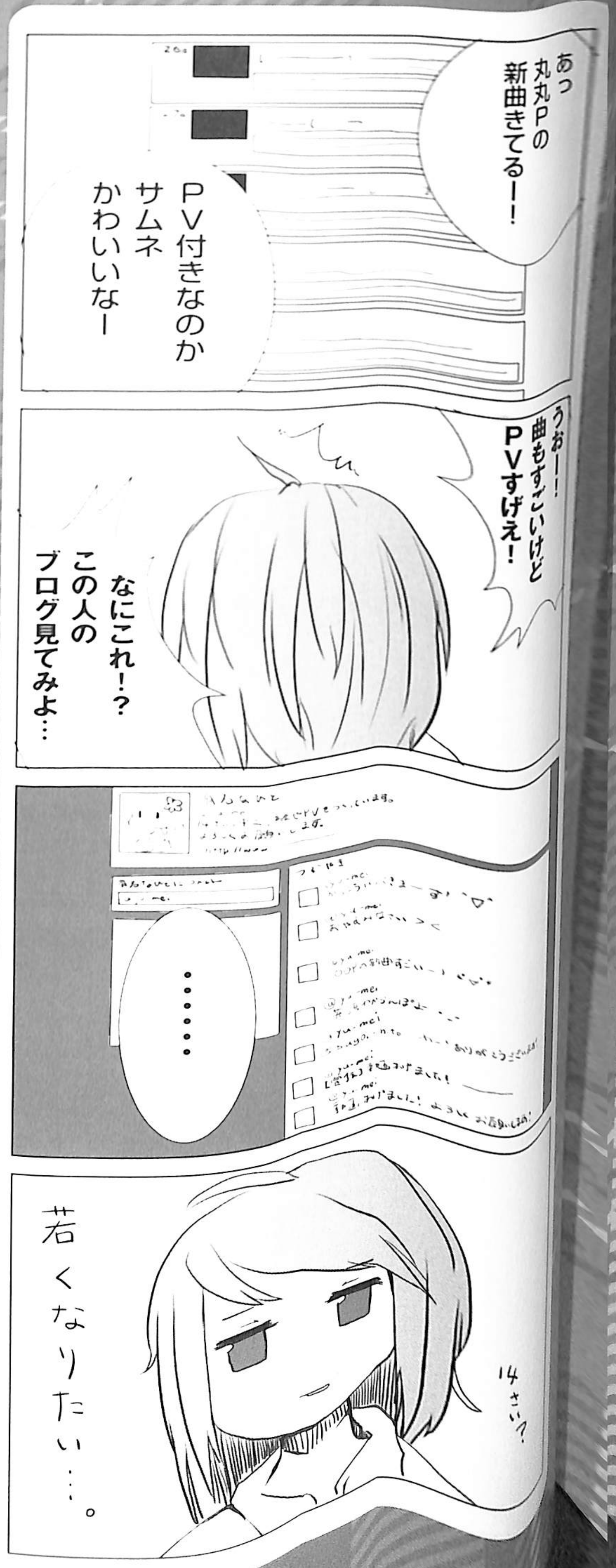
高校2年生の三人組。まこ、きりか、ゆめ。
とりあえず思いつきで作曲し、
とりあえず思いつきで絵を描き、
とりあえず思いつきで動画を作ることに。
果たして動画を投稿することはできるのか！？

作・みくりゃわた

神奈川県出身。2008年から絵・動画作りをメインに活動している。主な使用ツールはAfterEffects・SAI・Photoshop。好きなものはVOCALOID・猫・クロワッサン。好きなPはぺぺろんP。

有名絵師になりたい

年下になりたい



しめ切りやばい

“しめ切りやばい”は超ボーマス前のわた先生のリアルを描いたものでしょうか？

歌い手〝佳館杏ノ助〟の 和楽『千本櫻』、そして超パーティー。

ボーカリストとしての活動と並行して、ニコニコ動画などに歌ってみた動画を投稿し「【それっぽく歌ってみました】邦楽版-Bad Apple!!-」は４０万再生を突破。ａｖｅｘより発売されたボーカロイド和風コンピレーションアルバム『花楽里漫葉集 feat.初音ミク』に「和楽『千本櫻』／杵家七三社中 with 佳館杏ノ助」で参加するなど、現在注目の歌い手・佳館杏ノ助さん。ニコニコ超パーティーのステージでの興奮さめやらぬ中、和楽との出会い、ニコニコ超会議、超パーティーでのステージの裏話などを語っていただきました。

（よしたて　きょうのすけ）６月17日東京生まれ。Ａ型。実妹とのクリエイターユニット「萬月邸（ばんげつてい）」では、歌・作詞・着付けを含めた衣装全般・企画・生ビール大ジョッキを担当。10代の頃より歌手を志し、バンド活動を通して、ロック・ジャズ・ラテン・ゴスペルなどの様々なジャンルを歌う。また、母のお腹の中にいる頃から参加していた祭礼で自然と身につけた歌唱法を活かし、民謡のような長唄のような、独特の節回しを駆使し古典的な歌も歌いこなす。どんなジャンルでも大抵は歌いこなせる為に「それっぽく歌う」という表現をよく使用する。

まずは、和楽『千本櫻』と、ニコニコ超パーティーに参加させていただくきっかけになったエピソードをお話ししようと思います。

ある日、ツイッターのタイムラインを眺めていたら、友人のツイートが目に飛び込んできました。

そこには『傷林果』と書かれており、どうやら何かの曲のタイトルのようです。自分でも、どうしてその名前に強く惹かれたのかは分かりません。とにかく全てが気になったので、僕はそのＵＲＬを迷わずクリックしてみました。

画面の向こうの劇場の幕が静かに上がっていきます。

すぐに拍子木の音がひとつ、ふたつと響いてきて、ああ、古き良き日本の音だと思いました。僕は小さな頃から神社の祭礼に参加していたので、その音を聞いて胸が躍ります。

そう言えば、動画紹介文にも『邦楽』と書いてあったっけと思いつつ、気づけば僕は、食い入るように画面を見つめていました。

「なんて、なんて美しいのだろう。なんて斬新で素敵なんだろう！」

これが、『【邦楽 BadApple!!】傷林果』を聴いた直後の、僕の感想です。

「そうなんだ、日本文化は進化し続けている。綺麗な箱に入れて、決められた人にしか観られない場所に飾っておくものだと思われがちだけど、そうじゃないんだ」

こうも思いました。僕は、その曲を聴き終えてからもずっと体中に電気が走ったようで涙が止まらず、作業中の部屋で泣いてしまったんです。

僕は、『傷林果』の原曲である『Bad Apple!!』が大好きで、ライブで歌ったことがありました。切なげなメロディ、それと相反する激しいリズム。可愛らしい声とは裏腹な、何処か哀しさや戸惑いを感じさせる歌詞も大好きなんです。

いつかニコニコ動画にも投稿してみたいなぁと漠然と思っていた中で、こんなに素敵なアレンジを見つけてしまったのだから、もうどうしたらいいのかという感じ。

ひとり、そわそわそわそわ。

このそわそわをひとりで抱えていたくなくて、すぐに実妹であり、一緒に創作活動をしている綾部ふゆにＵＲＬを送りました。「すぐ観て！」と。なのに、綾部は忙しいのもあってなかなか観てくれませんでした。4日程経って「観てくれた？」と聞いてみたら、「まだだ」って言うんです（笑）。「とにかくすぐに観るように！」と言うと、観るなり綾部も僕と同じく超感動したと（笑）。

この辺りは、一緒の環境で育ったということが大きいと思います。彼女も日本の文化が大好きなので、絶対そうくると思いました。

いかに『傷林果』がすごいかを話し合う中で、「何かこの曲で出来ないかな？　僕としては原曲の歌詞をあてて歌ってみたを投稿したいんだけど……」と提案しました。僕は、綾部が「いいんじゃない？」って言うと思ったんです。なのに、「今すぐに歌詞を古い言葉に訳すから、それで歌って！」って。驚きました。

次の日には、『Bad Apple!!』の歌詞を文語に訳した歌詞が届いたんです。まさに「ジェバンニが一晩でやってくれました」状態で（笑）、早速動画づくりを始めました。

動画に関して言えば、今回は『傷林果』の映像に、文語の歌詞を載せようと当初から考えていました。ですが、『傷林果』の映像はイラストではなく、演奏家の先生方が映っているもの。なので、この動画の統括をされている手妻師・藤山晃太郎氏に連絡させていただいたんです。程なくして快いお返事を下さったので、早速作業に。

投稿してからすぐはなかなかアクセス数が伸びませんでしたが、投稿から1カ月ほど過ぎた11月に、何故か、動画がボカロPさんや歌い手さんを始めニコニコユーザーから注目を浴びていました。どうして急にこんなに注目されたのかは覚えていないんですが、「日本かっけぇ！」「日本語ってこんなに美しいんだ！」「涙が……」などのコメントが溢れていて、ああ、やっぱりみんな、僕たちと同じ感想を抱くんだ……と、また泣いちゃって（笑）。

『傷林果』の一件のあと、とても光栄な機会に恵まれました。藤山晃太郎氏から「是非、一緒に何かやりたい」とお誘いをいただいたのです。

「そんな、僕たちでいいんですか？」と恐縮していると、藤山氏から『傷林果』の企画を主導されている三味線演奏家の杵家七三先生が、投稿した動画を大層気に入って下さっていると教えて頂いて。嬉しくて悶絶しました（笑）。

そんなわけで、僕の『〝それっぽく〟歌ってみた』と綾部の文語歌詞でコラボさせていただくことになりました。楽曲は300万再生を突破した大人気ボカロ曲『千本桜』です。

この曲を、どのようにアレンジしていくのかということを話し合っている時に思い浮かんだのが、歌舞伎の演目『義経千本桜』でした。とても華やかでドラマティックな内[illegible]つつ『義経千本桜』の世界観を取り入れたアレンジに。

今回の邦楽アレンジ「千本桜」に関わる人は、藤山氏と演奏者・歌・歌詞以外に3名いらっしゃいます。絵と書とVocal MIXERです。その方たちも含めて、情報交換をしながら制作が進んでいきました。

ニコニコ動画から、超パーティーへの出演依頼をいただいたのはその頃です。ありがたいお話が重なり、まさに緊褌一番で頑張らねば！と、気を引き締めて作業にあたりました。

それから間もなく、avexさんから〝邦楽アレンジをCDに収録しませんか？〟というお話が来たと、藤山さんから連絡が入ったんです。収録される予定のCDはボーカロイドの和風コンピアルバム。

これは、言わずもがなですが、ボーカロイドが歌っている曲を収録するものですから、ボーカロイドファンの方たちが手に取るCDに、生身の人間が参加してもいいものだろうかと、迷いが生じて。

色々とみんなで考えた末、「実行していないことに対して不安があっていても埒があかないし、いつか誰かがやるならば、我々が先にやりましょう」ということになりました。

CD収録に際して、アレンジも変更する必要が生じました。『義経千本桜』の世界観を濃く取り入れるのではなく、原曲を重視した『傷林果』のようなパターンでいくことになったんです。そんな経緯で和楽『千本櫻』は出来上がりました。

歌い方に関しては、かなり僕の自由にさせてくれたので、責任重大。

レコーディングの時に気をつけたのは、言葉の美しさに見合う滑舌、リズム、感情表現です。「こぶし」は、入れ過ぎても少な過ぎてもいけないし、「がなり」の位置なども、絶妙のバランスを考え抜きました。

それを聴かれた七三先生が、また僕を誉めてくれたんです。「邦楽の調べに合わせて『こぶし』は回せても、シャウトも入れられる人はそういない。声量もこれだけある人は珍しい」と。もう、この一言で今までの孤独な作業の苦悩が全て吹き飛んだのは言うまでもありません。まさに有頂天ってやつです。

その会場[illegible]も参加しました。その日の気温は、なんとマイナス4度！　ですが、最高のPVになるようにみんなで頑張りました。凍えているようには見えないでしょ？（笑）

4月25日、みんなの努力と遊び心と邦楽愛が詰まったCD『花楽里漫葉集（からくりまんようしゅう）feat.初音ミク』が発売されました。この曲はDVDにしか収録されていませんが、発売前に公開したダイジェスト版は3日で14万再生を突破。本当に感謝です。

その興奮さめやらぬうちに、ニコニコ超会議が開催となりました。

1日目はニコニコ超会議内の即売会ブース「ニコつく」に出展。

2日目は待ちに待った超パーティーの本番です。早朝に集合して、リハーサルが始まりました。音の確認と立ち位置の確認などを終え、次は『花楽里漫葉集』の発売元であるavexの企業ブースでのライブイベントリハーサル。全てのリハを終え、少しだけ時間がとれたので、前日から出展している「ニコつく」の自分のブースに足を運んだり、あのウワサの、脳波で動く猫耳（necomimi）を買いに走ったりしました！

13時、いよいよavexブースでのライブが始まります。でも、これから僕らの出番だというのに外がすごく騒がしくて……。何だろうと思いながら耳を澄ましていると、超パーティーのゲストへの声援だったんです。これは負けられねぇぞと気合いが入りましたね（笑）。

イベントは七三先生の麗しい三味[illegible]ブースから流れる電子音の中をスッと通り抜ける、凛とした和楽器の音色に足を止めた方も多かったとか。

曲が終わり、司会者に紹介されながらステージに。「まさか、こんなに？」って驚きました。そして、生放送を通して沢山の人がこのライブを観ていてくれたことを知りました。もう皆さんはご存知だと思いますが、涙もろい杏ノ助は、この時にまたうるっと（笑）。本当にありがたいです。

休む間もなく次は握手・サイン会。avexさんも想定以上のお客様にお越しいただけて驚かれていたとか。時間はあっと言う間に過ぎて、いよいよ超パーティーが始まりました。

僕らの出番は2時間後、それまで再度着付けの確認などの身支度を済ませます。時折「necomimi」で遊んだりしつつ（笑）、心地よい緊張感の中で待機していると、本番を告げるスタッフがやって来ました。ステージの袖に移動するに従って、どんどん会場内の音が迫ってくるように聞こえてきます。袖でヘッドセットマイクを付けてもらったら、緊張感よりもワクワクが勝ってニヤニヤが止まらなくなり……。ああ、ここが暗闇で良かった。絶対に凄い顔をしていただろうなと（笑）。

ゲーム実況枠が終わってから、後ろの幕に待機。ここで一気に背筋が伸びるような緊張感が襲ってきました。会場の広さだけじゃなく、お客様ひとりひとりの熱意や思いが、舞台の裏にまで届くようです。

[illegible]先生の三味線が始まりました。僕がステージに出るタイミングは、笛と尺八が4回ずつ鳴ってから。

さぁ、いくぞ。

先生方の力強い演奏が会場に響き渡り、上段のステージで沢村菊乃助丈が舞います。

舞台で歌っている時って、不思議なんですよ。歌に集中している自分と、その自分をどこか冷静に見つめている自分がいる気がするんです。

その二つの意識が邦楽の調べと菊乃助丈のエネルギー、そして、お客様の思いと重なったように感じた瞬間、身震いするくらいの嬉しさが込み上げてきました。あの感覚は、今でも忘れられません。

ニコニコ超パーティーというステージに立てたことが夢のようです。でも、惜しみない拍手と、みなさんの熱気や声援を受けて、これは現実なんだと強く思いました。

「何でも歌えるけど、自分は結局、どのジャンルを歌いたいのか？」「古き良き日本の文化をこれからの世に残していくには、どうしたらいいのだろう？」

僕はこの数年間、そんな自問自答を繰り返してきました。

ニコニコ動画との出会い、ニコニコ動画を通じての出会い……。それこそが、数年来の僕の葛藤を解放に導いてくれたような気がします。

ほんとにほんとに、たくさんの出会いと応援に、感謝しています。

これからの佳館杏ノ助、そして、萬月邸にご期待ください！

Information

黒兎集 ～ 黒うさPの楽曲を歌ってみた ～

全6曲入り。1000円（税込み）ロマンチックなナンバーから、きょ節（杏ノ助が回すこぶし）全開の和風曲まで、あんな杏ノ助やこんな杏ノ助の魅力がぎゅっと詰め込まれた一枚です！「千本桜」はニコニコ動画の歌ってみたでも大好評！　今回はこのCDの為に録り直して収録です。現在は公式サイトで通販受付中。
ジャケットイラスト：関口さん

【萬月邸】佳館杏ノ助・綾部ふゆ公式サイト　http://bangetu-tei.jp

ボカレボチャンネル生放送スピンオフ

ヒロトPの ボカレボ外伝

今回は生放送前にキセノンPさんといろいろ語ってみました。

ヒロトP／ではじめますか！

キセノンP／今日のトークのテーマは、相互理解を深めると。

ヒロトP／そう、毎週会ってるけど、お互いのことをどれだけ知っているのか？　というのが編集部からのリクエスト。ところで、僕のことどれくらい知ってますか？

キセノンP／とりあえず、具体的な役職は良くわからないですけど、テレビ関連のお仕事をされていて、ボカレボという番組をつくられた人。そして何といっても、CULのお父さんという認識というか。あと、踊ったりしてますよね？

ヒロトP／ええ、たまに……（笑）

キセノンP／正直、あまり知らないんですけど、たまに動画観て、『あっ！踊ってる！』って（笑）。どういう経緯で踊るようになったんですか？

ヒロトP／あれは2010年の8月に、とりあえず何か、VOCALOIDと皆が触れ合っている……もちろん、曲をつくってる人はつくってるし、ボカロ使ってる人は使ってるけど、そうじゃない一般的な人の触れ方は聴く事と、あと踊ることだと思ったんですね。で、僕はよく代々木公園とかにフラっと行って、みんなが踊るのを見ていたんです。で、何の曲で踊ってるんだろうと思ったらVOCALOIDの曲だった。そういう所から、VOCALOIDと踊ってる人たちの、接点というか絡み方というか、すごい興味があったんですよね。

で、僕がVOCALOIDの番組をやろうと思って動いていたのが2010年の夏くらいですかね。その時に、自分がDTMで曲をつくる自信が全く無くて、とりあえず知るために初めてミクを買ってみたりしたんです。まあでもその時、何が一番簡単にできるか……まあ、歌うっていう手段もあったんだろうけど、昔なんとなく踊っていたりした事もあったんで。

キセノンP／若い頃踊っていたのは、どういう踊りですか？

ヒロトP／ええと、ディスコからクラブに変わる頃ですから……どっちかっていうとユーロは好きではなかったんですよね。ブラックミュージック、ヒップホップ……ボビー・ブラウンとか、MCハマーですよね。もともとバンドやって、ブラックミュージックやっていたんで、ジェームス・ブラウンが凄く好きで。ああいうのを昔真似していたというのもあったんで。その流れで、ダンス的には『踊ってみた』って、勿論色々なレベルがあるけどそんな難しくないので、これはできるかなと思って。その中で何ができるかな～と。

一番最初に、大阪の子がオフ会で代々木に来てるよ……という所に初めて行ってみたときに、まあ、ある意味その時の自分から見たら、奇妙なダンスを奇妙な曲でやってるなぁと。凄かったんですよね。でもなんか、これを自分がやってみることによって、自分とVOCALOIDの関わりが変わるんだろうなと思って。そこを自分で覚悟をする為に踊ったと。と、いうところが一番最初ですね。

だって普通考えたら、こんなおっさんが踊ってみたで、しかも、『おちゃめ機能』とかそういうものを踊って上げるっていうのは、ある意味ヤバい事だと（笑）

キセノンP／（笑）

ヒロトP／思うわけなんですけど、その壁を越えないと多分自分がその中に入っていけないんだろうなと。そういうところがあったので、そこは、わざとやったという感じです。

キセノンP／なるほど！　ちなみに、やってみてどうでした？

ヒロトP／最初の頃って、『ヒロトPって誰？』みたいな感じだったじゃないですか。だからその時は、冷たい目に晒されているのはコメント見ても分かったんだけど（笑）

【ヒロトP】

地上波初のボーカロイド番組ボカロレボリューションの中の人。毎週木曜21：00～ニコニコチャンネル（http://ch.nicovideo.jp/channel/ch1224）のMCも務める。Twitter ID @deecloud

でもだからって傷つくわけでもなく、それによって、踊ってみたの子たちとつながりができていったっていうのが嬉しかったですね。

キセノンP／代々木公園で踊っていらしたんですか？

ヒロトP　その時は知ってる子達が江戸川にいたので、江戸川の河川敷で撮ったのが一番最初だったんですけど、そこからは頻繁に代々木公園に顔をだして、みんながどんな曲で踊っているのか、っていうのをチェックしていましたね。

だからある意味、関わり方が変わってますね。踊ってみたクラスタからの関わり方というのは、普通の聴き専の方たちとは違うかもしれないです

キセノンP　バンドマンでもあったんですよね。

ヒロトP／そうですね。中学時代からバンドをやっていたので。

キセノンP／パートは？

ヒロトP／ベースとドラムです。

キセノンP　携帯小説も書いていらっしゃるとか？

ヒロトP　今は半分お休みしているような形なんですけど、いわゆる、それもやっぱり新しいものが好きなので、携帯小説が始まった時、これは自分でもできるなと。いわゆる「行間を空ける」って書き方をわざとして、携帯のちっちゃい画面で見たときに見やすいような書き方をして。これも同じなんですよ踊ってみたと。自分が一番苦手な、恋愛小説を書いてみようと、っていうことで書いてみたんです

キセノンP／苦手なものを！

ヒロトP／苦手なものにチャレンジしていくって事をやっていますね。

キセノンP／なるほど！

ヒロトP／今はトークロイドとか、苦手な事にチャレンジして（笑）

キセノンP　（笑）。やっぱトクロやってみて、難しいですか？

ヒロトP　思ってたより……。曲でもそうですけど、第一歩を踏み出すのって難しいじゃないですか。でもやってみたらそうでもない。きっかけって割と簡単で、解説動画が上がっているのを見て、真似してみたらできちゃいました

キセノンP　「真似してみるか…」「おお！　できた！」みたいな？

ヒロトP　そうそう。ただでもなんか、色んな有名なトクロPさんがやってるのって、結構動いてるんですよね。僕はあんまり動かさないというか、『CULしゃべるなぁ』という感じでやろうかな……と。小説の方は、20作品以上実は販売していたりするんです。

キセノンP　おぉー思い出しました。確かボカレボやってる間にも何作品か出ていたような。

ヒロトP　そうですね、じつは何作品か書いて。秋くらいに調子悪くなってから書いてないんですけど、また書かなきゃ（笑）

キセノンP　それは、中学生・高校生向けって感じですか？

ヒロトP　ターゲットは、20代女性ですね。あれもいわゆる、マーケティングの意味があって、昔だとグリーに出したりアメブロに出したり、モ

【キセノンP】

VOCALOIDを中心とした音楽を制作するサークルXM代表代行。「はやぶさ」と「まるくなる」の人。XMのサークル運営全般を取り仕切っている。シャウトするイオンエンジン。熱血紳士。メタラー。http://sound.jp/xenonmaiden/

キセノンPの楽曲＆アルバムレビュー（by ヒロトP）

はやぶさ

ニコニコID sm10187442

「重金属英雄シリーズ」代表曲。ご存じ小惑星探査機「はやぶさ」の苦難に満ちた旅がヘビーなメタルサウンドに乗せて描かれる名曲。ニコニコ動画の「おかえりー」というユーザーコメントの凄さが圧巻である。

まるくなる

ニコニコID sm12658454

こちらは「重金属英雄シリーズ」とは打って変わって「みんなのうた」的な代表曲。ねこむらおたこさんの可愛らしいイラストと動画とともにほのぼのとした日常の風景が描かれている。これもキセノンPらしい曲である。

HAYABUSA -The Legacy-

2010年12月31日のコミックマーケット79で発表されたSHO（キセノンP）とUse+keY（乙女P）のサークル「XM」のファーストアルバム。「はやぶさ」（初音ミク）「ばいなう」（鏡音リン）「Love Songのような恋ができなくて」（巡音ルカ）「とき」（初音ミク）「Swing-By（巡音ルカ）」等、全10曲を収録。

DIVINE -神曲-

2011年12月31日のコミックマーケット81で発表されたサードフルアルバム。「ひまわり」などが収録されている。マスタリングは全曲ケィ（内緒でお願いP）。全12曲、収録時間74分47秒に及ぶ。生きること、死ぬこと、生まれ変わること…。生と死、輪廻転生、死者の国等を描き出す、XM初のコンセプトアルバム。

NOTES -Text to DIVINE-

2012年4月28日の超ボーマス20で発表されたアルバム。タイトルを見ても分かるように「DIVINE—神曲—」と関連している。Feat. 海ロイドPのトークロイド曲（笑）から「ハンバーグ賛歌」や「アノマロカリスの ム煮」などの「飯テロ曲」も（笑）。さら 8名のイラストレーターの作品もPDFで カラー収録されている。

バゲーに出したりミクシィに出したりで、読んでる層が違うんですよ。そこに同じものを出す事によって、それぞれの層がどういう反応をするかを自分の中に吸収させて、作品に反映させるというのを、やっていたんですね。

とても面白くて、例えば20代女性だと……僕の話って、男がフラフラする話が多いんですよ。でもなんかね、20代の女性はそういう事に寛容ですよね。気持ちが動く、でも、やっぱり自分のことを愛してくれているっていうとこに関しては、まだ理解があるのね。いわゆる大人の女性。それが10代とか、ちょっと飛び越して40代とかって割と同じ反応をするんだけど、いわゆるフラフラする男は駄目で。で、若い子のキーワードは、良く言われているけど『切ない』なんですよ。いかに切ない話を書くか。そこのところの感じを、いかに分かりやすい、短い言葉で、イメージを想起させる言葉を並べてストーリーをつくる、という実験をやっていました。

それをやっていたから、作詞をするときも難しくなかったんだな、という感じで。なんか……すごく自分のこと喋ってますけど（笑）

キセノンP／だいぶ分かった気がします（笑）

ヒロトP／なんとなく僕が分かってきたところで、今度はキセノンさん。でも、お互い、良く分からない感じで出会いましたよね？

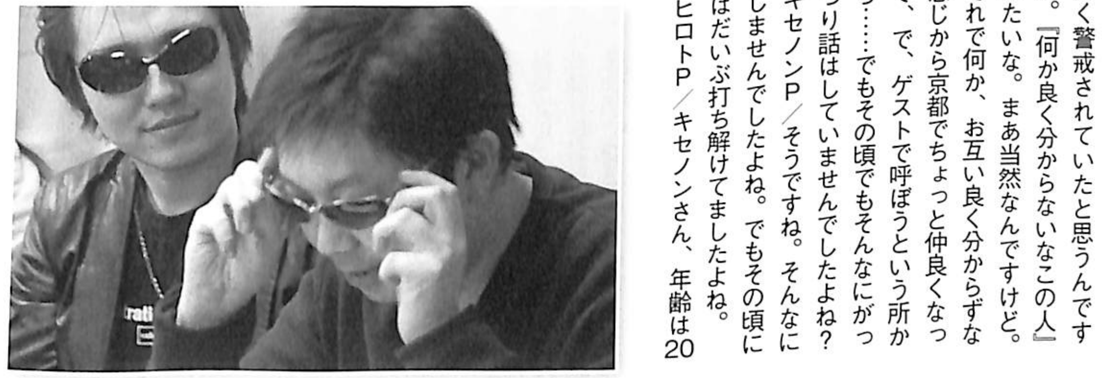
キセノンP／はい（笑）

ヒロトP／いわゆる、ネットに上がってる情報って何も無いじゃないですか。本人を知るための。曲を聴いてみたら、すごいストレートなメタルっぽい曲を書く人だなぁ……とか、上手いなぁ……とか、そういうイメージでした。

キセノンP／有り難うございます。

ヒロトP／で、お会いして、……まあ、最初のスタンスと今のスタンスって違うじゃないですか。最初は凄く警戒されていたと思うんですよ。『何か良く分からないなこの人』みたいな。まあ当然なんですけど。それで何か、お互い良く分からずな感じから京都でちょっと仲良くなって、で、ゲストで呼ぼうという所から……でもその頃でもそんなにがっつり話はしていませんでしたよね？

キセノンP／そうですね。そんなにしませんでしたよね。でもその頃にはだいぶ打ち解けてましたよね。



ヒロトP／キセノンさん、年齢は20代でしたよね？

キセノンP／ええと、三重さんと同い年です（笑）

ヒロトP／音楽のルーツとか聞かせていただけませんか？

キセノンP／多分、ヤマハ何とか教室とかからですね。エレクトーンを、多分、小学校に入る直前くらいからやってて。それからピアノに転向してって感じなんですけど。

ただ、余談になってしまうんですけど、幼稚園がカトリック系で、聖歌とか歌ってたんですよ。その影響は実は強かったんじゃないかと今になって思います。歌うってことに対して、すごく愛着が湧いたというか。

でも、歌うってことは、小学生から先には、あんまりしなかったんですね。で、作詞作曲の真似事みたいな事は、小学生の頃からやってはいたんですが、本格的に意識してやり始めたのは中3くらいからで、人に聴かせるっていうのを意識し始めたのは、高校生とか大学生とかになってからじゃないか？と思います。

ヒロトP／なるほど、卒業後は？

キセノンP／一応就職したはしたんですが、もともと音楽やりたかったし、いつかはこの道に行きたかったんだから、舵を切ろうと、飛び込んできたわけですが、飛び込んだら飛び込んだで、知り合いもいないのでツテも無くコネも無く、どうすればいいのかわからないまま、じゃあ同人音楽ってやつなら1人でも出来るので、じゃあ同人音楽からって感じで、始めたんですね。

ヒロトP／その頃の同人音楽っていうのはどんな？

キセノンP／当時は、オリジナルもあったんですけど、ゲームとかのアレンジですね。ジャスラックさんの迷惑にならないような所で、細々とやっていました。具体的に言えば、東方プロジェクトってやつをやってました。

ヒロトP／学生時代から、バンドは組んでらっしゃったんですか？

キセノンP／主にコピーバンドが多かったんですけども、一応ボーカルをやりたかったんですけどなかなかやらせてもらえず（笑）。『お前鍵盤弾けるからキーボードな』とか。

ヒロトP／ありがちな（笑）

キセノンP／でもいくつかボーカルやらせてもらううちに、やっぱ歌うの好きなんだなって気付きました。

ヒロトP／キセノンさんの年齢からすると、大学出てすぐにボカロに出会った感じですよね。

キセノンP／実をいうと、その頃まだ大学にいたんです。一浪一留っていう。大学が好きすぎて（笑）

ヒロトP／何学部ですか？

キセノンP／経営学部です。サークルは、最初は軽音楽部と漫研を、かけもちしてました。で、漫研の方が部長をやらなきゃいけなくなって、軽音のほうは辞めたんですよ。

ヒロトP／漫研の部長だったんですか！　そりゃ知らなかった（笑）

キセノンP／『やっぱり漫画描くより音楽やってたほうが』っていうのは固まってきていたんで、途中から、漫研の特性と音楽の特性両方生かせるものがないかってことで、同人音楽の方へ行き着いたってのもあります。

ヒロトP／あー、そうだ。聞きたかったことがあったんです。最近、僕もボカロ曲つくり始めたんで、どうやってサウンドつくってるのか興味あります。完全打ち込みですもんね。

キセノンP／とうとうボカロをいじるようになってから、100％完全に打ち込みってことが、できるようになっちゃいましたね（笑）。ソフトは、インターネット社のシンガーソングライターっていうあれをつかって、ぽちぽちと音符を、譜面に置いていってるわけですよ。自分は実は、ピアノロールはあんまり使わないんで。スコア入力でぽちぽちと。

ヒロトP／ギターとかも全部音符を置いて、『ジャーン！』ってやってるんですか？

キセノンP／最近のギター音源ってすごく進歩していて、例えば、Eの音にピッと置くと、自動的にEのパワーコードになったりとか……。

ヒロトP／えー、それはいいなぁ。

キセノンP／[illegible]

イッチで、それがスライドダウンになったりミュートになったり、あるいはハーモニクスになったりとかってことまでできるんですよ。

ヒロトP／それはシンガーソングライターで？

キセノンP　プロミニーという会社の、SC Electric Guitarというソフトを使っております

ヒロトP　そういうの使ってやるといいんだなぁ

キセノンP　サウンド組み立てるまでが大変になっちゃいましたけど一回組み立てちゃえば　あとはそれをループしていけばすごく簡単につくれるように。

ヒロトP　それは楽そうですねぇ。

キセノンP　なので、それがあって、

アンプシミュレーターをカマせば、

[illegible]**誰か弾いてる!?」レベルのものはつ**くれると思います。そのかわり、メモリは滅茶苦茶食います。

ヒロトP／弾いてると思ってた（笑）

キセノンP　結構何人も騙されてる人が。「無茶苦茶上手いですね！」って、いや、弾いてませんって（笑）

ヒロトP　ボカロの調声に関して、こだわりってありますか？

キセノンP　自分はどちらかというと、ほとんどベタ打ちです　ソフトの元々持ってる性能っていうのを、組み取るようなやり方が好き　と言うとかっこいいんですが　まあ　すごい面倒くさがり（笑）

ヒロトP　（笑）

キセノンP　手っ取り早く、キレイに聞こえる方法は無いかと。そしたら、[illegible]**じゃん！って気がついて、ちょっ**とここだけしゃくらせようとかいう所だけ調声して、あとはベタベタで。

ヒロトP／ボーカロイドを使うと、人間の領域を超えられるけど、キセノンさん自身が歌い手でもあるから、自分が歌うこと前提に作っていたりもするんですか？

キセノンP　自分で歌えない曲はつくらないっ！

ヒロトP　なるほど！

キセノンP　でもそれだけでやってしまうとつまらないから、たまーに例外っていうことで、やってしまうこともあります　例えば、息継ぎなして、16小節くらい延々8分音符がカー！っとか（笑）こんなん絶対息持たないよ！っていうのとか。

ヒロトP　（笑）

キセノンP　そういうのをやったりもしますが、基本的には、人間が歌えて、尚且つ、カッコよく。っていうのが、自分の中でボーカロイドってソフトだと思ってる半面、人間扱いしているところもあって、人間として人格を認めて、人としての魅力を出してやろうって考えているところもあります。

ヒロトP／さきほども言いましたが、僕は最近やっといじりはじめたって感じです。逆に言うと、ある意味距離を置いていたんだけど。

キセノンP／そうですよね。

ヒロトP／でもやっぱり、いじってみると面白いので、『ジェンダーを変えるとCULの声が男っぽくなるな』とか、そういうの分かるとだんだん面白くなってきますね。

キセノンP　幼くなったと思うと、それ以上さげるとクリーチャーになった！とか（笑）。あるいは上げると『男になった！』とかですね。

ヒロトP　V2の時もいじってたんですけど、V3になってからすごくいじり始めたので……。

キセノンP／V3楽しいですよね。

ヒロトP／うん。V2とV3全然違うでしょ？　だから、V3になって、すごくやりやすくなったかな。と思いました。

キセノンP／ソフトによってはあるみたいですけどね。1からやり直しになったりとか……。

ヒロトP／ですね。だから逆にV2ですごくガッツリやってたら、すごく辛かったのかもしれない。変わったときに『全然違う！』ってね。

キセノンP／やっぱりV3は優秀なエンジンですよね。

ヒロトP／かなりやりやすい気がし[illegible]

今お気に入りとかありますか？

キセノンP／お気に入りはやっぱり、長年連れ添ってるっていう意味で、ミクさんですかねやっぱり。なんですけど、みんなそれぞれにそれぞれの持ち味があって、どれか1つでも無くなってしまうと、今は困るって感じです。

ヒロトP　同人イベントに関しては、今年はどんな感じで出て行かれる感じですか？

キセノンP　そうですね～、今のところ予定してるのは、コミケを中心に、あと秋に名古屋でボーパラっていうのがあるんで、それももしかしたら行こうかなと。あと、ボーパラとカブってなかったらM3に行きたいです！　あと、行かないって言い張ってたんですけど、次回のボーマス21にもひょっとしたら出るかもしれないです。仲間内で、珍しい人が出るって言っているので、その人に会いに行きたいです。

ヒロトP／珍しいメンバー？

キセノンP／たとえば、まーるさんとかです。

ヒロトP／へぇー。それはそれは。アルバム制作的な感じで言うと、どうですか？

キセノンP／夏コミくらいをメドに、歌ってみたのアルバムを、2枚つくろうと思っています。

ヒロトP／おぉへえ、2枚！

キセノンP／とりあえず、細かいことはまだ内緒なんですけど。これはまたおいおい……。

ヒロトP／めちゃめちゃ楽しみに待ってます！

ボカレボチャンネル生放送

ボカレボチャンネルMC陣。紆余曲折あって、今のメンバーは…。当初からのMCである「三重の人」、「キセノンP」、「内緒でお願いP（ケィ）」、「ぐへへP（ファンド）」。毎週木曜21：00～　http://ch.nicovideo.jp/channel/ch1224

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 01

[ニコニコ大百科編集] HazardLamp氏

ニコニコ大百科の編集を積極的に行なっている聴き専クラスター

ニコニコ大百科で、VOCALOID関連（特にボカロPさん・絵師さん等)、作者の情報を中心に膨大な数の編集を手掛けるHazardLampさん。ジャンルを問わず、作者のこだわりが感じられる作品を中心に選んでいただきました。ブログで、VOCALOIDアルバム紹介記事を掲載中。
http://blog.livedoor.jp/hazardlamp0085/

Title VOCALOID 巡音ルカ

虫

うｐ主：666
投稿日：2011/12/17
ニコニコＩＤ：sm16448535
第一印象：圧倒的！！

VOCALOIDカバーの底力を思い知れ

Review

1980～90年代に活動した日本のハードコアバンド、ザ・スターリンのカバー。12分11秒の怨嗟。バッキバキのギターサウンドは、オール打ち込みとは思えない生々しさ。ちなみにこのバンドはWikipediaの記事が非常に充実しており、面白かったので是非読んでみてほしい。動画イラストの制作者は、他の動画を観る限りきっと投稿者ご本人だろう。これだけの質を体現しながら103再生・6マイリストはあり得ない。もっと聴かれろ！！

Title VOCALOID 初音ミク

忘れな草

うｐ主：たろうさん
投稿日：2011/1/24
ニコニコＩＤ：nm13393578
第一印象：開いた口が塞がらない

失われたものをひとつずつ数える、無垢な絶望の歌

Review

おそらく動画イラストも投稿者によるものと思われる。動画説明文に「戦争に滅ぼされた小さな村の歌」とある通り、とても悲しい、暗い歌だ。予測不可能なメロディ運びと、チリチリ、カチカチというノイズが不穏な雰囲気を醸し出しているが、ひたすら恐怖を煽るエンターテインメント的なホラーではなく、語り手が目に焼き付けた光景や心的情景を淡々と描写するだけの構成が、かえって視聴者に生々しい絶望を植え付ける。

Title VOCALOID 初音ミクAppend

あたたかな日々はゆりかごの中で

うｐ主：36g（風呂埋葬P）
投稿日：2012/1/3
ニコニコＩＤ：sm16597783
第一印象：あたたかいやさしい

これまでを振り返り、これからへと進む歌

Review

殿堂入りしてください作品その2。動画は町夜さん。シューゲイザーの作り手らしく、エレキギターのエフェクトはかなり厚めで立体感がある。けどこの曲ではアコギの優しいジャンジャカが全体の雰囲気を表しており、動画中でも歴代作品のサムネ画像が流れているように、「日頃からの感謝」をテーマにしたあたたかい作品となっている。36gさんのシンボルでもあるパンダ君がかわいい。

Title VOCALOID 猫村いろは

ヨルに帰る花

うｐ主：(仮) P
投稿日：2012/1/11
ニコニコＩＤ：sm16669691
第一印象：なんて上品なバンドサウンド

音と絵の色調の完璧な調和

Review

早く殿堂入りしてくださいお願いしますと念じてやまない作品その1。絵は夏さん。ギターの互いに絡み付く音がイントロから徹頭徹尾美しく、その美しさはエロいという領域にまで達してしまっているけれど、決して下品にならないのは流石。ドラムの細やかな刻みもオシャレで、シンセやストリングスの入れ方も過不足ない。このバランスの良さが終始高いレベルで保たれているのがこの曲の、ひいては作者の最大の魅力と言えるだろう。

Title VOCALOID 兎眠りおん

発光

うｐ主：tac_
投稿日：2011/12/16
ニコニコＩＤ：nm16442221
第一印象：綺麗なニカ風ポップス

アイドルは光の粒より生まれ出る

Review

ヤマハの電子楽器「TENORI-ON」をこよなく愛するtac_さんは、「とねりおん」という似た名前を持つ新ボーカロイドに何かを感じたらしく、発売以降も愛用している。この動画はその記念すべき第一作であり、ニコニコ動画に投稿された最古の兎眠りおんオリジナル曲でもある。過去に投稿した自作曲のセルフカバーで、UTAUを彷彿とさせるやや幼い声が優しい音像とよく合っている。絵はさらさん、動画はくろすけさん。

Title VOCALOID 初音ミク

グラスアワー

うｐ主：くうにすわる
投稿日：2012/3/23
ニコニコＩＤ：sm17330898
第一印象：好みの音と好みの展開

いつまでも振り回されていたい、感性の作品

Review

投稿から間もない作品だが、どうしても紹介したかったので。ピアノとアコギ中心のバンド編成という、実に自分好みな音楽。それだけでなく、曲の展開がころころ変わる掴みどころのなさ、画面を埋める脈絡のない歌詞、とにかく目を引く「胎児」のイラスト、そのすべてがリスナーに不可思議な魅力を印象づけるのだ。深読みするとキリのないタイプの作品。ただ心の赴くまま、流れる音を指でなぞりたい。

Title VOCALOID 初音ミク

客席の叫び

うｐ主：Kagem（なっとくP）
投稿日：2011/12/9
ニコニコＩＤ：sm16379137
第一印象：叫び

創る者の叫び

Review

歌というものは本来、言葉だけでは辛すぎて伝わらないものを、明るく共有できるようにする手段として、広く用いられてきたと考えている。しかしこの作品は、「歌」でありながら途中で歌であることを放棄し、ただ叫び、むせび泣いている。途中で自己矛盾を抱えてしまってすらいる。そんな生々しい姿を「オリジナル曲」として晒すことに、クリエイターとしての枠を越えた作者の「存在」そのものの力強さを感じずには居られないのだ。

Title VOCALOID 鏡音リンAppend

梔子花の子守唄

うｐ主：FMAK（曼荼羅P）
投稿日：2012/1/27
ニコニコＩＤ：sm16804673
第一印象：綺麗な終わり

美しく儚い、いつかは消えてしまう優しい歌

Review

美しい音とハードな世界観による、絶望を安堵で覆ってしまう心暖まる終末観はまさに氏の真骨頂。軸を成す、鏡音リンAppendのほわーっとした声がたまらないほど相性抜群だ。動画は4分39秒だが、氏の2ndアルバム「The answer of paradoxical struggle」には、8分45秒に及ぶフル版が収録されている。氏のウェブサイトや各種イベントで購入できるので、是非手に取ってみてほしい。

Title VOCALOID 巡音ルカ

Need You 2night

うｐ主：GHPZofficial
投稿日：2012/1/24
ニコニコＩＤ：sm16777404
第一印象：ルカの英語がとても自然

本格的なプロデュースを受けた「巡音ルカ」の真骨頂

Review

明るい王道テクノポップ。英語圏のPさんであるからか、ルカの英語もとても流暢に歌わせられている。ニコ動では613再生の49マイリストに留まっているが、YouTubeでは3000近い再生数を叩き出しており、投稿数も80を超えている。ニコ動にはこの1曲しかUPされていないが、是非こちらでも活動してくれないかなあと密かに期待しているのは秘密だ。イラストや動画もおそらくご本人によるもの。

Title UTAU 柚子音ぽん

ライデンフロストエフェクト

うｐ主：シメサバツイスターズ
投稿日：2012/4/7
ニコニコＩＤ：sm17481970
第一印象：ぽん　ぽぽん　ぽん　ぽん

存在そのものが想定外の音源を最大限活用した作品

Review

動画は新島秋一さん。一周目……「あ、この曲かっこいいな。でも短いｗ」
二周目……「ギターめっちゃクールだなー。で、歌はどこ？」 三周目……「なんかスネアの音おもしろいな。さてコメントを見ると……え、これが？！」 四周目…「まさかこれが歌だったなんて……意味ワカンネ……こうなったら「柚子音ぽん」でタグ検索して徹底的に調べてやる！」 ～数時間後～ ××周目……「　ぽぽーん　」

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 02

[聴き専] kosyu氏

VOCALOID聴き専ラジオパーソナリティ アイコンはクマー

ボカロ曲を聴く以前は主に邦楽ロックを好んでいたというkosyuさん。ニコニコ動画中毒の見る専。毎週土曜日には、合成音声界隈の話題について4人の聴き専メンバーと四方山話を繰り広げるネットラジオ「VOCALOID聴き専ラジオ」を放送中。Twitterアカウントは@kosyu。今回は2009年以前の1万再生以下の曲から選んでいただきました。

Title VOCALOID 鏡音リン

さよなら ティーンエイジライオット

うｐ主：大納僧（！）
投稿日：2008/12/14
ニコニコＩＤ：sm5547287
第一印象：切ない

悲しげだが優しい曲

Review

動画説明文によるとテーマは「さよなら青春」。歌詞と曲と動画の絵の雰囲気が素晴らしくマッチしている。アップテンポが多いボカロ曲の中で、スローテンポに聴かせる一曲。

Title VOCALOID 初音ミク

春です 修正版

うｐ主：rashea（rashearthP）
投稿日：2008/5/21
ニコニコＩＤ：sm3389232
第一印象：なんかすげぇ

音の洪水な流れる きれいなメロディ

Review

暴れるピアノに乗せて歌詞のないメロディを初音ミクが奏でていく。「再生数1万以下の作者限定で、他の人は絶対にこんな事やらねぇ！　ストイックで奇個性！と感じた方々を独断で特集した動画」VOCALOID・アンダーグラウンド・カタログにも取り上げられた。この曲の感性はいまでも独自のもの。

Title VOCALOID 初音ミク

銀河

うｐ主：peakedyellow
投稿日：2009/2/18
ニコニコＩＤ：nm6193700
第一印象：うｐ主も歌ってる！？

「初音ミクと俺」 新たな流れ

Review

「初音ミクと俺」と題された初音ミクとうｐ主が一緒に歌うシリーズの一曲。ボカロを使うのは自分が歌わない・歌えないからといった理由の濃かった2009年当時において、独創的なアプローチをもっていた。今では「VOCALOIDと歌ってみた」というタグが生まれている。

Title VOCALOID 初音ミク

夜空のちかい

うｐ主：マッコイ（mackoy）
投稿日：2009/1/18
ニコニコＩＤ：sm5879124
第一印象：爽やか

夜空を見上げる 冬のメロディ

Review

冬の季節を思い出す爽やかで素朴なフォークソング。うp主のマッコイさんは自ら弾き語りをしてオリジナル曲をニコニコ動画に投稿している。この曲の弾き語りも投稿されており(sm10607212)、聞き比べるのがまた楽しい。

Title VOCALOID 初音ミク

雑音ミクに曲を渡したら適当に喋ってくれた [FRAGILE SCREAMER]

うｐ主：sampling INO
投稿日：2008/12/26
ニコニコＩＤ：sm5662664
第一印象：音の歪みもいいものだね

ノイズ、雑音、だが気持ちいい

Review

「雑音ミクに曲を渡したら適当に喋ってくれた」とタイトルに題されたノイズ混じりのミクトロニカ。派生キャラの「雑音ミク」をフィーチャーした曲で、MADに使われるなどの二次作品も多い。ノイズが混じる曲はヒットチャートではなかなか出会えない。だが、こういう曲もボカロでは探せばゴロゴロ転がっている。深い世界の足がかりにもよい一曲。

Title VOCALOID 初音ミク

New Year Anthem

うｐ主：りゅーりゅー（びにゅP）
投稿日：2008/12/18
ニコニコＩＤ：sm5582705
第一印象：怖い？

何故か物悲い。引きこまれリピートしてしまう。

Review

12月18日に投稿された、「Merry Christmas and Happy New Year」と歌うミクトロニカ（VOCALOIDを使用したエレクトロニカ楽曲)。「君に幸あれ」とリピートする歌詞がダウナーな音に乗せて何故か物悲しく響く。歌詞の意味を考えるもよし、音に酔いしれるのもよしの一曲。

Title VOCALOID 鏡音リン

人間と雑草の香り

うｐ主：ThéoRe::
投稿日：2009/12/27
ニコニコＩＤ：sm9207768
第一印象：新しい！

暴れる高音 濃い歌詞

Review

ボカロだから歌える高音とリズム。目まぐるしく変わる展開とメロディ。「感性の反乱β」と呼ばれるタグもつけられている新しい感性を感じる楽曲。高音で調教が独特のため聴き取りにくいが、それが逆に唯一無二の曲のパーツとして作用している。

Title VOCALOID 初音ミク

カクメイ

うｐ主：ぱたや（ヨンモジP）
投稿日：2009/12/17
ニコニコＩＤ：nm9114447
第一印象：青春だ！

君と僕 冬、夜空、自転車

Review

ピコピコ音に併せて送る青春の1ページ。歌詞と曲の盛り上がりが素晴らしい。上手いとはいえないが、いい味が出ている手書き動画が世界観の創出に成功している。動画、歌詞、音、全て併せてこの世界に飛び込もう。

Title VOCALOID 初音ミク

昨日、君が見殺しにした弱音から生まれた唄。

うｐ主：mal-（ヘドバンP）
投稿日：2009/9/21
ニコニコＩＤ：nm8290591
第一印象：こういう歌詞いいなあ

ヘドバンしよう (゜゜)(。。)(゜゜)(。。)

Review

内省的な歌詞が心に響くシューゲ風パンク。ミクを4人分使って音の役割を示した動画も面白い。うｐ主のヘドバンPはAquesToneを小森マルと名づけた張本人。小森マル曲では「mal-」名義で楽曲を投稿している。ミク曲ではパンク系ロックな曲調が多いが、この曲では、小森マル曲での漫れる雰囲気が反映されている。

Title VOCALOID 初音ミク

die dream

うｐ主：Nogirroute（ナノルーP）
投稿日：2009/3/30
ニコニコＩＤ：sm6593344
第一印象：もわ～ん、ふわ～ん

ゆったり、まったり、浮遊感

Review

ミクトロニカ。シュールで文学的な歌詞とループがゆったりとした気分を誘う。穏やかな気分の内に眠りにつこう。zzzzzzzzzzzzzzzzzzzzz

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 03

[ボカロP] Lemm氏

「エレクトロニカ」「ドラムンベース」に定評のある初登場のボカロPさん

ジャンル問わず、その音世界に浸ったり、身を投じる事が出来る曲を好まれるLemmさん。ボカロは初音ミクAppendのsweet以外使用しないという謎のこだわりの中、透明感と非日常感を重視した音作りを目指している。「作品に触れて頂いた方々からは、“水”をイメージされる事が多いです。」とのこと。推薦曲も気になります。

Title VOCALOID 初音ミク

45：64

うｐ主：西島尊大
投稿日：2011/6/26
ニコニコＩＤ：sm14851103
第一印象：静かなのに怖い

流動的な音世界
飲み込まれる音の波

Review

比較的静かに始まる本作。しかしながらその時点で既に嵐の前の静けさの様な、何かが来るような恐怖感を感じます。そしてその後聴者を襲いかかる音の波。そこまで聴いたらもう逃げる事はできません。後は畳み掛けられ、飲み込まれるだけ。西島尊大さんと言えば美しく技巧的なピアノの印象も強いですが、躍動感あふれるリズムワークも必聴です。

Title VOCALOID 初音ミク

La Mersonnalite

うｐ主：紅松 弥知
投稿日：2012/3/9
ニコニコＩＤ：sm17201734
第一印象：綺麗

「苦」と「美」の世界
美しい旋律とハーモニー

Review

本作のテーマとして「海」と「二重人格」が取り上げられているそうですが、その解説が不要な程、それらを音世界で表現されています。心の葛藤と共に自身を見失う事への苦しみ、それらを含めた思考の海へと溺れて行く感覚。その中に見え隠れする美的感覚。全てが非常にバランス良く表現されていると感じます。聴いていると美しくも苦しい、その世界に飲み込まれ、涙が溢れます。

Title VOCALOID 初音ミク

さよなら、ロックスター

うｐ主：あつぞうくん
投稿日：2009/4/5
ニコニコＩＤ：nm6653306
第一印象：渋谷系！！

渋谷系ホイホイ
元気溢れるミクポップ

Review

コメントにも書かれていましたが、文字通りの「渋谷系ホイホイ」な作品です。ピチカート・ファイブ、シンバルズ好きな私はしっかりホイホイされました。爽やかさと元気さの中に、ほんの少しの苦み、これぞ渋谷系の醍醐味、といった所でしょうか。まるでオシャレな服を着てお出かけするような、そんな気持ちになりますね。

Title VOCALOID 初音ミク

fimbulvetrの切望

うｐ主：ただのななし
投稿日：2011/10/15
ニコニコＩＤ：sm15892723
第一印象：スタイリッシュ

圧倒的な加速度
駆け抜ける感情

Review

必要な音と必要な言葉と必要な加速度だけをもって、圧倒的な疾走感で駆け抜ける、ひたすら壮快な楽曲。メロディとハーモニーの距離感が独特で、それを安定感とスピード感を併せ持ったリズムが支えています。音だけでなく、歌詞を良く聴くとその感情を重視した内容にも驚かされます。

Title VOCALOID 初音ミク

DOT adventure AGAIN

うｐ主：effe
投稿日：2012/2/20
ニコニコＩＤ：sm17026043
第一印象：前向き！

人生は良ゲー？
前向きになれるピコピコ音

Review

人生をテレビゲームに揶揄した、8ビットサウンド中心の作品。テレビゲームに夢中になってる時は、面倒な作業でも主人公の成長の為にがんばったりするのに、人生ではついつい後ろ向きになっちゃうよね……。そんな事を考えてしまいます。effeさんの優しく強い人間性が前面に出た、元気の出る１曲です。この曲を聴いて、新しい冒険に出かけてみては？

Title VOCALOID IA

雨の庭

うｐ主：kaoling
投稿日：2012/3/27
ニコニコＩＤ：sm17376533
第一印象：優しいけど切ない

音と音の間に溢れる感情
切なく優しい空間

Review

kaolingさんと言えばエスニック的なアプローチの楽曲が多い印象ですが、本作ではそのkaolingさんの独特のメロディーセンスはそのままに、電子音やノイズ系の音も織り交ぜた、新しいスタイルに仕上がっています。常に人の心、感情を丁寧に歌詞と音に乗せて表現し続けているkaolingさんならではの、優しさと切なさの伴う不思議な世界が広がります。

Title UTAU 雪歌ユフ

In the ice cube

うｐ主：tom_atom
投稿日：2012/3/14
ニコニコＩＤ：nm17250116
第一印象：音の立体感と奥行き

音の箱に閉じ込められる
タイトル通りのCube

Review

UTAU作品ではありますが、tom_atomさんの作品を、全編通して歌詞はありません。UTAU音源はあくまで「音源」として扱われていますが、それで十分、というよりそうでなければいけない必然性が、この曲にはあります。あちこちから不意に飛んでくる音の世界に閉じ込められます。聴き終えた後の余韻も、作品の一部だと私は感じています。

Title VOCALOID 初音ミク

頭の中のSzkieletor

うｐ主：k_zero+A
投稿日：2011/5/21
ニコニコＩＤ：sm14518246
第一印象：歌詞がすごすぎる

言葉の迷路
音の迷路

Review

この楽曲の魅力はなかなか表現しづらいですが、言葉のリズム、響きとメロディーの抜群の相性、それでいて言葉本来の意味やエネルギーを失っていない、非常に良く作り込まれた部分にあると感じます。それらが音との絶妙なバランスをもって聴く人の耳を直撃し、自分の思想、思考、哲学、それらは本当に自分自身の物なのか、自分自身と向き合わされる作品です。

Title VOCALOID 歌愛ユキ

PNDR

うｐ主：かごめP
投稿日：2010/7/20
ニコニコＩＤ：sm11448659
第一印象：吸い込まれるー

浮遊感
崩壊感

Review

「伝説のユキマスター」としてもよく知られるかごめＰさんの作品。この作品に最初に触れた瞬間、とてつもない開放感と浮遊感、そして自身の中の何かが崩れ落ちて行く様な、不思議な感覚に捕われました。音によって作られる、この現実世界とは別の世界。それはただ自分には見えていないだけの、至って平凡な現実なのか。そんな不安定な感情に飲み込まれそうになります。

Title VOCALOID 巡音ルカ

Μια ανήθικη αντιφωνα

うｐ主：soahc（8bitP）
投稿日：2011/12/5
ニコニコＩＤ：sm16349148
第一印象：美しい

ルカ愛
これぞボカロクラシカ

Review

全編、巡音ルカの「ア」のみで構成されるこの作品は、作者様のルカへの愛情と、音楽への情熱が詰まっている様に思います。トータル７分ありますが、正直足りません。特別大きな展開があるでもなく、ただひたすらその音の世界に身を投じていたくなる様な音です。広がるルカの歌声はパイプオルガンの如く、身体と心全体に響き渡ります。

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 04

[ニコニコ動画研究者] myrmecoleon氏

ニコニコ動画（β）からのニコ厨。ニコニコ学会βの幹事としても活動。

Twitter上のアイコン等から、「ありらいおん(の人)」と呼ばれる事も多いmyrmecoleonさん。再生数が5万再生未満と、ややゆるめのハードルで、思い入れがあるところから10曲を選んでいただいた。半分がカバー曲や替え歌なのは「オリジナルだけがボカロ曲じゃない」という意図的なものがあるとのこと。ボカロ曲コンシェルジュ初参加。

Title VOCALOID 初音ミク

初音ミクがお茶漬けをお勧めしています

うｐ主：0721
投稿日：2007/09/27
ニコニコＩＤ：sm1152823
第一印象：そうだ。お茶漬けを食べよう

日本人ならば
お茶漬けを食べよう

Review

伴奏も含めて、曲を初音ミクだけで演奏したものを「全部ミク」という。自分はこういう馬鹿歌詞の全部ミクが大好物である。曲はファミコンソフト「トランスフォーマー　コンボイの謎」のBGM。それに無意味な歌詞をのせた全部ミクがこれ。輪唱気味に重ねられる中盤が不思議な感覚を与え、最後のアカペラが謎の感動を誘う。全部ミクは初音ミクが出た初期は多かったが、オリジナル曲が増えるにつれて減ってしまったのが残念。

Title VOCALOID MEIKO

おっくせんまん！歌わせてみた

うｐ主：ぼか主（Afrobot）
投稿日：（再up版）2008/7/2
ニコニコＩＤ：(再up版)sm3829457
第一印象：帰りたくなる場所

ふり返っても
あの頃には　戻れない

Review

ニコ動で有名な「おっくせんまん」の最初のボカロカバー。ミク以前にもっとも人気のあったボカロP、「ぼか主」さんの処女作でもある。曲・歌詞・そして歌声、そこに浮かぶのは「郷愁」。聞くたびに昔が懐かしい。ボカロが世界で歌う今だからこそ、かつてどんな歌声を奏でていたかを聞いてみるのはどうだろう。ちなみにこの動画は最古のVOCALOID殿堂入り動画でもあるが、現在は削除されており、再うｐ版のみ視聴できる。

Title VOCALOID 鏡音レン 他

僕のタニシが準優勝

うｐ主：kihirohitoP
投稿日：2009/10/01
ニコニコＩＤ：sm8389007
第一印象：優勝は誰ですか

登戸の父が　カフェテラス
他国の領土で幽体離脱

Review

ソワカちゃんシリーズで知られるkirihitoさんの作品。意味がありそうで無意味な歌詞と、インドっぽい曲と謎PVで、ずっとリピートしてるとトリップできそうな感じがナイス。タイトルにもなってるサビの「僕のタニシが準優勝」の意味不明さは夢に出るレベル。公募企画で52番まであるバージョンもありますが苦行。

Title VOCALOID 鏡音リン／鏡音レン

VOCALOIDによる音楽の捧げもの（その3）

うｐ主：ｊｋ（クラヴィーアP）
投稿日：2010/01/24
ニコニコＩＤ：sm9487436
第一印象：逆再生させてみたい

夜なに聴いていたか
たいてい気になるよ

Review

前から読んでも後ろから読んでも同じ言葉になる文章を回文というが、バッハは似たような譜面の前後どちらから弾きはじめても同じ曲になる曲を作っている。その「蟹のカノン」と通称される曲のボカロカバーがこれ。リンとレンの対称性が曲の性格をさらに強調しており、荘厳なシンメトリーの音楽に神聖さを感じざるを得ない。「音楽の捧げもの」はこの他にも実験的な曲が多いが、すべてボカロカバーされており是非聞いて欲しい。

Title VOCALOID 初音ミク

太目ニク「ミニの入らない物語」

うｐ主：honjamaka（inokix）
投稿日：2010/05/02
ニコニコＩＤ：sm10574285
第一印象：ニクかわいいよニク

あわやデブ。ある程度ピザ
気味悪いです汗を沢山かく

Review

秀逸すぎる替え歌の太目ニクシリーズ第7弾。原曲はsupercellの「君の知らない物語」で、この名作を、ミニスカートをはくためにダイエットする女性のエピソードに替え歌。このシリーズは本当に歌詞の差し替えが上手く、油断すると原曲を聞いてるかのような錯覚を覚える。曲調と歌詞のアンバランスさにｗを叩きたくなること請け合い。動画のどてどてと走るアニメーションも必見。

Title VOCALOID 初音ミク

【電波歌】初音ミクの「創聖のアクエリオン」【馬鹿力】

うｐ主：tomo（ネギバットP）
投稿日：2008/10/14
ニコニコＩＤ：sm4926643
第一印象：これはひどい

コンビナートに火を放ち
故郷を地図から消しました

Review

伊集院光のラジオで読まれた選び抜かれた馬鹿歌詞を、さらに選び抜いてミクに歌わせた馬鹿歌中の馬鹿歌。ひどい歌詞をアクエリオンの綺麗な曲で良調教のミクが歌うギャップが楽しい。ほか伊集院ラジオのボカロ再現は「痴豚×ボカロ」タグで見つけられる。ラジオを聞いていた人も聞いてない人も、笑わずにはいられないこと請け合い。

Title VOCALOID SeeU

千年の詩

うｐ主：Tias
投稿日：2011/12/08
ニコニコＩＤ：sm16372621
第一印象：VOCALOIDの国際化

百年は一年が如く
百年は一日が如く

Review

多言語のボカロ登場で国際化が期待されるが、実態はどうだろう。それを示唆するのがこの曲である。実はSeeUのオリジナル曲の多くは、ニコ動ではなく韓国独自のCGMサイトで主に発表されている。この曲はそこでもっとも人気のある作品で、四季をテーマとした民族調16分超の大作である。われわれの見えないところで、着々と海外のボカロPは育っているようだ。同じＰがニコ動に上げてる「凛々蝶のための聖歌」もオススメ。

Title VOCALOID VY1

box world

うｐ主：ー／ichi
投稿日：2010/09/13
ニコニコＩＤ：sm12097073
第一印象：俺のことか

もはや輪じゃなく
もう点だ

Review

これは確かVY1のオリジナル曲ってどれくらいあるんだろうと探したときに見かけて気に入った曲。歌詞が共感できすぎて、その夜しばらくうなだれて聴いてたのを覚えてる。学校を卒業して昔の仲間と疎遠になって、新しい仲間も上手く築けなかった「おれらのうた」。キャラクターの意図的にはぎとられたVY1の声だからこそ、自分のこととして引き受けられたのかもしれない。そっと評価されて欲しい一曲。

Title VOCALOID 鏡音リン／重音テト

Nothing

うｐ主：HAL（修羅場P）
投稿日：2009/09/11
ニコニコＩＤ：sm8193970
第一印象：ドリルローラー好きすぎる

冷えたリングを見つめても
答えなんて見つからない

Review

リンとテトの相性の良さは異常。コーラスで重なるところが特に良くて、双方がよく際立ってて好き。リンとテトは「ドリルローラー」というユニット名がいつの間にかついてるのだけど、あまり作品がないのが残念。作者の修羅場Pは研究中のライブラリを借りて独自の音声合成ツールを開発しながら作曲しているアカデミックなＰさん。これはその開発初期のデモ用の曲で、テトはUTAUでなくＰ独自のツールで歌ってます。

Title VOCALOID 鏡音レン

VOCAL-ENGINE

うｐ主：ケフィアP
投稿日：2009/01/24
ニコニコＩＤ：sm5932293
第一印象：音楽は自由

覚えとけ
この俺こそが　音楽だ！

Review

「いいえ、それらは全てケフィアです」のトークロイド動画で命名されたケフィアP。VOCALOIDをしゃべらせることでは人後に落ちない氏の初オリジナル曲がこちら。全編鏡音レンのラップ、伴奏は自動車の生音のサンプリングと、あきらかに「そういう道具じゃないからｗｗｗ」をハイクオリティな楽曲に仕上げた逸品。エンジン音がベースに「ハンドルブレーキさえも音源」。普通の曲に飽き足らないならこんなのもいかが。

ボカロ曲コンシェルジュ▶▶05

[ボカロP] かごめP氏

調教とマスタリングに定評がある スゴ腕の音声エンジニア！

音声エンジニアの経歴からVOCALOMAKETSに参加。「気が付いたら自分の手でボーカロイドをプロデュースまでしていました」というかごめＰさん。「クラブ系が一番造詣が深いですが、クラシックからロック、ジャズまで何でも聴くし作れます」とおっしゃられる通り、氏の選曲はジャンルフリーにして多彩。今回の選曲も楽しみです！

Title VOCALOID 初音ミク

冬に冬と

うｐ主：Phasma（ふぁすま）
投稿日：2010/12/7
ニコニコＩＤ：sm12960505
第一印象：しんしんと

「シンプル」という名の「複雑」さ

Review

普段はアンビエントやエレクトロニカ中心のふぁすまさん。そんなふぁすまさんでは珍しいギター曲です。シューゲイザーと謳ってはいますが、どちらかというと僕はMassive Attack等のTrip Hopを想起します。繊細に響くギター、重いベース、ローファイなドラム。ほんのちょっとだけケロケロした特徴的なミクの声が素敵。もう冬は終わりですが、静かな夜には常にかけておきたい曲ですね。

Title VOCALOID Lily

セブンスヘヴンドライヴ

うｐ主：konkon009（konkon）
投稿日：2011/8/21
ニコニコＩＤ：sm15375131
第一印象：オトナの味

レトロなサウンドが気持ちいい！

Review

軽快で味わいのあるビート、余裕ある大人のエレピ、やんちゃだけど分別のある、オトナなLilyの歌。歌詞に散りばめられた"暗喩"がゾクゾクします。ちょっとビターな、大人だから分かる味。詞・曲・動画、すべてご自分でされるkonkonさん。その滲み出る大人の余裕が悔しいっ！　ちなみにこの曲のマスタリングでは、本物のテープレコーダーを使用しました。デジタルでは味わえない質感を堪能していただければと！

Title VOCALOID 巡音ルカ

鋼鉄狂想曲

うｐ主：sforza_t（ロボヒコ）
投稿日：2009/9/8
ニコニコＩＤ：sm8167839
第一印象：ずだだだだだだだだ！！

何故かたこルカ

Review

一部のボカロPの間では、半ば伝説と化しているロボヒコさん。何がすごいってその恐ろしく軽快で脱線著しいトーク力なのですが、サウンドメイキングがまた素晴らしい。正にロック！　曲も人生もどこまでもロック！　余談ですが、彼が出演した某ネットラジオの音源（検索すれば出てくると思います）は必聴です！　ファンの間では伝説と化しています。もちろん曲も必聴！　こんなにアツい人はそうそういません！

Title VOCALOID 初音ミク

hako

うｐ主：moro（菊水P）
投稿日：2010/3/22
ニコニコＩＤ：sm10112787
第一印象：これぞハードコア！

キックの音が素晴らしい

Review

元々、ボカロに限らず同人音楽ではガバ/ハードコアが盛んです。ただ、僕がボカロを始めた頃には、ボカロ界隈ではそういう人はあまりいなくなっていたのですが、そんな中、ヒョコッと上がったこの曲に釘付け。ハードで硬質なビート、下品な程の歪み、開始10秒でもう虜です。是非一度お会いしてみたいのですが、ご本人は連絡先非公開。謎な方です。

Title VOCALOID SF-A2開発コードmiki

うぇんずでー・ぶるー

うｐ主：みきとP
投稿日：2010/3/28
ニコニコＩＤ：sm10196667
第一印象：ぎゅわああああ

みきとさんの遊び心がふんだんに詰まった一曲

Review

普段から飲みに行ったりと、仲良くさせて頂いているみきとＰさん。既にとても有名になっていますが、miki曲にも注目していただきたいので大好きな曲をチョイス。なんというか、可愛いんです、みきとさんのmikiは。なんだかなでなでしてぎゅってしたくなる。"萌え"とはちょっと違う、ちょっとリアルな可愛さ。こういうの好きなんです。

Title VOCALOID 初音ミク

Noizy

うｐ主：くぇ
投稿日：2009/8/11
ニコニコＩＤ：sm7905068
第一印象：ふぁああああああああああ！

リクツじゃないんです

Review

彼を知ったのは、「VOCALOIDアングラカタログ」という動画のシリーズ。ここを見ると、「いつかきっと有名になるな」と光るものを感じる人がよくいるんです。僕自身、元々がアングラ指向なのでこのシリーズはよくチェックしているのですが、このくぇさんは衝撃でした。最初の水滴で耳を掃除された後のシンセがもう……。

Title VOCALOID 初音ミク

ラピス・ラズリ

うｐ主：CASE
投稿日：2011/6/11
ニコニコＩＤ：sm14714926
第一印象：ぴっこんぴっこん

ボカロテックハウス入門編

Review

KITさんと並び、今では珍しくなってしまった、ボカロテクノ/テックハウスクリエイターのCASEさん。曲を聴いても、ブログを見ても、そのマイペースな人柄に惹かれます。KITさんが"動"の人ならば、CASEさんは"静"の人。繊細なサウンドが心地いい。ちなみにボカロ曲ではないので紹介曲には挙げませんでしたが、CASEさんの曲は「テックふさこ」が必聴です！

Title VOCALOID 神威がくぽ

がくぽがフロアでケチャを踊りたくなったようです

うｐ主：KITさん
投稿日：2011/8/2
ニコニコＩＤ：sm15186863
第一印象：チャッチャッチャッ！

ケチャの高揚感はそのままにドープ！

Review

いつも、僕くらいの世代の人間にはたまらないハードミニマルサウンドを響かせてくれるKITさん。そんなKITさんがネタに選んだのは、僕の曲（？）「がくぽ達がケチャを踊りたくなったようです」。「なぜこれを？！　」の声をものともせず、見事にケチャがクラブ仕様に！　KITさんの真価はこの行動力！　ビビッときた音源は、即座にRemix！　翌日にはアップ！　全力でこのカルチャーを楽しむ姿勢が素晴らしい！

Title VOCALOID 鏡音レン

Nuclear Love

うｐ主：Dong
投稿日：2010/1/19
ニコニコＩＤ：sm9430710
第一印象：インダストリアル！

ドイツ

Review

先日、工学社様より出版された「ボーカロイドによる作曲入門」にて、共著させていただいた井さん。そんな井さんを知ったきっかけがこの曲でした。ご本人は若くて大人しい方なのですが、そこから紡ぎ出される世界は独特で大胆。「分かる人には分かる」このノリがたまりません。

Title VOCALOID 初音ミク

Miku as the Virus

うｐ主：かめりあ
投稿日：2010/3/12
ニコニコＩＤ：nm10004151
第一印象：ヴイヴイヴイヴイ

30代の人かと思ってた……

Review

荒ぶるビート！　うねるシンセ！　叫ぶミク！　一聴して分かるその才能に心から嫉妬！　そして本人若干19歳（作曲時は17？　）の爽やか好青年！　素晴らしい……。この曲を筆頭に、最近特にサウンド的にメキメキ力を付けている、注目のボカロＰさんです。

ボカロ曲コンシェルジュ▶▶06

[聴き専] しま氏

サークル「Vocapedia」に在籍中 BlackMusicを愛する聴き専

VOCALOIDに魅せられて以来、ジャンルも範囲も広げて、音楽にどっぷりつかっているしまさん。サークル「Vocapedia」に在籍し、曲紹介の執筆を担当している。今回は好きな曲の中でもremixやアレンジが施された曲に絞って選んでみたとのこと。「歌声から感情や表情が伺える曲」が好きだという、しまさんが選ぶ10曲を聴いてみよう。

Title VOCALOID 初音ミク／巡音ルカ

ワライ・オトコ BeatBox Style

うｐ主：ショミ（般P）
投稿日：2011/5/26
ニコニコＩＤ：sm14560478
第一印象：鳥肌

クールにぶちかます 一般庶民のBeatBox

Review

般Ｐことショミ氏の"ワライ・オトコ"（sm10865480）の、氏自身によるアレンジ。このアレンジでは氏のビートボックスがサンプリングされており、曲冒頭で聞こえる録音時の雑音は雰囲気満点で、どう来るのかと期待がどんどん膨らんでいく。そして一発目のキックで完全にノックアウトである。ビートボックス、ルカの低音コーラス、ベースと音が重なり合い厚みが増していく過程が半端じゃなくかっこいい。

Title VOCALOID 初音ミク

思慮するゾンビ【Cut & Glitch 2step rmx】

うｐ主：fazerock
投稿日：2011/8/2
ニコニコＩＤ：sm15188788
第一印象：Cool

スタイリッシュで心地良い多ジャンルRemix

Review

インテリジェンス溢れるFICUSEL氏の"思慮するゾンビ"（sm10955256）のRemix。原曲の可愛らしくも知的なイメージを崩さずに分解・再構成し、かつスタイリッシュに聴かせるものだから最高にCoolだ。数多くある"思慮するゾンビ"のRemixの中でも、頭一つ抜けているのでは。様々なジャンルの要素が感じられ、ジャンル分けの不毛さを痛感させられる素晴らしい曲。

Title VOCALOID 初音ミク

初音ミクによる「オレンジゾートロープ」itikura_Remix

うｐ主：市蔵
投稿日：2011/11/2
ニコニコＩＤ：sm16053305
第一印象：モダン

ゾートロープから覗く 市蔵ワールド

Review

夕暮れの情景がぴったりなミックスモダン氏の"オレンジゾートロープ"（sm12252387）のRemix。まずはアコーディオンのフレーズを大胆に使用したイントロで、一気に惹き付けられることだろう。しっとりと落ち着いた原曲の雰囲気を残しつつも、ローファイサウンドを取り込み、よりモダンとなった"信頼の市蔵Remix"であり、安心して曲に身を委ねられます。

Title VOCALOID 初音ミク

ジェミニ

うｐ主：ざにお（バイバンP）
投稿日：2009/3/7
ニコニコＩＤ：sm6355248
第一印象：透明

寂しさも不安も涙も 全てを優しく包んでくれる

Review

美しいメロディラインとレンの達者なラップがほっこりするDixie Flatline氏の"ジェミニ"（sm2540481）のカバー。Dixie氏の丁寧な作りに負け劣らずの綺麗で繊細な作りには息をのむ。このRemixに限らず、ざにお氏の曲は一つ一つの音に耳を傾けたくなります。このカバーではリン・レンではなくミクがその透き通った歌声を存分に披露しており、その美しさに思わず吸い込まれそうになる。

Title VOCALOID 猫村いろは／Mac音ナナ

パンダヒーロー GrandSlam Remix

うｐ主：Man_boo（HeadFish Lab.）
投稿日：2011/6/1
ニコニコＩＤ：sm14615674
第一印象：甲子園

満を持して放つサヨナラ逆転満塁ライナー

Review

毎度独特の感性に驚かされるハチ氏の"パンダヒーロー"（sm13386216）のRemix。三遊間や殺人ライナーなどの野球用語が飛び交う歌詞に、甲子園のブラスバンドを思わせるアレンジがぴったりはまっている。良い意味で気だるい演奏にコントのような実況中継もあいまって、終止ほのぼの聴けてしまう。4分付近に聞こえる実況の裏でも"パンダヒーロー"を演奏していたりと、芸が細かくて大変面白い。"

Title VOCALOID 初音ミク

裏表ラバーズ reverse Edge remix

うｐ主：CaptainMirai（キャプミラP）
投稿日：2011/5/13
ニコニコＩＤ：sm14440777
第一印象：笑撃の結末

キャプミラ節に飛び込んで本能的に頭振っちゃってー

Review

高音・高速で捲し立てるように歌う様が壮快な現実逃避Ｐことwowaka氏の"裏表ラバーズ"（sm8082467)のRemix。原曲の中毒的なフレーズのギターアレンジや音割れ気味のボーカルが、ライブ風な雰囲気を醸し出していて最高にかっこいい。高速で突っ走る気持ちよさは原曲に比べて薄れているが、よりドラマチックな展開を見せることからキラーチューンであることに変わりはない。

Title VOCALOID 初音ミク

ハローストロボ(ETIA. Temporal Aliasing Remix)

うｐ主：ETIA.
投稿日：2012/1/9
ニコニコＩＤ：sm16653762
第一印象：幸せ

自然と体が揺れる Happyで楽しいRemix

Review

素朴な音に綺麗なメロディが心地よいぽわぽわＰこと椎名もた氏の"ハローストロボ"（nm12707292）のRemix。リズミカルに跳ねるピアノの音色に耳を奪われつつも、ダンサブルなアレンジに自然と体が揺れてしまいます。"ハローストロボ"等のストロボシリーズで共通な「誰かが生きてく一秒ずつ……」の歌詞が大のお気に入りで、このフレーズを様々なアレンジで聴けるということがすごく幸せです。

Title VOCALOID 初音ミク

Nyanyanyanyanyanyanya!をアレンジしてみた

うｐ主：tarezo
投稿日：2010/7/31
ニコニコＩＤ：sm11576976
第一印象：おしゃれ

カフェに居そうな 可愛らしくもおしゃれな猫

Review

"Nyan Cat"等多くの派生作品を生み出し爆発的なヒットとなったdaniwell氏の"Nyanyanyanyanyanyanya!"のRemix。可愛らしくポップな原曲とは一変、にゃんにゃんのメロディにあわせてピアノが踊るおしゃれなJazz風に。エレピの高速ソロがあったりソウルフルなシンガーが歌っていたりと、次々と展開していくのでこう来るか！　と驚きながらも楽しく聴ける。

Title VOCALOID ミク／ルカ／GUMI

ハイファイレイヴァー(Camellia's WARUIKOTO REMIX)

うｐ主：かめりあ
投稿日：2012/1/27
ニコニコＩＤ：sm16803987
第一印象：良いコト

かめりあさん、もっと悪いコトしても良いのよ？

Review

90sオマージュのイケイケなポップであるBETTI氏（EasyPop）の"ハイファイレイヴァー"（sm16712655）のRemix。ブリブリなベースとファミコンを思わせるピコピコ音で攻めてくるこのRemixを聴くたびに、ローファイサウンドで"ハイファイ"とは、さすがかめりあ氏の発想は面白い上にクールだなあと、静かに賞賛しています。いや、静かではなく、もっと賞賛されるべきです。

Title VOCALOID 初音ミク

ハイセンスナンセンス[徴音さんのぱんつが灰色コットン100%だ！Remix]

うｐ主：rK.D
投稿日：2010/7/30
ニコニコＩＤ：sm11568235
第一印象：ありがとうございます！

破壊美と爽快感が味わえるハイセンスなRemix

Review

ミクのシュールな踊りとその驚異的な中毒性から、長く愛聴されている盛るＰことMOL.氏の"ハイセンスナンセンス"（sm6793193）のRemix。原曲がこれほど突き抜けているのだから、Remixでもそれに引けを取らないほどぶっ壊れている（もちろん良い意味で）。「歯を食いしばれゲス野郎」との台詞もあるように、じきに押し寄せてくる強烈なキックの嵐に身構えておこう。ぜひ大音量で。

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 07

[ランキング動画プロデューサー] ヒゲノフ・ダンスカヤ（るかなんP）氏

「一度でいいから見てほしい」VOCALOID別ランキング動画師

VOCALOID別のランキング動画を作ったり、手伝ったりしている、るかなんＰさん。「ここ最近はどうもtwitterアイコンの方が認知されているような……？」とのこと。三回目の登場となる今回は、いつもの巡音ルカさん多めな選曲ではなく、いろいろなボーカロイドで歌ったバラエティ豊かな10曲を選んで頂きました。

Title　VOCALOID CUL

あたしって、ほんとバカ

うｐ主：アイＳコン
投稿日：2011/12/31
ニコニコＩＤ：sm16574631
第一印象：誰かがやるとは思ったけども

**あたしが選んだその道に
気付いた時があたしの最期**

Review

執筆時点で再生数は25351、マイリストは1472。これはCULの声を担当してる女性がアニメで演じた魔法少女をモチーフとした歌だ。CULのオリジナル曲としては代表的と言える数字だね。人気なのは魔法少女のキャラソンだから？　君たちはいつもそうだ。爆発寸前ながらも決して光を放たない負の感情エネルギーを絶妙な音程と声で表現しているところがすごいんだ。確かにキャラソンだけど、歌唱も評価されるべきだと思うよ。

Title　VOCALOID 歌手音ピコ／巡音ルカ

口からどんどんピザがでてくるHOUSE

うｐ主：ＫＴＧ（チーターガールＰ）
投稿日：2012/02/22
ニコニコＩＤ：sm17044229
第一印象：@ピザ

**口からどんどん
ピザが出てくる**

Review

執筆時点で再生数8862、マイリスト443。タイトルからして奇妙キテレツなシチュエーション、歌詞もひたすらピザが出てくるの連呼。このネタ元はなんだ！　店主を呼べぇ！　と言うわけでピザ屋には行かずに某大百科で元ネタを調べたけれどいまいちわかりませんでした。が、ピコの透き通った美声がここぞとばかりに妨げられることなく発揮されていて、年甲斐も無くついつい職場で高音で口ずさんでしまってヤバいので紹介しました。

Title　VOCALOID MEIKO

【MEIKO姐さんのちょっとアレな曲】真・女性自身

うｐ主：涼介
投稿日：2009/11/03
ニコニコＩＤ：nm8694981
第一印象：あれ？　デＰ？

**特集！そっと教えます
楽しく生きて美しくなろう**

Review

執筆時点で再生数3,398、マイリスト155。ダブルミーニングを駆使した歌詞運びが特徴的な作者。この歌のMEIKOはまさに「姐さん」と呼ぶにふさわしい。胸が大きいのが素敵なんじゃない。背が高いのがカッコいいわけでもない。自分第一でありのままに生きる姿こそが魅力的な自分を作るのだと後輩たちに力強く歌って聞かせます。このタイトルで女性週刊誌を思い浮かべるより「既成事実」を思い浮かべるあなたにおススメ。

Title　VOCALOID 巡音ルカ

ほしのすな

うｐ主：hand（じぇにゃおん）
投稿日：2010/03/23
ニコニコＩＤ：sm10126187
第一印象：きれいだなぁ……

**あの空の七色を手に取ろう
届かないなら取りに行こう**

Review

執筆時点で再生数705、マイリスト32。今は亡き主人を思うねこの歌。まずオケの透き通った星空感。戸Ｐのギターが奥行きを加えます。次にルカのボーカル、幼くて可愛い声が子猫にこんなに合うとは。でも個人的には儚さですね。どこまでも遠い星空に対して声は動かない。守ってあげないとすぐにご主人様の後を追ってしまいそう。そんな中で精いっぱい「ふーーーっ」してると考えると……泣けます。ぜひお子さんに聞かせてあげて。

Title　VOCALOID 猫村いろは

いろはにネコラーメン

うｐ主：和狼
投稿日：2010/11/28
ニコニコＩＤ：sm12883659
第一印象：うわー楽しいw

**近ごろ評判の看板娘、でも
詳しいことはわかりません**

Review

執筆時点で再生数は2409、マイリスト106。歌詞からPVから非常に謎です。ラーメン屋の看板娘だと最初に歌っているのはわかってるはずなのにラーメン屋さんなのかラーメン食べる猫なのか一瞬わからなくなるくらい謎です。食べてみるまで具か確定しないシュレディンガーの猫ラーメンはじめ随所にネタがちりばめられています。とにかく楽しいの一言です。歌唱力の高さが売りのいろはさん、こういう作品どんどん増えて欲しい。

Title　VOCALOID リュウト／初音ミク

糸電話

うｐ主：ぶるすけっ太
投稿日：2011/09/08
ニコニコＩＤ：sm15548405
第一印象：今日はもう動画作業できない

**お空の向こうの糸電話
夢では話せる糸電話**

Review

執筆時点で再生数1635、マイリスト89。ランキング動画編集中に見つけました。ボーカロイドではリュウトの独壇場であろう無邪気な子供の歌です。遠い遠い遠いところに行ってしまったお友達と糸電話で話したい少年、更に彼に対する……そうするしかないんだろうな……という精一杯の大人たちが、なおさら涙を誘います。この作者さんは他にもリュウトで曲を出してますが、ポンキッキ的な感覚だと「マジオヤニカンシャ」もおススメ。

Title　UTAU 重音テト

もしかして発情期!?

うｐ主：しゃぶらせＰ
投稿日：2012/04/08
ニコニコＩＤ：nm17498095
第一印象：にゃんにゃんくぱくぱ

**花が咲くとも咲かずとも
濡れて開いてオンナノコ**

Review

執筆時点で再生数1956、マイリスト151。ネコミミ娘の歌ではありますがテトさんは前から猫だと私は思っていたんですよ。声が（ドヤ顔）。近所で時々夜中に発情期まっさかりで文字に書けない（発音的に）ような声を出す猫がいますが、もしもその猫が喋れたらこんな感じなのかな。でもこの歌は猫じゃなくてネコミミ娘の歌なのでお子様は聞いちゃダメ。このＰは「リンゴ」などテトの女の子同士作品群も、もっと評価されるべき。

Title　VOCALOID 初音ミク

超古代文明マタンキ

うｐ主：ユマエル
投稿日：2012/03/04
ニコニコＩＤ：sm17146004
第一印象：マタンキ！

**深い深い茂みの中に25年
一つになる日を待ち望む**

Review

執筆時点で再生数1011、マイリスト51。「マタンキ」という言葉が流行ったのは40年近く前(生まれる前なので知らない)。それとの関係は定かではありませんが、この超古代文明は25年前に誕生したそうです。きっとこの曲の25年は途方もなく長い時なのでしょう。軽快なドラムとミステリアスな曲調にはその説得力があります。(ミクが出て4年半でも長いと感じますし)。単語はともかくこの映像はお子様を近づけない方が。

Title　VOCALOID 初音ミク

巨（おお）きいのがお好き？

うｐ主：るりるり（るりＰ）
投稿日：2011/01/15
ニコニコＩＤ：sm13317804
第一印象：レモンなんとかに出てきそう

**あれもこれもできないけど
それでもあなたを信じてる**

Review

執筆時点で再生数417、マイリスト11。彼女はある日見てしまった。自分には彼を満たせないかもしれない辛い現実を。それでも彼女は彼を愛し求める。努力し、優しさを知り、時には許し……。80年代前半、歌謡曲からJ-POPへと大きく舵が切られ始めるビ・ミョ・ウな時代をポップだけどやや後ろめたい、アッパーで終わらない曲調が思い起こさせます。必然的に30代以上向けですし、特に終盤はお子様に聞かせないようご注意。

Title　VOICEROID 月読アイ

オトナノヘンナノ

うｐ主：ちょむＰ
投稿日：2010/04/23
ニコニコＩＤ：sm10483771
第一印象：ボカロＰの技術ってここまで

**パパでもママでもいいから
教えてオトナの本のホント**

Review

執筆時点で再生数は31034、マイリストは1457。テキスト読み上げソフト「VOICEROID」を人力で歌わせています。テーマは「子供のイケナイ好奇心」だと思いますが、実際に子供に歌わせるのは難しいと思います。知ってるとリアリティがないし知らないと本当にわけがわからないだろうから。それがこうやって歌わせると説得力を持つからすごい。けど、保護者の皆さんはお子様に聞かせてカウンターを喰らわないように。

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 08

[聴き専] らぷ氏

vocapedia主宰。ボカロのメルマガVocaLetter、4月で１周年！

vocapedia主宰のらぷさん。4月で1周年を迎えたボカロ曲を隔月で紹介する無料メルマガ『Voc@pedia』が『VocaLetter』に改名され、編集部名がvocapedia編集部になったとのこと。聴き専として、格好いい曲から可愛い曲まで、幅広いボカロ曲を今回も紹介してくれました。メルマガ『VocaLetter』はコチラ→http://vocapedia.org/

Title　VOCALOID 結月ゆかり

タ・トゥ・ラ

うｐ主：喜兵衛
投稿日：2012/2/10
ニコニコＩＤ：sm16931203
第一印象：展開が気持ちいい

**目覚めていく楽器たち
心地いいピアノ・ジャズ**

Review

柔らかく澄み切った朝のような独特の空気感が特徴の曲。ピアノが主体のオシャレで可愛いジャズ曲だ。僕は毎朝駅まで向かうとき、時々曲にあわせて「タ・トゥ・ラ♪」と口ずさみながら聞いています。楽しげに歌うゆかりの歌声は心地よく、目を覚ますように加わっていく楽器たちの音色はとても気持ちいい。ただし、あんまりにも展開が気持ちいいものだから、気がついたら一曲が終わってしまうのが少し寂しいところだ。

Title　VOCALOID 初音ミクAppend

Rainfall（Full size ver.）

うｐ主：PSGO-Z（Ke）
投稿日：2011/9/6
ニコニコＩＤ：sm15528879
第一印象：きゅんきゅん

**サラサラと降る雨のよう
女子力系ハウスだ！**

Review

女の子っぽい可愛さがとても印象的なこの曲、サラサラと降る雨のような雰囲気が特徴のテクノ系ハウスだ。ピアノとドラムス、シンセベースが主体となっていて、後半はストリングスが加わってくるなど展開としても非常にわかりやすく気持ちがよいので、DJをするにも踊るのにももってこいのハウスミュージックだ。PVを作ってみた動画もあるのだが、こちらもものすごくカラフル・オシャレに作られていて見応えがあるモノとなっている。

Title　VOCALOID 初音ミク

ミラクル☆カキゴーリ

うｐ主：hiro（TheミックBAND）
投稿日：2011/8/10
ニコニコＩＤ：sm15269483
第一印象：かき氷……かき氷……かき氷……

**カキゴーリ……カキゴーリ
……**

Review

謎のPV・謎の歌詞・謎のオケ……3拍子そろった『謎』が満足感を生み出す！　小学生が書いたような歌詞が（いい意味で）ものすごく印象的で、それに併せて展開される曲、PVもつかみ所がなく全く予想できないので、それだけでもとても楽しめる。ここまで言うとまるで印象だけの曲と思われるだろうが……実はそうなのかもしれない。この印象の強さが不思議な中毒性を持っていて、気がついたら何回も動画をリピートしてしまうのだ。

Title　VOCALOID 初音ミク

はしるムームー 三(*っ´^ω^)っ

うｐ主：ぷにえ工房
投稿日：2011/8/31
ニコニコＩＤ：sm15476623
第一印象：ええっこの音が全部ミク！？

**元気の出るミク曲！
ハイテンション系ロック曲**

Review

ハイテンションなご機嫌ミクさん。元気が出るハイテンション系ロック曲を聴きたいならこの曲に決まりだ！　重厚なギターサウンド、キラキラのシンセ音、ハリのいいドラムス、壮大なストリングス…実はこの曲で鳴っている音全部、ミクの声を加工したモノなのです。言われないと（言われても）わからないけれど、そう言われてみるとどこか優しく可愛らしい歌声に通じるモノがあるように感じられますね。

Title　VOCALOID 初音ミク

Compact Rain day

うｐ主：Prily（きゅうりＰ）
投稿日：2010/4/29
ニコニコＩＤ：sm10548210
第一印象：きれいなジャズ・ワルツ

**生ピアノとミクのコンビ！
ジャズ・ワルツの名曲**

Review

雨の日ってなんだかちょっと憂鬱ですよね。そんな情景をミクがしっとりと、のびのびと歌い上げます。寝巻きさんの演奏するジャジーなピアノと、ボーカルのミクだけというシンプルな構成でできたジャズ・ワルツな一曲。ミクの歌声を追いかけるようなピアノがとても気持ちよく、柔らかく聴かせる曲なので、雨の日や朝にゆったりと聴くのにぴったりです。

Title　VOCALOID 初音ミク

さかなかな？

うｐ主：tzkash（つかし）
投稿日：2009/9/5
ニコニコＩＤ：sm8139441
第一印象：韻の不法投棄

**さかなかな？　坂田かな？
中毒性アリのロック！**

Review

「♪酢豚に入ってる　謎のパイナッポー♪」カッティングギターが最高にいかす、なんだかちょっと懐かしい雰囲気があるロック曲。ギター、ドラム、ミクのシンプルな構成なのに凄いグルーヴ感。韻を踏みつける謎の歌詞が恐ろしくキャッチーで、それを歌うミクの声もとても可愛い。一度聴いたらしばらくは曲が頭から離れないだろう。そして気がついたら「さーかなかな？さかなかなー？　」と口ずさんでしまうこと間違いなしだ！

Title　VOCALOID 初音ミク

星のピエロ

うｐ主：浮気Ｐ
投稿日：2008/4/10
ニコニコＩＤ：nm2952854
第一印象：ピコピコ可愛い！

**洗練されたシンプルさ！
チープで可愛い2STEP**

Review

ピコピコした電子音に時々入る飛道具のようなストリングスがものすごく気持ちいい、チープなとっても可愛い2STEPミュージックだ。すごくシンプルながら練り込まれたメロディラインと短く区切られた歌詞との調和がとてもキャッチーで聞きやすく、サラッと楽しめる一曲に仕上がっている。とってもノリやすい曲調なので、知らずのうちに頭が左右へと揺れるだろう。

Title　VOCALOID 歌愛ユキ／鏡音リン

月祭り

うｐ主：Dong
投稿日：2012/2/29
ニコニコＩＤ：sm17114455
第一印象：PVと曲の調和がすごい……

**幻想的なPV、劇伴。
架空言語でしっとりと**

Review

ただひたすら幻想的で、キャッチーではあるが複雑なメロディが特徴の民族調曲。架空言語で歌い上げられるユキのハスキーな歌声がベストマッチしている。神秘的な歌声、PVに登場するキャラクターたちの口調はどこか変で、不思議と引き込まれるものがある。この曲はどちらかというとPVを引き立てるためのBGM（劇伴）として聴ける。深夜に一人で浸るのにぴったりの名曲だ。

Title　VOCALOID 初音ミク

エンドロール

うｐ主：カーリー
投稿日：2009/11/30
ニコニコＩＤ：sm8957496
第一印象：涙腺崩壊

**アップテンポで爽やか
ポップレクイエムR&B！**

Review

「忘れないよ　ありがとう　おやすみ」……なんでこんなに再生数が少ないのか理解できません。R&Bというジャンルの曲だ。アップテンポだけど派手すぎず、爽やかで明るいメロディ。それに反して乗ってくる歌詞は死別を彷彿とさせるものになっていて、これが相乗効果となって一気に涙腺を直撃する。いわゆる「ポップ・レクイエム」だ。歌詞を読みながらじっくりと聴いてもらいたい一曲だ。

Title　VOCALOID 鏡音リン

夏のマモノ

うｐ主：安田（チャリけんＰ）
投稿日：2011/7/25
ニコニコＩＤ：sm15118262
第一印象：いぇーい！

**夏のマモノが来る……！
ちょっと熱めの恋心を歌う**

Review

「いえーい！　」少しレトロな雰囲気を感じる、サンバ&ポップ風ミュージック。楽器は主にストリングス、ピアノ、ドラム、ベースの4つで構成されている。7月くらいからの「夏に向かっていくような」ワクワク感がある、とても心地よい上質なアレンジが特徴。柔らかいストリングスの心地よさはさることながら、特徴的な調教で歌うリンとその歌詞も「ちょっと熱めの恋心」といった具合でとても可愛らしい。

ボカロ曲コンシェルジュ▶▶09

[聴き専]
れいか氏

自称「眼鏡が好きなだけの聴き専」しかしその正体は知る人ぞ知る

本誌初登場、れいかさん。「眼鏡が好きな聴き専です」と謙遜されておりますが、『ゆるふわ樹海ガール』や『これら6個の項目をごみ箱に移動しますか？』にて、Twitterのハンドルネームをタイトルに使われるなど、ボカロ界における影響力は計り知れないかたです。そんなれいかさんに、本当に聴きたい10曲を選んで頂きました。

Title VOCALOID 初音ミク

クラウドチャンバー

うｐ主：やうり（クラムチャウダーP）
投稿日：2010/10/30
ニコニコＩＤ：sm12588223
第一印象：きもちいいw

疲れた自分をどこかに連れて行ってくれる気がする

Review

どこかに連れて行ってくれる、と表現したのは良い意味でも悪い意味でもないのですが。可愛らしいミクの声、決して薄くないのに今にも消えてしまいそうなメロディ、幻想的でどこか不気味さ漂う半実写PV、そしてミクが何度も繰り返すうわ言のような歌詞がひとつになって非常に不思議な世界が構成されています。穏やかな波に身を任せているような浮遊感に包まれて簡単には抜け出せません。

Title VOCALOID 初音ミク

ずっと秋ならいいのに

うｐ主：このり
投稿日：2009/12/13
ニコニコＩＤ：sm9078486
第一印象：流されてしまいそうになる

怒涛の勢いに乗ったバラード

Review

とにかく音が綺麗。ドラムとピアノのハードな演奏が曲の勢いをとてつもなく強くしているんですが、本当はしっとりした切ないバラードなんです。そのギャップの美しさに一発でやられました。動画のミクがえも言われぬ表情でこちらを見ていてもの悲しい。ちょっと楽器名がわからないんですけど間奏で高い音がヒュウヒュウ響いてるところ、秋始めの冷たい風を肌で感じられるようです。

Title VOCALOID 初音ミク

ラットが死んだ

うｐ主：ych
投稿日：2011/11/17
ニコニコＩＤ：sm16195283
第一印象：なんだこの曲は！

落ちついた気持ちのままドキドキさせられる

Review

圧倒的な安定感。テンポ速めの伴奏に細かい歌詞が隅から隅まで当てはまっていてすごく気持ちいい。つい首やつま先でリズムをとってしまいます。どこにも偏りがなく、雰囲気を壊さず、相当の語彙がなければ書けないであろう見事な歌詞には舌を巻かされました。ある2冊の小説をモチーフに作られた曲だそうで、ところどころにその片鱗が見えます。一度メロディを覚えてしまえばまさに「癖になる」曲だと思います。

Title VOCALOID 初音ミク

わすらるる

うｐ主：ふなむし
投稿日：2011/10/15
ニコニコＩＤ：sm15886679
第一印象：何を思って作ったんだろう

脱力感に寄り添ってくれる歌

Review

曲自体は淡々として落ちついた音楽です。ただ、歌詞の異様な雰囲気からくる非現実感と実写PVのローカル感が相まって、全く違う世界でつくられた曲を聴いてるような気にさせられる。これといって狂った表現も無いのにどこかひっかかる不思議な感覚。それなのに、曲から滲みでる懐かしさや優しさにじわじわ心を奪われていくんです。感性の反乱βとはまた違った形の面白い世界観。

Title VOCALOID GUMI

Goodnight HELLO

うｐ主：TEMB
投稿日：2010/7/26
ニコニコＩＤ：sm11526044
第一印象：安らかだなあ

寝る直前に朝を感じる曲

Review

2分もない短めの曲です。ベッドにもぐりながらも、次の朝にはきてほしくないな、という気持ちをうたったような歌詞なのですが、曲の中でもいつの間にか寝てしまっているんですね。カーテンから朝の光が透けている部屋の様子が浮かんできます。夜のはずなのに安らかな眩しさが感じられてとても好きな曲。ピアノが綺麗で、急だけど雰囲気を崩さない転調がすごく魅力的だと思います。

Title VOCALOID 初音ミク

NEW HORIZON

うｐ主：クロジ
投稿日：2012/1/30
ニコニコＩＤ：sm16832615
第一印象：すごい完成度だ

パレードのように騒いだ子供たちが歌う

Review

誕生日の曲なんですね、よく動くカラフルなPVはアメリカ風で可愛いです。弾みのあるハツラツとした曲調で、語感を重視されたと思われる詰まりに詰まった歌詞はたまにブラックな部分が見えたり。全体的に完成度が高いです。ミクの調整が少し特徴的かもしれません。好きな人はとことん好きになるタイプの曲だと思います。

Title VOCALOID 初音ミク

ストレンジャー・イン・パラダイム

うｐ主：今日犬
投稿日：2009/4/4
ニコニコＩＤ：sm6637951
第一印象：うわあああ

悩みに悩んでグニャグニャになったミクの曲

Review

時田トリビュートという企画の中の一曲で、絵師の時田さんのイラストを基に作られた曲だそうです。まるで一人うろうろとテーブルの周りを歩き回ってるようなおぼつかない曲調に骨抜きにされました……変拍子ってこういう曲のことなんでしょうか、翻弄されます。今日犬さんの意味深な歌詞と時田さんのイラストがピッタリ合っていて、曲の雰囲気に惑わされつつもいろいろと考えさせられます

Title VOCALOID 鏡音リン

MoonlightMachine

うｐ主：やまじ（チロP）
投稿日：2011/8/21
ニコニコＩＤ：sm15378099
第一印象：なんてかっこいいんだ

衝撃的で攻撃的なロック

Review

重く激しいギターに合わせて高らかに歌いあげるリンのかっこよさは尋常じゃありません。まさにイケリン……。中毒性が強くて一度聴くとなかなかヘッドホンを外せなくなります……。センスを感じる印象強い歌詞も素敵。投コメのように、無限の音の宇宙に一人放り投げられた人間がこんなクールなサウンドをかき鳴らしているのを想像すると胸が熱くなりますね。綺麗な月のような曲です。

Title VOCALOID 初音ミク

さよなら私

うｐ主：らいふP
投稿日：2010/7/1
ニコニコＩＤ：sm11239224
第一印象：暗い歌詞なのにこんなに可愛い

鬱可愛いミクさんの最後の歌

Review

らいふＰさん独特のピコピコ音溢れるポップな曲ですが、曲と絵柄の可愛らしい雰囲気を歌詞の鬱さが上手い具合にかき乱していて素晴らしい一曲になっています。イラストを基にして作られた曲らしいのですが、相性ぴったり。可愛い絵柄でエグイ構図、可愛いメロディでエグイストーリー。面白いです。コメントで「あなたにしかかけないきょくだ」というのがありましたが、まさにそうだと思いました。

Title VOCALOID 初音ミク

便所飯

うｐ主：小室コアtwitter（小室コアP）
投稿日：2010/4/7
ニコニコＩＤ：sm10313042
第一印象：曲のオーラが凄い

重圧的なメロディに乗った悲痛の叫び

Review

メタルというジャンルに分類される重々しいサウンド。学校で孤立している女の子が、狭くてつらいギリギリの心境を叫ぶ曲です。ラストで入る「あーー」という痛々しいシャウト（？）がどんどん消えていくのですが、ここが最後の最後聴き手の心を掴むんだと思います。共感するのも同情するのもあると思いますが、どちらだろうとこの曲はオススメ。描いてみた動画も投稿されていて、そちらもすごく雰囲気が出ていました。

ボカロ曲コンシェルジュ▶▶10

[ボカロP/聴き専]
imgd@パッチワークP氏

「ONETOPI」でVOCALOID楽曲紹介キュレーターを担当中！

アイティメディアのキュレーションメディア「ONETOPI」（ワントピ）で、VOCALOID楽曲紹介(Twitter ID : @vocalosong1topi) を担当しているボカロＰさん。ジャンルを問わず何でも聴きますが、基本的には思わず笑ってしまうようなハッピーな曲がお好きとのこと。今回で４回目の登場になりますが、オススメ曲を新たに選んでいただきました。

Title VOCALOID 初音ミク　他

【水着特盛り】アセレへ【Project DIVA】

うｐ主：灸洞 a.k.a. 黒豹P
投稿日：2009/08/21
ニコニコＩＤ：sm7995490
第一印象：うっはwww

空耳スペイン語でヒット曲カバー

Review

ボーカロイドを実際に操作している方に加え、初代Project DIVAのプレイ経験がある方なら、このバカバカしいほどの手間の量が、お分かりいただけるであろう（詳細は動画内にある解説日誌リンクを参照）。あるアイディアを具体化する場面では、時にこの種の愚直な方法が必要になる。精神力と体力を激しく消耗する反面、得られるものも大きい。それはこの作品が、スペイン語圏でバカ受けした事実からも確実と言える

Title VOCALOID 初音ミク

Hatsune Miku - Pan con Chocolate（初音ミク・パンとチョコレート・オリジナル）

うｐ主：AlexTripSands
投稿日：2012/01/30
ニコニコＩＤ：sm16831217
第一印象：何が起こってるの……？

スペイン語でサルサ

Review

やや気の早い話だが、2012年は、ボーカロイドが世界のポップアイコンの座のひとつを射止めた年として、記憶されることになるだろう。もう世界は待ってくれない。日本語ライブラリしか無いというのは、世界中のクリエイターにとって障壁にならない。そして彼ら彼女たちは我々を凝視しながら、ボーカロイドで彼ら彼女たちにとってのオリジナル、すなわち我々の知らなかった世界の音楽をつくる。こんな面白いことがあるかい？

Title VOCALOID 猫村いろは　他

[君のここが好き] [VOCALOID] [Iroha] [Gumi] [Miki] [Luka] -final

うｐ主：neutrino
投稿日：2011/08/05
ニコニコＩＤ：sm15218683
第一印象：あらかわいい

日本語でミディアムポップ

Review

2人あわせてVocalekt Visionsというバンド。なんたるトランスアトランティック。そんなスケールの外国の方々だから、さぞや取っ付きにくいだろうと思ったら大間違い、王道ポップを日本語で繰り出してくるので安心してほしい。というか、ご両人とも相当に日本語のポップスを研究している感じがするのだが……。いつか機会があれば、音楽活動のルーツを伺ってみたいものである。

Title VOCALOID KAITO

KAITOでヨーデル【Einen Jodler hör i gern】

うｐ主：うどんゲルゲ
投稿日：2010/03/28
ニコニコＩＤ：sm10193252
第一印象：腹いてえwww

ボカロでヨーデル

Review

つまるところ、ボーカロイドはシンセサイザーの一種である。各種パラメーターを適切に設定することで、歌唱におけるいくつもの要素を操作し、さまざまな表情を作ることができる。その理屈は分かった。では実際にそれができるのか？　面白いことに、けっこうできてしまう。なぜ初音ミクがあんなに鮮やかなスタートを切れたのか。その謎を解く鍵のひとつは、MEIKOとKAITOによって助走距離が十分に取れていたからである。

Title VOCALOID SweetAnn

「Night of the Magic (Original MX)」

うｐ主：shu-t
投稿日：2008/04/04
ニコニコＩＤ：sm2892055
第一印象：きたあああ

英語でハウス

Review

Project DIVA ArcadeのOP採用作品。エレクトロやハウス的なサウンドとボーカロイドの相性の良さは、今さら指摘するまでもないだろう。人間の声をひとつの楽器として捉えて他の音と並べ編集する場面では、人間の個性やエゴが邪魔になる可能性があるが、それらを人間から奪い去ることは不可能だ。しかしボーカロイドには最初からそれらが存在しないので、ためらうことなく手を加えることができる。

Title VOCALOID 巡音ルカ

サーカス・モンスター

うｐ主：matt9five
投稿日：2010/08/25
ニコニコＩＤ：sm11876220
第一印象：ヘヴィ

英語でエレクトロ

Review

あるときはDoofus-P、またあるときはCircus-P。その実態は、ボーカロイドどころかUTAUも使いこなしリミックスをも手がけ、果ては"歌ってみた"まで手を出してしまう、アグレッシブなアメリカ人、らしい。重厚な音作りで、聴いて良し踊って良しの万能さを見せつける。これはそんな氏の、現時点での代表作と言えるだろうか。単調なリズムから豊かな展開を導きだす、その手腕に唸る。

Title VOCALOID 初音ミク

Venus di Ujung Jari

うｐ主：VOCALO.ID
投稿日：2011/06/06
ニコニコＩＤ：sm14668906
第一印象：美しいなあ

インドネシア語でロックバラード

Review

個人的な想像だが、インドネシアには独特なポップ音楽カルチャーがあるらしい。そこから日本に届けられたコンピレーションアルバム「vocalo.id」より、この作品をピックアップ（ちなみに「.id」は、インドネシアの国別コードトップレベルドメイン）。もう我々は待てない。日本語しか話せないというのを、障壁にしてはいけない。世界中の我々と、ボーカロイドで新しい音楽をつくる。こんな面白いことがあるかい？

Title VOCALOID GUMI

アマヤドリ

うｐ主：謝謝P
投稿日：2010/06/26
ニコニコＩＤ：sm11190040
第一印象：しっとり

日本語でミディアムバラード

Review

Ｐ名で勘違いされやすいようだが、作者は中国在住の日本人とのこと。しかし間違いなく、この作品で描かれている日常と心象風景は、我々が体験している日本のものだ。過ぎてゆく時間と巡りゆく季節。誰にでも訪れる出会いと別れ。はかなく消えてゆくものごとのなかで、立ち止まることは許されない。だが決して忘れられないからこそ、それらに価値があるのではないか？
他の国では、そういう時間の速度は遅いのかもしれない。

Title VOCALOID 初音ミク

ジオセントリズム

うｐ主：Kinra（ドンガリンゴP）
投稿日：2010/11/07
ニコニコＩＤ：sm12671288
第一印象：楽しいぞw

日本語で変な曲w

Review

ポップとは何か。よい答えをいまだに見つけられていないのだが、境界を超えてくる力を持つものというのは、ひとつありそうだ。文化が大量に消費された結果がパーツとして混ざり合った土壌から、ポップは生まれてくるのかもしれない。ポップにとって、街は畑であり若者はモグラやミミズである。インターネットは作物を運ぶ流通網あるいは交通網か。ではボーカロイドは？　案外、新開発の肥料くらいの位置づけなのかも。

Title VOCALOID 巡音ルカ

Funiculì, funiculà (ナポリ語)

うｐ主：Sei-Peridot（SeikoP）
投稿日：2009/07/27
ニコニコＩＤ：nm7761074
第一印象：たこルカwww

ナポリ語で定番曲カバー

Review

「伝説の○○マスター」という称号を持つ作者だが、活動の中心は、必ずしもボーカロイドにとらわれないオリジナル作品の制作にある。曲を書き、重厚なアレンジを加え、絵を描き、ときには歌ってしまう。そのどれもが高い完成度なのだが、繊細で豊かな、それでいて好きなものは好きだと言い切れる力強さが、結晶した結果のように思える。愛嬌たっぷりでやたらと楽しいこの作品も、確実に作者の個性の一側面であるように思う。

[聴き専]
夕凪ショウ氏

０７年からみっくみく。ボカロ曲紹介メルマガの執筆者

ボカロ曲紹介メルマガ「VocaLetter」執筆メンバーのひとりであり、ボカロ文化初期の熱量を体感した世代の夕凪ショウさん。「VOCALOIDが、自らのSF的存在に言及したり、歌や言葉の意味を問いかけたり、機械や動物などの命を持たないもの・人ならざるものとして歌ったりする曲などが好きです」とのこと、選曲に期待できます。

Title VOCALOID GUMI
みやがせの歌
うｐ主：えび
投稿日：2012/1/24
ニコニコＩＤ：nm16777018
第一印象：癒し

ひっそりと、でも確かにそこにある心の休憩所

Review
心身共にもやのかかった疲れた毎日。早く休みにならないかな、自転車に乗って一人でどこかに行きたい、そんな時にこの曲と出会った。カントリー調のメロディに優しい歌声。ため息を口笛に変えて、きらきら光る自然の中で深呼吸する気分。これから一生を共にしたいと思う歌だ。動画タイトルとサムネの簡素さが生み出すひっそり感が、身近に潜んでいる憩いを感じさせる。是非もっと多くの人に愛されてほしい。

Title VOCALOID 初音ミクAppend
野菜サラダ
うｐ主：不始末
投稿日：2012/2/19
ニコニコＩＤ：sm17020992
第一印象：澄んだ音

言葉を伝える音としてのミクを哲学する

Review
歌や言葉に対する深い考察のもと、音素の集合体であるミクを用いて作られた不始末さんの作品には、ずば抜けた美しさがある。「小さい音ダイアル」で小さい音から始まったミクの声は、「みみずワーズ」で文字や言葉になりたいと願い、「架空のうた」で身体的な音楽に憧れ、「野菜サラダ」に至って、あえて意味を手放した。逆再生や隠し文字がちりばめられた、「言葉」という葉の瑞々しいサラダを召し上がれ。

Title VOCALOID 初音ミクAppend
On-1ine
うｐ主：PSGO-Z（Ke）
投稿日：2011/7/21
ニコニコＩＤ：sm15074093
第一印象：エロい

とっぷりと　肌の温度を感じさせて

Review
映画「シモーヌ（S1m0ne）」を連想させるタイトルの通り、洒落の効いたボカロラップ。PCに関する言葉にからめた艶っぽい歌詞が秀逸。それが耳元であくまでもさらりと歌われるのだからたまらない。シンプルな音使いと感情を抑えた歌唱により、エロティックな香りが際立つ。ニコニコ動画に投稿されているのはShort.verであり、期待を裏切らないFull.verはiTunesやAmazonでダウンロード販売中。

Title VOCALOID 初音ミク
South Sky
うｐ主：tarezo
投稿日：2011/11/14
ニコニコＩＤ：sm16170727
第一印象：うっとり

あま苦い恋の記憶を贅沢な生演奏で

Review
「ローマの休日」のようなモノクロの外国映画を彷彿とさせる、あま苦い思い出に胸が焦がれるボサ・ノヴァ。かつて恋仲にはなったものの、今では顔も思い出せないあの人。けれど、こころの手触りとして確かに残っている、豊かで満ち足りた記憶。「初恋の人」ではなく「最初の恋人」と歌ったところが、絶妙なほろ甘さを演出している。全編を彩る贅沢な生演奏、特にアウトロで幸せの余韻をたっぷり味わって。

Title VOCALOID 初音ミク
Danca de Amor - para DIVA
うｐ主：Rin（ぎんすけ）
投稿日：2010/10/4
ニコニコＩＤ：sm12317282
第一印象：かっこいい

とろけるラテンハウス　夏の海が明けるまで

Review
「ラテンハウス」タグの付いた数少ないVOCALOID作品のひとつであり、私はこの曲で初めてこのジャンルを知った。軽快なリズムに、気だるげでなめらかなミクの調教。それらがちょうど3分におさまった至高のラーメンタイマーだ。ぎんすけさんはVOCALOIDだけでなく、東方自作アレンジ、ニコニコインディーズなどでも幅広く活動されている。VOCALOID作品では「3D-GAME」もおすすめ。

Title VOCALOID 初音ミク
露烟の森
うｐ主：kusegumi
投稿日：2010/12/19
ニコニコＩＤ：sm13068935
第一印象：いいものみつけた

一人旅のスケッチブック　森は美しく寂しげ

Review
kusegumiさんの「フィールドの風景」という連作のひとつ。モノローグのように綴られる歌と、形にとらわれない鮮やかな展開が特徴。ミクが旅をする森でのワンシーン。鳥の声、儚げな旋律の向こうから、小さな足音が駆けてきてすぐに途切れる。つまづいて転んだ彼女が感じるのは、しっとりとした森の息づかい。少し心細くなったり、わくわくしたり、見知らぬ不思議な風景に心惹かれるあの感覚。森を抜けた先には何があるの？

Title VOCALOID 初音ミク
【Electronica】プリンタトロニカ【6980円】
うｐ主：amber
投稿日：2011/1/12
ニコニコＩＤ：sm13284490
第一印象：くせになるリズム

ミクさん「ぴー　がしゃこんがしゃんこ　ようしぎれ」

Review
プリンターのヘッドの駆動音をサンプリングして、リズムに取り込んだエレクトロニカ。仕事を選ばないミクさんはプリンターにもなりました。アレンジされた独特のノイズは、思いのほか耳に気持ち良く、気付けば足先でリズムをとっている。ミクさんの愛嬌でもってすれば、あのうるさい機械音も聞くたびにちょっと嬉しくなるかも。ボカロの世界は広くて深い。こんな風変わりな曲を探してみるのも、宝探しのようで面白い。

Title VOCALOID 初音ミク
Stop Motion
うｐ主：アヤユガP
投稿日：2011/5/12
ニコニコＩＤ：nm14429103
第一印象：脳みそやられた

やみつき必至の電子ドラッグ

Review
ギチギチにエッジの効いた音が耳に刺さる。何かを諦めたようなドライな歌詞が、ハスキーボイスで流れていく。くらくらするような刺激的なサウンドは、耳を貫通し脳みそを直接かき回す。鳴り響く音に意識が連れて行かれそうになるのも快感だ。アヤユガPはVOCALOID曲最速の7200BPMを誇る「Tone7200」の作者でもある。ここまでテンポが早いと工事現場の騒音のように聞こえるのだが、これもまた一興。

Title VOCALOID 初音ミク
そのことば
うｐ主：ふぐりたつお
投稿日：2010/5/23
ニコニコＩＤ：nm10822543
第一印象：わかってくれる人がいた！

言葉に頼らぬラブソング　その距離感が心地よい

Review
ポップソングには溢れているけれど、実際にはなかなか口にできない「そのことば」。大事な言葉が、それ相応の重みのあるものとして扱われていることに安堵を覚える。よく通るミクの声がゆっくりと染み入り、心ににじむ。加えて、ふぐりたつおさんの落ち着いた作風と、アコースティックな音の美しさは、いつ聴いても耳を捉える。サラリーマンの悲哀を歌った「終わらない日曜日」など、ユーモアに溢れた他作品も必聴。

Title VOCALOID 初音ミク
しあわせ
うｐ主：あめちゃｎ
投稿日：2011/12/25
ニコニコＩＤ：sm16515256
第一印象：不幸せ？

渋味のVOCAJAZZ

Review
「おかあさん」から“幸せを得ると命を失う”と言い聞かされて育った「僕」が、大切な人と出会い、命を失ってでも幸せにしたいと、自らの意思で人生を歩み始める歌。ミクが歌っているという要素を除いても十二分に魅力的だが、失う命も、幸せの感覚も無いVOCALOIDが歌うことで、歌の面白みは更に深まる。ピアプロに投稿されている、ライブ感がぐんと増した別ミックスバージョンも是非。

新機種「JOYSOUND f1」が凄いことになってます

カラオケボックスでバンドのセッションが出来ちゃうという、凄い時代に突入しました。ボーカル、リードギター、サイドギター、ベース、ドラム……、これフルオケじゃないですか！

ギター演奏者をサポートする「ギターチューナー」や「楽器エフェクター」、カラオケの演奏にあわせてコードを自動表示する「ギタナビ」などのアプリケーションも充実。

色々なジャンルの人たちが「ニコニコ動画」や「うたスキ」で出会ってコラボをする機会が増えましたが、機材を用意して、スタジオを用意して……と、動画を作るのって何かと大変です。

でも、今回のジョイサウンドの最新鋭機「JOYSOUND f1」を利用すると、お手軽にバーチャル・バンドの動画がつくれるんです！

今まで「うたスキ」のコラボ動画は2動画まででしたが、今回は最大5動画まで組み合わせることが可能になりました。

ボーカル、リードギター、サイドギター、ベース、ドラムと、フルのバーチャル・バンドセッションを楽しむことも可能です。

ギターやベースを利用する際には、楽器の接続ケーブルを専用の「サウンドエフェクター（GB-1）」につなげるだけ！　アンプやエフェクター、チューナーを持っていかなくても大丈夫。

ギターやベース専用のBOSSエフェクターが多数搭載されているため、クリアな音質で様々な演奏が楽しめます。

また「ギタナビ」というギター練習アプリも搭載。カラオケに合わせてギターコードが表示され、テンポやパート別の音量が調節できるので、ギター練習が、よりやりやすくなりました。

気軽にカラオケで楽器の練習ができ、練習の成果を「うたスキ」を通してすぐに発表できるなんて、凄い時代に突入しちゃいましたね！

「JOYSOUND f1」の発売は6月とのこと。早く使ってみたいですね。

「このパートはいるけど、このパートが見つからない！」なんていうバンドならではの悩みや、「自分の演奏や歌にもっと広がりを持たせたい」「とにかくみんなで楽しいことがしたい！」なんていう願いを、「うたスキ」と「JOYSOUND f1」はきっと叶えてくれるはず。

周辺機器「サウンドエフェクター（GB-1）」にギターやベースを接続することで、その音色をクリアな音質で撮影できるようになった。

JOYSOUND

ボカロ曲カラオケ全国ランキングカウントダウン20

人気ボカロ曲のカラオケ情報をランキング形式で紹介します。集計期間は、2012年1月1日～4月30日まで。お正月も花見もあった季節です。カラオケに行く機会も多かったのではないでしょうか？　このカラオケランキングは、全国の「うたスキ会員」の歌唱データに基づいて集計しております。

都道府県	20位	19位	18位	17位	16位	15位	14位	13位	12位	11位
全国	アンハッピーリフレイン	二息歩行	ハッピーシンセサイザ	Just Be Friends	ワールズエンド・ダンスホール	ブラック★ロックシューター	リンちゃんなう！	からくりピエロ	メルト	ローリンガール
北海道	アンハッピーリフレイン	リンちゃんなう！	ワールズエンド・ダンスホール	人生リセットボタン	バビロン	Just Be Friends	ハッピーシンセサイザ	ローリンガール	メルト	からくりピエロ
青森県	二息歩行	ロミオとシンデレラ	からくりピエロ	メルト	リンちゃんなう！	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	アンハッピーリフレイン	Just Be Friends	リンネ
岩手県	ロミオとシンデレラ	初音ミクの消失	Just Be Friends	アンハッピーリフレイン	二息歩行	ブラック★ロックシューター	リンネ	ワールズエンド・ダンスホール	リンちゃんなう！	え?あぁ、そう。
宮城県	ハッピーシンセサイザ	二息歩行	Just Be Friends	アンハッピーリフレイン	ワールズエンド・ダンスホール	リンちゃんなう！	メルト	ローリンガール	からくりピエロ	リンネ
秋田県	バビロン	ブラック★ロックシューター	アンハッピーリフレイン	ハッピーシンセサイザ	からくりピエロ	ワールズエンド・ダンスホール	Just Be Friends	magnet	ローリンガール	メルト
山形県	二息歩行	からくりピエロ	メルト	バビロン	リンちゃんなう！	ワールズエンド・ダンスホール	ハッピーシンセサイザ	Just Be Friends	ブラック★ロックシューター	リンネ
福島県	バビロン	ワールズエンド・ダンスホール	ハッピーシンセサイザ	からくりピエロ	リンちゃんなう！	Just Be Friends	二息歩行	ブラック★ロックシューター	メルト	ローリンガール
茨城県	ロミオとシンデレラ	Just Be Friends	アンハッピーリフレイン	からくりピエロ	ワールズエンド・ダンスホール	二息歩行	リンちゃんなう！	リンネ	ブラック★ロックシューター	ローリンガール
栃木県	アンハッピーリフレイン	十面相	二息歩行	ロミオとシンデレラ	ワールズエンド・ダンスホール	リンちゃんなう！	リンネ	メルト	からくりピエロ	ブラック★ロックシューター
群馬県	Just Be Friends	アンハッピーリフレイン	十面相	ハッピーシンセサイザ	リンネ	ワールズエンド・ダンスホール	二息歩行	ブラック★ロックシューター	ローリンガール	メルト
埼玉県	ロミオとシンデレラ	二息歩行	アンハッピーリフレイン	からくりピエロ	リンちゃんなう！	ワールズエンド・ダンスホール	Just Be Friends	リンネ	ブラック★ロックシューター	メルト
千葉県	初音ミクの消失	リンちゃんなう！	二息歩行	ロミオとシンデレラ	からくりピエロ	Just Be Friends	ワールズエンド・ダンスホール	リンネ	メルト	ブラック★ロックシューター
東京都	二息歩行	リンちゃんなう！	ロミオとシンデレラ	ハッピーシンセサイザ	Just Be Friends	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ	メルト	ブラック★ロックシューター	ローリンガール
神奈川県	アンハッピーリフレイン	ロミオとシンデレラ	ハッピーシンセサイザ	Just Be Friends	ワールズエンド・ダンスホール	リンちゃんなう！	からくりピエロ	リンネ	ブラック★ロックシューター	メルト
新潟県	バビロン	からくりピエロ	ワールズエンド・ダンスホール	Just Be Friends	二息歩行	人生リセットボタン	メルト	リンネ	magnet	リンちゃんなう！
富山県	ロミオとシンデレラ	からくりピエロ	十面相	人生リセットボタン	ハッピーシンセサイザ	メルト	バビロン	ワールズエンド・ダンスホール	ローリンガール	リンネ
石川県	バビロン	ワールズエンド・ダンスホール	メルト	二息歩行	ハッピーシンセサイザ	ローリンガール	人生リセットボタン	Just Be Friends	からくりピエロ	リンネ
福井県	二息歩行	人生リセットボタン	メランコリック	ブラック★ロックシューター	リンちゃんなう！	リンネ	からくりピエロ	ローリンガール	ハッピーシンセサイザ	メルト
山梨県	ハッピーシンセサイザ	Just Be Friends	二息歩行	アンハッピーリフレイン	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ	ブラック★ロックシューター	magnet	リンちゃんなう！	ローリンガール
長野県	バビロン	ワールズエンド・ダンスホール	ブラック★ロックシューター	Just Be Friends	からくりピエロ	ハッピーシンセサイザ	リンちゃんなう！	二息歩行	メルト	え?あぁ、そう。
岐阜県	十面相	初音ミクの消失	リンちゃんなう！	二息歩行	Just Be Friends	ワールズエンド・ダンスホール	ブラック★ロックシューター	ハッピーシンセサイザ	ローリンガール	メルト
静岡県	二息歩行	アンハッピーリフレイン	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	Just Be Friends	ブラック★ロックシューター	からくりピエロ	リンネ	ローリンガール	メルト
愛知県	Just Be Friends	人生リセットボタン	二息歩行	ハッピーシンセサイザ	からくりピエロ	ワールズエンド・ダンスホール	ブラック★ロックシューター	リンネ	ローリンガール	リンちゃんなう！
三重県	初音ミクの消失	リンネ	二息歩行	Just Be Friends	ロミオとシンデレラ	ローリンガール	ワールズエンド・ダンスホール	リンちゃんなう！	ブラック★ロックシューター	え?あぁ、そう。
滋賀県	アンハッピーリフレイン	人生リセットボタン	リンネ	Just Be Friends	ワールズエンド・ダンスホール	ブラック★ロックシューター	メルト	ローリンガール	ハッピーシンセサイザ	からくりピエロ
京都府	アンハッピーリフレイン	Just Be Friends	二息歩行	リンちゃんなう！	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	ブラック★ロックシューター	からくりピエロ	メルト	ローリンガール
大阪府	ブラック★ロックシューター	人生リセットボタン	二息歩行	ワールズエンド・ダンスホール	メルト	Just Be Friends	からくりピエロ	ハッピーシンセサイザ	リンちゃんなう！	ローリンガール
兵庫県	ロミオとシンデレラ	ブラック★ロックシューター	Just Be Friends	アンハッピーリフレイン	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ	リンちゃんなう！	リンネ	ローリンガール
奈良県	ワールズエンド・ダンスホール	十面相	からくりピエロ	ブラック★ロックシューター	人生リセットボタン	アンハッピーリフレイン	ハッピーシンセサイザ	リンちゃんなう！	メルト	リンネ
和歌山県	リンちゃんなう！	ロミオとシンデレラ	Just Be Friends	からくりピエロ	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	二息歩行	ブラック★ロックシューター	メルト	magnet
鳥取県	バビロン	1925	Just Be Friends	十面相	リンちゃんなう！	からくりピエロ	え?あぁ、そう。	ローリンガール	人生リセットボタン	二息歩行
島根県	ローリンガール	炉心融解	ブラック★ロックシューター	二息歩行	ハッピーシンセサイザ	メランコリック	え?あぁ、そう。	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ	リンちゃんなう！
岡山県	アンハッピーリフレイン	Just Be Friends	リンちゃんなう！	人生リセットボタン	ワールズエンド・ダンスホール	メルト	二息歩行	ローリンガール	リンネ	ハッピーシンセサイザ
広島県	ハッピーシンセサイザ	Just Be Friends	リンちゃんなう！	アンハッピーリフレイン	二息歩行	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ	ブラック★ロックシューター	リンネ	ローリンガール
山口県	アンハッピーリフレイン	十面相	ハッピーシンセサイザ	メルト	ワールズエンド・ダンスホール	二息歩行	Just Be Friends	リンネ	リンちゃんなう！	からくりピエロ
徳島県	メランコリック	ブラック★ロックシューター	メルト	ハッピーシンセサイザ	リンネ	magnet	二息歩行	バビロン	Just Be Friends	ローリンガール
香川県	からくりピエロ	初音ミクの消失	Just Be Friends	ハッピーシンセサイザ	アンハッピーリフレイン	二息歩行	リンネ	メルト	リンちゃんなう！	ワールズエンド・ダンスホール
愛媛県	からくりピエロ	ロミオとシンデレラ	Just Be Friends	人生リセットボタン	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	メルト	ブラック★ロックシューター	リンネ	ローリンガール
高知県	アンハッピーリフレイン	ハッピーシンセサイザ	リンちゃんなう！	人生リセットボタン	ロミオとシンデレラ	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ	ローリンガール	メルト	十面相
福岡県	ロミオとシンデレラ	アンハッピーリフレイン	二息歩行	Just Be Friends	メルト	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	ローリンガール	リンちゃんなう！	からくりピエロ
佐賀県	ハッピーシンセサイザ	ローリンガール	メルト	Just Be Friends	1925	二息歩行	リンちゃんなう！	十面相	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ
長崎県	ブラック★ロックシューター	炉心融解	アンハッピーリフレイン	Just Be Friends	メルト	からくりピエロ	ローリンガール	ワールズエンド・ダンスホール	二息歩行	リンちゃんなう！
熊本県	人生リセットボタン	ワールズエンド・ダンスホール	二息歩行	ブラック★ロックシューター	からくりピエロ	メルト	リンちゃんなう！	Just Be Friends	ハッピーシンセサイザ	ローリンガール
大分県	ワールズエンド・ダンスホール	バビロン	十面相	アンハッピーリフレイン	二息歩行	Just Be Friends	からくりピエロ	ローリンガール	リンちゃんなう！	メルト
宮崎県	ブラック★ロックシューター	リンちゃんなう！	1925	ハッピーシンセサイザ	ワールズエンド・ダンスホール	からくりピエロ	メルト	ローリンガール	リンネ	二息歩行
鹿児島県	ワールドイズマイン	Just Be Friends	アンハッピーリフレイン	からくりピエロ	リンネ	ローリンガール	二息歩行	ブラック★ロックシューター	リンちゃんなう！	ワールズエンド・ダンスホール
沖縄県	人生リセットボタン	ワールズエンド・ダンスホール	メルト	からくりピエロ	1925	アンハッピーリフレイン	リンちゃんなう！	Just Be Friends	え?あぁ、そう。	ローリンガール

20位：『ワールドイズマイン』鹿児島でが最高順位。

19位：『炉心融解』が島根県と長崎県で最高順位。

18位：18位ぐらいだと安定した人気作が多い。

17位：『Just Be Friends』が9県と一番多い。

16位：『1925』が佐賀県と沖縄県で最高順位。

15位：『メランコリック』が島根県で最高順位。

14位：『リンちゃんなう！』が全国順位だと、ここにランクイン。

13位：『アンハッピーリフレイン』が青森県で最高順位。

12位：『人生リセットボタン』が鳥取県で最高順位。

11位：『十面相』が高知県で最高順位。

2012 1月～4月

全国 1 位

千本桜

WhiteFlame feat.初音ミク

名曲『千本桜』が全県で1位を獲得です！

本当に偶然なんです。1位から4位が全国で同じ順位です。前回は、2011年12月の単月集計でしたが、今回は2012年1月から4月までの4ヶ月間を集計しました。前回のランキングと比較すると、1位と2位が入れ替わり、3位と4位は変動なし、前回5位～7位に分散していた『天ノ弱』が5位に集中、5位～7位に『東京テディベア』がランクイン。『リンちゃんなう！』も各県でばらけていますがランクインしています。沖縄県においては、なぜだか『二息歩行』の異様な人気（前回8位）。アニメ放送効果なのか『ブラック★ロックシューター』が再びランクインしています。

県別で比較すると…

10位までの集計では、福岡県と全国ランキングが完全一致しています。そのほか仲良しな県は、「埼玉県」「栃木県」「山口県」が全く同じ順位に、「山形県」「青森県」が同じ順位になっています。

都道府県	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全　国	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	リンネ
北海道	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	東京テディベア	天ノ弱	裏表ラバーズ	リンネ	magnet	え?あぁ、そう。
青森県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	magnet	え?あぁ、そう。	ローリンガール
岩手県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	裏表ラバーズ	天ノ弱	東京テディベア	magnet	メルト	ローリンガール
宮城県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	ブラック★ロックシューター
秋田県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	リンネ	え?あぁ、そう。	リンちゃんなう！
山形県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	magnet	え?あぁ、そう。	ローリンガール
福島県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	リンネ	magnet	え?あぁ、そう。
茨城県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	え?あぁ、そう。	magnet	メルト
栃木県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	ローリンガール
群馬県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	え?あぁ、そう。	magnet	リンちゃんなう！
埼玉県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	ローリンガール
千葉県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	え?あぁ、そう。	magnet	ローリンガール
東京都	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	リンネ	magnet
神奈川県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	ローリンガール	magnet
新潟県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	ブラック★ロックシューター	え?あぁ、そう。	ローリンガール
富山県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	東京テディベア	天ノ弱	裏表ラバーズ	リンちゃんなう！	え?あぁ、そう。	magnet
石川県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	リンちゃんなう！
福井県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	magnet	裏表ラバーズ	Just Be Friends	え?あぁ、そう。
山梨県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	リンネ	メルト	え?あぁ、そう。
長野県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	magnet	リンネ	ローリンガール
岐阜県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	magnet	え?あぁ、そう。	リンネ
静岡県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	magnet	え?あぁ、そう。	リンちゃんなう！
愛知県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	magnet	え?あぁ、そう。	メルト
三重県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	メルト	magnet	ハッピーシンセサイザ
滋賀県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	magnet	リンちゃんなう！	え?あぁ、そう。
京都府	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	え?あぁ、そう。	リンネ	magnet
大阪府	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	magnet	え?あぁ、そう。	リンネ
兵庫県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	magnet	え?あぁ、そう。	メルト
奈良県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	東京テディベア	天ノ弱	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	ローリンガール
和歌山県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	東京テディベア	天ノ弱	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	リンネ	ローリンガール
鳥取県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	東京テディベア	天ノ弱	裏表ラバーズ	magnet	リンネ	メルト
島根県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	magnet	Just Be Friends	メルト
岡山県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	からくりピエロ
広島県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	え?あぁ、そう。	メルト	magnet
山口県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	ローリンガール
徳島県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	裏表ラバーズ	天ノ弱	リンちゃんなう！	え?あぁ、そう。	東京テディベア	ワールズエンド・ダンスホール
香川県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	magnet	え?あぁ、そう。	ローリンガール
愛媛県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	裏表ラバーズ	天ノ弱	え?あぁ、そう。	magnet	リンちゃんなう！	東京テディベア
高知県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	え?あぁ、そう。	裏表ラバーズ	リンネ	magnet
福岡県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	magnet	リンネ
佐賀県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	裏表ラバーズ	天ノ弱	東京テディベア	リンネ	magnet	え?あぁ、そう。
長崎県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	magnet	裏表ラバーズ	リンネ	東京テディベア	え?あぁ、そう。
熊本県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	東京テディベア	magnet	え?あぁ、そう。	リンネ
大分県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	東京テディベア	裏表ラバーズ	え?あぁ、そう。	リンネ	magnet
宮崎県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	天ノ弱	裏表ラバーズ	magnet	え?あぁ、そう。	東京テディベア	Just Be Friends
鹿児島県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	裏表ラバーズ	天ノ弱	東京テディベア	え?あぁ、そう。	magnet	メルト
沖縄県	千本桜	マトリョシカ	パンダヒーロー	カゲロウデイズ	二息歩行	裏表ラバーズ	magnet	天ノ弱	東京テディベア	リンネ

1位～4位が48都道府県で同じボカロ曲になりました！

『天ノ弱』が5位を独占状態です！

『magnet』が長崎県で最高順位。

『東京テディベア』『裏表ラバーズ』合戦中に、徳島県は『リンちゃんなう！』

『ブラック★ロックシューター』が新潟県で最高順位。

『ローリンガール』が神奈川県で最高順位。

『ワールズエンド・ダンスホール』が徳島県で最高順位。

『#アイスマ』はコミック感覚でサクサク読めるボカロ派生のライトノベル。
キャラデザインはヤスダスズヒト氏！
メインテーマ含む全コラボ曲、JOYSOUNDでカラオケ配信中！

天音ハルト

アイスマウンテン・キーボード
職業：教員（音楽専任）
年齢：27
生年月日：4月7日
身長：183cm
資産家・天音家の長男で、音楽教師は彼の一部の姿。あらゆる芸術を愛するパーフェクション。中等部と高等部の色気づいた女子からは「王子」と呼ばれている。高校時代に安土流剣術道場で安土トウマに出会って以来、トウマをフォローするハメに。普段はトウマのことを「先輩」と呼ぶが、キレると「不始末」呼ばわりする。

安土トウマ

アイスマウンテン・ベース
職業：小学校教員（5年3組担任）
年齢：28
生年月日：12月7日
身長：180cm
大学時代はインディーズバンド「安土桃色時代」のリーダー。タバコとコーヒーが欠かせない。長髪で無精髭、洗いざらしの白衣にラフな服装、理科準備室の私物化など、学院内での評価は「不始末が白衣を着て歩いている」。安土流剣術免許皆伝。同僚にして道場の後輩の天音ハルトに甘える日々。頼りになる兄貴的存在。

帆風ナツキ

アイスマウンテン・ドラム
職業：専門学校生（調理系）
年齢：22
生年月日：7月7日
身長：165cm（自称）
アキトとキヨテルとは大学で知り合う。小柄で女性的な容姿なので、男らしさに必要以上にこだわり、女性に間違われると一瞬でキレる。見た目は「男の娘」だが、性格はぶち切れやすいリアル男子。多少屈折しているため、リア充でノー天気な火山アキトが鼻につくため、すぐにアキトにつっかかかり、罵り合いの日々。

火山アキト

アイスマウンテン・ギター
職業：青果店従業員
年齢：22
生年月日：10月7日
身長：178cm
氷山キヨテルとは小学校からの親友で、中学、高校、大学もいっしょ。天然なキヨテルを精一杯フォローする。超絶ギターテクニックの持ち主で愛用のギターはレスポールスタンダード（サンバースト）。小学校時代にキヨテルとのアコーステックデュオを結成。義理と人情に厚く、明るく情熱的なO型。帆風ナツキとは犬猿の仲。

氷山キヨテル

アイスマウンテン・ボーカル
職業：小学校教員（5年2組担任）
年齢：22
生年月日：1月31日
身長：178cm
ひとの心を虜にするミラクルボイスの持ち主。温厚で柔和でひたすらお人好しだが、なにげに頑固。歌っているときは普段とはうって変わって神秘的。10歳以前の記憶がなく、教会に併設する施設で養父（叔父）に育てられた。大学卒業と同時に勤務先の小学校の宿直室で暮らすが、宿直室はバンドメンバーの集会所に……。

『#アイスマ 〜ここに君がいないなら〜』
天音愛理・著
ヤスダスズヒト・イラスト
2012年1月31日刊行（発売中）
1260円／四六判ソフトカバー
徳間書店

『#アイスマ』は小学校の新人教師・氷山キヨテルを中心とする社会人ロックバンド〝アイスマウンテン〟のメンバー5人の群像劇です。

物語はキヨテルと火山アキトの小学校時代、帆風ナツキを加えた大学時代、そして安土トウマと天音ハルトを加えて〝アイスマウンテン〟が始動する社会人時代と進んでいきます。

不当な評価を受けて謹慎処分になる新人教師・キヨテル。父兄からの印象は最悪なものとなってしまいます。

彼のイメージアップを図るために、キヨテルの幼なじみと同僚たちが思いついたのは、大運動会のステージでキヨテルに歌わせること……。そのために組んだバンドが〝アイスマウンテン〟。

そして、そのステージで歌われる楽曲が副題にもなっている『ここに君がいないなら』なのです。

※「#アイスマ」に登場する「氷山キヨテル」は、株式会社ＡＨＳから「氷山キヨテル」の名称使用許諾を受けて、徳間書店が独自で「氷山キヨテル」のキャラクタービジュアル、人物設定を新規創作しています。バンドメンバーの名称及びキャラクタービジュアルも徳間書店オリジナルであり、株式会社ＡＨＳの公式設定ではありません。コラボ楽曲および当ノベル内の「氷山キヨテル」は、名称を同じくしますが、株式会社ＡＨＳの公式「氷山キヨテル」とは別の存在であることをご了承のうえお楽しみ下さい。

ROMAN ALBUM　Vol.5
ボカロPlus
ボカロプラス

平成24年6月15日　初版発行
発行人／川田 修
印刷所／凸版印刷株式会社
発行所／株式会社 徳間書店
〒105-8055東京都港区芝大門2-2-1
電話03-5403-4385（編集）
048-451-5960（販売）

Produser & CD・Editor-in-Cheaf
浅川トオル　ASAKAWA Toru

Senior Editor
櫻井靖之　SAKURAI Nobuyuki

Editors
阿賀加奈子　AGA Kanako
綾部ふゆ　AYABE Fuyu
鈴木朝子　SUZUKI Asako
深谷恵理　FUKAYA Eri
西村彩也香　NISHIMURA Sayaka

Contributed Editors
スタジオ・ハードデラックス株式会社
いぶし銀次

Photographer
田中一矢　TANAKA Kazuya

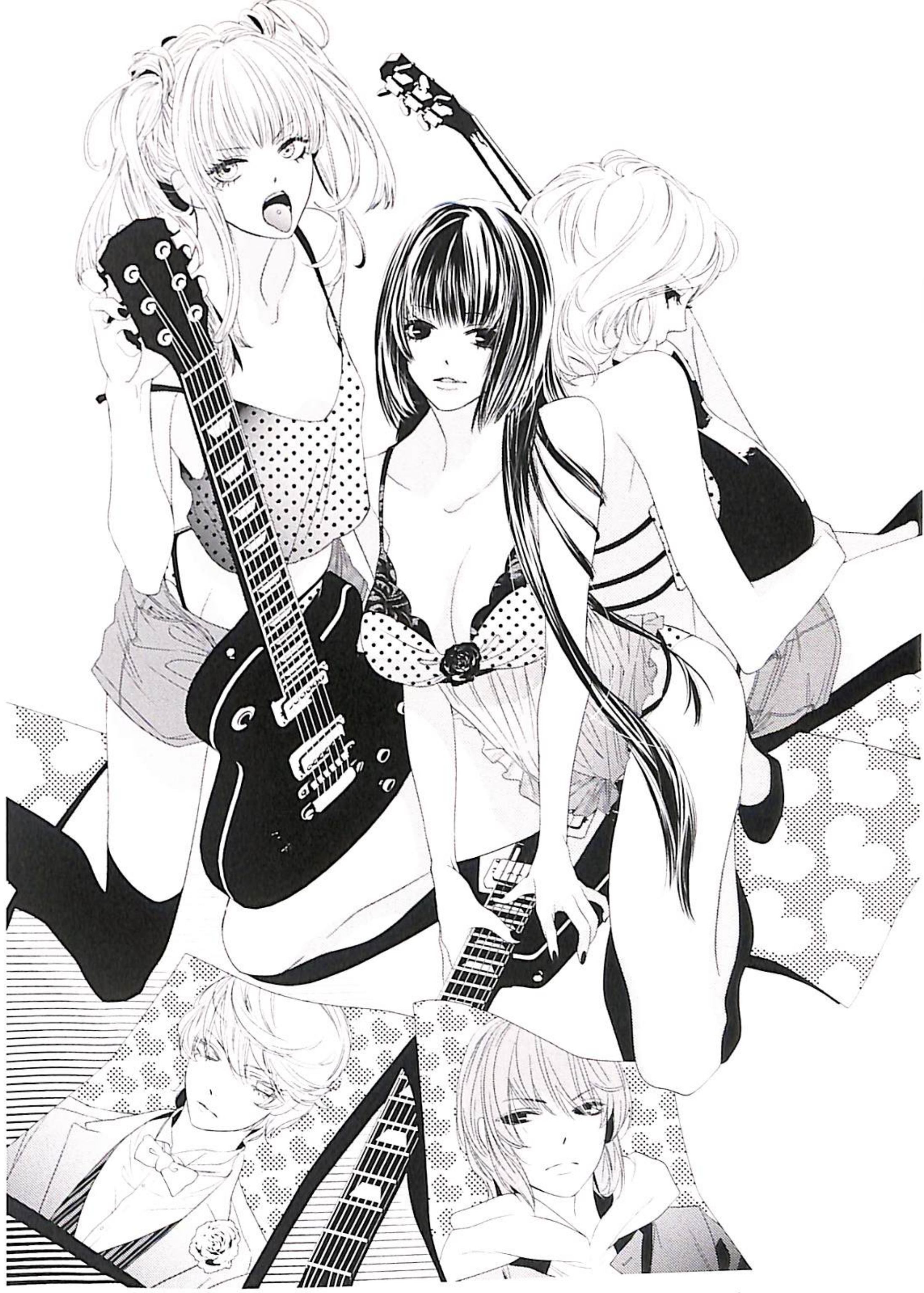
Supervisor
出雲裕之　IZUMO Hiroyuki
北條俊正　HOJYO Toshimasa
遠藤圭子　ENDO Keiko

Design
株式会社 徳間メディアプラス

Market Analyst
治郎丸 慎也　JIROMARU Shinya

TOKUMA MEDIA PLUS
棚谷俊文　TANAYA Toshifumi

企画内容に関するお問い合わせ
株式会社 徳間メディアプラス
〒105-8055東京都港区芝大門2-2-1
TEL：03-5403-4385



「#アイスマ」スピンオフコミック
安土桃色時代
月刊COMICリュウにて押しかけ連載中！
あざといガールズバンドSTORY!?

ロマンアルバム ボカロplus Vol.3
好評発売中！　1260円

ロマンアルバム ボカロplus Vol.4
キャラクターＳＰ
好評発売中！　1260円

NEXT ISSUE
Vol.6
2012年7月下旬
発売予定

※記事内の価格表記は例外を除き税込み金額です

乱丁・落丁はおとりかえ致します
本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。

ロマンアルバム
ボカロPlus Vol.5

ISBN978-4-19-720350-5
C9476 ¥1500E (0)

9784197203505

1929476015006

2012年6月15日 初版発行
徳間書店
定価:本体1500円+税
雑誌61581-83